

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41005201	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】体育方法学講義C 1／Lecture on Method of Sport Instruction C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	笹場 育子(SASABA IKUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	体育方法学科目では、中高教員免許取得者を対象とした学校教育や社会教育の現場で必要とされる体育・スポーツの指導方法の学習、知識、技術の習得を目的としている。一環として体育方法学講義では、体育・スポーツの指導実践へ向けた基礎として、指導者に必要な資質、能力、指導方法などの知識について理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn teaching methods and knowledge of physical education and sports.		
到達目標/Learning Goals	◆指導者の果たすべき役割について思考を深め、指導者として求められる資質について理解する。 ◆体育・スポーツ指導現場の動向に着目し、技術指導能力に留まらない倫理を含めた指導者に必要な能力について理解する。 ◆対象者の発達段階に応じた指導方法、指導スキルについて理解する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ◆ deepen their understanding of the role and credentials required as a PE teacher and sports leader, ◆ understand the various competencies required as a PE teacher and sports leader including ethics, ◆ understand phased teaching methods based on a student's developmental stages.		
授業方法 Course Format	オンライン授業		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	[4/7]ガイダンス→大学アナウンス通り休講	
第2回 Session 2	[4/14]指導者の役割→大学アナウンス通り休講	
第3回 Session 3	[4/21]オンライン授業対応準備期間	・LUNAでの課題提出方法について各自確認準備して下さい。 ・1回生で自宅にWifiやPC環境が整わない方は5/6までに必ずメールにて相談して下さい。i-sasaba@kwansei.ac.jp
第4回 Session 4	[4/28]オンライン授業対応準備期間	・LUNAでの課題提出方法について各自確認準備しておく ・1回生で自宅にWifiやPC環境が整わない方は5/6までに必ずメールにて相談して下さい。i-sasaba@kwansei.ac.jp
第5回 Session 5	[5/12]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型)開始:課題提出	LUNA添付資料(5/12)を確認し課題を提出して下さい ※締め切り5/19(火)9:00まで
第6回 Session 6	[5/19]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(5/19)は改めて添付します
第7回 Session 7	[5/26]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(5/26)は改めて添付します
第8回 Session 8	[6/2]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(6/2)は改めて添付します
第9回 Session 9	[6/9]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(6/9)は改めて添付します
第10回 Session 10	[6/16]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(6/16)は改めて添付します
第11回 Session 11	[6/23]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(6/23)は改めて添付します
第12回 Session 12	[6/30]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(6/30)は改めて添付します
第13回 Session 13	[7/7]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(7/7)は改めて添付します
第14回 Session 14	[7/14]オンライン授業(オンデマンド型・一方向型):課題提出	添付資料(7/14)は改めて添付します

授業外学習 Study Required outside Class	体育・スポーツ指導に関する書籍を読むなど、自学による知識獲得を心がける。
---------------------------------------	--------------------------------------

教科書 Required texts	授業中適宜指示、または資料の配布を行う。
-----------------------	----------------------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	60%	持ち込み不可
	その他／Others(99)	40%	欠席6回以上不可(授業態度/授業内課題提出など)
更新日時/Date of Update	2020年04月26日 11時40分26秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	B－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41025204	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】体育方法学演習C 4／Seminar on Method of Sport Instruction C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	木谷 織信(KITANI ORINOBU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、学校教育の中で教員が取得しておくべき体育関連分野の知識と実技を演習と講義形式で理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to understand knowledge and practical skills of the field of physical education that teachers should obtain in school education.		
到達目標/Learning Goals	屋内外施設での身体活動におけるリスクマネージメントを理解し、事故防止に対する知識を身に付け実践することができる。 水難事故による救助法や基礎的な救急処置法を理解し、実践することができる。 体カテストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand risk management for physical activities in indoor and outdoor facilities and obtain basic knowledge about accident prevention practices, ・understand and practice rescue methods for water accidents and practice basic emergency treatment methods, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	安全指導/ケガの予防/屋外スポーツ/屋内スポーツ/ニュースポーツ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるようにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する

授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業になったが、健康、体育、スポーツに関心を持ち、インターネット、新聞等での情報収集、ならびに怪我予防のためのストレッチ運動を行うよう努めること。
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業内(LUNA)実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートによって評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題によって評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時29分43秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	体育館

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41021301	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スポーツ科学演習D 1／Seminar on Sport Science D		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	浦田 達也(URATA TATSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本演習の目的は、スポーツ科学の視点から各スポーツ種目における技術習得やルール及び審判法を習得し、生涯スポーツの実践に向けた学習することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to obtain basic knowledge, skills, and rules of various sports from the viewpoint of sports sciences and to learn concepts related to the practice of lifelong sports.		
到達目標/Learning Goals	バスケットボールのルールや審判法を習得し、解説することができる。 バスケットボールを実践することができる。 体力テストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・obtain basic knowledge, skills, and rules of basketball and explain about basketball, ・put their knowledge of basketball into practice, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	バスケットボール/体力テスト		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する
授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業になったが、健康、体育、スポーツに関心を持ち、インターネット、新聞等での情報収集、ならびに怪我予防のためのストレッチ運動を行うよう努めること	

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートを評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題を評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時27分18秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	大フロア（北）

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41025205	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】体育方法学演習C 5／Seminar on Method of Sport Instruction C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	木谷 織信(KITANI ORINOBU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、学校教育の中で教員が取得しておくべき体育関連分野の知識と実技を演習と講義形式で理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to understand knowledge and practical skills of the field of physical education that teachers should obtain in school education.		
到達目標/Learning Goals	屋内外施設での身体活動におけるリスクマネージメントを理解し、事故防止に対する知識を身に付け実践することができる。 水難事故による救助法や基礎的な救急処置法を理解し、実践することができる。 体力テストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand risk management for physical activities in indoor and outdoor facilities and obtain basic knowledge about accident prevention practices, ・understand and practice rescue methods for water accidents and practice basic emergency treatment methods, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	安全指導/ケガの予防/屋外スポーツ/屋内スポーツ/ニュースポーツ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるようにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する

授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業になったが、健康、体育、スポーツに関心を持ち、インターネット、新聞等での情報収集、ならびに怪我予防のためのストレッチ運動を行うよう努めること。
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業内(LUNA)実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートによって評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題によって評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時30分20秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	体育館

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41021211	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スポーツ科学演習C 11／Seminar on Sport Science C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	浦田 達也(URATA TATSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本演習の目的は、スポーツ科学の視点から各スポーツ種目における技術習得やルール及び審判法を習得し、生涯スポーツの実践に向けた学習することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to obtain basic knowledge, skills, and rules of various sports from the viewpoint of sports sciences and to learn concepts related to the practice of lifelong sports.		
到達目標/Learning Goals	ソフトボールのルールや審判法を習得し、解説することができる。 ソフトボールを実践することができる。 体力テストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・obtain basic knowledge, skills, and rules of softball and explain about softball, ・put their knowledge of softball into practice, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	打撃/守備/連係/リーグ戦/協調性/生涯スポーツ/安全		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する
授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業になったが、健康、体育、スポーツに関心を持ち、インターネット、新聞等での情報収集、ならびに怪我予防のためのストレッチ運動を行うよう努めること	

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートを評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題を評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時13分32秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	(第3)野球場

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41021501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室／Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スポーツ科学演習F 1／Seminar on Sport Science F		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	川上 光宣(KAWAKAMI MITSUNORI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本演習の目的は、スポーツ科学の視点から各スポーツ種目における技術習得やルール及び審判法を習得し、生涯スポーツの実践に向けた学習することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to obtain basic knowledge, skills, and rules of various sports from the viewpoint of sports sciences and to learn concepts related to the practice of lifelong sports.		
到達目標/Learning Goals	様々な泳法を習得できる。 水球、スキndaイビングの基礎技術を習得できる。 体力テストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・obtain basic skills of various swimming methods, ・obtain basic skills of water polo and skin diving, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	水泳・水球・スノーケリング・安全		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅でできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】 30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する

授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業となつがた、水泳を中心としたスポーツに関心を持ち、怪我の予防のためにもストレッチ運動を行うよう努めること。
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	特に指定はしない。随時指示する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートを評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題を評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時16分08秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	新学生会館温水プール

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	41025206	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室/Sports and Health Sciences Program Office		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】体育方法学演習C 6/Seminar on Method of Sport Instruction C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	木谷 織信(KITANI ORINOBU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、学校教育の中で教員が取得しておくべき体育関連分野の知識と実技を演習と講義形式で理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this seminar course is for students to understand knowledge and practical skills of the field of physical education that teachers should obtain in school education.		
到達目標/Learning Goals	屋内外施設での身体活動におけるリスクマネジメントを理解し、事故防止に対する知識を身に付け実践することができる。 水難事故による救助法や基礎的な救急処置法を理解し、実践することができる。 体力テストにおける自分の体力・運動能力について把握し、今後の生活に反映することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand risk management for physical activities in indoor and outdoor facilities and obtain basic knowledge about accident prevention practices, ・understand and practice rescue methods for water accidents and practice basic emergency treatment methods, ・understand their physical strength and exercise ability in physical fitness tests and reflect it in future active living.		
授業方法 Course Format	オンライン授業となる		
検索キーワード/Keywords	安全指導/ケガの予防/屋外スポーツ/屋内スポーツ/ニュースポーツ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	新型コロナウイルスの影響による休講→第15回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第2回 Session 2	新型コロナウイルスの影響による休講→第16回目に補講を提示	LUNAで課題を提示する
第3回 Session 3	ガイダンス(オンデマンド型・一方向型) スポ健の理念、授業内容、成績評価方法等について理解する	次回以降の課題をLUNAで提出できるようにしておくこと 質問はLUNA掲示板にて
第4回 Session 4	(オンデマンド型・一方向型) 【静的ストレッチについて】上・下半身の静的なストレッチを調べ、約30分間実施する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第5回 Session 5	(オンデマンド型・一方向型) 【動的ストレッチについて】ラジオ体操第1をマスターする	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第6回 Session 6	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング①】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第7回 Session 7	(オンデマンド型・一方向型) 【自宅のできる筋カトレーニング②】自宅にて筋カトレーニングに取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第8回 Session 8	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング①】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第9回 Session 9	(オンデマンド型・一方向型) 【ウォーキング②】30分以上のウォーキングを実施し、10分ごとに心拍数を測る	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第10回 Session 10	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第11回 Session 11	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第12回 Session 12	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第13回 Session 13	(オンデマンド型・一方向型) 【担当教員による授業】内容をLUNAで確認し、取り組む	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第14回 Session 14	(オンデマンド型・一方向型) 【最終レポートの作成】テーマは最終回に提示する	LUNAで課題を提示する 質問はLUNA掲示板にて
第15回 Session 15	補講 静的または動的ストレッチと筋カトレーニングを指導できるようにする	LUNAで課題を提示する
第16回 Session 16	補講 ウォーキングと心拍数について説明できるようにする	LUNAで課題を提示する

授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業になったが、健康、体育、スポーツに関心を持ち、インターネット、新聞等での情報収集、ならびに怪我予防のためのストレッチ運動を行うよう努めること。
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業内(LUNA)実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	最終回に作成するレポートによって評価する
	その他／Others(99)	60%	各回の課題によって評価する
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 17時21分55秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	体育館

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42951001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】AI活用導入演習A 1／Introduction to AI Applications A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西野 均(NISHINO HITOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	AIを利用したアプリケーションのうち、言語解析に関する基礎的な技術を修得することを目的とする		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge of natural language analytics technologies.		
到達目標/Learning Goals	・言語解析系のAIの活用方法、そこで使う意図分類や形態素解析の仕組み理解し、説明できるようになる。 ・言語解析系APIの使い方を理解し、言語解析系AIを利用した簡単なアプリケーションを開発できるようになる。 ・言語解析系AIと他のシステムを組み合わせ、自ら新たなサービスを開発できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to explain knowledge of technologies related to natural language analytics, such as the structure of an intention classification and morphological analysis, 2. an understanding of basic knowledge of application development using natural language analytics, 3. the ability to develop new applications through a combination of natural language analytics and other systems.		
授業の概要・背景 Course Outline	言語解析の中で意図分類や形態素解析の仕組み、言語解析系AIを利用するためのAPI(Application Programming Interface)に関する知識を学ぶ。さらに、言語解析系AIを利用したアプリケーションを開発する。		
授業方法 Course Format	講義と演習の組み合わせとなる。演習ではグループワークも取り入れ双方向なディスカッションを行い、実際の演習結果についてはレポートとして提出を求める。 本授業科目では、履修学生が各自のノートPC(タブレットは不可)を持参し、通常教室で授業を行う。また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。		
関連科目/Related Courses	「AI活用入門」の単位を修得済みであることが履修条件となります。		
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 IoT 機械学習 統計解析 データサイエンス 自然言語処理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	AIの基礎と、言語解析系APIの導入事例： 授業の目的と目標、受講方法を理解する。言語解析系APIの種類を把握するとともに、「意図分類系」と「形態素解析」の分析アプローチの違いについて理解する。	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第2回 Session 2	意図分類系APIの理解1: Conversation(会話)APIの役割 意図分類系の分析アプローチの一例として、Watson Assist API: チャットボットのような対話型サービスを作るためのAPIについての理解を深める	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第3回 Session 3	意図分類系APIの理解2: Conversation(会話)APIの仕組み1 Watson Assist APIが開発・実装された背景を理解する。言語解析(意図分類系)APIの原理・アルゴリズムを理解するとともに、APIを使って実現できることを把握する。Watson Assist APIが企業・学校などでどのように活用されているのかを、実際の事例を通じて理解を深める。	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第4回 Session 4	意図分類系APIの理解3: Conversation(会話)APIの演習 Watson Assistを使って実際にSkills(質問応答のやりとり)を作る	
第5回 Session 5	意図分類系APIの理解4: Conversation(会話)APIの演習 Watson AssistのSkillsで作ったやり取りを実際にWeb Applicationとして使えるようにする	
第6回 Session 6	形態素解析系APIの理解1: WEX(IBM Watson Explorer)の役割 形態素解析系の分析アプローチの一例として、WEXを活用し大量のテキストデータを理解し、より早く、より正確に新たな知見を発見する強力な分析ソリューションについての理解を深める	
第7回 Session 7	形態素解析系APIの理解2: WEX(IBM Watson Explorer)の仕組み1 WEXが開発・実装された背景を理解する。言語解析(形態素解析系)APIの原理・アルゴリズムを理解するとともに、APIを使って文書の記述内容を理解できることを把握する。	
第8回 Session 8	形態素解析系APIの理解3: WEX(IBM Watson Explorer)の仕組み2 WEXが企業・学校などでどのように活用されているのかを、実際の事例に通じて理解を深める。また、実際の適用事例を参考に、WEXにおけるコーパス作成方法を理解する。	
第9回 Session 9	その他APIの紹介 言語解析系APIにはどのようなものがあるのかについて理解する。	
第10回 Session 10	総合演習に向けた準備: Conversation(会話)APIのトレーニング方法 実際の適用事例を参考に、Conversation APIへのトレーニング方法を理解し、IBM Cloud上で実践する	
第11回 Session 11	総合演習1(APIの組み合わせによって実現できるサービスの検討) 検討したシステムアーキテクチャが、誰にどのように有効であるのかを検討する。(ペルソナと活用シーンの設定)	
第12回 Session 12	総合演習2(APIの組み合わせによって実現できるサービスの検討) テーマを設定し、WEX、IBM Cloud上に実装されているAPI、外部APIを組み合わせた新たなサービスを構築するためのシステムアーキテクチャを検討する	
第13回 Session 13	チャットボットの実装過程の紹介 関学キャリアセンターにて実装したチャットボットの事例について理解し、要件定義からソリューションの実装に至るまでの過程を理解する。	

Session 13	チャットボットとWEXを組み合わせた事例の紹介 言語系APIを組み合わせた最新のソリューション事例を理解する。	
第14回 Session 14	総合演習3(APIの組み合わせによって実現できるサービスの発表) 検討したシステムアーキテクチャの相互発表会を行う	

授業外学習 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・講義資料を事前にダウンロードして予習しておくこと ・適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特に指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示する

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 10時04分14秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	4別－401

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42950103	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】AI活用入門 3／AI for Beginners		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	巳波 弘佳(MIWA HIROYOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	AI活用人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge required for AI Solution Architects.		
到達目標/Learning Goals	1. 産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識について説明できるようになる。 2. データ解析に関する基礎知識を理解し、簡単なデータ解析ができるようになる。 3. AIを利用した簡単なアプリケーションを開発できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to explain social background knowledge such as changes of industrial structure and required skills in the future and basic knowledge of AI technology, 2. an understanding of basic knowledge of data analysis and the ability to conduct basic data analysis, 3. the ability to develop basic applications using AI.		
授業の概要・背景 Course Outline	産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学ぶ。		
授業方法 Course Format	通常は下記の通りですが、2020年度はオンライン授業(オンデマンド型)で実施します。なお、講義時間帯にライブ講義・質問対応も行う予定です。 ----- 基本は講義形式になるが、個々の単元の演習ではグループワークを行い、双方向授業を実施する。 本授業科目では、履修学生が各自のノートPCを持参し、通常教室で授業を行う。また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。第1回授業時に授業運営に関する詳細説明を行うが、第1回授業ではPC持参の必要はない。なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。 -----		
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 IoT 機械学習 統計解析 データサイエンス		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス(授業の目的、スケジュール等の説明) 授業の目的と目標、受講方法を理解する。AIの活用事例などに触れ、意欲的に学習できるようになる。	【オンデマンド授業】4/21(火)9:00までに配信 講義の資料はLUNAのページ https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?co で配信します。 【ライブ講義】4/28(火)1限にネットでライブ講義・質問受付を行います。講義内容は講義資料と基本的に同じです。アクセス先はLUNAのお知らせで指示します。
第2回 Session 2	AI時代の概論:第4次産業革命とこれからのリテラシ 第4次産業革命に伴う、これからのAI活用人材に必要な基礎スキルについて理解を深める、企業の求めるAI活用人材とはどのような人材かを理解する。	【オンデマンド授業】4/21(火)9:00までに配信 講義の資料はLUNAのページ https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?co で配信します。 【ライブ講義】4/28(火)1限にネットでライブ講義・質問受付を行います。講義内容は講義資料と基本的に同じです。アクセス先はLUNAのお知らせで指示します。
第3回 Session 3	AI活用入門1:人工知能とは 人工知能の歴史を学び、なぜこの時代にAIが必要であるのかを理解する	【オンデマンド授業】4/21(火)9:00までに配信 講義の資料はLUNAのページ https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?co で配信します。 【ライブ講義】4/28(火)1限にネットでライブ講義・質問受付を行います。講義内容は講義資料と基本的に同じです。アクセス先はLUNAのお知らせで指示します。
第4回 Session 4	AI活用入門2:人工知能の種類 リーディングカンパニー6社(IBM, Microsoft, Google, Amazon, Apple, Facebook)が提供しているAI技術についての概要を学ぶ。	
第5回 Session 5	AI活用入門3:APIの紹介 各社が提供している基本的なAPI(Application Programming Interface:ソフトウェアの機能を共有する仕組み)を知り、APIを使って何ができるのかを理解する。	
第6回 Session 6	データ解析入門1:データ・サイエンスとは データサイエンスの存在意義を把握するとともに、AI活用人材として理解しておくべき標準的なデータマイニングプロセスについて学習する。	
第7回 Session 7	データ解析入門2:統計解析の基礎 数学・統計の基礎知識に触れる(分散、標準偏差、相関係数、回帰分析等)	
第8回 Session 8	データ解析入門3:分析ツールの理解1(R) 統計解析向けのプログラミング言語「R」、およびR用の統合開発環境である「RStudio」で何をできるかを把握する。	
第9回 Session 9	データ解析入門4:分析ツールの理解2(R) R/Rstudioで簡単な計算・統計分析を実行し、その動作を理解する。	
第10回 Session 10	AIアプリケーション開発入門1: AIアプリケーション開発の基礎AI活用人材としてAIアプリケーション開発スキルを身につける必要性を理解する。 ビジュアルプログラミング言語の種類とその操作方法に触れるとともに、アルゴリズムの基礎を学ぶ。	
第11回 Session 11	AIアプリケーション開発入門2: Node-REDによるAPIの操作 ビジュアルプログラミング言語「Node-RED」を用いて、API(Application Programming Interface)を呼び出すためのスクリプトについて理解する。	
	AIアプリケーション開発入門3:システム開発の理解1	

第12回 Session 12	システム開発のプロセスを理解するとともに、UML(Unified Modeling Language)を用いて、ソフトウェアの機能や構造を「図」で描けるようになる。	
第13回 Session 13	AIアプリケーション開発入門4:システム開発の理解2 チャットボット開発の流れと、各フェーズにおける成果物にどのようなものがあるかを理解する。	
第14回 Session 14	講義全体の振り返り 講義全体を振り返るとともに、AI活用の最新事例に触れて、AI活用人材になるために必要な知識・スキルについて考察する。	

授業外学習 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・講義資料を事前にダウンロードして予習しておくこと ・適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特に指定しない。
参考文献・資料 Reference books	適宜指示する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	
更新日時/Date of Update		2020年04月22日 17時35分30秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	VII－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42022400	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】人権教育科目004【ジェンダーと人権A】／Human Rights Education Course 004		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	倉島 哲(KURASHIMA AKIRA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	この授業は、受講生が、学校生活や仲間集団、スポーツ集団など、身近な場で生起するジェンダーやセクシュアリティと人権にまつわる諸問題を手がかりにして、現代社会におけるジェンダーと人権の問題について理解を深めることを目的としています。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to deepen their understanding of gender, sexuality and human rights in contemporary Japanese society through such issues as school life, sports and so on.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を授業の到達目標として設定しています。 a)現代社会におけるジェンダーと人権の問題について入門的なびにやや発展的な知識を身につける。 b)実際にジェンダーやセクシュアリティにまつわる人権侵害に遭遇した際の対処方法について、知識やスキルを身につける。 c)ジェンダーと人権の問題を、自分自身がその一部であるような問題として理解することを目指す。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to a)attain basic and intermediate level knowledge on issues related to gender, sexuality and human rights in contemporary Japanese society. b)attain basic practical skills and knowledges that will help them when they actually experience difficulties related to gender, sexuality and human rights. c)understand gender, sexuality and human rights as an issue that they themselves are parts of it.		
授業方法 Course Format	授業はオムニバス形式で、4名の講師がそれぞれ3回ずつ講義を担当します。 講義はすべてLUNA経由でオンデマンド方式で実施します。また、講義のつど、LUNAの掲示板で意見交換を行います。		
関連科目/Related Courses	人権教育科目005(ジェンダーと人権B)		
検索キーワード/Keywords	ジェンダー、人権、セクシュアリティ、スポーツ、トランスジェンダー、アサーション、男らしさ、など		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(倉島)(休講のためオンライン補講)	
第2回 Session 2	公的／私的の区分とジェンダー(岡本)(休講のためオンライン補講)	
第3回 Session 3	セックスとジェンダー 古典的な理解と批判(岡本)(休講のためオンライン補講)	
第4回 Session 4	ジェンダーとどう向き合うか 過去と現在の対比から(岡本)(休講のためオンライン補講)	
第5回 Session 5	スポーツをとおして考える(1) 近代スポーツと「女らしさ／男らしさ」(水野)(オンライン講義)	
第6回 Session 6	スポーツをとおして考える(2) セクシュアリティの問題(水野)(オンライン講義)	
第7回 Session 7	スポーツをとおして考える(3) ライフスタイル・スポーツとホワイトヘゲモニー(水野)(オンライン講義)	
第8回 Session 8	トランスジェンダーと人権(1)トランスジェンダーとは何か(織田)(オンライン講義)	
第9回 Session 9	トランスジェンダーと人権(2)法・医療制度(織田)(オンライン講義)	
第10回 Session 10	トランスジェンダーと人権(3)フェミニズムとトランスジェンダー(織田)(オンライン講義)	
第11回 Session 11	メディアが描くジェンダーと人権(1)男性性の複数制(石元)(オンライン講義)	
第12回 Session 12	メディアが描くジェンダーと人権(2)家族の多様性(石元)(オンライン講義)	
第13回 Session 13	メディアが描くジェンダーと人権(3)セクシャル・マイノリティ(石元)(オンライン講義)	
第14回 Session 14	まとめ(倉島)(オンライン講義)	

授業外学習 Study Required outside Class	普段から身近な場でのジェンダーと人権の問題に関心を持ち、新聞記事などに目を通してください。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特に指定しない
参考文献・資料 Reference books	毎回、オンデマンド方式でレジュメや資料を配布する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学校の定める期間に、学生による授業評価アンケートを実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	4名の教員がそれぞれ25点満点の課題レポートを課して、合計100点満点で評価する。
更新日時/Date of Update		2020年04月21日 20時03分03秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42390300	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】連携講座004【「医学入門A」】/Cooperative Lectures004		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	鈴木 敬一郎(SUZUKI KEIICHIROU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業目的/Course Purpose	基礎医学から臨床医学まで幅広い医学・医療の最先端のトピックスを理解できる。大学における研究成果が患者診療に役立っていることを知り、研究の重要性を認識する。また、病に苦しむ患者さんの状況を理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The aim of this course is for students to understand a wide range of the latest medical and health topics from basic medicine and clinical medicine. Students will be able to acknowledge the importance of medical research and how research findings contribute to treating patients. Furthermore, students will be able to understand how patients struggle with their illnesses.		
到達目標/Learning Goals	基礎医学の最先端のトピックスを知り、その初歩的な概要を説明できる。 臨床医学の最先端のトピックスを知り、その初歩的な概要を説明できる。 トランスレショナルリサーチの重要性を概説できる。患者さんの心情を理解し、その悩みに共感できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to •learn about the latest topics in basic medicine and discuss their basic outline, •learn about the latest topics in clinical medicine and discuss their basic outline, •give an outline of the importance of translational research, understand how patients feel, and empathize with their distress.		
授業の概要・背景 Course Outline	平成19年7月に兵庫医科大学と関西学院大学との間で締結された学術交流に関する包括協定に基づき、授業科目の相互提供、学生・教員の相互交流の一環として、本科目を開講している。		
授業方法 Course Format	オムニバス形式の講義		
検索キーワード/Keywords	医学/医療		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4/7「遺伝子と病気」宮崎 彩子	
第2回 Session 2	4/14「橋渡し研究～その道はどこに続いている?～」菊池 正二郎	
第3回 Session 3	4/21「耳鼻咽喉科の科学」都築 建三	【新型コロナ対応(4月17日18:50更新)】 LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時:4月17日 ・授業形式:オンデマンド型 ・LUNAのURL:URLリンク1に記載
第4回 Session 4	4/28「病理って何?」山田 直子	【新型コロナ対応(4月27日15:10更新)】 LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時:4月27日 ・授業形式:オンデマンド型 ・LUNAのURL:URLリンク1に記載
第5回 Session 5	5/12「酸化ストレスと抗酸化物質の生化学」藤原 範子	
第6回 Session 6	5/19「口腔科学～口の中の特殊性～」高岡 一樹	
第7回 Session 7	5/26「造血幹細胞移植のエトセトラ」池亀 和博	
第8回 Session 8	6/2「心臓血管外科入門」坂口 太一	
第9回 Session 9	6/9「呼吸器とその中枢調節における細胞・分子生理」平田 豊	
第10回 Session 10	6/16「医学研究における形態的アプローチ」前田 誠司	
第11回 Session 11	6/23「がんゲノム医療～女性のがんについて」鰐本 浩志	
第12回 Session 12	6/30「こどもの生命を守るための新たな取り組み」竹島 泰弘	
第13回 Session 13	7/7「免疫学 初めの一步」黒田 悦史	
第14回 Session 14	7/14「遺伝学総論」大村谷 昌樹	

授業外学習 Study Required outside Class	指定期間内に行われた講義の内容を踏まえ、興味・関心が高まったこと等を自ら調べ、整理しておくこと。
---------------------------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 3講義毎に1回(第5回のレポートのみ2講義毎に1回)、レポートテーマとする講義を1つ選択し、所定のレポート様式2ページにまとめて提出すること。計5回の提出レポートにより、評価する。 ※「所定のレポート様式」は各自「LUNA」からダウンロードすること。 (「レポートテーマとした授業日・担当教員名」に必ず○印を付けてください。) ※提出方法:「LUNA」から提出 ※レポートの提出締切日は下記の通りとする。(各レポート対象講義の最終回実施週の金曜日とします) 第1回締切日:4/24(金)・・・対象講義4/7・4/14・4/21 第2回締切日:5/22(金)・・・対象講義4/28・5/12・5/19 第3回締切日:6/12(金)・・・対象講義5/26・6/2・6/9 第4回締切日:7/3(金)・・・対象講義6/16・6/23・6/30 第5回締切日:7/17(金)・・・対象講義7/7・7/14		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content_id=_632682_1&course_id=_184710_1&mode=reset		
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 15時09分07秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	IV－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42455002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スタディスキルセミナー（プレゼンテーション） 2／Study skills seminar (Presentation)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	三井 規裕(MITSUI NORIYASU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	この授業の目的は、学術的なプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する事です。「スタディスキル」のスタディは、「勉強」ではなく「学術」と捉えてください。また、プレゼンテーションは一方的な口頭発表のスキルだけでなく、ディスカッションするスキル、プレゼンテーションを効果的に示す発表スライド等を作成する力を含みます。感情的に話をしてしまう人、論理的に話ができない人に受講する事をおすすめします。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the skills necessary for academic presentations.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を授業の到達目標として設定しています。 ・主張、根拠、論拠に基づく学術的な発表を行うことができる。 ・主張、根拠、論拠に基づく学術的なディスカッションを行うことができる。 ・主張、根拠、論拠に基づく学術的な発表・ディスカッションを行うための適切な資料を作成することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・make academic presentations based on assertions, data, and arguments, ・conduct academic discussions based on assertions, data, and arguments, ・create appropriate materials for academic presentations / discussions based on assertions, data, and arguments.		
授業方法 Course Format	2020年度春は、オンライン（同時双方向型）で授業を行います。履修者は、LUNAからこの科目のお知らせを確認してください。4月17日ごろに掲載します。 なお、状況の変化によって、対面授業に切り替える可能性があります。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	・オリエンテーション(授業概要の説明)、評価方法 プレゼンテーションは社会問題の解決策を提示してもらいます。4/21	
第2回 Session 2	・プレゼンテーション 問題・目的の定義 ～具体的な言葉を使っていますか～ 4/28	授業で出された課題1
第3回 Session 3	・プレゼンテーション 問題・目的を客観的に表現する ～ズレないための考え方～ 5/12	授業で出された課題2
第4回 Session 4	・プレゼンテーション 事実の確認と評価(1)～とりあえず、現状確認の危うさ～ 5/19	授業で出された課題3・4(資料の掟事前課題)
第5回 Session 5	・プレゼンテーション 5/26 ・資料の掟(その1) ・議論の掟(その1)	資料の掟(その1)課題5
第6回 Session 6	・プレゼンテーション 6/2 ・資料の掟(その2) ・議論の掟(その2)	資料の掟(その2)課題6・7
第7回 Session 7	・プレゼンテーション 事実の確認と評価(2)～とりあえず、現状確認の危うさ～ 6/9	授業で出された課題8
第8回 Session 8	・プレゼンテーション 問題を引き起こしている原因を検討する 6/16	授業で出された課題9
第9回 Session 9	・プレゼンテーション 6/20 プレゼン資料作成	発表準備をしておくこと
第10回 Session 10	・プレゼンテーション 6/23 議論の掟(その3)	授業で出された課題10
第11回 Session 11	・プレゼンテーション 6/27 プレゼン資料作成	発表準備をしておくこと
第12回 Session 12	・プレゼンテーション 6/30 個人発表です。実施形態については、皆さんの進行状況を見ながら決定します。	発表準備をしておくこと プレゼンテーションで指摘を受けたところを修正した資料を提出すること
第13回 Session 13	・プレゼンテーション 7/7 個人発表です。実施形態については、皆さんの進行状況を見ながら決定します。	発表準備をしておくこと プレゼンテーションで指摘を受けたところを修正した資料を提出すること
第14回 Session 14	・プレゼンテーション 7/14 個人発表です。実施形態については、皆さんの進行状況を見ながら決定します。	プレゼンテーションで指摘を受けたところを修正した資料を提出すること

授業外学習 Study Required outside Class	毎回の予復習目安時間は3時間です。授業時間外学習は必ず必要です。
---------------------------------------	----------------------------------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	プレゼンテーション＝30点 課題10回×5＝50点 授業での学びに関する日誌(振り返り)＝10点 1学期の振り返り＝10点
備考 Note	1)授業のお知らせは、LUNA上に表示されます。 2)オンライン授業(同時双方向型)はスマートフォンで視聴可能です。視聴方法はLUNAのお知らせに掲載します。 3)議論の掟は事前にLUNAに掲載する資料を印刷し、手元に準備しておいてください。 4)その他気になることや相談したいことがあれば、初回の振り返りに記入してください。 視聴環境等に不安のある方はこちらまで連絡をください。 nmitsui@kwansei.ac.jp		
更新日時/Date of Update	2020年04月14日 17時27分27秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	第1PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42022200	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】人権教育科目002【在日朝鮮人と人権A】／Human Rights Education Course 002		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	高島 千代(TAKASHIMA CHIYO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	2008年度以前の開講科目「総合コース429」を修得済みの場合、同一科目のため「人権教育科目002」は履修できない。		
授業目的/Course Purpose	この講義は、戦前・戦後の朝鮮半島と日本の関係史を、「日本人」「日本社会」と「在日朝鮮人」の視点から、それぞれ考察した上で、戦後の在日朝鮮人社会、ひいては日本社会が直面する問題への理解を深めることを主題とする。中心となる問いは、「なぜ『在日朝鮮人』と呼ばれる人々が日本にいるのか」であり、その答えを探すことを通じて、戦前・戦後の日本と朝鮮半島との関係を、事実をふまえて理解し直すことが、本講義の主要な目的である。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the relationship between Japan and Korean peninsula before and after the war, from the perspective of ‘Korean with the status of permanent residents in Japan (Zainichi Korean)’ and ‘Japanese’, ‘Japanese society’. The main question is why there are people referred to as Zainichi Koreans in Japan, now.		
到達目標/Learning Goals	受講生は、各講義で示された歴史事実を理解したうえで、最終的には、グローバルな20世紀史における帝国主義・暴力・労働・移動の視点から、在日朝鮮人をめぐる問題について見識を深めることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will develop their own views on the question above(why there are people referred to as Zainichi Koreans in Japan now), from perspective of imperialism, violation, transportation of forced labour in the 20th century.		
授業方法 Course Format	・授業は、四人の教員によるオムニバス形式で、毎回、コメントを提出してもらいます。 ・またこの授業は、オンライン授業(オンデマンド型)として、5月7日(木)16:50p.m.から実施します。最初の二回(5月7・9日)は補講として行い、それ以降は、毎週火曜日の四限(16:50p.m～)までに配信しますが、念のため、下記「授業計画」に記されている、各回の授業実施日(配信開始日)に注意してください。なお「授業計画」には、5月7日授業開始までの事前学習についても指示してありますので、こちらは、5月7日の授業開始前までに目を通し、自習しておいてください。また、そのなかで生まれた疑問については、5月7・9日の李明哲先生の授業で提出するコメントの中で質問してください。 ・毎回、授業を受講する前には必ず、LUNA「人権教育科目002(在日朝鮮人と人権A)」の「お知らせ」をチェックしてください。「お知らせ」には、下記の三点が、適宜、提示されます。 ①四人の担当者が交代するごとに、それぞれの具体的な授業方法が示される。 ②各回の授業について、必ず毎回、注意・指示(授業の教材をダウンロードする方法、コメントや課題を提出する方法など)を示す。 ③中間試験や定期試験について、実施方法を指示する。 なお「お知らせ」は履修登録者にはメールで転送されますので、大学のメールでチェックすることもできますが、万一、授業前になってもメールが転送されてこない場合は、直接、LUNAの「お知らせ」を確認してください。 ・LUNAの「人権教育科目002(在日朝鮮人と人権A)」は、現在、履修登録する前でも、閲覧することができます。 ・もし各担当者の授業について質問がある時には、基本的に各授業で提出するコメントに書いてください。この授業全体について不明な点や相談したい点があれば、高島(takac@kwansei.ac.jp)まで、連絡してください。またLUNAの操作でわからないことがある場合は、まず、下記「LUNAサポート」に相談してみましょう。 【メール】 LUNA-support@ml.kwansei.ac.jp 【電 話】 0798-54-7420 【窓 口】 高等教育推進センター(西宮上ヶ原キャンパス第4別館2階) 平日8:50～11:30 / 12:30～16:50		
関連科目/Related Courses	「在日朝鮮人と人権」Bもあわせて履修することをすすめる。		
検索キーワード/Keywords	人権、在日朝鮮人、近現代東アジア、植民地、戦後日本と在日朝鮮人社会		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4/21～5/6 事前学習① 本講義の意図・内容 (高島千代)	下記添付ファイル1「授業をはじめるにあたって(2020.4.21)」を読んでおいてください。
第2回 Session 2	4/21～5/6 事前学習② 「在日朝鮮人と人権」の基礎知識(李明哲) 【参考文献】 ・全体的な入門編としては、Key(在日コリアン青年連合)のHPに掲載の「KEYWORD」(https://www.key-j.net/keyword)、「身近な在日コリアンのライフヒストリー」(https://www.key-j.net/interview) ・歴史入門としては、「在日韓人歴史資料館ホームページ」(http://www.j-koreans.org/gallery/gallery1_01.html) ・アイデンティティ問題入門としては、学生たちと同世代のインタビュー記事(https://neutmagazine.com/korean-japanese-korean-in-japan) ・アイデンティ問題の研究書としては、鄭栄鎮『在日朝鮮人アイデンティティの変容と揺らぎ』(法律文化社、関学図書館の電子ブック「学外から利用する」 http://sfx5.usaco.co.jp.kwansei.remotexs.co/kgu/azbook から検索し、フルテキストを読むことができます)	右記の【参考文献】のうち二つ以上に目を通しておいてください。
第3回 Session 3	5/7 現代と在日朝鮮人1(個人史・統計) (李明哲)	補講として実施します。 受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第4回 Session 4	5/10 現代と在日朝鮮人2(社会的処遇)	補講として実施します。 受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第5回 Session 5	5/12 在日朝鮮人社会の形成 (安岡健一)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第6回 Session 6	5/19 戦争と「同化」政策 (安岡健一)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第7回 Session 7	5/26 中間テスト(李・安岡分)	テストを受けるにあたっては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第8回	6/2 在日朝鮮人の歴史と人権1(法的地位を中心に) (鄭祐宗)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNA

Session 8		
第9回 Session 9	6/9 在日朝鮮人の歴史と人権2(運動を中心に) (鄭祐宗)	のページの「お知らせ」を必ずチェックしてください。
第10回 Session 10	6/16 在日朝鮮人の歴史と人権3(教育を中心に) (鄭祐宗)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第11回 Session 11	6/23 植民地期日本における二度の朝鮮人虐殺:中津川事件と関東大震災(裴 鈴美)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第12回 Session 12	6/30 在日朝鮮人とハンセン病 (裴 鈴美)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第13回 Session 13	7/7 戦後日本を生きた朝鮮人「慰安婦」被害者 (裴 鈴美)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。
第14回 Session 14	7/14 授業全体のまとめ(李明哲・安岡健一・鄭祐宗・裴鈴美)	受講に際しては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。

授業外学習 Study Required outside Class	各回の授業で示された参考文献や下記に挙げた参考書も、できるだけ読んでみてください。
---------------------------------------	---

参考書/Reference books	著者名:朴鐘鳴ほか タイトル:在日朝鮮人の歴史と文化 発行所:明石書店 出版年:2006 ISBN:
	著者名:水野直樹・文京洙 タイトル:在日朝鮮人—歴史と現在 発行所:岩波書店 出版年:2015 ISBN:
	著者名:川瀬俊治・郭辰雄編 タイトル:知っていますか?在日コリアン一問一答 発行所:解放出版社 出版年:2014 ISBN:
	著者名:田中宏 タイトル:在日外国人 第三版—法の壁、心の壁 発行所:岩波書店 出版年:2013 ISBN:
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中に行う。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	50%	第8～13回の授業(鄭祐宗・裴鈴美担当)内容の理解について、授業中に試験を行う。	
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	第3～6回の授業(李明哲・安岡健一担当)内容の理解について、授業中に試験を行う。	
	備考 Note			
	中間テストはオンラインで行いますので、テストを受けるにあたっては、LUNAからの「お知らせ」メール(もしくはLUNAのページの「お知らせ」)を必ずチェックしてください。 定期試験の方法についても、LUNAの「お知らせ」で指示します。 本講義の履修生には、この問題を自分の問題としてとらえ、誠実・熱心に取り組むことを求めます。			
備考 Note	そのほかの参考文献については授業中に指示します。			
添付ファイル1/File Attachment 1	授業をはじめるにあたって(2020.4.21).pdf		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月19日 18時04分05秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	5別—6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42180700	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】総合コース807【Mastery for Serviceのリーダーシップ】／Integrated Course807		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	佐藤 善信(SATO YOSHINOBU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	受講生が日常生活においてMastery for Serviceというモットーを体現できることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of the course is for students to be able to realize the school motto of Kwansei Gakuin, “Mastery for Service,” in daily life.		
到達目標/Learning Goals	受講生が、本学独自のリーダーシップ醸成のためのいくつかの要件を、それぞれが置かれたポジションにふさわしく日々の行動の中で実践できることを到達目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	The learning goal of this course is for students to create their own wisdom to realize the “Mastery for Service” leadership style.		
授業の概要・背景 Course Outline	授業の目的と到達目標を達成するためのもっとも効果的な展開は、各人がそれぞれの場において関西学院ならではのリーダーシップを十二分に発揮しうる能力・実力を身に着けることである。その展開のなかでひとつの有効なモデルとして考えられるのが、グリーンリーフが提唱した「サーバント・リーダーシップ」論であり、そのことについての取り組みはすでに広く行われてきている。 グリーンリーフは、＜利他心、気づき、癒し、傾聴、共感、説得、概念化、先見性、スチュワードシップ、成長へのコミット、コミュニティ作り＞の11項目を要件としているが、それらを再考して、講義を組み立てる。この授業では、それを関西学院の文脈において再定義し、より本学らしいリーダー/サーバントの定義づけ、キリスト教主義的理解(スピリチュアル・リーダーシップ論)などをより明確に論じ、「Mastery for Serviceとサーバント・リーダーシップ、スピリチュアル・リーダーシップの関連性」「本学独自のリーダーシップ論の位置付け」「その特徴」「チーム作りにおける有効性」などを明確化し、さらにゲストスピーカーのリーダーシップ体験談や受講者の体験談をとおしたグループ・ディスカッション、ケースワーク等を実施し、受講生のリーダーシップ「力」の開発と養成を目指したい。 また授業目標への達成度を測定するために、本授業では、受講開始時と授業の最終回とで、リーダーシップの要件の充足度についてアンケートを実施し、授業の理解度やリーダーシップに対するマインドセットの成熟度の変化を測定する。もちろん、リーダーシップは経験からの気づきによって成長する場合が多いと考えられるが、重要な点は「それぞれが置かれたポジションにふさわしく日々の行動の中で実践できること」である。		
授業方法 Course Format	授業方法は、受講生を50人に制限し、通常のレクチャーとともにケース・メソッドやグループ・ディスカッションを多く取り入れ、アクティブラーニングを実施していく。また本学出身者によるゲストスピーカーの講演とQ&A、受講生の体験発表とQ&Aも実施し、多岐にわたる内容を提供する。できるだけリーダー像を具体的にイメージでき、受講生自身のポジションに引き付けて考えられるように授業を展開する。		
関連科目/Related Courses	「関学」学、経営学、組織論、人間関係論、コミュニケーション論などの基礎的な知識があればより深い理解ができると思う。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	リーダーシップとは何か？ なぜ、リーダーシップを学習するのか？ :担当、佐藤 善信	Zoomを活用してリモート授業を行います。詳細は以下です。 URLをコピーしてZoom授業に参加してください。 □んにちは。 あなたはZoomミーティングに招待されました。 開催時刻: 2020年4月21日 03:00 PM 大阪、札幌、東京 このミーティングに事前登録する: https://zoom.us/meeting/register/tJ0qf-GvrzwpGNb19PhjFLDI6ow-b_ZWQauf 登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。
第2回 Session 2	関西学院のリーダーシップ: 担当、田淵 結	佐藤善信さんがあなたを予約されたZoomミーティングに招待しています。 トピック: Mastery for Serviceのリーダーシップ 時間: 2020年4月28日 03:00 PM 大阪、札幌、東京 Zoomミーティングに参加する https://zoom.us/j/98582141292?pwd=OXhVdm9YNXFEBjQ9HekdXVEhoQT0 ミーティングID: 985 8214 1292 パスワード: 322294
第3回 Session 3	リーダーシップの理論的位置づけ: 担当、佐藤 善信	
第4回 Session 4	関西学院でのリーダーシップの形1: 担当、田淵 結 ゲストスピーカー: 中野 順哉氏(著述家)	
第5回 Session 5	関西学院でのリーダーシップの形2: 担当、佐藤善信 ゲストスピーカー: 安田 義信氏(経営コンサルタント)	
第6回 Session 6	サーバント・リーダーシップの基本: 担当、志甫 啓	
第7回 Session 7	日本型サーバントリーダーシップの可能性: 担当、佐藤 善信	
第8回 Session 8	リーダーシップの実際1: 担当、嶺重 淑 ゲストスピーカー: 小林 聖乃氏(関西学院職員)	
第9回 Session 9	リーダーシップの実際2: 担当、田淵 結 ゲストスピーカー: 村上 一平氏(前関西学院同窓会長)	
第10回 Session 10	キリスト教とリーダーシップ: 担当、嶺重 淑	
第11回 Session 11	リーダーシップとフォロワーシップ: 担当、佐藤 善信	
第12回 Session 12	リーダーの条件とリーダーの発展段階: 担当、佐藤 善信	
第13回 Session 13	受講生の体験のケース・ディスカッションと分析: 担当、志甫 啓	
第14回 Session 14	Mastery for Service のリーダーシップ(まとめ): 担当、佐藤善信	

授業外学習 Study Required outside Class	レクチャー、アクティブラーニング、ケースメソッド、ゲストスピーカーなど多様なスタイルの授業をするので、事業時間外でのケースの読了・分析やゲストスピーカーの講演に対する感想文の作成などの時間が必要
---------------------------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	60%	学年末レポート
	その他／Others(99)	40%	授業への参加度とグループディスカッションへの貢献度
	備考 Note 1.学期末レポート(レポート課題は後日に発表します:成績評価の60%)、2.授業の理解度(毎回の小レポート:20%)、グループディスカッションへの貢献度(成績評価の20%)		
更新日時/Date of Update		2020年04月24日 23時08分28秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42950101	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】AI活用入門 1／AI for Beginners		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西野 均(NISHINO HITOSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	AI活用人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge required for AI Solution Architects.		
到達目標/Learning Goals	1. 産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識, AI技術に関する基礎知識について説明できるようになる。 2. データ解析に関する基礎知識を理解し、簡単なデータ解析ができるようになる。 3. AIを利用した簡単なアプリケーションを開発できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to explain social background knowledge such as changes of industrial structure and required skills in the future and basic knowledge of AI technology, 2. an understanding of basic knowledge of data analysis and the ability to conduct basic data analysis, 3. the ability to develop basic applications using AI.		
授業の概要・背景 Course Outline	産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学ぶ。		
授業方法 Course Format	基本は講義形式になるが、個々の単元の演習ではグループワークを行い、双方向授業を実施する。 本授業科目では、履修学生が各自のノートPCを持参し、通常教室で授業を行う。また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。第1回授業時に授業運営に関する詳細説明を行うが、第1回授業ではPC持参の必要はない。なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。		
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 IoT 機械学習 統計解析 データサイエンス		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス(授業の目的、スケジュール等の説明) 授業の目的と目標、受講方法を理解する。AIの活用事例などに触れ、意欲的に学習できるようになる。	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第2回 Session 2	AI時代の概論:第4次産業革命とこれからのリテラシ 第4次産業革命に伴う、これからのAI活用人材に必要な基礎スキルについて理解を深める、企業の求めるAI活用人材とはどのような人材かを理解する。	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第3回 Session 3	AI活用入門1:人工知能とは 人工知能の歴史を学び、なぜこの時代にAIが必要であるのかを理解する	オンライン教材をLUNAに登録済、LUNAから教材をダウンロードし学習を進めてください
第4回 Session 4	AI活用入門2:人工知能の種類 リーディングカンパニー6社 (IBM, Microsoft, Google, Amazon, Apple, Facebook)が提供しているAI技術についての概要を学ぶ。	
第5回 Session 5	AI活用入門3:APIの紹介 各社が提供している基本的なAPI(Application Programming Interface:ソフトウェアの機能を共有する仕組み)を知り、APIを使って何ができるのかを理解する。	
第6回 Session 6	データ解析入門1:データ・サイエンスとは データサイエンスの存在意義を把握するとともに、AI活用人材として理解しておくべき標準的なデータマイニングプロセスについて学習する。	
第7回 Session 7	データ解析入門2:統計解析の基礎 数学・統計の基礎知識に触れる(分散、標準偏差、相関係数、回帰分析等)	
第8回 Session 8	データ解析入門3:分析ツールの理解1(R) 統計解析向けのプログラミング言語「R」、およびR用の統合開発環境である「RStudio」で何をできるかを把握する。	
第9回 Session 9	データ解析入門4:分析ツールの理解2(R) R/Rstudioで簡単な計算・統計分析を実行し、その動作を理解する。	
第10回 Session 10	AIアプリケーション開発入門1: AIアプリケーション開発の基礎AI活用人材としてAIアプリケーション開発スキルを身につける必要性を理解する。 ビジュアルプログラミング言語の種類とその操作方法に触れるとともに、アルゴリズムの基礎を学ぶ。	
第11回 Session 11	AIアプリケーション開発入門2: Node-REDによるAPIの操作 ビジュアルプログラミング言語「Node-RED」を用いて、API (Application Programming Interface)を呼び出すためのスクリプトについて理解する。	
第12回 Session 12	AIアプリケーション開発入門3:システム開発の理解1 システム開発のプロセスを理解するとともに、UML(Unified Modeling Language)を用いて、ソフトウェアの機能や構造を「図」で描けるようになる。	
第13回 Session 13	AIアプリケーション開発入門4:システム開発の理解2 チャットボット開発の流れと、各フェーズにおける成果物にどのようなものがあるかを理解する。	
第14回 Session 14	講義全体の振り返り 講義全体を振り返るとともに、AI活用の最新事例に触れて、AI活用人材になるために必要な知識・スキルについて考察する。	

授業外学習 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・講義資料を事前にダウンロードして予習しておくこと ・適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特に指定しない
参考文献・資料 Reference books	適宜指示する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	100%	
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 09時31分09秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	H－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42360600	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】寄附講座207【手話の世界】／Externally Funded Lectures207		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	松岡 克尚(MATSUOKA KATSUHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	社会や言語の多様性についての知識を得て、聞こえる者とは異なる行動様式や価値観などをもつ”ろう者”やマイノリティとしての”ろう者”について理解する。具体的には、教育、就労などろう者を取り巻く様々な社会環境をテーマとした講義および、ネイティブろう講師による日本手話の実技をとおして、ろう者や日本手話に対する興味・関心を高め、それらへの知識を獲得する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this introductory course is for students to acquire a knowledge of social and linguistic diversity surrounding them and to understand “Deaf people” as a minority group who have unique behaviors and values differed from those who are hearing people. Through lectures on various social environments surrounding Deaf people such as education and employment, and through a practical learning of Japanese Sign Language taught by Deaf native signers of Japanese Sign Language, students will obtain a knowledge and raise an interest in Deaf people and Japanese Sign Language.		
到達目標/Learning Goals	学生は、聴者とは異なるろう者の価値観や文化に触れることで、以下ができるようになる。 1) ろう者を取り巻く社会やろう者の言語である日本手話についての知識をもつ 2) 自分自身の価値観やかかっている社会、言語などを省みて、社会や言語の多様性を理解する		
到達目標(英文) Learning Goals	Trough understanding values and culture of Deaf people, differed from those who are hearing people, students will be able to: 1) obtain a knowledge of a social environment surrounding Deaf people and Japanese Sign Language (JSL), which is the common language among the Deaf community in Japan, and 2) realize social and linguistic diversity by examining their own beliefs, values, social environments, and languages.		
授業の概要・背景 Course Outline	本科目は、日本財団の寄附講座である。 日本において、手話は多くの誤解を受け“言語”とみなされてこなかった歴史があり、ろう者も言語を持たない者として、福祉の対象とはなっていたものの異言語・異文化者として捉えられることはなかった。現在でも、手話やろう者について多くの誤解がある。現代社会では、テレビなどで手話を目にしたり、学校で手話歌をするなど、手話やろう者に出会う機会は増えてきている。そうして、学生たちが表面的には認知している手話やろう者について、実態を知り、自身の持っていたイメージとの乖離を認識することは、異文化理解を進める上で 意義深いと言える。		
授業方法 Course Format	【新型コロナ対応:4月16日10時45分更新】 ※本授業は全回オンライン(オンデマンド方式)で実施する。「授業計画」に記載されている日程の16時までに資料一式をLUNAにアップするので、各自学修のこと。 本講義では、各回のテーマに合わせて、計6名の講師がオムニバス形式で担当する。また、併せてネイティブ手話話者による手話の実技も実施する。ろう当事者からの実体験をふまえた異文化理解やろう教育の講義も予定している。		
関連科目/Related Courses	手話言語に関心を持ち、より深く学びたい場合は、人間福祉学部の特設科目「手話言語学基礎」「手話言語学専門」(いずれともに日本財団の助成を受けて開講されている)の履修が奨励される。		
検索キーワード/Keywords	手話 日本手話 ろう者と聴覚障害者 言語学 異文化 教育		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	5月9日(土)オリエンテーション(松岡克尚)	【新型コロナ対応:4月16日10時45分更新】 授業形式:オンデマンド型 LUNAに資料および課題提示
第2回 Session 2	5月12日(火)【実技】手話にふれてみよう(1)(前川和美)	授業形式:オンデマンド型 復習課題:授業で触れた手話単語と会話表現 (提出課題なし)
第3回 Session 3	5月19日(火)ろう者とメディア(下谷奈津子)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第4回 Session 4	5月26日(火)日本手話と日本語対应手話(海野和子)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第5回 Session 5	5月30日(土)異文化理解(海野和子)※講義資料は5/26(火)にLUNA上にアップ	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第6回 Session 6	6月2日(火)ろう者とスポーツ(平英司)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第7回 Session 7	6月9日(火)ろう教育(海野和子)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第8回 Session 8	6月16日(火)【実技】手話にふれてみよう(2)(前川和美)	授業形式:オンデマンド型 復習課題:授業で触れた手話単語と会話表現 (提出課題なし)
第9回 Session 9	6月23日(火)ろう者と就労(平英司)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第10回 Session 10	6月27日(土)ろう者と災害(平英司)※講義資料は6/23(火)にLUNA上にアップ	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第11回 Session 11	6月30日(火)日本手話のしくみ(下谷奈津子)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第12回 Session 12	7月4日(土)社会言語学(下谷奈津子)※講義資料は6/30(火)にLUNA上にアップ	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第13回 Session 13	7月7日(火)ソーシャルインクルージョン(関根千佳)	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題提示
第14回 Session 14	7月14日(火)手話通訳・手話に関する職業(下谷奈津子)まとめ	授業形式:オンデマンド型 LUNAに講義資料および課題(授業に関する課題およびまとめ課題)提示

教科書 Required texts	特に指定しない
参考文献・資料 Reference books	【手話実技】『NHKみんなの手話 2020年4月～6月 / 10月～12月』NHK出版(2020年) その他の参考文献・資料は必要に応じて提示

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%	40点
	その他／Others(99)	60%	各授業回学修後の課題(実技回を除く) 12回×5点＝60点
	備考 Note 授業で課される課題(12回×5点)や、まとめのレポート課題(40点)等から総合的に評価を行う。		
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 11時28分26秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	B－103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42391200	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】連携講座013【ソーシャル・イノベーション】/Cooperative Lectures013		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	実 哲也(JITSU TETSUYA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
特記事項/Special Instructions	日本経済研究センター連携講座		
授業目的/Course Purpose	社会問題を解決するためのビジネスやNPOなどの活動を通じて、ソーシャル・イノベーションの理論と実践を理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the theory and practices of social innovation through activities of businesses and NPOs to solve social problems.		
到達目標/Learning Goals	1.ソーシャル・イノベーションの概念やその重要性を説明できるようになる。 2.初歩的なビジネス・プランやイベントなどを企画できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・explain the concept and importance of social innovation, ・make a basic business plan and organize an event.		
授業方法 Course Format	社会起業家やNPO関係者らによるオンライン授業。講師によってオンデマンド型と双方向型の2パターン。授業日までにURLを示します。オンデマンド型の場合、質問・コメントは原則メールで教員(実)宛てに送ること(アドレスはLUNAに)。講師の先生によっては質問・コメントがある人を対象にした双方向ビデオ会議を別途開催。ゲストの都合により、授業の順番が変更になる可能性がある。		
検索キーワード/Keywords	社会起業家、NPO、ソーシャル・ビジネス、世界経済フォーラム、グローバル・シェイパーズ、CSR、グローバル・ソーシャル・リスポンシビリティ(GSR)		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	(4. 7) イントロダクション	【新型コロナ対応:4月6日20時00分更新】参考書欄にある図書『ソーシャル・イノベーション』を読んでおくのが望ましい。
第2回 Session 2	(4. 14) イントロダクション	同上
第3回 Session 3	(4.21)ソーシャル・イノベーション総論(小池洋次) ※資料、課題はLUNAに提示済み(「お知らせ」と「新着情報」または「教材・課題・テスト」を参照)。まず「lunaお知らせ」から読んでください。	オンデマンド型(資料を読む)。質問・コメントはまずLUNAに記載した教員メールアドレスへ
第4回 Session 4	(4.28)社会起業・事例1:スペイン語のオンライン学校(有村拓郎) ★(変更)ZOOMIによる双方向型授業。26日までにURLをLUNAにあげる。	ZOOMIによる双方向型。26日までにLUNAで伝える
第5回 Session 5	同2:職住一体型のシェアハウス(日下部淑世)	
第6回 Session 6	同3:がん患者の美容支援(三田果菜)社会を変えるネットワーク1:グローバル・シェイパーズ	
第7回 Session 7	大阪を変える100人会などの取り組み(施治安)	
第8回 Session 8	ボーイスカウトの組織論(寺岡剛太)	
第9回 Session 9	アジア食堂:在日外国人の就労支援(黒田尚子)	
第10回 Session 10	ビジネス・プランの作成(武野昭)	
第11回 Session 11	グローバルシェイパーズの活動(後藤将)	
第12回 Session 12	グローバル・ソーシャル・リスポンシビリティ(GSR)1:ケース:マラリア対策(実哲也)ゲスト:福田加奈子	
第13回 Session 13	同2:支援組織(小池洋次)	
第14回 Session 14	NPO活動:その意義と課題(吉川雄介)	

授業外学習 Study Required outside Class	自分の体験やメディアの報道を通じ、地域や社会の問題を理解し、解決方法について考えることが望ましい。どんなところにも、ソーシャル・イノベーションの種がある。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特に指定しない。
参考書/Reference books	著者名:小池洋次編著 タイトル:ソーシャル・イノベーション 発行所:関西学院大学出版会 出版年:2015 ISBN:
	著者名:小池洋次 タイトル:グローバル 知の仕掛け人 発行所:関西学院大学出版会 出版年:2012 ISBN:
	著者名:渡邊奈々 タイトル:チェンジメーカー―社会起業家が世の中を変える 発行所:日経BP社 出版年:2008 ISBN:
	著者名:斎藤 稔 タイトル:社会起業家―社会責任ビジネスの新しい潮流 発行所:岩波書店 出版年:2004 ISBN:
	著者名:町田洋次 タイトル:社会起業家―「よい社会」をつくる人たち 発行所:PHP 出版年:2000 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	参考書欄にある『ソーシャル・イノベーション』は2014年度の授業をベースにまとめたもので、事前に読んでおくことが望ましい。

学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業内で実施する		
成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	100%	
	備考 Note レポートではできるだけ、社会問題解決のためのビジネス・プランの作成を求める。		
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_187283_1&cmp_tab_id=_216150_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 18時03分55秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	Ⅱ－101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	42453101	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スタディスキルセミナー（レポート執筆の基礎） 1／Basic Skill for Academic Writing		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	時任 隼平(TOKITO JUMPEI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業では学部におけるレポート執筆に必要な基礎的知識・技術の修得を目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The objective of this course is for students to acquire basic knowledge and skills for writing academic reports.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を学期終了時の到達目標とする。 ○レポート執筆に必要な表現を理解することができる。 ○アカデミックな文章を執筆する際のルールを理解することができる。 ○アカデミックな文章の構造を理解することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will achieve the following three goals: 1. be able to understand the basic expressions needed to write academic reports, 2. be able to understand the basic rules for writing academic reports, 3. be able to understand the structure of an academic report.		
授業の概要・背景 Course Outline	大学の授業では、レポートの執筆が何度も求められる。しかしここで求められているレポートはこれまでの人生において書いてきた作文や日記、ブログとは異なり、学術的な形式・ルールに沿って執筆される必要がある。そこで、本授業ではレポートを執筆するための基礎的な力の習得を目的に設定し学習活動を行う。授業中は講義形式の時間を極力少なくし、「文章を書く・添削・修正」の実習形式を基本とする。大学でレポート課題に取り組むことに対して不安を抱えている学生や、卒業論文に取り組んでいるものの書き方がよくわからない学生など、レポートや論文の基本的な執筆方法について学びたいと考えている学生の受講を推奨する。		
授業方法 Course Format	2020年度は、コロナウイルスの影響で4月21日よりオンライン授業を始めます。 オンライン授業には【同時双方向型】と【オンデマンド型】の2種類がありますので、その日の授業がどちらで実施されるのかを確認してください。 同時双方向型: 定められた時間内(例えば、9:00～10:30の間)に課題に取り組むこと オンデマンド型: 定められた期限までに示された課題に取り組むこと 詳細はLUNAの科目ページで解説しますので、授業までに必ず確認するようにしてください。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	2020/4/21【同時双方向型】 ・オリエンテーション: この授業の進め方、評価の仕方【動画解説】 ・オンライン授業を受講する際の注意点【動画解説】 ・200字ライティング【ワーク実習】 ・自分のライティング能力経験値を分析する(授業終了後にアンケート配信)	・次回授業までに動画解説を再度視聴し、本授業についての理解を深めること。 ・各学部オリエンテーション時に配布したLUNAのハンドブックを熟読しておくこと。ハンドブックを配布されていない場合は、下記URL(関西学院大学高等教育推進センターHP)からダウンロードすること。 https://www.kwansei.ac.jp/highedu/highedu_004200.html
第2回 Session 2	2020/4/28【同時双方向型】 ・前回授業の振り返り【動画解説】 ・相互フィードバック【ワーク実習】 ・アカデミックな文章とそのルール【動画解説】 ・200字ライティング【ワーク実習】 ・レポート(1)概要発表	・200字ライティングに取り組むこと。
第3回 Session 3	2020/5/12【同時双方向型】 ・アカデミックな文章に必要な表現【動画解説】 ・200字ライティング完成予定【ワーク実習】 ・レポート(1)概要シートの執筆【ワーク実習】	・次週までに200字ライティングで合格をもらうこと。 ・レポート(1)概要シートを次週までに完成させてくること。
第4回 Session 4	2020/5/19【同時双方向型】 ・アカデミックな文章の構造の理解: 主張の内容を整理する【動画解説】 ・アカデミックな文章に必要な情報収集: 根拠となる情報を集めて整理する【動画解説】 ・使うことができる情報、できない情報を判断する【ワーク実習】 ・500字ライティング【ワーク実習】	・レポート(1)中間報告【ワーク実習】を次週までに完成させてくること。
第5回 Session 5	2020/5/26【同時双方向型】 ・ロジックの飛躍を指摘する【ワーク実習】 ・500字ライティング【ワーク実習】	・次週授業終了時までにはレポート(1)を提出できるよう、作業を進めること。
第6回 Session 6	2020/6/2【同時双方向型】 ・レポート(1)完成・提出【ワーク実習】 ・レポート(2)概要発表	・「自分の苦手を分析する」を完成させる【ワーク実習】 ・レポート(2)の草案【ワーク実習】を次週までに完成させてくること。
第7回 Session 7	2020/6/9【同時双方向型】 ・アカデミックな文章の構造の理解2【動画解説】 ・500字ライティング完成予定【ワーク実習】	・次週までに500字ライティングで合格をもらうこと。
第8回 Session 8	2020/6/16【同時双方向型】 ・800字ライティング: 【ワーク実習】	・800字ライティングに取り組むこと。 ・レポート(2)中間報告【ワーク実習】草案を作成すること。
第9回 Session 9	2020/6/18 * オンライン授業はありません ・レポート(1)修正提出×切 * LUNA上で提出	
第10回 Session 10	2020/6/23【同時双方向型】 ・800字ライティング【ワーク実習】 ・レポート(2)ワークシートの解説【動画解説】 ・レポート(2)執筆計画書の作成【ワーク実習】	・レポート(2)ワークシートに取り組むこと。
第11回 Session 11	2020/6/30【同時双方向型】 ・800字ライティング: 【ワーク実習】	・次週までにレポート(2)ワークシートを概ね完成させること。
第12回 Session 12	2020/7/7【同時双方向型】 ・800字ライティング完成予定【ワーク実習】 ・レポート(2)ピアレビュー【ワーク実習】	・レポート(2)に取り組むこと。
第13回 Session 13	2020/7/14【同時双方向型】 レポート(2)執筆	・レポート(2)に取り組むこと。

第14回 Session 14	2020/7/21 * オンライン授業はありません レポート(2)提出 ✕ 切 * LUNA上で提出		
成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	60%	
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	備考 Note		
	対面授業時に設定していた項目でそのまま評価します。オンライン形式になった部分と対面の違いはありません。以下、詳細になります。 ・200字ライティング合格＝7点 ・500字ライティング合格＝9点 ・800字ライティング合格＝13点 ・レポート(1)＝15点 ・レポート(2)＝20点 ・レポート(2)ワークシート(トゥールミンモデル)＝10点 ・授業中に行うワーク2点×10回＝20点 ・学期末の振り返り＝6点		
備考 Note	授業に参加するにあたり、添付の「オンライン授業受講に向けて」を事前に確認してください。		
添付ファイル1/File Attachment 1	オンライン授業受講に向けて.pdf	説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 15時13分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	MR－第5PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44101004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】コンピュータ基礎 4／Computer Literacy		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	古隅 弘樹(FURUZUMI HIROKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic skills to utilize information that is required for university students.		
到達目標/Learning Goals	1. 大学の授業などで課される各種レポートの作成やゼミなどで必要とされるプレゼンテーションに関する基礎知識を身に付けること。 2. 本学の学習管理システムであるLUNAの利用方法や電子メールによる課題提出ができるようになる。 3. 上記1と2により、大学生として必要とされるPCスキルの基礎を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will acquire basic knowledge regarding preparation of various reports they will have to submit as assignments for university classes, etc., as well as presentations they will have to make in seminars, etc. 2. Students will be able to use LUNA, the learning management system of our university, and submit assignments via email. 3. Through 1. and 2. above, students will acquire basic PC skills that are required of university students.		
授業の概要・背景 Course Outline	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。 特にコンピュータの初心者のために、コンピュータやネットワークの基礎知識、情報倫理、電子メールの送受信、インターネットによる情報検索、表計算、ワープロ、多言語文字入力、プレゼンテーションソフトの操作方法などを実際にコンピュータを操作しながら学習する。		
授業方法 Course Format	LUNAおよび動画を用いて教材をオンラインで配信し、各自が所有するPCを操作する実習形式で授業をおこなう。 (授業の進め方などの詳細はLUNAの掲示板で告知します)		
関連科目/Related Courses	・全学共通科目であるが、学部によっては、この科目を履修できないので注意すること。 ・コンピュータ実践、コンピュータ言語などを履修予定の場合、この科目を履修しておくことが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	Word Excel PowerPoint ワープロ 表計算 プレゼンテーション 電子メール インターネット 情報リテラシー 情報倫理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講義概要、基本操作、日本語入力、タッチタイピング、情報倫理	
第2回 Session 2	電子メール、インターネット、情報倫理	
第3回 Session 3	Word1(Word入門)	
第4回 Session 4	Word2(Word実践)	
第5回 Session 5	Word3(Word活用 その1)	
第6回 Session 6	Word4(Word活用 その2)	
第7回 Session 7	Excel1(Excel入門)	
第8回 Session 8	Excel2(Excel実践)	
第9回 Session 9	Excel3(Excel活用 その1)	
第10回 Session 10	Excel4(Excel活用 その2)	
第11回 Session 11	ExcelとWordの連携(Word活用 その3)	
第12回 Session 12	PowerPoint1(PowerPoint入門)	
第13回 Session 13	PowerPoint2(PowerPoint実践), 多言語入力	
第14回 Session 14	確認テスト(授業中試験)	
授業外学習 Study Required outside Class	実習形式の授業であり、多くの内容について短期間で学習することになるため、毎回の受講と授業時間以外の自主的な学習が必要である。	

教科書/Required texts	著者名: 杉本くみ子、大澤栄子 タイトル: 30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019 発行所: 実教出版 出版年: 2019 I SBN: 978-4-407-34833-0
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	毎回の授業における課題など
	その他／Others(99)	20%	INFOSS情報倫理など
備考 Note	・この科目を履修するには「予備登録」を行う必要がありますので、履修希望者は指定された期間内に「予備登録」をすること。 ・初回の授業からパソコンを使用した実習を行う。関西学院大学のパソコンを利用するのに必要な「システム利用ID」と「パスワード」を確認しておくこと。なお、1年は初回の授業で、「システム利用ID」と「パスワード」の記載された用紙を持参すること。		
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 03時30分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	4別－101A

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44306501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】プログラミング言語基礎 (Java) 1／Basic Programming Language (Java)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	岩田 一男(IWATA KAZUO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	プログラミング言語を用いて、プログラムを正確に書けるようになることで、プログラミングの考え方を学ぶことを目的とする。		
授業目的 (英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn programming concepts by learning to write programs in programming languages in the correct manner.		
到達目標/Learning Goals	1. プログラミングの基礎として、構造化プログラミングの基本構造である、順次処理、選択処理、繰り返し処理について理解する。 2. プログラムにおける配列やクラスなどを理解し、分かりやすいプログラムを書けるようになる。 3. アニメーション(Webサイト上も含む)などのオブジェクトが動くプログラミングで作成する手法の基礎を身に付ける。		
到達目標 (英文) Learning Goals	1. As basics of programming, students will understand sequential processing, selective processing, and iteration, which are basic elements of structured programming. 2. Students will understand arrays, classes, etc., in programs and be able to write programs that are easy to understand. 3. Students will learn the basics of methods for writing programs to move objects such as animations (including those on a website).		
授業の概要・背景 Course Outline	現代の社会において基盤技術となっているプログラミングを体験しておくことは、これからの情報通信技術の変化に対応するためにも必要である。 幅広く使われている「Java」と呼ばれるコンピュータ言語を用いて、プログラミング(コンピュータに与える手順的な自動処理)の基礎を習得する。簡単なプログラムを作成しながら、プログラミング入門レベルの文法やプログラムの基礎知識を学び、「論理的な思考方法」を身に着ける。 1. プログラミングの基礎として大切な処理方法である、順序処理、選択処理、繰り返し処理について学び、これらを有効に活用するための配列について理解する。 2. 自ら作成したプログラムの意味を理解し、プログラム作成のための素養を身に着ける。 3. 実際にプログラミングを体験することで、「論理的な思考の重要性に」気づく(曖昧な表現は思わぬ結果を招くことになりかねない)。 「初めてゼロからプログラミングを学ぶ学生を対象」としているので、基本的な内容に絞りに絞っている。したがって、何らかのプログラミングを学んだことのある(専門的に学びたい)学生には適さない。		
授業方法 Course Format	主としてパソコンを使用した演習形式で、ほぼ毎回の授業で課題提出がある。 【新型コロナ対応 4/11(土)17時更新】 第1回目(4/21)2回目(4/28)はオンライン授業とする。 オンライン授業「同時双方向型(火900-1030)」で行うので、ネット参加すること。 不測の事態に備えて「オンデマンド型」でも可能なようにLUNAに教材等を準備するので活用してほしい。 第3回目(5/12)以降は(そもそも演習を必要とする授業なので)可能になれば対面授業を行うが、情勢により不確定。学習形態は、オンライン授業「オンデマンド型」が中心になる可能性あり。 ※オンライン授業「オンデマンド型」では「LUNAに教材をアップするので、教科書を参照しながら学習を進め、各回の課題を提出」する。「2回ある確認テストもLUNAを用いる」が、オンライン授業「同時双方向型」での参加のみとなり、再テストなどはない。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業内容の紹介・プログラミングとは)、Javaに触れる	【新型コロナ対応 4/20(月)14時更新】 初回は、4/21(火)900よりスタートします。 シラバスを確認し、オンライン授業(双方向型)に参加してください。 いつもLUNAを使いますから、ログインしこの科目に入っておいてください。 ★オンライン授業の起動 各回授業開始までに、LUNAから関学メールで、オンライン講義のトリガーとなる「URL」(インターネット上のアドレス)を通知します。 前日をめどに送りますが、もし送られてこないときは、最新で送ったものを再利用してください。 このURLをブラウザのアドレス欄へコピーして読み込み、オンライン(双方向)授業に参加してください。 トラブルなどでオンライン(双方向)授業に参加できなかったときは、可及的速やかにLUNAに掲示してある「該当回の授業教材を使って学習」を進めてください。 【新型コロナ対応 4/7(火)8時更新】 本格授業開始(4/20)までに実施してほしいこと。 1. 教科書の準備と熟読(教科書P3～13) 2. PC環境の整備(教科書P255～259) ※詳しくは本授業のLUNA教材に掲載(下欄に添付ファイルあり)。 予習:なし 復習:教科書P3-13の確認
第2回 Session 2	プログラミング用ツール(Eclipse)、Java言語の基本1(出力、変数)	予習:教科書P14-41に目を通す 復習:当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第3回 Session 3	Java言語の基本2(算術演算子と式、型変換と文字列の扱い)	予習:教科書P42-55に目を通す 復習:当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第4回	条件分岐と繰り返し1(条件分岐、論理演算子)	予習:教科書P59-74に目を通す

Session 4		復習: 当日学習した範囲を教科書で確認
第5回 Session 5	条件分岐と繰り返し2(処理の繰り返し、配列)	予習: 教科書P75-98に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第6回 Session 6	メソッド(メソッドとは、メソッドの引数、メソッドの戻り値、メソッドのオーバーロード)	予習: 教科書P103-125に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第7回 Session 7	中間まとめ、確認テスト	※授業実施日は第7回と第8回が合わさる 予習: 学習した全範囲を教科書やプリント(電子データ)で再確認 復習: なし
第8回 Session 8	クラスの基本(オブジェクト指向、クラスとインスタンス、参照)	予習: 教科書P131-153に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第9回 Session 9	クラスの一步進んだ使い方(コンストラクタ、インスタンスメソッド、クラス変数とクラスメソッド)	予習: 教科書P163-181に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第10回 Session 10	継承(継承とは、フィールドとメソッドの継承、継承関係とコンストラクタの動き、ポリモーフィズム)	予習: 教科書P191-216に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第11回 Session 11	抽象クラスとインターフェイス(修飾子とアクセス制御、抽象クラス、インターフェイス)	※授業実施日は第11回と第12回が合わさる 予習: 教科書P229-250に目を通す 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第12回 Session 12	バーチャルペットゲーム1(実例の作成)	予習: なし 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第13回 Session 13	バーチャルペットゲーム2(実例の改造)	予習: なし 復習: 当日学習した範囲を教科書で確認、練習問題
第14回 Session 14	まとめ、確認テスト	予習: 学習した全範囲を教科書やプリント(電子データ)で再確認 復習: なし

教科書/Required texts	著者名: 三谷純 タイトル: Java第2版入門編 ゼロからはじめるプログラミング 発行所: 翔泳社 出版年: 2018 ISBN: 978-4-7981-5184-7
--------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	確認テスト(全2回)	
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	課題提出(複数回)	
	その他／Others(99)	20%	授業における積極姿勢や貢献度合	
備考 Note	情報科学科目のコンピュータ基礎、あるいはコンピュータ実践などを事前に履修しておくことが望ましい。			
添付ファイル1/File Attachment 1	休講対応_第0回_事前準備 .pdf		説明1/Explanation 1	【新型コロナ対応】事前準備
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時19分12秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	MR－第7PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44101012	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】コンピュータ基礎 12／Computer Literacy		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	近藤 晶子(KONDO AKIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic skills to utilize information that is required for university students.		
到達目標/Learning Goals	1. 大学の授業などで課される各種レポートの作成やゼミなどで必要とされるプレゼンテーションに関する基礎知識を身に付けること。 2. 本学の学習管理システムであるLUNAの利用方法や電子メールによる課題提出ができるようになる。 3. 上記1と2により、大学生として必要とされるPCスキルの基礎を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will acquire basic knowledge regarding preparation of various reports they will have to submit as assignments for university classes, etc., as well as presentations they will have to make in seminars, etc. 2. Students will be able to use LUNA, the learning management system of our university, and submit assignments via email. 3. Through 1. and 2. above, students will acquire basic PC skills that are required of university students.		
授業の概要・背景 Course Outline	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。 特にコンピュータの初心者のために、コンピュータやネットワークの基礎知識、情報倫理、電子メールの送受信、インターネットによる情報検索、表計算、ワープロ、多言語文字入力、プレゼンテーションソフトの操作方法などを実際にコンピュータを操作しながら学習する。		
授業方法 Course Format	1. 学内システム環境、情報倫理、タイピング、コンピュータ基礎知識(2回) 2. Word; 基本操作・ビジネス文章基礎知識(4回) 3. Excel; 基本操作・Wordとの連携(5回) 4. PowerPoint; 基本操作・基本技能(2回) 5. まとめ(1回)		
検索キーワード/Keywords	Word Excel PowerPoint ワープロ 表計算 プレゼンテーション 電子メール インターネット 情報リテラシー 情報倫理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学内システム環境(LUNA)、情報倫理、タイピング、コンピュータ基礎知識(LUNAによるオンライン授業)	オンライン授業
第2回 Session 2	学内システム環境(Mail)、情報倫理、タイピング、コンピュータ基礎知識(LUNAによる課題提出)	オンライン授業
第3回 Session 3	Word; 基本操作 文書編集 (LUNAによる課題提出)	オンライン授業
第4回 Session 4	Word; 基本操作・表作成 (LUNAによる課題提出)	オンライン授業
第5回 Session 5	Word; 基本操作・段組み・網掛け・箇条書き・ビジネス文書2種作成	
第6回 Session 6	Word; アウトライン・ビジネス文章チラシ作成・画像挿入・ワードアート・図・数式挿入・ヘッダー・フッター	
第7回 Session 7	Excel; 基本操作	
第8回 Session 8	Excel; 基本操作・関数	
第9回 Session 9	Excel; 基本操作・グラフ	
第10回 Session 10	Excel; 基本操作・Wordとの連携	
第11回 Session 11	PowerPoint; 基本操作・基本技能	
第12回 Session 12	PowerPoint; 基本操作・基本技能	
第13回 Session 13	Excel; 基本操作・Wordとの連携	
第14回 Session 14	まとめ授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	実習形式の授業であり、多くの内容について短期間で学習することになるため、毎回の出席と授業時間以外の自主的な学習が必要である。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名: 杉本くみ子・大澤栄子 タイトル: 30時間アカデミックWindows10対応 Office2019 発行所: 実教出版 出版年: 2019 IS BN: 978-4-407-34833-0
教科書 Required texts	30時間アカデミックWindows10対応 Office2019(実教出版)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	授業中試験ができない場合は課題レポートを実施する	
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	毎回の授業における課題など	
	その他／Others(99)	30%	INFOSS情報倫理など	
	備考 Note 授業内最終日にwordとExcelを併用して行う課題を出題します。			
備考 Note	学内のオンライン課題提示システム =LUNAを使用して課題を出し、提出された課題に対して評価を行います。			
添付ファイル1/File Attachment 1	コンピュータ基礎12第1回オンライン課題.pdf		説明1/Explanation 1	第一回授業内容を提示します
添付ファイル2/File Attachment 2	学内メールソフトOUTLOOKを使用してメールの送受信の方法を学ぶ.pdf		説明2/Explanation 2	第2回授業内容を提示します
更新日時/Date of Update	2020年04月07日 13時47分29秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別ー101A

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44201008	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】コンピュータ実践(表計算) 8／Introduction to Spreadsheets		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	内田 啓太郎(UCHIDA KEITARO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	表計算ソフトの代表であるExcelを用いて、さまざまなデータ処理方法の応用を身につけることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to apply various data processing methods using Excel, the most commonly used spreadsheet software.		
到達目標/Learning Goals	1. 表計算ソフトを使用したデータの集計や加工が問題に合わせて対応できるようになる。 2. 実社会で用いられるデータなどを利用し、表計算ソフトを用いた的確な表現力を身に付ける。 3. データサイエンティストにつながる分析基礎力を習得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to calculate and process data using spreadsheet software in a manner that is appropriate for a problem. 2. Students will acquire skills to appropriately express information using spreadsheet software by utilizing data including real-world data. 3. Students will acquire basic analytical skills needed to become data scientists.		
授業方法 Course Format	対面授業が実施できない期間は「オンライン授業」として実施します。オンライン授業の詳細については「授業外学習」欄を読んでください。 演習(実習)形式の授業を行います。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【新型コロナ対応:4月2日17時10分更新】 休講期間中の対応については、こちらのWebサイトに詳しい情報を掲載します。→ https://tinyurl.com/vrax94d また、質問は keitaro@u-labo.org までメールを送るか、Twitter (@ucdktr) までDMをください。 ・Excelを含めたOfficeスイート、およびWindowsOSの基本操作の復習 ・授業資料をオンラインで閲覧する方法について確認	
第2回 Session 2	・Excelを利用したデータ入力および基本的計算(四則演算、合計、平均 etc.)	
第3回 Session 3	・データの型や種類に応じたグラフの作成、および他のソフトウェアでの活用	
第4回 Session 4	・入力済みデータの操作(並び替え・フィルタ・条件検索 etc.)	
第5回 Session 5	・入力済みデータの操作(セルの絶対・相対参照、ワークシート間参照 etc.)	
第6回 Session 6	・複雑なデータの処理:その1(関数を利用した合計や平均の算出、数値の四捨五入や切り捨て(切り上げ)etc.)	
第7回 Session 7	・複雑なデータの処理:その2(関数を利用した条件処理 etc.)	
第8回 Session 8	・Excelを活用したデータベースの初歩:その1(VLOOK関数による効率的なデータ処理 etc.)	
第9回 Session 9	・Excelを活用したデータベースの初歩:その2(ピボットテーブルによる効率的なデータ処理 etc.)	
第10回 Session 10	・社会調査データの探索(Web検索の方法、公的機関が公開しているデータの活用)	
第11回 Session 11	・Excelを活用した社会調査データの分析(社会調査データの入力、基本的な統計処理の実施 etc.)	
第12回 Session 12	・社会調査データの分析をふまえたレポートの書き方:その1(分析済みデータからロジックを作成する方法 etc.)	
第13回 Session 13	・社会調査データの分析をふまえたレポートの書き方:その2(アカデミック・ライティングの基本 etc.)	
第14回 Session 14	・全体のまとめとふりかえり ・課題レポートの説明	

授業計画 Overview for each class	上記の計画はシラバス作成時点(2020年1月末)のもので、初回授業時にあらためて詳しく説明します。なお、授業の進行度や、受講者の理解の状況により、上記の計画が変更される場合があります。
授業外学習 Study Required outside Class	【オンライン授業への対応】 1) 同時双方向型(音声配信とテキストチャットの組み合わせ)の授業を実施します。 2) 初回授業は4月21日火曜の2限です。ただし、しばらくは試行期間のため、出席状況について配慮します。 3) 授業計画はなるべく変更せずに実施する予定ですが、変更はありえます。最新の情報については別のサイトに掲載します(URLは下記を参照)。 4) オンライン授業を受講するにあたり、必要な情報を掲載しました。あらかじめ熟読してください。 オンライン授業の情報が掲載されているサイトのURL → https://tinyurl.com/vrax94d 受講者の理解度を高めるため、各回の授業終了後に資料を再読し、復習する必要があります。また授業回によっては課題を出しますので、授業時間外に取り組み、提出する必要があります。

教科書 Required texts	特に指定しません。 授業時には担当教員が作成した教材を提示しながら授業を進めていきます。
参考文献・資料 Reference books	教科書の代わりとなるものを含め、資料をWeb上で公開します。閲覧方法などは初回の授業で詳しく説明します。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	50%	学期中に学んだ知識とスキルを活用したレポートを作成し、提出する必要があります。
	その他／Others(99)	50%	学期中に複数回の「課題」を出しますので、その全てに取り組み、提出する必要があります。
備考 Note	担当教員への連絡は、keitaro@u-labo.org 宛にメールを送信してください。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 15時35分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	MR－第5PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44306000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】プログラミング言語基礎 (Excel VBA)／Basic Programming Language (Excel VBA)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	古隅 弘樹(FURUZUMI HIROKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	プログラミング言語を用いて、プログラムを正確に書けるようになることで、プログラミングの考え方を学ぶことを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn programming concepts by learning to write programs in programming languages in the correct manner.		
到達目標/Learning Goals	1. プログラミングの基礎として、構造化プログラミングの基本構造である、順次処理、選択処理、繰り返し処理について理解する。 2. プログラムにおける配列やプロシージャなどを理解し、分かりやすいプログラムを書けるようになる。 3. オブジェクトを操作するプログラミングで作成する手法の基礎を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. As basics of programming, students will understand sequential processing, selective processing, and iteration, which are basic elements 2. Students will understand arrays, procedure, etc., in programs and be able to write programs that are easy to understand. 3. Students will learn the basics of methods for writing programs to handle objects.		
授業方法 Course Format	テキストの内容に沿って講義を行う。Microsoft Excelを用いて各自のPC端末で実習を行う。 LUNAおよび動画をを用いて教材をオンラインで配信する。 (授業の進め方などの詳細はLUNAの掲示板で告知します)		
関連科目/Related Courses	コンピュータ基礎 コンピュータ実践(表計算, データ分析) プログラミング言語基礎(C, Java, Python, Processing, JavaScript, ActionScript)		
検索キーワード/Keywords	Excel マクロ VBA プログラミング		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ガイダンス、マクロの基礎	
第2回 Session 2	オブジェクト、プロパティ、メソッド	
第3回 Session 3	変数、定数、配列、VBA関数	
第4回 Session 4	制御構文(条件分岐、繰り返し)	
第5回 Session 5	セルの参照	
第6回 Session 6	セルの書式	
第7回 Session 7	セルの編集	
第8回 Session 8	ワークシート、ブックの操作	
第9回 Session 9	イベント処理、ファイル操作	
第10回 Session 10	データ操作	
第11回 Session 11	データ集計・分析	
第12回 Session 12	ユーザーフォーム	
第13回 Session 13	さまざまな便利機能	
第14回 Session 14	確認テスト(授業中試験)	

授業外学習 Study Required outside Class	Microsoft Excelの基本操作に習熟していることを前提に、マクロ機能を習得するためのVBAプログラミングが実習の中心になる。毎回の授業で、理解を深めるための練習問題を課しており、練習問題への対応や授業にかかる予習・復習のための時間外学習が必要である。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:国本 温子 タイトル:Excel マクロ&VBA [実践ビジネス入門講座]【完全版】 発行所:ソフトバンククリエイティブ 出版年:2019 ISBN:978-4797399110
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業評価アンケートによる

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	講義の理解度、技能の到達度の評価
	平常リポート／Individual reports(04)	60%	受講態度、提出物による平常評価
備考 Note	・この科目を履修するには「予備登録」を行う必要がありますので、履修希望者は指定された期間内に「予備登録」をすること。 ・Excelの応用科目なので、Excelの基本操作に習熟していることを前提に講義を行う。 (※Excelの基礎が不十分だとテキストの内容を理解するのが難しいことに注意されたい)		
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 03時33分09秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	MR－第7PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44307002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】プログラミング言語基礎 (JavaScript) 2／Basic Programming Language (JavaScript)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西本 実苗(NISHIMOTO MINAE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	Webページ作成によく使われるプログラミング言語であるJavaScriptを用いて、プログラムを正確に書けるようになることで、プログラミングの考え方を学ぶことを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn programming concepts by learning to write programs in programming languages in the correct manner.		
到達目標/Learning Goals	1. プログラミングの基礎として、構造化プログラミングの基本構造である、順次処理、選択処理、繰り返し処理について理解する。 2. プログラムにおける配列やなどを理解し、分かりやすいプログラムを書けるようになる。 3. 閲覧する人の操作に応じてブラウザ上で画像などのオブジェクトが動くプログラミングで作成する手法の基礎を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. As basics of programming, students will understand sequential processing, selective processing, and iteration, which are basic elements of structured programming. 2. Students will understand arrays, classes, etc., in programs and be able to write programs that are easy to understand. 3. Students will learn the basics of methods for writing programs to move objects such as animations (including those on a website).		
授業方法 Course Format	パソコンを用いた実習形式の授業。 毎回新たに知識・技術を習得していく積み上げ型の内容のため、欠席・遅刻は授業内容の理解に支障をきたす可能性があり、授業への積極的な参加が求められる。 「コンピュータ基礎」を履修済み、または同等のコンピュータ・リテラシーを身につけていることが望ましい。 【新型コロナウイルス対応】 「オンライン授業」を行います(大学公式LUNA、MS-Teams等を利用予定) Windows10を前提とした内容で行いますが、MacOSでも可です。 シラバス第1回の「授業外学習」の資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	JavaScriptの概要	【新型コロナウイルス対応】このシラバスページ下部の「シラバス付加情報」にある「添付ファイル1」のpdf資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。
第2回 Session 2	簡易なスライドショーページを作る(HTMLとCSS)1	【新型コロナウイルス対応】LUNAに第1回、第2回の授業資料を掲載しましたので、各自学習してください。
第3回 Session 3	簡易なスライドショーページを作る(HTMLとCSS)2	4/21第3回のオンライン授業の内容と課題をLUNAにすでに掲載しています。各自学習してください。
第4回 Session 4	JavaScript入門(順次処理)	
第5回 Session 5	場合に応じて処理を変える(分岐処理)	
第6回 Session 6	言われた通りもくもくと繰り返す(繰り返し処理)1	
第7回 Session 7	言われた通りもくもくと繰り返す(繰り返し処理)2	
第8回 Session 8	配列とはどんなもの(配列の利用)	
第9回 Session 9	課題演習1: JavaScriptでスライドショー作成(分岐処理, 繰り返し処理などの復習を含む)1	
第10回 Session 10	課題演習1: JavaScriptでスライドショー作成(分岐処理, 繰り返し処理などの復習を含む)2	
第11回 Session 11	課題演習1: JavaScriptでスライドショー作成(分岐処理, 繰り返し処理などの復習を含む)3	
第12回 Session 12	課題演習2: 課題演習1の成果物を自分なりに改造・改良してオリジナルのスライドショーを作る1	
第13回 Session 13	課題演習2: 課題演習1の成果物を自分なりに改造・改良してオリジナルのスライドショーを作る2	
第14回 Session 14	課題演習2の成果物の相互評価とふりかえり	

授業外学習 Study Required outside Class	簡易なスライドショーページ作成や、オリジナルのスライドショー作成、JavaScriptのコード記述など、地道で細かい作業を主体的におこなう要素が多く、授業時間外での学習(予習・復習)やパソコン作業が必須である。
---------------------------------------	---

参考書/Reference books	著者名:立山 秀利 タイトル:入門者のJavaScript 発行所:講談社 出版年:2014 ISBN:978-4062578509
	著者名:相澤 裕介 タイトル:(新)JavaScriptワークブック—ステップ30 発行所:カットシステム 出版年:2011 ISBN:978-4877838171

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常レポート／Individual reports(04)	60%	簡易なスライドショーページ作成(20%)，オリジナルのスライドショー作成(40%)	
	その他／Others(99)	40%	JavaScript演習	
備考 Note	【新型コロナウイルス対応】【注意】オンライン授業で、パソコン実習の授業を行うため、スマートフォンではなく、必ずパソコン（Windows10が基本、MacOSも可）を所有していることが必要です。授業開始後には、Windowsの場合Chromeブラウザとサクラエディタのインストールを、MacOSの場合もChromeブラウザのインストールを行っていただく予定です。			
添付ファイル1/File Attachment 1	西本の担当科目におけるオンライン授業（プロ基礎JS）.pdf		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 16時29分34秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－101B

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44101005	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】コンピュータ基礎 5／Computer Literacy		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西本 実苗(NISHIMOTO MINAE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic skills to utilize information that is required for university students.		
到達目標/Learning Goals	1. 大学の授業などで課される各種レポートの作成やゼミなどで必要とされるプレゼンテーションに関する基礎知識を身に付けること。 2. 本学の学習管理システムであるLUNAの利用方法や電子メールによる課題提出ができるようになる。 3. 上記1と2により、大学生として必要とされるPCスキルの基礎を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will acquire basic knowledge regarding preparation of various reports they will have to submit as assignments for university classes, etc., as well as presentations they will have to make in seminars, etc. 2. Students will be able to use LUNA, the learning management system of our university, and submit assignments via email. 3. Through 1. and 2. above, students will acquire basic PC skills that are required of university students.		
授業方法 Course Format	パソコン教室にて、各自1台のパソコンを操作する実習形式により授業を行う。 【新型コロナウイルス対応】上記変更します 「オンライン授業」を行います(大学公式LUNA, MS-Teams等を利用予定) Windows10＋Word2019＆Excel2019＆PowerPoint2019を前提とした内容で行います。 シラバス第1回の「授業外学習」の資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。		
関連科目/Related Courses	・全学共通科目であるが、学部によっては、この科目を履修できないので注意すること。 ・コンピュータ実践、プログラミング言語などを履修予定の場合、この科目を履修しておくことが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	Word Excel PowerPoint ワープロ 表計算 プレゼンテーション 電子メール インターネット 情報リテラシー 情報倫理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講義概要、基本操作、日本語入力、タッチタイピング、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】このシラバスページ下部の「シラバス付加情報」にある「添付ファイル1」のpdf資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。 (4/23追記) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/7第1回の内容をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第2回 Session 2	電子メール、インターネット、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】 (4/23改訂) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/14第2回の内容と課題をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第3回 Session 3	Word1(Word入門)	4/21第3回のオンライン授業の内容と課題をLUNAにすでに掲載しています。各自学習してください。
第4回 Session 4	Word2(Word実践)	
第5回 Session 5	Word3(Word活用 その1)	
第6回 Session 6	Word4(Word活用 その2)	
第7回 Session 7	Excel1(Excel入門)	
第8回 Session 8	Excel2(Excel実践)	
第9回 Session 9	Excel3(Excel活用 その1)	
第10回 Session 10	Excel4(Excel活用 その2)	
第11回 Session 11	ExcelとWordの連携(Word活用 その3)	
第12回 Session 12	PowerPoint1(PowerPoint入門)	
第13回 Session 13	PowerPoint2(PowerPoint実践)	
第14回 Session 14	授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	実習形式の授業であり、多くの内容について短期間で学習することになるため、毎回の出席と授業時間以外の自主的な学習が必要である。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:西本実苗 タイトル:Office三種の神器活用基礎 発行所:デザインエッグ株式会社 出版年:2016 ISBN:978-4865435153
参考書/Reference books	著者名:奥村 晴彦 (著) タイトル:【改訂第2版】基礎からわかる情報リテラシー 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774162133
	著者名:高橋 佑磨(著), 片山 なつ(著) タイトル:伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774166131
	著者名:久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章(監修) タイトル:キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2017 発行所:日経BP社 出版年:2017 ISBN:978-4822292218
	著者名:情報教育学研究会情報倫理教育研究グループ(著) タイトル:インターネット社会を生きるための情報倫理 発行所:実教出版 出版年:2013 ISBN:978-4407330311
	著者名:実教出版編集部 タイトル:2016 事例でわかる情報モラル 発行所:実教出版 出版年:2016 ISBN:978-4407339222

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	30%		
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	毎回の授業における課題など	
	その他／Others(99)	40%	INFOSS情報倫理など	
備考 Note	・この科目を履修するには「予備登録」を行う必要があるなので、履修希望者は指定された期間内に「予備登録」をすること。 ・初回の授業からパソコンを使用した実習を行う。関西学院大学のパソコンを利用するのに必要な「システム利用ID」と「パスワード」を確認しておくこと。なお、1年は初回の授業で、「システム利用ID」と「パスワード」の記載された用紙を持参すること。 【新型コロナウイルス対応】【注意】オンライン授業で、パソコン実習の授業を行うため、スマートフォンではなく、必ずパソコン（Windows＋Word & Excel & PowerPointが基本、MacはMS Officeがインストールされていれば対応可能）を所有していることが必要です。			
添付ファイル1/File Attachement 1	西本の担当科目におけるオンライン授業（コン基礎）.pdf		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 16時26分22秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－101A

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44305003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】プログラミング言語基礎 (ActionScript) 3／Basic Programming Language (ActionScript)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	森 巧尚(MORI YOSHINAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	ActionScriptは、アニメーションやゲーム制作のために作られた言語です。Adobe Animate CCを使ってやさしいゲームアプリを作ることで、プログラミングの考え方を学ぶことを目的とします。 ただし、新型コロナウイルスの対策のため、学校のPC教室を使うことができないので内容を少し変更します。PC環境が整わないうちは、学生のパソコンでも動くPython言語を使って、ほぼ同じことを行う予定です。 学校のPC教室が従来通り使えるようになった場合は、みなさんはPC教室でAdobeCCを使えるようになります。また、現時点でみなさんの中でPC環境や優れていてAdobe製品を使える場合、質問していただければActionScriptの学習支援も行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	ActionScript is a language for creating animations and games. The purpose of this course is for students to learn programming concepts by creating games and applications. But, we are changing the content slightly to deal with the new coronavirus. I plan to do almost the same thing using the Python language, which can run on a student's computer.		
到達目標/Learning Goals	1. プログラミングの基礎として、構造化プログラミングの基本構造である、順次処理、選択処理、繰り返し処理について理解する。 2. プログラムにおける配列やクラスなどを理解し、分かりやすいプログラムを書けるようになる。 3. アニメーション(Webサイト上も含む)などのオブジェクトが動くプログラミングで作成する手法の基礎を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. As basics of programming, students will understand sequential processing, selective processing, and iteration, which are basic elements of structured programming. 2. Students will understand arrays, classes, etc., in programs and be able to write programs that are easy to understand. 3. Students will learn the basics of methods for writing programs to move objects such as animations (including those on a website).		
授業の概要・背景 Course Outline	スマホやゲーム機では、ボタンを押すと絵が動き出すアニメーションや、ゲームなどが数多く公開されています。本演習では、アニメーションやゲームを作るプログラミング言語を使って、コンテンツ制作体験を行い、コンピュータを使ったものづくりの考え方を身につけていきます。		
授業方法 Course Format	「オンライン授業」を、みなさんがよく使っているLINEの学校版のような、Microsoft Teamsというアプリでリアルタイムなビデオ会議方式で行う予定です。 ただし、学校のシステムの状況によってはLUNAを使って資料を見てもらう形式で行うかもしれません。 本授業は、もともと全14回でしたが、新型コロナウイルス対策のため、回数が12回になりました。ももとの7回目、13回目は課題になります。		
検索キーワード/Keywords	コンピュータ お絵かき マルチメディア アニメーション CG インターネット ゲーム タブレット 開発 制作		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	プログラムってなに？【足し算しよう。カメを歩かせよう】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第2回 Session 2	プログラムの基本1【順次、変数、データ型】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第3回 Session 3	プログラムの基本2【分岐、反復】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第4回 Session 4	プログラムの基本3【リスト】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第5回 Session 5	プログラムの基本4【関数、メインループ】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第6回 Session 6	カメを歩かせて絵を描こう	【予習課題】課題の案を考える。
第7回 Session 7	(課題の制作)	【課題】課題を完成させる。
第8回 Session 8	【課題1:提出&観賞会】	【復習課題】提出した課題を振り返る。
第9回 Session 9	自分で描いた絵を、動かそう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第10回 Session 10	自分で描いた絵を、キー操作で動かそう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第11回 Session 11	衝突したかを調べよう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第12回 Session 12	ゲームを考えて作ろう	【予習課題】課題の案を考える。
第13回 Session 13	(課題の制作)	【課題】課題を完成させる。
第14回 Session 14	【課題2:提出&観賞会】	【復習課題】提出した課題を振り返る。

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	30%	授業内容を理解した課題の制作
	その他／Others(99)	70%	授業で行う制作の成果物
備考 Note	【注意】オンライン授業で、プログラミングの授業を行うため、スマホではなく、必ずパソコン（Windows10か、Macのパソコン、またはノートパソコン）を所有している必要があります。授業中にPythonをインストールしてもらう予定です。 できれば、以下のURLの授業開始前のアンケートにお答えください。		
URLリンク1/URL 1	https://forms.gle/9gTP5osPpRfXUSJN9		
更新日時/Date of Update	2020年04月15日 11時51分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	MR－第5PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44101006	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】コンピュータ基礎 6／Computer Literacy		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西本 実苗(NISHIMOTO MINAE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic skills to utilize information that is required for university students.		
到達目標/Learning Goals	1. 大学の授業などで課される各種レポートの作成やゼミなどで必要とされるプレゼンテーションに関する基礎知識を身に付けること。 2. 本学の学習管理システムであるLUNAの利用方法や電子メールによる課題提出ができるようになる。 3. 上記1と2により、大学生として必要とされるPCスキルの基礎を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will acquire basic knowledge regarding preparation of various reports they will have to submit as assignments for university classes, etc., as well as presentations they will have to make in seminars, etc. 2. Students will be able to use LUNA, the learning management system of our university, and submit assignments via email. 3. Through 1. and 2. above, students will acquire basic PC skills that are required of university students.		
授業方法 Course Format	パソコン教室にて、各自1台のパソコンを操作する実習形式により授業を行う。 【新型コロナウイルス対応】上記変更します 「オンライン授業」を行います(大学公式LUNA, MS-Teams等を利用予定) Windows10＋Word2019＆Excel2019＆PowerPoint2019を前提とした内容で行います。 シラバス第1回の「授業外学習」の資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。		
関連科目/Related Courses	・全学共通科目であるが、学部によっては、この科目を履修できないので注意すること。 ・コンピュータ実践、プログラミング言語などを履修予定の場合、この科目を履修しておくことが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	Word Excel PowerPoint ワープロ 表計算 プレゼンテーション 電子メール インターネット 情報リテラシー 情報倫理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講義概要、基本操作、日本語入力、タッチタイピング、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】このシラバスページ下部の「シラバス付加情報」にある「添付ファイル1」のpdf資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。 (4/23追記) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/7第1回の内容をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第2回 Session 2	電子メール、インターネット、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】 (4/23改訂) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/14第2回の内容と課題をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第3回 Session 3	Word1(Word入門)	4/21第3回のオンライン授業の内容と課題をLUNAにすでに掲載しています。各自学習してください。
第4回 Session 4	Word2(Word実践)	
第5回 Session 5	Word3(Word活用 その1)	
第6回 Session 6	Word4(Word活用 その2)	
第7回 Session 7	Excel1(Excel入門)	
第8回 Session 8	Excel2(Excel実践)	
第9回 Session 9	Excel3(Excel活用 その1)	
第10回 Session 10	Excel4(Excel活用 その2)	
第11回 Session 11	ExcelとWordの連携(Word活用 その3)	
第12回 Session 12	PowerPoint1(PowerPoint入門)	
第13回 Session 13	PowerPoint2(PowerPoint実践)	
第14回 Session 14	授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	実習形式の授業であり、多くの内容について短期間で学習することになるため、毎回の出席と授業時間以外の自主的な学習が必要である。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:西本実苗 タイトル:Office三種の神器活用基礎 発行所:デザインエッグ株式会社 出版年:2016 ISBN:978-4865435153
参考書/Reference books	著者名:奥村 晴彦 (著) タイトル:【改訂第2版】基礎からわかる情報リテラシー 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774162133
	著者名:高橋 佑磨(著), 片山 なつ(著) タイトル:伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774166131
	著者名:久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章(監修) タイトル:キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2017 発行所:日経BP社 出版年:2017 ISBN:978-4822292218
	著者名:情報教育学研究会情報倫理教育研究グループ(著) タイトル:インターネット社会を生きるための情報倫理 発行所:実教出版 出版年:2013 ISBN:978-4407330311
	著者名:実教出版編集部 タイトル:2016 事例でわかる情報モラル 発行所:実教出版 出版年:2016 ISBN:978-4407339222

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	30%		
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	毎回の授業における課題など	
	その他／Others(99)	40%	INFOSS情報倫理など	
備考 Note	・この科目を履修するには「予備登録」を行う必要がありますので、履修希望者は指定された期間内に「予備登録」をすること。 ・初回の授業からパソコンを使用した実習を行う。関西学院大学のパソコンを利用するのに必要な「システム利用ID」と「パスワード」を確認しておくこと。なお、1年は初回の授業で、「システム利用ID」と「パスワード」の記載された用紙を持参すること。 【新型コロナウイルス対応】【注意】オンライン授業で、パソコン実習の授業を行うため、スマートフォンではなく、必ずパソコン（Windows＋Word & Excel & PowerPointが基本、MacはMS Officeがインストールされていれば対応可能）を所有していることが必要です。			
添付ファイル1/File Attachement 1	西本の担当科目におけるオンライン授業（コン基礎）.pdf		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 16時27分04秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	4別－101A

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44305004	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】プログラミング言語基礎 (ActionScript) 4／Basic Programming Language (ActionScript)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	森 巧尚(MORI YOSHINAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	ActionScriptは、アニメーションやゲーム制作のために作られた言語です。Adobe Animate CCを使ってやさしいゲームアプリを作ることで、プログラミングの考え方を学ぶことを目的とします。 ただし、新型コロナウイルスの対策のため、学校のPC教室を使うことができないので内容を少し変更します。PC環境が整わないうちは、学生のパソコンでも動くPython言語を使って、ほぼ同じことを行う予定です。 学校のPC教室が従来通り使えるようになった場合は、みなさんはPC教室でAdobeCCを使えるようになります。また、現時点でみなさんの中でPC環境や優れていてAdobe製品を使える場合、質問していただければActionScriptの学習支援も行います。		
授業目的(英文) Course Purpose	ActionScript is a language for creating animations and games. The purpose of this course is for students to learn programming concepts by creating games and applications. But, we are changing the content slightly to deal with the new coronavirus. I plan to do almost the same thing using the Python language, which can run on a student's computer.		
到達目標/Learning Goals	1. プログラミングの基礎として、構造化プログラミングの基本構造である、順次処理、選択処理、繰り返し処理について理解する。 2. プログラムにおける配列やクラスなどを理解し、分かりやすいプログラムを書けるようになる。 3. アニメーション(Webサイト上も含む)などのオブジェクトが動くプログラミングで作成する手法の基礎を身に付ける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. As basics of programming, students will understand sequential processing, selective processing, and iteration, which are basic elements of structured programming. 2. Students will understand arrays, classes, etc., in programs and be able to write programs that are easy to understand. 3. Students will learn the basics of methods for writing programs to move objects such as animations (including those on a website).		
授業の概要・背景 Course Outline	スマホやゲーム機では、ボタンを押すと絵が動き出すアニメーションや、ゲームなどが数多く公開されています。本演習では、アニメーションやゲームを作るプログラミング言語を使って、コンテンツ制作体験を行い、コンピュータを使ったものづくりの考え方を身につけていきます。		
授業方法 Course Format	「オンライン授業」を、みなさんがよく使っているLINEの学校版のような、Microsoft Teamsというアプリでリアルタイムなビデオ会議方式で行う予定です。 ただし、学校のシステムの状況によってはLUNAを使って資料を見てもらう形式で行うかもしれません。 本授業は、もともと全14回でしたが、新型コロナウイルス対策のため、回数が12回になりました。ももとの7回目、13回目は課題になります。		
検索キーワード/Keywords	コンピュータ お絵かき マルチメディア アニメーション CG インターネット ゲーム タブレット 開発 制作		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	プログラムってなに？【足し算しよう。カメを歩かせよう】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第2回 Session 2	プログラムの基本1【順次、変数、データ型】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第3回 Session 3	プログラムの基本2【分岐、反復】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第4回 Session 4	プログラムの基本3【リスト】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第5回 Session 5	プログラムの基本4【関数、メインループ】	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第6回 Session 6	カメを歩かせて絵を描こう	【予習課題】課題の案を考える。
第7回 Session 7	(課題の制作)	【課題】課題を完成させる。
第8回 Session 8	【課題1: 提出＆観賞会】	【復習課題】提出した課題を振り返る。
第9回 Session 9	自分で描いた絵を、動かそう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第10回 Session 10	自分で描いた絵を、キー操作で動かそう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第11回 Session 11	衝突したかを調べよう	【復習課題】本日のプログラムを復習する。
第12回 Session 12	ゲームを考えて作ろう	【予習課題】課題の案を考える。
第13回 Session 13	(課題の制作)	【課題】課題を完成させる。
第14回 Session 14	【課題2: 提出＆観賞会】	【復習課題】提出した課題を振り返る。

教科書 Required texts	なし
参考文献・資料 Reference books	なし

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	30%	授業内容を理解した課題の制作
	その他／Others(99)	70%	授業で行う制作の成果物
備考 Note	【注意】オンライン授業で、プログラミングの授業を行うため、スマホではなく、必ずパソコン（Windows10か、Macのパソコン、またはノートパソコン）を所有している必要があります。授業中にPythonをインストールしてもらう予定です。 できれば、以下のURLの授業開始前のアンケートにお答えください。		
URLリンク1/URL 1	https://forms.gle/9gTP5osPpRfXUSJN9		
更新日時/Date of Update	2020年04月15日 11時51分37秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	MR－第5PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	44101007	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター(情報科学科目)／Center for Common Educational Programs (Information Science Courses)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】コンピュータ基礎 7／Computer Literacy		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西本 実苗(NISHIMOTO MINAE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	大学生として必要とされる情報活用能力の基礎を身に付けることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic skills to utilize information that is required for university students.		
到達目標/Learning Goals	1. 大学の授業などで課される各種レポートの作成やゼミなどで必要とされるプレゼンテーションに関する基礎知識を身に付けること。 2. 本学の学習管理システムであるLUNAの利用方法や電子メールによる課題提出ができるようになる。 3. 上記1と2により、大学生として必要とされるPCスキルの基礎を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will acquire basic knowledge regarding preparation of various reports they will have to submit as assignments for university classes, etc., as well as presentations they will have to make in seminars, etc. 2. Students will be able to use LUNA, the learning management system of our university, and submit assignments via email. 3. Through 1. and 2. above, students will acquire basic PC skills that are required of university students.		
授業方法 Course Format	パソコン教室にて、各自1台のパソコンを操作する実習形式により授業を行う。 【新型コロナウイルス対応】上記変更します 「オンライン授業」を行います(大学公式LUNA, MS-Teams等を利用予定) Windows10＋Word2019＆Excel2019＆PowerPoint2019を前提とした内容で行います。 シラバス第1回の「授業外学習」の資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。		
関連科目/Related Courses	・全学共通科目であるが、学部によっては、この科目を履修できないので注意すること。 ・コンピュータ実践、プログラミング言語などを履修予定の場合、この科目を履修しておくことが望ましい。		
検索キーワード/Keywords	Word Excel PowerPoint ワープロ 表計算 プレゼンテーション 電子メール インターネット 情報リテラシー 情報倫理		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講義概要、基本操作、日本語入力、タッチタイピング、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】このシラバスページ下部の「シラバス付加情報」にある「添付ファイル1」のpdf資料を必ず読んで必要な準備と課題を行ってください。 (4/23追記) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/7第1回の内容をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第2回 Session 2	電子メール、インターネット、情報倫理	【新型コロナウイルス対応】 (4/23改訂) 4/21オンライン授業開始に合わせて本来4/14第2回の内容と課題をLUNAに掲載しています。お好きな時間に各自学習してください。
第3回 Session 3	Word1(Word入門)	4/21第3回のオンライン授業の内容と課題をLUNAにすでに掲載しています。各自学習してください。
第4回 Session 4	Word2(Word実践)	
第5回 Session 5	Word3(Word活用 その1)	
第6回 Session 6	Word4(Word活用 その2)	
第7回 Session 7	Excel1(Excel入門)	
第8回 Session 8	Excel2(Excel実践)	
第9回 Session 9	Excel3(Excel活用 その1)	
第10回 Session 10	Excel4(Excel活用 その2)	
第11回 Session 11	ExcelとWordの連携(Word活用 その3)	
第12回 Session 12	PowerPoint1(PowerPoint入門)	
第13回 Session 13	PowerPoint2(PowerPoint実践)	
第14回 Session 14	授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	実習形式の授業であり、多くの内容について短期間で学習することになるため、毎回の出席と授業時間以外の自主的な学習が必要である。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:西本実苗 タイトル:Office三種の神器活用基礎 発行所:デザインエッグ株式会社 出版年:2016 ISBN:978-4865435153
参考書/Reference books	著者名:奥村 晴彦 (著) タイトル:【改訂第2版】基礎からわかる情報リテラシー 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774162133
	著者名:高橋 佑磨(著), 片山 なつ(著) タイトル:伝わるデザインの基本 よい資料を作るためのレイアウトのルール 発行所:技術評論社 出版年:2014 ISBN:978-4774166131
	著者名:久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章(監修) タイトル:キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2017 発行所:日経BP社 出版年:2017 ISBN:978-4822292218
	著者名:情報教育学研究会情報倫理教育研究グループ(著) タイトル:インターネット社会を生きるための情報倫理 発行所:実教出版 出版年:2013 ISBN:978-4407330311
	著者名:実教出版編集部 タイトル:2016 事例でわかる情報モラル 発行所:実教出版 出版年:2016 ISBN:978-4407339222

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	30%		
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	毎回の授業における課題など	
	その他／Others(99)	40%	INFOSS情報倫理など	
備考 Note	・この科目を履修するには「予備登録」を行う必要がありますので、履修希望者は指定された期間内に「予備登録」をすること。 ・初回の授業からパソコンを使用した実習を行う。関西学院大学のパソコンを利用するのに必要な「システム利用ID」と「パスワード」を確認しておくこと。なお、1年は初回の授業で、「システム利用ID」と「パスワード」の記載された用紙を持参すること。 【新型コロナウイルス対応】【注意】オンライン授業で、パソコン実習の授業を行うため、スマートフォンではなく、必ずパソコン（Windows＋Word & Excel & PowerPointが基本、MacはMS Officeがインストールされていれば対応可能）を所有していることが必要です。			
添付ファイル1/File Attachement 1	西本の担当科目におけるオンライン授業（コン基礎）.pdf		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 16時27分53秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	4別－101A

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45034401	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(Academic)L4 1／Skills-based English(Academic)L4		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	コンドン バリイ(CONDON BARRY CHRISTOPHER)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to enhance academic discussion, study, and self-reflections skills by performing various written and oral research projects and reports.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. employ critical thinking and study skills on an instinctive level. 2. demonstrate proficient writing and research skills. 3. express critical opinions, lead group discussions, and participate in debates. 4. approach academic texts effectively, employing deep-reading strategies, scanning strategies, and annotation methods depending on the nature of the text and the reading context. 5. listen to, understand, and take notes on a variety of lectures and other spoken academic content.		
授業方法 Course Format	This course will be conducted through a series of short lectures and seminars. Students will be expected to participate actively in discussions, deliver presentations and submit written assignments. There will be a strong emphasis on pair and group work throughout the course. Due to the circumstances surrounding COVID-19, this course will include an online element. Please check your email regularly (abc123456@kwansei.ac.jp)		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions. Course expectations.	Preparation for next class (1 hour)
第2回 Session 2	Topic 1 (TBD) Thinking critically about a topic	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第3回 Session 3	Topic 2 (TBD) Academic vocabulary focus	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第4回 Session 4	Topic 3 (TBD) Note taking skills	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第5回 Session 5	Topic 4 (TBD) Listening for specific information	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第6回 Session 6	Topic 5 (TBD) Opinion or fact?	Review of this class (1 hour) Presentation preparation
第7回 Session 7	Presentations	Reflection Preparation for next class (1 hour)
第8回 Session 8	Topic 6 (TBD) Conducting interviews Discussing findings from interviews	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第9回 Session 9	Topic 7 (TBD) Drawing Inferences	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第10回 Session 10	Topic 8 (TBD) Symbols and abbreviations	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第11回 Session 11	Topic 9 (TBD) Designing research experiments	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第12回 Session 12	Topic 10 (TBD) Examining graphics	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第13回 Session 13	Topic 11 (TBD)	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第14回 Session 14	Projects	Reflection Preparation for next class (1 hour)
第15回 Session 15	Topic 12 (TBD) Listening for signal words	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第16回 Session 16	Exchanging opinions about the news Debating	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第17回 Session 17	Topic 13 (TBD) Summarizing	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第18回 Session 18	Topic 14 (TBD) Examining diagrams Listening for tone of voice	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第19回 Session 19	Topic 15 (TBD) Numbers & statistics	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第20回 Session 20	Topic 16 (TBD) Supporting your opinions	Review of this class (1 hour) Presentation preparation
第21回 Session 21	Presentations	Reflection Preparation for next class (1 hour)
第22回 Session 22	Topic 17 (TBD) Creating graphics Challenging the status quo	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第23回 Session 23	Exchanging opinions about the news Debating	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第24回 Session 24	Topic 18 (TBD)	Review of this class (1 hour) Preparation for next class (1 hour)
第25回	Academic vocabulary focus	Review of this class (1 hour)

Session 25		Preparation for next class (1 hour)
第26回 Session 26	Topic 19 (TBD)	Review of this class (1 hour) Presentation preparation
第27回 Session 27	Final presentations & projects	Reflection Preparation for next class (1 hour)
第28回 Session 28	Review and reflection	Ongoing study strategies

授業外学習 Study Required outside Class	Students will be expected to complete regular reading and writing assignments and prepare diligently for discussions, debates and presentations. Students should expect to study for at least two hours each week to keep up with the pace of the course. Much of this course will be conducted online through both live sessions and Google Classroom. Please sign up ASAP. Please download the Zoom app. The first session will be held using Zoom on Tuesday, April 21st at 09:00. Please check Google Classroom Academic L4 for more details.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	The teacher will provide materials for this class. No textbook is required.
-----------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 40%, Presentations 30%, Assignments 30%
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 22時13分38秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	4別－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45111005	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Language and Communication 5／Language and Communication		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	デルヴ マイケル(DELVE MICHAEL)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	Refer to the following.		
授業目的(英文) Course Purpose	Introduction to Vocabulary Acquisition The purpose of this course is for students learn about basic vocabulary acquisition theory and apply this knowledge to their own vocabulary studies.		
到達目標/Learning Goals	Refer to the following.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. Understand basic theory about how second language students learn words. 2. Understand what a word is and relationships between words. 3. Apply the theory studied to their own vocabulary studies.		
授業方法 Course Format	STUDENTS NEED TO REGULARLY CHECK THEIR KGU EMAIL ADDRESS (example xxxx@kwansei.ac.jp) The course will be conducted entirely in English. Students will be expected to participate actively in discussions, group work, and presentations. There will also be an online component to this class.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION BELOW IS SUBJECT TO CHANGE DEPENDING ON THE SITUATION WITH COVID 19. Week 1: Complete the Tech survey and write self-introduction to teacher. Email the teacher if you have any questions: michael.delve@kwansei.ac.jp	Students need to complete the Google Form using the following link: https://forms.gle/aiEzU3wgMkqdv4UB6
第2回 Session 2	Unit 1: Join Google Classroom and start online lessons	Go to classroom.google.com and join this class. The class code is g3wfutf You will need a gmail account to be able to do this. The first online class will be held on Tuesday April 21st at 9am. This will be conducted online through Google Classroom.
第3回 Session 3	Unit 1: What is a word?	Reading and notetaking.
第4回 Session 4	Unit 2: Relations between words	
第5回 Session 5	Unit 2: Relations between words	
第6回 Session 6	Dictionary Skills workshop	Study for mid-term
第7回 Session 7	Mid-term Test/Project	Reading and notetaking.
第8回 Session 8	Unit 3: Learning Words from Context	
第9回 Session 9	Unit 3: Learning Words from Context	Reading and notetaking.
第10回 Session 10	Unit 4: Deliberate learning of words	
第11回 Session 11	Unit 4: Deliberate learning of words	Prepare for presentations
第12回 Session 12	Student presentations	Prepare for final test/project
第13回 Session 13	Final test/project	
第14回 Session 14	Course Review	

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Projects/Tests 50%. Participation 30%. Homework 20%
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 18時38分19秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	4別ー205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45400001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ポルトガル語初級I 1／Elementary Portuguese I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	村松 英理子(MURAMATSU ERIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	ポルトガル語の基礎的な語彙、動詞活用、文法を身につけ、ブラジル音楽や映画、ポルトガル語圏の時事ニュースを通じて、ポルトガル語圏の文化への理解を深めることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to obtain the basic Portuguese vocabulary, verb conjugation and grammar, and to improve understanding of Luso-Brazilian cultures through music, film and news.		
到達目標/Learning Goals	ser動詞、estar動詞、規則動詞の活用を習得し、ポルトガル語での簡単な会話また文章が読み書きできる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Student will be able to conjugate and use the portuguese verbs ser, estar and regular verbs and perform elementary Portuguese conversation, and read and write simple sentences in Portuguese.		
授業方法 Course Format	綴り字の読み方、発音、挨拶といった基本的な会話表現を学ぶ。また、規則活用動詞活用に慣れるよう、毎回授業で発音練習を行う。各授業後半では、ブラジル音楽や映画、ニュースなどの映像も紹介し、ブラジル、ポルトガルの文化に触れる。基本的にweb授業として、オンデマンド教材を元に以下の計画にしたがって進める。履修者の環境にもよるが、Teamsなどを用いて、リアルタイムで発音チェックや質問を受け付ける予定。		
検索キーワード/Keywords	ブラジル/ポルトガル/イベリア/ヨーロッパ/ロマンス語/ラテン/南欧/南米/サッカー/ファド/サンバ/ボサノバ/カポエイラ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ポルトガル語圏の国々、発音とアクセント ポサノバを歌ってみよう web環境に関するアンケートと今後の授業について	初回の授業は、teamsのビデオ通話を使って、5月12日(火)10時より開始とします。 履修が決定した学生には、大学のメールアドレス宛に、teamsへの招待を送ります。 そちらに書かれたURLにアクセスしてください。繋がらない、できない場合は、dkq57507@kwansei.ac.jpまで連絡してください。 (自宅でネットに接続できない、パケット等の問題がある場合は、別途オンデマンド教材にて対応します。該当する学生は、このメール宛連絡すること。)また、授業開始前の講義資料として、Luna>科目>ポルトガル語初級I 1 (2020春・火・1)>科目ツール>お知らせに、ボサノバ曲Garota de Ipanemaをupしていますので、見ておいてください。その他何か質問等あれば上のメールにて対応します。
第2回 Session 2	自己紹介1(名前の言い方、挨拶表現): 動詞serの活用と用法 ブラジルの紹介	
第3回 Session 3	自己紹介2(職業、国籍を言う): 名詞・形容詞の性と数変化 ブラジルの食文化 シュラスコ	
第4回 Session 4	自己紹介3(住んでいるところ): 前置詞 ブラジルの流行の曲を聴いてみよう	
第5回 Session 5	estar動詞 状態を表す ブラジルサッカー サッカーのニュースを読んでみよう	
第6回 Session 6	estar動詞 現在進行形 ブラジルのカーニバル	
第7回 Session 7	-ar 規則動詞の活用と用法 日系ブラジル人について	
第8回 Session 8	-er, -ir 規則動詞の活用と用法 ポルトガルとブラジル	
第9回 Session 9	-er, -ir 規則動詞を用いた表現 ポルトガルの紹介	
第10回 Session 10	尋ねる1: 場所、時間、方法 ポルトガル料理とワイン	
第11回 Session 11	命令形 ポルトガルのお菓子 Pateis de Nataの作り方	
第12回 Session 12	日常会話でよく使われる表現1 ブラジル映画を見てみよう	
第13回 Session 13	日常会話でよく使われる表現2 ブラジル映画を見てみよう	
第14回 Session 14	期末試験およびまとめ: 応用練習	

授業外学習 Study Required outside Class	サッカーや、カーニバルなど、ブラジルやポルトガルをはじめとしたポルトガル語圏のニュースに目を向けてみましょう。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名:武田千香 タイトル:ブラジルのポルトガル語入門 発行所:三省堂 出版年:2001 ISBN:ISBN4-385-35968-7
教科書 Required texts	武田千香『ブラジルのポルトガル語入門』(三省堂、2001)
参考書/Reference books	著者名:池上岑夫ほか タイトル:現代ポルトガル語辞典 発行所:白水社 出版年:1996 ISBN: 著者名:黒沢直俊ほか タイトル:デイリー日葡英・葡日英辞典 発行所:三省堂 出版年:2003 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	池上岑夫ほか『現代ポルトガル語辞典』(白水社、1996) 黒沢直俊ほか『デイリー日葡英・葡日英辞典』(三省堂、2003)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	80%	
	平常リポート／Individual reports(04)	20%	
	備考 Note テストは期末に実施し、授業内での課題の提出を含め総合的に評価を出します。また授業日数2／3以上の出席日数を必須とします。		
更新日時/Date of Update		2020年04月18日 21時09分37秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	4別－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011034	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 34／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	デルヴ マイケル(DELVE MICHAEL)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	Refer to the following.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their English language knowledge (vocabulary, grammar, and discourse) and language skills (listening, speaking, reading, and writing) within an all-English communicative environment to enable them to meet the academic requirements of study abroad programs.		
到達目標/Learning Goals	Refer to the following.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. Speak more fluently about various academic and practical topics. 2. Operate in an All-English environment. 3. Write in common practical and academic formats. 4. Deliver short presentations with visuals in an organized and academic manner. 5. Learn language autonomously.		
授業方法 Course Format	STUDENTS NEED TO REGULARLY CHECK THEIR KGU EMAIL ADDRESS (example xxxx@kwansei.ac.jp) Spring intensive English will prepare students to learn through a number of different academic contexts. Students can expect to learn through online lessons, in-class lectures and discussions.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION BELOW IS SUBJECT TO CHANGE DEPENDING ON THE SITUATION WITH COVID 19. Week 1: Complete the Tech survey and write self-introduction to teacher.	Students need to complete the Google Form sent to their KGU email address. This is the link if you did not receive the email: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfb9LAYfG7BVIIlctsH4xZmH5M7 The first class will be on Tuesday April 21st at 11.10am. This will be an online class with materials provided on Google Classroom.
第2回 Session 2	Tradition and Progress (Unit 6)	
第3回 Session 3	Tradition and Progress (Unit 6)	
第4回 Session 4	Money in our Lives (Unit 7)	
第5回 Session 5	Money in our Lives (Unit 7)	
第6回 Session 6	Presentation skills workshop	Prepare Poster Presentation
第7回 Session 7	Mid-term Poster Presentations	
第8回 Session 8	Health and Technology (Unit 8)	
第9回 Session 9	Health and Technology (Unit 8)	
第10回 Session 10	The Mysterious Mind (Unit 9)	
第11回 Session 11	The Mysterious Mind (Unit 9)	
第12回 Session 12	The Future of Food (Unit 10)	
第13回 Session 13	The Future of Food (Unit 10)	Prepare final presentations
第14回 Session 14	Final Presentations	MReader 50,000 words due

教科書/Required texts	著者名: Paul Macintyre タイトル: Pathways Listening, Speaking and Critical Thinking 4B 発行所: National Geographic Learning 出版年: ISBN: 978-1-33-756262-1
--------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 30%, Presentations 30%, Writing Assignment 20%, M-Reader 10%, Homework 10%
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 18時32分36秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011058	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 58／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	サキヤ ジョン(SYQUIA JOHN)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop English listening, reading, speaking, and writing skills, in addition to learning new vocabulary, all while working in an all-English communicative atmosphere.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop English listening, reading, speaking, and writing skills, in addition to learning new vocabulary, all while working in an all-English communicative atmosphere.		
到達目標/Learning Goals	Students will be able to: ・ write brief reports on various topics. ・ deliver brief presentations on various topics. ・ learn and operate in an all-English classroom environment.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: ・ write brief reports on various topics. ・ deliver brief presentations on various topics. ・ learn and operate in an all-English classroom environment.		
授業方法 Course Format	Students will practice all four skills (listening, speaking, reading, writing) over the course of the semester. Homework assignments will often be used for discussions in later classes. Projects/presentations will require students to do some research and will focus on developing small and large group presentation skills. There will be an online component to this course. Please see Luna for further details.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Course introduction	Online class type is a mixture of on-demand and simultaneous interactive. To audit the first class please download Google Classroom and join using class code: l5f7q4g
第2回 Session 2	Unit 1 – Friendship	1-2 hours per week
第3回 Session 3	Unit 2 – Fear; start of first project	1-2 hours per week
第4回 Session 4	Unit 3 – Health	1-2 hours per week
第5回 Session 5	Project presentation 1	1-2 hours per week
第6回 Session 6	Unit 5 – Success; start of second project	1-2 hours per week
第7回 Session 7	Unit 6 – Consumerism	1-2 hours per week
第8回 Session 8	Unit 7 – Art	1-2 hours per week
第9回 Session 9	Project presentation 2	1-2 hours per week
第10回 Session 10	Unit 8 – Collaboration; start of third project	1-2 hours per week
第11回 Session 11	Unit 9 – Survival	1-2 hours per week
第12回 Session 12	Unit 10 – Innovation	1-2 hours per week
第13回 Session 13	Project presentation 3	1-2 hours per week
第14回 Session 14	Review	1-2 hours per week

教科書/Required texts	著者名:Nancy Douglas; Andrew Boon タイトル:Inspire 3 発行所:National Geographic/Cengage 出版年:2015 ISBN:9781133963424
	著者名:English Central タイトル:English Central 発行所:English Central 出版年:2020 ISBN:9999999999999
	著者名:XReading タイトル:XReading 発行所:XReading 出版年:2020 ISBN:9999999999999

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 30%, Homework 30%, Projects 30%, Tests/Quizzes 10%
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 16時00分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G－108

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45034302	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター/Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(Academic)L3 2/Skills-based English(Academic)L3		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	カニンハム S. (CUNNINGHAM STUART)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語/English		
授業目的/Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their English fluency in academic settings through various written and oral research projects and reports.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop and integrate critical thinking skills into academic work.		
到達目標/Learning Goals	Students will be able to employ critical thinking and study skills. Students will be able to write and research effectively in academic research contexts. Students will be able to offer opinions in a clear manner.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to employ note-taking activities for research.		
授業の概要・背景 Course Outline	Students will come up with an idea for some academic work and we will spend the semester looking at how to do the research, note-taking and writing. The teacher will be working closely with each student and helping and guiding each student every step of the way.		
授業方法 Course Format	Students will work in pairs and as individuals.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions. Overview. Expectations.	Begin thinking about ideas for research.
第2回 Session 2	What makes a good research question?	Students will work on research and writing.
第3回 Session 3	How should you research your question? Make a plan. Choose one paper as a model to help you.	Students will work on research and writing.
第4回 Session 4	Note-taking skills. Plagiarism.	Students will work on research and writing.
第5回 Session 5	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Sentence work – Word order: a basic check list.	Students will work on research and writing.
第6回 Session 6	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Sentence work – the subject and the verb: do's and don'ts.	Students will work on research and writing.
第7回 Session 7	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Sentence work – noun phrases.	Students will work on research and writing.
第8回 Session 8	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Sentence work – long sentences versus short sentences. Thinking about the reader.	Students will work on research and writing.
第9回 Session 9	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Sentence work – linking words and phrases.	Students will work on research and writing.
第10回 Session 10	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Paragraphs – what are they for?	Students will work on research and writing.
第11回 Session 11	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. The author's voice.	Students will work on research and writing.
第12回 Session 12	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Hedging.	Students will work on research and writing.
第13回 Session 13	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Evidentiality.	Students will work on research and writing.
第14回 Session 14	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Stance/commitment.	Students will work on research and writing.
第15回 Session 15	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – The introduction.	Students will work on research and writing.
第16回 Session 16	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – The introduction part 2.	Students will work on research and writing.
第17回 Session 17	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – the literature review.	Students will work on research and writing.
第18回 Session 18	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – the literature review part 2.	Students will work on research and writing.
第19回 Session 19	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – results/findings.	Students will work on research and writing.
第20回 Session 20	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – the discussion.	Students will work on research and writing.
第21回 Session 21	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Structure – the conclusion.	Students will work on research and writing.
第22回	Research update: discussion on how each student is getting	Students will work on research and writing.

第22回 Session 22	along, problems and solutions, and ideas for the next step. The final check list.	
第23回 Session 23	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Writing workshop.	Students will work on research and writing.
第24回 Session 24	Research update: discussion on how each student is getting along, problems and solutions, and ideas for the next step. Writing workshop.	Students will work on research and writing.
第25回 Session 25	Hand-in first draft	Students will work on research and writing.
第26回 Session 26	Feedback on first draft.	Students will work on research and writing.
第27回 Session 27	Work on final draft.	Students will work on research and writing.
第28回 Session 28	Hand-in final draft.	

教科書 Required texts	No text required.
-----------------------	-------------------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	see “Method of or Criteria” below
	備考 Note		
	Participation (this is not attendance) – 40% First draft – 20% Final draft – 40%		
更新日時/Date of Update	2020年01月17日 13時58分20秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	II－212

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45038201	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(TOEIC)L2 1／Skills-based English(TOEIC)L2		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	コンドン バリイ(CONDON BARRY CHRISTOPHER)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about and practice the most difficult aspects of the TOEIC exam.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. choose statements that best describe a picture. 2. understand appropriate response for simple everyday spoken questions and statements. 3. understand questions asked about the content of conversations and talks given by a single speaker. 4. understand how to complete incomplete sentences. 5. understand questions asked about texts such as notices, letters, advertisements, charts, and articles.		
授業方法 Course Format	This course will be instructed through seminars examining different aspects of the TOEIC test. Students will have opportunities to have discussions based on topics that are relevant to the test and through activities that are designed to develop vocabulary. There will be a strong emphasis on group and pair work throughout. Due to the circumstances surrounding COVID-19, this course will include an online element. *****Please check your email regularly (abc123456@kwansei.ac.jp)*****		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction and overview of the TOEIC test.	Write a short self-introduction. (30 minutes)
第2回 Session 2	Listening section. Part 1 – Photographs. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第3回 Session 3	(Review of previous week’s session) Reading section. Part 5 – Incomplete sentences Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第4回 Session 4	(Review of previous week’s session) Listening section. Part 2 – Question/Response. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第5回 Session 5	(Review of previous week’s session) Reading section. Part 6 – Text completion. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第6回 Session 6	(Review of previous week’s session) Listening section. Part 3 – Conversations. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第7回 Session 7	(Review of previous week’s session) Reading section. Part 7 – Reading Comprehension Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第8回 Session 8	(Review of previous week’s session) Listening section. Part 4 – Talks. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第9回 Session 9	(Review of previous week’s session) Reading section test question practice. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第10回 Session 10	(Review of previous week’s session) Listening section test question practice. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第11回 Session 11	(Review of previous week’s session) Reading section test question practice. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第12回 Session 12	(Review of previous week’s session) Listening section test question practice. Developing TOEIC vocabulary.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第13回 Session 13	Review of reading section strategy. Reading quiz.	Study target vocabulary. Practice test questions. (60 minutes)
第14回 Session 14	Review of listening section strategy. Listening quiz.	Ongoing study.

授業外学習 Study Required outside Class	Much of this course will be conducted online through both live Zoom sessions and Google Classroom. Please sign up ASAP. Check your email for details. The first session will be held using Zoom on Tuesday April 21st at 11:10. Please download the app. Please check Google Classroom TOEIC L2 for more details.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	The teacher will provide materials for this class. No textbook is required.
-----------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 40%, Assessed task performance 60%
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 22時15分54秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45111002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Language and Communication 2／Language and Communication		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	エバリー リディア(EBERLY LYDIA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Subtitle: English Pronunciation and Communication The purpose of this course is for students to understand the basics of phonetics and phonology and the General American English accent, as well as to improve their own English pronunciation.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	By the end of the course, students will: 1. Understand the basics of phonetics and phonology, particularly as applied to American English. 2. Be able to transcribe and analyze speech. 3. Understand how pronunciation changes depending on context. 4. Critically consider the desirability of achieving “native-like” pronunciation.		
授業方法 Course Format	Weekly online meetings, including lectures and discussions Exercises and The course outline below is subject to change.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction and Course Outline	(Update 4/20) For 1st meeting, no preparation required; just figure out how to use Zoom.
第2回 Session 2	Consonants	For 2nd meeting, complete assigned reading: Avery & Ehrlich pp. 3–27. Complete assigned exercises.
第3回 Session 3	Vowels	Assigned reading and exercises
第4回 Session 4	Linking	Assigned reading and exercises
第5回 Session 5	Consonant clusters and syllable structure	Assigned reading and exercises
第6回 Session 6	Test 1	Assigned reading and exercises
第7回 Session 7	Word stress and sentence stress	Assigned reading and exercises
第8回 Session 8	Intonation and pitch	Assigned reading and exercises
第9回 Session 9	Prominence and intonation in discourse	Assigned reading and exercises
第10回 Session 10	Pronunciation and listening	Assigned reading and exercises
第11回 Session 11	Student presentations	Prepare for presentations
第12回 Session 12	Student presentations	Prepare for presentations
第13回 Session 13	Test 2	Review for test
第14回 Session 14	Final review; Essays due	Essay writing

授業外学習 Study Required outside Class	Students must complete the assigned homework and readings before each session.
---------------------------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Tests 30%, Homework 30%, Final Essay 20%, Participation 20%
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 20時18分56秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45121001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Academic Writing and Presentation 1／Academic Writing and Presentation		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	パデレック ジャック(PUDELEK JACK SIMON)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Course Subtitle: Conducting, Preparing and Presenting Research		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. conduct research related to topics of interest for them 2. write an essay using the correct academic format, using proper academic conventions for both structure and citation 3. give presentations on their research matching the criteria expected at an academic conference		
授業方法 Course Format	This course will focus on giving students the academic skills necessary for conducting research, writing academic papers and presenting their research in the format expected at academic conferences.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION IS SUBJECT TO CHANGE AT INSTRUCTOR DISCRETION Week 1: introduction to course, check LUNA and follow instructions. Contact teacher by email with any questions. April 13th – April 19th	1-3 hours per week
第2回 Session 2	Week 2: Start essay 1: Compare and Contrast. Conducting research April 20th –	1-3 hours per week
第3回 Session 3	Week 3: Basic essay and presentation structure	1-3 hours per week
第4回 Session 4	Week 4: Presentation 1 and essay 1 due	1-3 hours per week
第5回 Session 5	Week 5: Start essay 2: Cause and Effect, conducting research.	1-3 hours per week
第6回 Session 6	Week 6 Cause and effect essay writing structure	1-3 hours per week
第7回 Session 7	Week 7 Cause and effect presentation structure	1-3 hours per week
第8回 Session 8	Week 8 Presentation 2, essay 2 due	1-3 hours per week
第9回 Session 9	Week 9 Start essay 2: Argumentative essay conducting research	1-3 hours per week
第10回 Session 10	Week 10: essay writing	1-3 hours per week
第11回 Session 11	Week 11: essay writing	1-3 hours per week
第12回 Session 12	Week 12: work on presentation	1-3 hours per week
第13回 Session 13	Week 13: Final presentation, final papers due End of Term	1-3 hours per week
第14回 Session 14	Week 14: Reflections and discussion on topics of the course Done as optional make up assignment to make up first week of term which was cancelled due to Covid 19	1-3 hours per week

授業外学習 Study Required outside Class	Check KGU email regularly.
---------------------------------------	----------------------------

教科書/Required texts	著者名: Andrew Aquino-Cutcher, Wendy Asplin, David Bohlke, Jeanne Lambert タイトル: Final Draft 3 発行所: Cambridge 出版年: 2015 ISBN: 9781107495500
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	30% essays, 30% presentations, 30% participation and attendance, 10% homework
更新日時/Date of Update	2020年04月17日 19時59分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45122502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Project-based Seminar in English(Study Abroad) 2／Project-based Seminar in English(Study Abroad)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	チャン M. J. (CHANG MARY)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to prepare students for possible study abroad travel through autonomous research practices involving individually chosen study abroad target countries, cities, and universities.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. discuss specific information about individually chosen target countries. 2. discuss, in detail, information about self-chosen universities. 3. discuss Japanese culture with foreigners, including controversial issues concerning Japan. 4. analyze and improve personal time management strategies. 5. deliver researched individual and group presentations with visuals, in English.		
授業の概要・背景 Course Outline	This course is designed to prepare students for overseas experience prior to departure and ensure that they maximize this opportunity. At the end of this course the students will have an extensive knowledge of the country they will be living in, the program and institution they will belong to, and an awareness of the opportunities they will have to participate in the activities available to them during their stay. The class is conducted entirely in English and students are expected to speak only in English for the entire 90 minutes each class. Much of the class time is used for student centered discussions about their target countries.		
授業方法 Course Format	APRIL 2020 UPDATE: Some lessons at the start of the semester will be conducted online. Students will NEED access to a computer at home (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. Desktop, laptop, notebook, Macbook, etc, are fine. Students should also have a Google account and sign up for Google Drive and Google Classroom (both are for free). To access the online materials, email me (mjchang@kwansei.ac.jp) for the class code. ~~~~~ This course is centered mainly on discussions. In session 8 students will give individual presentations on their study abroad destination and in session 13 students will give group presentations about Japanese culture. In session 9 students will submit an autonomously created study abroad preparation journal.		
検索キーワード/Keywords	study abroad Japanese culture		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Week 1 Introduction, what do you already know? Introduce course rules, topics covered, projects and assessment. A short survey analysis will be given to determine how much the students already know about their target country.	About 1 hour
第2回 Session 2	Week 2 About your (target) country: Arts, Climate, Geography, History, Religion, Government, Industry, Language etc.	About 1 – 2 hours
第3回 Session 3	Week 3 The Arts & Wildlife: Topics covered include: Music, Dance, Literature, Theatre, Plants & Wildlife of the target country.	About 1 – 2 hours
第4回 Session 4	Week 4 Information for Visitors: In this unit the students have to research activities that can be done in their target country and at their target university campus.	About 1 – 2 hours
第5回 Session 5	Week 5 Additional Target Country Research & Presentation Skills Workshop: This session will include a presentation skills workshop in preparation for the first presentation and continue with researching about students' target destinations.	About 1 – 2 hours
第6回 Session 6	Week 6 Exploring the country's Regions : This unit is designed to get the students researching what regions they should visit and what events they should attend within their target country.	About 1 – 2 hours
第7回 Session 7	Week 7 Q & A session with KG returnees and foreign exchange students: This lesson will be a Q&A session with both returnee students and foreign exchange students.	About 1 – 2 hours
第8回 Session 8	Week 8 Presentation 1 Study Abroad presentation: This first presentation will involve an individual 5 – 8 minute digital presentation in front of a group of 5–6 students or the entire class (class size depending).	About 1 – 2 hours
第9回 Session 9	Week 9 Time Audit Project 1 & Possible Problems Role Play / advice activity: Following group discussions about time use, students will complete a time audit over 1 week in which they measure how much time they currently spend for study (along with travel , time spent sleeping, working etc.). The results of the audit will be compared to the weekly schedule and expected workload of their target study abroad institution.	About 1 – 2 hours
第10回 Session 10	Week 10. Time Audit Project 2: This lesson continues from the previous week by comparing the results of the student's time audit against the average week for a student at an exchange university!	About 1 – 2 hours
第11回 Session 11	Week 11 Japanese Cultural Awareness 1: Students have group discussions about Japanese culture and learn about Western/European stereotype images of Japan. In groups of 4 – 5, The students will choose a topic to present on and have to do research to answer questions which will lead to discussions in the next class.	About 1 – 2 hours
第12回	Week 12 Japanese Cultural Awareness 2: The students will work in their Presentation Groups to discuss their research	About 1 – 2 hours

Session 12	findings and work together to prepare and practice for their Group Presentations.	
第13回 Session 13	Week 13 Presentation 2 Japanese Culture: In groups, students will present their research to the rest of the class answering commonly asked questions about Japanese culture. Group presentations will be between 10 – 20 minutes depending on group sizes.	About 1 – 2 hours
第14回 Session 14	Week 14 Final Lesson Reflection & Cultural Stereotypes Part 2: Students will further discuss stereotypes, prejudices about foreign culture followed by end of term self-reflective discussions.	

授業計画 Overview for each class	Class sessions listed above are subject to change in accordance to the student needs, the shortened university calendar, and the online format. Students will need to check the class Google Classroom site for updates regarding online assignments and due dates.
授業外学習 Study Required outside Class	This course is designed to prepare students who intend to study abroad, as such it is expected that the students will do a large amount of work outside of the classroom. This preparation will include; updating your Study Abroad Journal, preparing questions for discussions with KGU foreign students, pre-reading and completing text book activities in preparation for the next lesson, and finally planning, preparation and practice for both presentations.

教科書 Required texts	You need to purchase 2 Books from the KGU bookstore: 1) Study Abroad Preparation Student Textbook (Made by KGU) for 800yen +tax, and 2) Study Abroad Journal (Made by KGU) for 200yen + tax. If you are on campus please buy the books, they will be very cheap to purchase also. The books are both printed by KGU so the KGU bookstore is the only place you can buy these two books!
-----------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 20%; Homework 20%; Journal 25%; Presentations 35%; There is no final examination(定期試験).
	備考 Note Projects & Assessment: Participation 20%: English ONLY use in class, Weekly self-assessment in participation sheet & weekly homework checks Study Abroad Journal 25%: a journal with required activities to that need to be completed using a portfolio style approach. Individual Presentation 20%: a presentation based on the country and institution that the participant is applying for or has been accepted to. Group Presentation 15%: a presentation on Japanese culture Time Audit Project & Weekly Homework 20%: Completion of the Time Audit Project in Week 10 and regular weekly text book homework assignments.		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 13時28分37秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	MR－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45415501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】ポルトガル語初中級 1／Pre-Intermediate Portuguese		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	村松 英理子(MURAMATSU ERIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	この授業は、ポルトガル語でのより良いコミュニケーションのための、語彙、文法の修得、および発音の技術の向上を目的としている。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to enrich their vocabulary, and grammar, and to improve their pronunciation skills in Portuguese, so that they can better communicate with others in Portuguese.		
到達目標/Learning Goals	学生は、ポルトガル語の過去形、未来形、現在形を用いて、作文をしたり話したりすることができ、簡単なダイアログや音楽ビデオをふくむオーセンティックな教材を通じて、文化的、社会的背景への理解を深める。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to write a sentence and speak using the Portuguese past, present, and future tense, and to enrich understanding of relevant cultural and social backgrounds through authentic materials, including brief dialogues, music and video.		
授業方法 Course Format	動詞の時制への理解を深めるため、学習する動詞の時制が実際に用いられているニュースや歌詞などを紹介する。また、音楽や映像を通して、ブラジル、ポルトガルの文化に触れる。基本的にweb授業として、オンデマンド教材を元に以下の計画にしたがって進める。履修者の環境にもよるが、zoomなどのリアルタイムで発音チェックや質問を受け付ける予定。		
検索キーワード/Keywords	ブラジル/ポルトガル/イベリア/ヨーロッパ/ロマンス語/ラテン/南欧/南米/サッカー/ファド/サンバ/ボサノバ/カポエイラ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	過去の習慣、思い出を表現する:直説法半過去の用法(1)ブラジル映画を見る	
第2回 Session 2	過去の習慣、思い出を表現する:直説法半過去の用法(2)ブラジル映画を見る	
第3回 Session 3	直説法半過去形と直説法過去形 ブラジルニュース記事を読みましょう	
第4回 Session 4	直説法大過去形の用法 ブラジルニュース記事を読みましょう	
第5回 Session 5	複合過去形を用いた表現:最近の出来事を語る ブラジルのSNSをのぞいてみよう	
第6回 Session 6	過去形のまとめ	
第7回 Session 7	再帰代名詞	
第8回 Session 8	関係代名詞	
第9回 Session 9	時間の表現	
第10回 Session 10	比較級 日本とブラジル(1)	
第11回 Session 11	最上級 日本とブラジル(2)	
第12回 Session 12	命令形、買い物の表現(1)ブラジルの生活 サンパウロ編	
第13回 Session 13	買い物の表現(2)ブラジルの生活 リオデジャネイロ編	
第14回 Session 14	期末試験およびまとめ:応用練習	

授業外学習 Study Required outside Class	ブラジルやポルトガルをはじめとしたポルトガル語圏のニュースに目を向けましょう。サッカーや音楽何でもかまいません。ポルトガル語を理解する事でのみ分かることを探してみましょう。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:武田千香 タイトル:ブラジルのポルトガル語入門 発行所:三省堂 出版年:2001 ISBN:
教科書 Required texts	武田千香『ブラジルのポルトガル語入門』(三省堂、2001)
参考書/Reference books	著者名:池上岑夫ほか タイトル:現代ポルトガル語辞典 発行所:白水社 出版年:1996 ISBN: 著者名:黒沢直俊ほか タイトル:デイリー日葡英・葡日英辞典 発行所:三省堂 出版年:2003 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	池上岑夫ほか『現代ポルトガル語辞典』(白水社、1996) 黒沢直俊ほか『デイリー日葡英・葡日英辞典』(三省堂、2003)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	80%	
	平常レポート／Individual reports(04)	20%	
	備考 Note テストは期末に実施し、授業内での課題を含め総合的に評価を出します。また授業日数2／3以上の出席日数を必須とします。		
更新日時/Date of Update		2020年04月16日 01時33分15秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	4別－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45465001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】朝鮮語初級I 1／Elementary Korean I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	河村 光雅(KAWAMURA MITSUMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	朝鮮語／Korean		
授業目的/Course Purpose	朝鮮語は文法や表現が日本語とよく似ており、学習しやすい外国語だと言われています。ただ、朝鮮語独特の発音や文字(ハングル)があるので、それらに慣れることが朝鮮語学習の第一歩となります。春学期はオンライン授業ということもあり、PC(あるいはスマホ)でハングルを打つ練習もします。		
授業目的(英文) Course Purpose	Korean is, in fact, very similar to Japanese – so it is very quick and easy to pick up. But, in Korean the first step is to learn the alphabet!		
到達目標/Learning Goals	初級1では、ハングル文字の読み書きとハングルのタイピングができるようになることを目標とします。		
到達目標(英文) Learning Goals	At the same time as learning to read & write, and typing of Korean letters.		
授業方法 Course Format	オンライン授業		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	休講	
第2回 Session 2	休講	
第3回 Session 3	イントロダクション。オンライン授業の進め方と評価方法、教材へのアクセスを説明	
第4回 Session 4	1課 母音1	
第5回 Session 5	2課 平音1	
第6回 Session 6	3課 平音2	
第7回 Session 7	4課 末子音パッチムについて	
第8回 Session 8	5課 激音	
第9回 Session 9	6課 濃音	
第10回 Session 10	7課 母音2	
第11回 Session 11	連音化と鼻音化	
第12回 Session 12	8課 「～は～です」	
第13回 Session 13	9課 「～ではありません」	
第14回 Session 14	タイピングのテスト	

授業外学習 Study Required outside Class	授業開始時間から20分以内に出席を取る代わりに課題提出を求めます
---------------------------------------	----------------------------------

教科書/Required texts	著者名:河村光雅 タイトル:韓国語ポイント50 発行所:白水社 出版年:2020 ISBN:978-4-560-01796-8
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	60%	授業毎の課題提出
	その他／Others(99)	40%	出席
	備考 Note 授業中試験(Test conducted in class)		
備考 Note	授業開始までに白水社のHPから教科書の音声ダウンロードを済ませておいてください。 パソコン・スマホで韓国語が打てるようキーボード設定をしておいてください。 スマホを使う人は、PPTとMicrosoft officeのアプリをダウンロードしておいてください。		
URLリンク1/URL 1	https://www.hakusuisha.co.jp/news/n32354.html		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 22時28分51秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	MR－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002206	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IA 6／Introductory English IA		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	クセソ オアナ M. (CUSEN OANA M.)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Intro English IA is an oral communication course for students with low English proficiency or little confidence using spoken English. During the course, students will learn basic strategies for using English in the classroom, have opportunities to engage in listening and conversation practice, improve on English presentation skills, and, by the end of the course, be able to have brief conversations in English.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to employ basic strategies for understanding and using English in the classroom. 2. Students will be able to listen to and have basic comprehension of a variety of different English dialects in a variety of simple conversational contexts. 3. Students will be able to convey simple information about themselves and have simple conversations in English using a wider vocabulary, basic phrases, and formulaic expressions. 4. Students will be able to prepare and deliver short presentations in English on a variety of topics.		
授業方法 Course Format	This course will be conducted online. Instruction will include English listening and speaking activities as well as regular quizzes and homework.		
関連科目/Related Courses	Intro English IB		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions Course overview	
第2回 Session 2	Mini presentations preparation	
第3回 Session 3	Mini presentations	
第4回 Session 4	Vocabulary Quiz #1 Textbook unit activities	
第5回 Session 5	Textbook unit activities	
第6回 Session 6	Speaking test preparation	
第7回 Session 7	Speaking test	
第8回 Session 8	Vocabulary Quiz #2 Textbook unit activities	
第9回 Session 9	Textbook unit activities	
第10回 Session 10	Vocabulary Quiz #3 Textbook unit activities	
第11回 Session 11	Textbook unit activities	
第12回 Session 12	Final presentations preparation	
第13回 Session 13	Final presentations	
第14回 Session 14	Course reflections	

授業計画 Overview for each class	Course sessions listed above are subject to change in accordance to student needs. Students will work in pairs and in groups to complete various types of communicative tasks.
授業外学習 Study Required outside Class	This course will be conducted online, both in an on-demand format and in a simultaneous (two way) format. The first official class will be held on Tuesday April 21st, 2020 at 13:30. Please refer to the LUNA course page for instructions on how to audit the class. https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=183487_1&cmp_tab_id=212354_1&editMode=true&mode=cpview https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=190468_1&cmp_tab_id=219467_1&editMode=true&mode=cpview

教科書/Required texts	著者名: Jack Richards タイトル: Interchange Level 1 発行所: Cambridge 出版年: 2017 ISBN: 9781316620441
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	40% Oral assessment / Presentations 15% Vocabulary quizzes 15% Homework 30% Participation and class work
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 23時10分54秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G－227

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002409	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IB 9／Introductory English IB		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ハーバート 久代(HERBERT HISAYO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop reading skills and review basic grammar. During the course, students will also practice vocabulary and engage in activities to build basic reading fluency. Furthermore, reading beginner-level graded readers inside and outside of the classroom will be required. Students are expected to work hard to build up their study skills particularly for English learning and to reach a basic understanding of written English.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following.		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand short, beginner-level passages thoroughly 2. Students will be able to understand facts and principles of basic but longer texts 3. Students will be able to achieve basic reading fluency (graded reader level 0 (starters)+, 120+ wpm) 4. Students will be able to acquire automatic syntactic parsing in simple passages 5. Students will be able to improve phonological awareness of written texts		
授業方法 Course Format	オンライン授業		
関連科目/Related Courses	Intro English IA		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction	休講のため課題を課す (詳細はLUNA参照)
第2回 Session 2	Textbook activities/Be-verbs	休講のため課題を課す (詳細はLUNA参照)
第3回 Session 3	Textbook activities/Simple present tense	課題はLUNA参照
第4回 Session 4	Textbook activities/Simple past tense	課題はLUNA参照
第5回 Session 5	Textbook activities/Questions	課題はLUNA参照
第6回 Session 6	Extra Reading	課題はLUNA参照
第7回 Session 7	Extra Reading	課題はLUNA参照
第8回 Session 8	Extra Reading	課題はLUNA参照
第9回 Session 9	Textbook activities/Modals	課題はLUNA参照
第10回 Session 10	Textbook activities/Sentence patterns	課題はLUNA参照
第11回 Session 11	Textbook activities/Present continuous	課題はLUNA参照
第12回 Session 12	Textbook activities/Future tense	課題はLUNA参照
第13回 Session 13	Review	課題はLUNA参照
第14回 Session 14	Review Test	

授業外学習 Study Required outside Class	Refer to LUNA for specific information. 各回の課題については教員からの指示に従ってください。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名:角山照彦、Simon Capper タイトル:Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語 発行所:成美堂 出版 年:2016 ISBN:9784791912841
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 40% Assignments 40% Tests 20%
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 20時01分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002603	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IIA 3／Introductory English IIA		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ロウ サイモン(ROWE SIMON CHARLES)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Intro English IIA is an English language communication course for students with low English proficiency or little confidence using spoken English. Building on the skills acquired in Intro English IA, students will further develop strategies for using English online. Students will therefore develop listening, reading and writing skills, in addition to learning new vocabulary, and expanding their knowledge of the world around them, using online resources.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to use ‘English strategies’ for communicating with their the teacher online. 2. Students will be able to research, write and present projects in English using online capabilities.		
授業方法 Course Format	Online study program: Topic-based tasks, grammar, vocabulary focus, writing practice and self-study tasks (listening/viewing).		
関連科目/Related Courses	Intro English IIB		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION BELOW MAY CHANGE Week 1: Make contact with instructor (Simon Rowe)	Students need to access the online course website and send a Google form to the course instructor, Simon Rowe. Course website URL can be found below at シラバス付加情報
第2回 Session 2	Textbook unit activities	
第3回 Session 3	Vocabulary Quiz #1 Vocabulary activities	
第4回 Session 4	Textbook unit activities	
第5回 Session 5	Textbook unit activities	
第6回 Session 6	Vocabulary Quiz #2 Vocabulary activities	
第7回 Session 7	Textbook unit activities	
第8回 Session 8	Textbook unit activities	
第9回 Session 9	Vocabulary Quiz #3 Vocabulary activities	
第10回 Session 10	Final project introduction	
第11回 Session 11	Final project preparation	
第12回 Session 12	Final project preparation	
第13回 Session 13	Final project presentations	
第14回 Session 14	Course reflections	

授業計画 Overview for each class	Course sessions listed above are subject to change in accordance to student needs. Students will work in pairs and in groups to complete various types of communicative tasks.
授業外学習 Study Required outside Class	Homework includes assignments, project work, and memorizing vocabulary.

教科書/Required texts	著者名: Martin Milner タイトル: World English 1 Second Edition 発行所: National Geographic Learning 出版年: 2015 ISBN: 9781305089549
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	35% Projects and tasks, 15% Vocabulary quizzes, 50% Online homework
URLリンク1/URL 1	https://sites.google.com/view/simon-rows-classes		
更新日時/Date of Update	2020年04月22日 17時00分56秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002605	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IIA 5／Introductory English IIA		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	エバリー リディア(EBERLY LYDIA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Intro English IIA is an oral communication course for students with low English proficiency or little confidence using spoken English. Building on the skills acquired in Intro English IA, students will further develop strategies for using English in the classroom, have opportunities to engage in listening and conversation practice, improve on English presentation skills, and be able to have more complex conversations in English.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to use ‘classroom English strategies’ for communicating with their classmates and the teacher. 2. Students will be able to listen to and have deep comprehension of a variety of different English dialects in a variety of complex conversational contexts. 3. Students will be able to use a wider range of vocabulary, phrases, and formulaic expressions to discuss everyday topics and textbook themes, both in conversation and in presentations. 4. Students will be able to collaborate on projects and present their work in English.		
授業方法 Course Format	Instruction will include English listening and speaking activities as well as regular quizzes and homework. This course will be conducted online.		
関連科目/Related Courses	Intro English IIB		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions Course overview	
第2回 Session 2	Textbook unit activities	
第3回 Session 3	Vocabulary Quiz #1 Vocabulary activities	
第4回 Session 4	Textbook unit activities	
第5回 Session 5	Textbook unit activities	
第6回 Session 6	Vocabulary Quiz #2 Vocabulary activities	
第7回 Session 7	Textbook unit activities	
第8回 Session 8	Textbook unit activities	
第9回 Session 9	Vocabulary Quiz #3 Vocabulary activities	
第10回 Session 10	Final project introduction	
第11回 Session 11	Final project preparation	
第12回 Session 12	Final project preparation	
第13回 Session 13	Final project presentations	
第14回 Session 14	Course reflections	

授業計画 Overview for each class	Course sessions listed above are subject to change in accordance to student needs. Students will work in pairs and in groups to complete various types of communicative tasks.
授業外学習 Study Required outside Class	Homework includes assignments, project work, and memorizing vocabulary.

教科書/Required texts	著者名: Martin Milner タイトル: World English 1 Second Edition 発行所: National Geographic Learning 出版年: 2015 ISBN: 9781305089549
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	40% Projects and tasks 15% Vocabulary quizzes 15% Homework 30% Participation and class work
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 20時37分33秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45038001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(TOEIC) 1／Skills-based English(TOEIC)		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	チャン M. J. (CHANG MARY)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about and practice for the TOEIC exam.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. choose statements that best describe a picture. 2. understand appropriate responses for simple everyday spoken questions and statements. 3. understand questions asked about the content of conversations and short talks given by a single speaker. 4. understand how to complete incomplete sentences. 5. recognize collocations and fixed/semi-fixed expressions applicable to business e-mails and letters.		
授業方法 Course Format	APRIL 2020 UPDATE: Some lessons at the start of the semester will be conducted online. Students will NEED access to a computer at home (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. Desktop, laptop, notebook, Macbook, etc, are fine. Students should also have a Google account and sign up for Google Drive and Google Classroom (both are for free). To access the online materials, email me (mjchang@kwansei.ac.jp) for the class code. ~~~~~ This course will include discussion, presentation, and pair work.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions & Ice-breakers Course Policies & Class Plans	1-2 hours
第2回 Session 2	Quiz & Vocabulary Journals	1-2 hours
第3回 Session 3	Practice Test 1	1-2 hours
第4回 Session 4	Listening Skills – Short Conversations	1-2 hours
第5回 Session 5	Listening Skills – Long Talks	1-2 hours
第6回 Session 6	Listening & Inferring	1-2 hours
第7回 Session 7	Practice Listening Test	1-2 hours
第8回 Session 8	Grammar in Context	1-2 hours
第9回 Session 9	Reading Speed & Comprehension	1-2 hours
第10回 Session 10	Practice Reading Test	1-2 hours
第11回 Session 11	Vocabulary Journals & Discussions	1-2 hours
第12回 Session 12	Testing Strategies	1-2 hours
第13回 Session 13	Final Test Part 1	1-2 hours
第14回 Session 14	Final Test Part 2	1-2 hours

授業計画 Overview for each class	Class sessions listed above are subject to change in accordance to the student needs, the shortened university calendar, and the online format. Students will need to check the class Google Classroom site for updates regarding online assignments and due dates.
---------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名: Grant Trew タイトル: Tactics for the TOEIC Test: Listening and Reading Test Introductory Course 発行所: OXFORD University Press 出版年: 2017 ISBN: 978 019 452976 1
--------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	30% Participation, 30% Homework, 30% Tests/Quizzes, 10% in-class practice
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 13時25分54秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45039002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(IELTS) 2／Skills-based English(IELTS)		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	サキヤ ジョン(SYQUIA JOHN)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about and practice for the IELTS exam.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn about and practice for the IELTS exam.		
到達目標/Learning Goals	Students will be able to: 1. Understand the requirements of each section of the IELTS exam. 2. Take notes of difficult listening or reading texts and be able to respond to comprehension questions. (IELTS Reading and Listening sections). 3. Write a descriptive paragraph about a provided image or chart. (IELTS writing task 1). 4. Write a short opinion essay about a provided topic. (IELTS writing task 2). 5. Speak about a variety of topics individually and in a discussion. (IELTS Speaking section parts 1, 2, and 3).		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. Understand the requirements of each section of the IELTS exam. 2. Take notes of difficult listening or reading texts and be able to respond to comprehension questions. (IELTS Reading and Listening sections). 3. Write a descriptive paragraph about a provided image or chart. (IELTS writing task 1). 4. Write a short opinion essay about a provided topic. (IELTS writing task 2). 5. Speak about a variety of topics individually and in a discussion. (IELTS Speaking section parts 1, 2, and 3).		
授業方法 Course Format	Each class will focus on one or two skills that are necessary for the IELTS test. Students will be expected to come to class having completed their homework and studied vocabulary words for the week. There will be an online component to this course. Please see Luna for further details.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	introduction; Unit 1 – speaking	Online class type is a mixture of on-demand and simultaneous interactive. To audit the first class please download Google Classroom and join using class code: hzy5psx
第2回 Session 2	Unit 1 – reading	at least one hour
第3回 Session 3	Unit 2 – listening	at least one hour
第4回 Session 4	Unit 2 – writing	at least one hour
第5回 Session 5	Unit 3 – reading	at least one hour
第6回 Session 6	Unit 3 – speaking	at least one hour
第7回 Session 7	Unit 4 – listening	at least one hour
第8回 Session 8	Unit 4 – writing	at least one hour
第9回 Session 9	Unit 5 – reading	at least one hour
第10回 Session 10	Unit 5 – speaking	at least one hour
第11回 Session 11	Unit 6 – listening	at least one hour
第12回 Session 12	Unit 6 – writing	at least one hour
第13回 Session 13	Review	at least one hour
第14回 Session 14	Final test	at least one hour

教科書/Required texts	著者名: Hallows; Lisboa; Unwin タイトル: IELTS Express Intermediate Coursebook, Second Edition 発行所: National Geographic/Cengage 出版年: 2013 ISBN: 9781133313069 著者名: Hallows; Lisboa; Unwin タイトル: IELTS Express Intermediate Workbook, Second Edition 発行所: National Geographic/Cengage 出版年: 2013 ISBN: 9781133313014
--------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	50% homework; 20% final test; 15% quizzes; 15% active participation
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 15時59分06秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45111003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Language and Communication 3／Language and Communication		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	コンドン バリイ(CONDON BARRY CHRISTOPHER)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Subtitle: Visual Communication This course will explore the development of visual language and expression from the earliest cave drawings to the plethora of imagery encountered in daily modern life. Major milestones in painting, photography, film and graphic design will be examined with reference to the impact they have had on present-day communications.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. confidently engage in academic-level discussions on a variety of topics relating to the course content 2. design and undertake individual and team-based projects 3. present their research effectively in an academic forum		
授業方法 Course Format	This course will be conducted through a series of short lectures and seminars. Students will be expected to participate actively in discussions, deliver presentations and submit written assignments. There will be a strong emphasis on pair and group work throughout the course. Due to the circumstances surrounding COVID-19, this course will include an online element. *****Please check your email regularly (abc123456@kwansei.ac.jp)*****		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Course outline, introductions and expectations	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第2回 Session 2	Milestones in Visual Communication 1	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第3回 Session 3	Milestones in Visual Communication 2	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第4回 Session 4	Milestones in Visual Communication 3	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第5回 Session 5	Photography 1	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第6回 Session 6	Photography 2	Review classwork (45 mins) Prepare for presentation (1 hour)
第7回 Session 7	Project Submission and Presentation	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第8回 Session 8	Advertising 1	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第9回 Session 9	Advertising 2	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第10回 Session 10	Nothing is real anymore – Digital manipulation	Review classwork (45 mins) Prepare for next session (45 minutes)
第11回 Session 11	Graphic Design	Review classwork (45 mins) Prepare for presentation (1 hour)
第12回 Session 12	Film 1	Review classwork (45 mins) Prepare for presentation (1 hour)
第13回 Session 13	Film 2	Prepare for next session (45 minutes) Prepare for presentation (1 hour)
第14回 Session 14	Project Submission and Presentation	Ongoing study

授業外学習 Study Required outside Class	Much of this course will be conducted online using Zoom for live sessions and Google Classroom as a learning management system. Please sign up for the L&C 3 Google Classroom. Please download the Zoom app. The first session will be held using Zoom on Tuesday, April 21st at 13:30. Please download the app. Please check Google Classroom for more details.
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	The teacher will provide materials for this class. No textbook is required.		
成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 40%, Projects 30%, Presentations 30%
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 22時18分38秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	4別－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45111007	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター/Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Language and Communication 7/Language and Communication		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	カニンハム S. (CUNNINGHAM STUART)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語/English		
授業目的/Course Purpose	This course will allow students to improve their understanding of the evolution of the English Language from the earliest beginnings to today through an examination of the literature. This course will only examine literature from England, not from other English-speaking cultures.		
授業目的(英文) Course Purpose	The sub-heading of this course is – The History of English Literature		
到達目標/Learning Goals	Students will be able to identify and discuss the major works of literature in the English language. Students will be able to recognize English from different historical periods. Students will be able to comprehend a general understanding of the history of English literature and how this impacted modern English.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to discuss major works of English literature.		
授業の概要・背景 Course Outline	A central part of this course involves reading or listening to stories and thinking about characters.		
授業方法 Course Format	Group work and/or pair work. Lecture style – there will be a brief 15–20 minute lecture at the start of each class.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions Course overview and expectations.	Review class
第2回 Session 2	Old English Literature – the earliest stories. This period is c. 650–1066. These stories are usually about war and fighting monsters.	Update notebook from class notes.
第3回 Session 3	Medieval Literature – sometimes called Middle English Literature. The period 1066–1510 sees everyday people start appearing in stories.	Update notebook from class notes.
第4回 Session 4	The English Renaissance – Shakespeare arrives. The period 1510–1690 sees English reach dizzying heights.	Update notebook from class notes.
第5回 Session 5	Augustan Literature – the first novels appear. The period 1690–1780 is the first time the literature becomes recognizable.	Update notebook from class notes.
第6回 Session 6	The Romantics – lots of poetry about love and nature. The period 1780–1830 defines what later generations would call “romantic”.	Update notebook from class notes.
第7回 Session 7	The Victorians – when England ruled the world. The period 1830–1900 sees the British Empire dominate the world, and the literature reflects this confidence.	Update notebook from class notes. Prepare for test.
第8回 Session 8	Mid-term test	Update notebook from class notes.
第9回 Session 9	Early Twentieth Century – early science fiction appears. The period 1900–1920 sees novelists become professional.	Update notebook from class notes.
第10回 Session 10	Mid-twentieth Century – the horror of The First World War. The period 1920–1945 is dominated by literature about the war.	Update notebook from class notes.
第11回 Session 11	Late Twentieth century – postmodernism. The period 1945–2000 sees the appearance of some very strange ways of telling a story.	Update notebook from class notes.
第12回 Session 12	Early Twenty-first Century – stories about us. The period 2000–2020 involves lots of stories that are obviously about events we find important.	Update notebook from class notes.
第13回 Session 13	Review – your chance to ask about anything you are not sure of in any of the classes before. A review of all the classes and a discussion of some general themes.	Hand in notebook during class. The teacher will check each notebook during class and students will have the notebooks to take home so that they can prepare for the final test.
第14回 Session 14	Final test	

教科書 Required texts	No text required
-----------------------	------------------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	See below
	備考 Note Mid-term test 20% Final Test - 25% Participation (not attendance) - 25% Notebook (including the reading task) - 30%		
更新日時/Date of Update		2020年01月16日 17時34分37秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	II－212

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45230001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】基礎ドイツ語I 1／Basic German I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西田 隆雄(NISHIDA TAKAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、受講生がドイツ語の初歩のコミュニケーション能力を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to communicate in German (Introductory Level).		
到達目標/Learning Goals	本授業では、受講生が挨拶や自己紹介など、日常生活に必要なドイツ語での初歩のコミュニケーションができるようになることを到達目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to communicate by using introductory level German expressions for daily life, greetings and self-introduction.		
授業の概要・背景 Course Outline	第3外国語としてのドイツ語。週1回だけの授業。1単位。		
授業方法 Course Format	教材を総合的に学習する。ビデオを見たり録音を聞いたりしながら学ぶ。随時、書き取り・独作文・パートナー練習を行なう。		
検索キーワード/Keywords	語彙 文法 表現 コミュニケーション 第3外国語		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4月21日火曜。受講(希望)生は、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。どのようにオンライン授業をするか、個別に説明します。 nishida.erasmus@kwansei.ac.jp ドイツ語の発音。アルファベート。簡単な挨拶。	Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 4月21日火曜に授業を開始する。Zoom招待状を授業直前に受講生にメールで送る。
第2回 Session 2	4月28日火曜。受講(希望)生は、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。どのようにオンライン授業をするか、個別に説明します。 nishida.erasmus@kwansei.ac.jp ドイツ語の発音。アルファベート。簡単な挨拶。教科書第1課シーン1。	Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 4月21日火曜に授業を開始する。Zoom招待状を授業直前に受講生にメールで送る。
第3回 Session 3	5月12日火曜。受講(希望)生は、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。どのようにオンライン授業をするか、個別に説明します。(5月5日は授業日ではない) nishida.erasmus@kwansei.ac.jp 教科書第1課シーン1の復習とシーン2。	Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 4月21日火曜に授業を開始する。Zoom招待状を授業直前に受講生にメールで送る。

授業計画 Overview for each class	第1回目 どのようにドイツ語を勉強すべきか、ドイツ語の発音1、数 第2回目 ドイツ語の発音2、挨拶 第3回目以降はつぎの順で授業を進める。 (L1) 文法「動詞の現在人称変化1ー規則動詞、seinの現在人称変化、100までの数」、会話表現「挨拶と自己紹介」 (L2) 文法「名詞の性、定冠詞、不定冠詞、否定冠詞、所有冠詞、1・4格、habenの現在人称変化」、会話表現「ミュンヘン市内観光と訪問」 (L3) 文法「動詞の現在人称変化2ー不規則動詞、名詞の複数形」、会話表現「学生たちの共同生活と買い物」 ドイツ名作映画を鑑賞する。また、最終回の授業では試験を行なう。
授業外学習 Study Required outside Class	緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 受講生は授業に集中してドイツ語を学習する。家庭学習は、予習1時間・復習1時間、合計2時間程度が必要である。さらに、夏休みと春休みの長期休暇中は、学んだことの復習が必要である。 Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。受講生は、Zoomをダウンロードして、パソコンにインストールしておくこと。さらにアカウント作成すること。授業開始10分前に、Zoomミーティングの招待メールを全受講生に送る。技術上の問題があり、Zoomによる授業を受けられなかった学生は、当日中にメールで西田まで連絡すること。 緊急連絡先は nishida.erasmus@kwansei.ac.jp です。コロナ・パンデミックによる非常事態です。だから遠慮無用です。困ったことがあれば、ご連絡ください。

教科書/Required texts	著者名:関口一郎 タイトル:ハローミュンヘン, Version II 発行所:白水社 出版年:2013 ISBN:
参考書/Reference books	著者名:在間進 タイトル:アクセス独和辞典 発行所:三修社 出版年:2013 ISBN:
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	提出課題により評価を出す。
備考 Note	基礎ドイツ語履修希望者への説明 言語センターの「基礎ドイツ語」は、ドイツ語を第3外国語として学ぶことを希望する全学部生が受講できます。以下に重要なことを説明します。 1. 週1回の授業で、授業外学習は約2時間程度必要。 2. 授業で行なう口頭・筆記練習に積極的に参加する。 3. 間違えることを恐れない。人間は間違える動物である。 4. ドイツ語とドイツ文化に関心を持つ。 5. (各自学生が所属する学部でフランス語やスペイン語などのヨーロッパの言語を第2外国語として選択した1年生に対して。2年生以上は問題ない。) 「基礎ドイツ語」を同時に履修することは、好ましくない。2つの類似した言語を同時に学習開始することは、学習上の混乱をもたらす。両方の言語習得に失敗する。 6. (各自学生が所属する学部でドイツ語を第2外国語として選択した2年生以上の学生に対して) 「飛び級制度(先修条件からの除外)」により「基礎ドイツ語3(春学期)」と「基礎ドイツ語4(秋学期)」を受講することが望ましい。 7. (各自学生が所属する学部でドイツ語を第2外国語として選択した1年生にとって)本授業開講の趣旨からはずれるが、ドイツ語習得のためには有意義になる。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 20時05分25秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G-309

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45380001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】スペイン語初級I 1／Elementary Spanish I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ムニョス M. J. (MUNOZ MARIA JOSE GONZALEZ)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	スペイン語／Spanish		
授業目的/Course Purpose	学生が日常的な表現の口頭練習を通して、会話、聞き取り練習、応用を行い、基礎的なスペイン語の表現を理解できる。 簡単な表現を用いて話せる。 聞く・話す・読む・書くの4技能をバランスよく習得することを目指す。 言語習得の文化的要表を考慮して、スペインとラテンアメリカのスペイン語の特徴を理解できる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to attain a level of basic Spanish through the study and practice of basic vocabulary and expressions. In class, we will develop the four essentials language skills, listening, speaking, reading and writing in a balanced manner at an elementary level.		
到達目標/Learning Goals	スペイン語の基本的な表現を使うことができる。 口語表現に親しみ、自らの気持ちや考えを伝えることができる。 スペインとラテンアメリカの文化について基本的な事項を説明できる。 スペイン語圏の社会に対する理解を深められるようにする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. use basic expressions in Spanish. 2. get acquainted with basic conversational Spanish. 3. be able to express their own feelings and opinions. 4. have a basic understanding of the culture of Spain and Latin American countries. 5. deepen their understanding of Spanish and Latin American society.		
授業方法 Course Format	授業はテキストに沿って 第一部、会話、表現、練習問題、アクティビティ、コラムで、単語を増やす。 スペイン語諸国の文化や日常生活を紹介するビデオ教材を見たり、一人ひとりのレベルに合わせて、楽しく会話能力を高める。 教科書の第1週から第15週 まで学びます。		
関連科目/Related Courses	スペイン語初級 I 2 スペイン語中級 I		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	イントロダクション スペイン語に親しむ 自己紹介、1から10までの数詞	Bienvenidos a la clase de español. ¿Podéis escribir esta ficha de información personal de Google Forms y enviármela? (Submit this Google Forms) https://forms.gle/EZyPNR3mw8LGWwt66 Ésta es la tarea para hoy (This is today's task): Mira este Google Slides: https://docs.google.com/presentation/d/1ek3dI0o8_w-jazE6c0goYQGxn0YBc6 (Sound in slides is unfortunately NOT available now) Después, completa este documento y entrégalo antes de la medianoche de hoy. (Complete this form and submit it today before midnight!) https://forms.gle/z6JXsENbE5KcCDjZ7 Gracias. Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第2回 Session 2	スペイン語の音と綴りに慣れる	¡Hola! ¿Qué tal? Hoy vamos a ver un poco de geografía de los países que hablan español. (Geography of Spanish speaking countries) Mira este video: https://youtu.be/ow8ldSyNfLI Mira el libro de texto AVENTURA (front back cover: Spain/ back cover: Latin America) Ahora, mira la página 10 del libro de texto Aventura. Do these exercises from our Aventura Textbook, Lesson 1: page 10 : Ejercicios 1 y 2 page 11: Ejercicios 3 y 4 page 12: Ejercicios 5.1) y 5.2) page 13: Read Ejercicio 6 ¡Buena suerte! (Good luck!) *****NOTA IMPORTANTE*****

		After Golden Week, from May 12th, we will meet online in Microsoft Teams. Please wait until I send you a link to join our Team! María-José Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第3回 Session 3	動詞の人称変化を理解する	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第4回 Session 4	-ar動詞の活用、直説法現在の用法 教員学生間対話シートの実施	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第5回 Session 5	名詞と冠詞の性数一致を理解する	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第6回 Session 6	疑問詞を使って質問をする	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第7回 Session 7	-er動詞の活用	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第8回 Session 8	前置詞を使って文章を作る	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第9回 Session 9	-ir動詞の活用	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第10回 Session 10	1週から9週までの復習、総合練習	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第11回 Session 11	ser動詞と形容詞の性数一致を理解する	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第12回 Session 12	ser動詞を使って表現を広げる	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第13回 Session 13	状態・感情・所在・存在の表現を学ぶ	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第14回 Session 14	指示形容詞、指示代名詞、副詞	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第15回 Session 15	10週から14週の復習、総合練習	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.

授業外学習 Study Required outside Class	毎回、学習した内容に関する復習しておくこと。 授業で使う資料は、かならず目を通しておくこと。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名：立岩礼子、マリア・ホセ ゴンサレス タイトル：『Aventura』 発行所：同学社 出版年：2019 ISBN：978-4-8102-0378-3 C1087
教科書 Required texts	『Aventura』（同学社 2019）、プリントなど用意します。
参考文献・資料 Reference books	西和／和西適切な辞書が必要です。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	授業中試験 70%、授業内アクティビティ 30%
	備考 Note 授業中試験 70%、授業内アクティビティ 30%。		
備考 Note	西和／和西辞書が必要です。 授業欠席回数の限度は、3回までとなっています。		
添付ファイル1/File Attachment 1	Aventura Textbook Cover.png	説明1/Explanation 1	Textbook cover for students reference
添付ファイル2/File Attachment 2	Aventura Clase Guidelines.pdf	説明2/Explanation 2	Class Guidelines – How much can you understand? Use a dictionary!
URLリンク1/URL 1	https://docs.google.com/presentation/d/1ek3dl0o8_w-jazE6c0goYQGxn0YBc6_z_ooPDjk57MU/edit?usp=sharing		
URLリンク2/URL 2	https://forms.gle/EZyPNR3mw8LGWwt66		
URLリンク3/URL 3	https://youtu.be/ow8ldSyNfLI		
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 22時22分04秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G－102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45425001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】アラビア語初級Ⅱ 1／Elementary Arabic II		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	村田 靖子(MURATA YASUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、基本文法を習得することである。(アラビア語初級Ⅰ受講者対象。初心者は受講できません。)		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic grammar. Not for beginners.		
到達目標/Learning Goals	基以下の項目を授業の目標として設定します。 1 基本文法に基づき文を書くことができる 2 やさしい文が理解できる 3 かんたんな会話が理解できる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. write sentences based on the basic grammar. 2. read easy sentences. 3. understand basic conversations.		
授業方法 Course Format	この授業では、テキストの各単元で新出した文法事項の解説を中心とする。解説の後、練習問題を解くことで身につける。 【オンライン授業】オンデマンド配信します。4月21日よりLUNAにファイルをアップしますので、なるべく本来の講義の日にアクセスして確認してください。毎回課題を出し、提出をもって出席とします。		
検索キーワード/Keywords	アラビア語		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	春学期の復習、冠詞の使い方 Review, usage of article.	
第2回 Session 2	名詞と形容詞1 Noun and adjective	
第3回 Session 3	名詞と形容詞2 Noun and adjective	
第4回 Session 4	名詞の性、格変化(三段変化名詞) Gender, declension of nouns (three cases)	
第5回 Session 5	名詞の格(二段変化名詞) Declension of nouns (diptote)	
第6回 Session 6	倒置表現 There is ...	
第7回 Session 7	「持つ」の表現 I have ...	
第8回 Session 8	人称代名詞(単数) Personal pronouns	
第9回 Session 9	指示代名詞(単数) Demonstrative pronouns	
第10回 Session 10	イダーファ1 Genitive	
第11回 Session 11	イダーファ2 Genitive	
第12回 Session 12	代名詞と前置詞 Pronouns and prepositions	
第13回 Session 13	動詞の活用 完了形(単数) Verb: the perfect	
第14回 Session 14	動詞の活用 未完了形(単数) Verb: the imperfect	

授業外学習 Study Required outside Class	なるべく欠席しないこと。毎回の課題を必ずやってくること。 【オンライン授業】オンデマンド配信します。4月21日よりLUNAにファイルをアップしますので、なるべく本来の講義の日にアクセスして確認してください。毎回課題を出し、提出をもって出席とします。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	プリント配布。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	授業態度、小テスト
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 09時46分52秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G-IS208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45475001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】朝鮮語初級Ⅲ 1／Elementary Korean III		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	河村 光雅(KAWAMURA MITSUMASA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	朝鮮語／Korean		
授業目的/Course Purpose	初級3では、初級1, 2で習ったことを踏まえ、朝鮮語の基礎文法を完成させます。		
授業目的(英文) Course Purpose	You will master basic Korean grammar in this class.		
到達目標/Learning Goals	未来の表現、連体形、接続詞などの文法事項を学習します。		
到達目標(英文) Learning Goals	To study a wide range of grammatical forms including: how to express the future, modifiers and conjunctions		
授業方法 Course Format	オンライン授業。課題の提出と添削で授業を進めていきます。授業を受けるためには、パソコンあるいはスマホでハングルが打てなければなりません。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	休講	
第2回 Session 2	休講	
第3回 Session 3	イントロダクション。次回授業のための課題を配布。	
第4回 Session 4	意志・推量の表現	
第5回 Session 5	指示と禁止の表現	
第6回 Session 6	勧誘の表現	
第7回 Session 7	「～している」「～したい」	
第8回 Session 8	目的・計画の表現	
第9回 Session 9	連用形	
第10回 Session 10	補助動詞	
第11回 Session 11	形容詞・動詞の副詞形	
第12回 Session 12	動詞の連体形	
第13回 Session 13	変則活用(t変則とs変則)	
第14回 Session 14	形容詞の連体形とp変則	

授業外学習 Study Required outside Class	毎回、次回授業までの課題として文法説明に目を通し、語彙を20個覚え、文法理解の確認問題を事前にやっておいてください。授業冒頭に語彙と文法理解を確認する問題を提出しますので、その解答を授業開始時間から20分以内に提出することで出席とみなします。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	プリント教材
-----------------------	--------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	60%	授業毎の課題提出
	その他／Others(99)	40%	出席
備考 Note	パソコン・スマホで韓国語が打てるようキーボード設定をしておいてください。 スマホを使う人は、PPTとMicrosoft officeのアプリをダウンロードしておいてください。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 23時22分43秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	MR－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002403	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IB 3／Introductory English IB		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ハーバート 久代(HERBERT HISAYO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop reading skills and review basic grammar. During the course, students will also practice vocabulary and engage in activities to build basic reading fluency. Furthermore, reading beginner-level graded readers inside and outside of the classroom will be required. Students are expected to work hard to build up their study skills particularly for English learning and to reach a basic understanding of written English.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following.		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to understand short, beginner-level passages thoroughly 2. Students will be able to understand facts and principles of basic but longer texts 3. Students will be able to achieve basic reading fluency (graded reader level 0 (starters)+, 120+ wpm) 4. Students will be able to acquire automatic syntactic parsing in simple passages 5. Students will be able to improve phonological awareness of written texts		
授業方法 Course Format	オンライン授業		
関連科目/Related Courses	Intro English IA		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction	休講のため課題を課す (詳細はLUNA参照)
第2回 Session 2	Textbook activities/Be-verbs	休講のため課題を課す (詳細はLUNA参照)
第3回 Session 3	Textbook activities/Simple present tense	課題はLUNA参照
第4回 Session 4	Textbook activities/Simple past tense	課題はLUNA参照
第5回 Session 5	Textbook activities/Questions	課題はLUNA参照
第6回 Session 6	Extra reading	課題はLUNA参照
第7回 Session 7	Extra reading	課題はLUNA参照
第8回 Session 8	Extra reading	課題はLUNA参照
第9回 Session 9	Textbook activities/Modals	課題はLUNA参照
第10回 Session 10	Textbook activities/Sentence patterns	課題はLUNA参照
第11回 Session 11	Textbook activities/Present continuous	課題はLUNA参照
第12回 Session 12	Textbook activities/Future tense	課題はLUNA参照
第13回 Session 13	Review	課題はLUNA参照
第14回 Session 14	Review Test	

授業外学習 Study Required outside Class	Refer to LUNA for specific information. 各回の課題については教員からの指示に従ってください。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名:角山照彦、Simon Capper タイトル:Let's Read Aloud & Learn English! 音読で始める基礎英語 発行所:成美堂 出版年:2016 ISBN:9784791912841
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Participation 40% Assignments 40% Tests 20%
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 21時22分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45031101	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(Speaking & Listening)L1 1／Skills-based English(Speaking & Listening)L1		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	エバリー リディア(EBERLY LYDIA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop a grasp of conversation and presentation basics, allowing them to feel comfortable performing a variety of tasks in English in small groups.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. converse about academic subjects with only occasional pauses. 2. identify the main ideas of academic speeches, presentations, and films. 3. understand and utilize basic presentation skills with effective visual aids. 4. work with team members entirely in English for large-scale projects. 5. contribute to class discussions in English.		
授業方法 Course Format	Students will engage in discussions with partners and small groups, make presentations, debate, and use English for communicative tasks. As part of online instruction, students will participate in online discussions, create videos, and do listening exercises with online audio and video resources.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Self-Introductions	(Update 4/7) Check your KGU e-mail. Further instructions coming soon. Extensive Listening Journal – 30 minutes
第2回 Session 2	Discussion Activities Prepare for Presentation 1	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第3回 Session 3	Discussion Activities Presentation 1	Extensive Listening Journal – 30 minutes Practice for Presentation – 30 minutes
第4回 Session 4	Unit 1: Small Actions, Big Results	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第5回 Session 5	Unit 1: Small Actions, Big Results	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第6回 Session 6	Unit 1: Small Actions, Big Results	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第7回 Session 7	Unit 2: Connecting to Nature	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第8回 Session 8	Unit 2: Connecting to Nature Speaking Test 1	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第9回 Session 9	Unit 2: Connecting to Nature	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第10回 Session 10	Unit 3: Going Places	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第11回 Session 11	Unit 3: Going Places	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第12回 Session 12	Unit 3: Going Places Presentation 2	Extensive Listening Journal – 30 minutes Prepare for presentations – 1 hour
第13回 Session 13	Unit 4: Music, Music Everywhere	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第14回 Session 14	Unit 4: Music, Music Everywhere	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第15回 Session 15	Unit 4: Music, Music Everywhere	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第16回 Session 16	Speaking Test 2 Unit 5: Give Thanks	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第17回 Session 17	Unit 5: Give Thanks	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第18回 Session 18	Unit 5: Give Thanks	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第19回 Session 19	Unit 6: Tell Me Why. . .	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第20回 Session 20	Presentation 3 Unit 6: Tell Me Why. . .	Extensive Listening Journal – 30 minutes Prepare for presentations – 1 hour
第21回 Session 21	Unit 6: Tell Me Why. . .	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第22回 Session 22	Unit 7: The Livable City	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第23回 Session 23	Unit 7: The Livable City	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第24回 Session 24	Speaking Test 4 Unit 7: The Livable City	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第25回 Session 25	Unit 8: Life Lessons	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第26回 Session 26	Unit 8: Life Lessons	Extensive Listening Journal – 30 minutes
第27回 Session 27	Unit 8: Life Lessons	Extensive Listening Journal – 30 minutes

第28回 Session 28	Final Presentations	Prepare for Presentations – 2 hours
--------------------	---------------------	-------------------------------------

教科書/Required texts	著者名:Lida Baker & Laurie Blass タイトル:21st Century Communicatin Listening, Speaking and Critical Thinking 1 発行所: National Geographic Learning 出版年:2017 ISBN:9781337275804
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Vocabulary Tests 20%, Conversation Tests 20%, Projects and Presentations 20%, Participation 20%, Homework 20%
更新日時/Date of Update	2020年04月21日 02時22分25秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	4別－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45033701	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(Reading)L3 1／Skills-based English(Reading)L3		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ギャンブル C. W. (GAMBLE CRAIG WALLIS)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to improve their reading ability, particularly at an academic level, by employing various strategies for comprehending difficult academic texts.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. employ general academic reading skills at a near-native level. 2. express opinions on challenging texts. 3. monitor and correct their reading weaknesses without instructor-guidance. 4. employ guessing strategies that allow for better comprehension of academic texts.		
授業方法 Course Format	Due to COVID-19, this class will begin online and will only return to the actual classroom if KGU approves. Otherwise, it will be a completely online course. Students will NEED access to a computer at home (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. Desktop, laptop, notebook, Macbook, etc, are fine. Students should also have a Google account and sign up for Google Drive and Google Classroom (both are for free). In order to maximize the use of class time, students will complete all reading assignments at home, then engage in pair and group work, discussion, and presentation activities in class. This course will center around 'literature circles', in which students will read and discuss a common book with their group.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION IS SUBJECT TO CHANGE AT THE TEACHER'S DISCRETION Course overview; discussion of teacher's expectations.	1. students need to email their instructor, Craig Gamble (see Luna course) 2. students need to sign up for a Google GMAIL account 3. students need to access and join the course website 4. student need to complete class survey (approx. 30 minutes). **course website and other files can be found below under シラバス付加情報
第2回 Session 2	Reading strategy 1; Literature circle 1 formation and choice of first book.	1. Reading strategy 1 2. Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours). 3. students need to regular check course website and make email contact with their teacher
第3回 Session 3	Reading strategy 1; Literature circle 1 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours). Students will check online website
第4回 Session 4	Reading strategy 2; Literature circle 1 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第5回 Session 5	Reading strategy 2; Literature circle 1 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第6回 Session 6	Literature circle 1 discussion; presentation skills workshop I.	Presentation preparation (approx. 2 hours).
第7回 Session 7	Book 1 presentation and assessment.	Presentation-self assessment(approx. 30 minutes).
第8回 Session 8	Reading strategy 3; Literature circle 2 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第9回 Session 9	Reading strategy 3; Literature circle 2 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第10回 Session 10	Reading strategy 4; Literature circle 2 discussion.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第11回 Session 11	Literature circle 2 discussion; presentation skills workshop I.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第12回 Session 12	Book 2 presentation and assessment.	Literature circle reading homework (decided by group) (approx. 2 hours).
第13回 Session 13	Final presentations.	Presentation-self assessment(approx. 30 minutes).
第14回 Session 14	Course reflection and review.	None.

授業計画 Overview for each class	The above list of week-by-week plans is fluid and subject to change.
授業外学習 Study Required outside Class	Online, on-demand or simultaneous interactive tasks will be required. First class is April 21st, 4th period (3:10-4:40)

教科書 Required texts	None required.
-----------------------	----------------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	Active Participation – 20%, Book Reflections (x2) – 20%, Presentations 40%, Weekly Reading Homework – 20%	
添付ファイル1/File Attachment 1	Google Classroom sign up.docx		説明1/Explanation 1	Guide to join online course
URLリンク1/URL 1	https://classroom.google.com/u/0/c/NTc2MTEzODk1NzBa			
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時53分19秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	4別－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45038004	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター/Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【250】Skills-based English(TOEIC) 4/Skills-based English(TOEIC)		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	カニンハム S. (CUNNINGHAM STUART)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語/English		
授業目的/Course Purpose	The purpose of this courses for students to learn about and practice for the TOEIC exam.		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is to give practice under realistic examination standards.		
到達目標/Learning Goals	Students will be able to understand appropriate responses for simple everyday spoken questions and statements. Students will be able to understand questions asked about the content of conversations and short talks.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to understand how to complete the incomplete sentences in part five and six. Students will be able to answer basic comprehension questions for part seven.		
授業の概要・背景 Course Outline	This course will involve students doing practice tests every week while the teacher walks around answering the questions asked. Students will benefit more if they are willing to ask questions about the language points they do not understand.		
授業方法 Course Format	Practice tests in class. Pair work.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction. Overview. Expectations.	Complete worksheet and email it to the teacher
第2回 Session 2	Vocabulary test	Complete worksheet and email it to the teacher
第3回 Session 3	Test 1 – listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第4回 Session 4	Test 1 – reading section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第5回 Session 5	Test 2 – listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第6回 Session 6	Test 2 – reading section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第7回 Session 7	Test 3 – listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第8回 Session 8	Test 3 – reading section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第9回 Session 9	Test 4 – listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第10回 Session 10	Test 4 – reading section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第11回 Session 11	Test 5 – listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第12回 Session 12	Test 5 – reading section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第13回 Session 13	Test 6 – Listening section	Read and check errors. Contact the teacher about problems. Study vocabulary.
第14回 Session 14	Test 6 – reading section	

教科書 Required texts	6 Practice Tests for TOEIC by Kaplan Publishing.
-----------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	see “Method of or Criteria” below
	備考 Note Complete TOEIC Lesson 1 - 10% Complete TOEIC Lesson 2 - 20% Complete TOEIC Lesson 3 - 5% Complete TOEIC Lesson 4 - 5% Complete TOEIC Lesson 5 - 5% Complete TOEIC Lesson 6 - 5% Complete TOEIC Lesson 7 - 5% Complete TOEIC Lesson 8 - 5% Complete TOEIC Lesson 9 - 5% Complete TOEIC Lesson 10 - 5% Complete TOEIC Lesson 11 - 5% Complete TOEIC Lesson 12 - 5% Complete TOEIC Lesson 13 - 10% Complete TOEIC Lesson 14 - 10% All worksheets will be emailed to students directly. The pages in the text book are included in each worksheet. Students will have received the first 4 worksheets by April 20th.		
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 22時32分58秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	II-212

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45116003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Culture and Society 3／Culture and Society		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ヒギンズ R. M. (HIGGINS ROBERT MICHAEL)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Subtitle:A Comparative Perspective on Global Education The purpose of this course is for students to investigate how educational systems have evolved in contemporary advanced societies.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: -gain a broader understanding of education systems in the world. -critically analyse different educational models from around the world. -evaluate these models from the most appropriate contextual educational approaches.		
授業方法 Course Format	The instructor will introduce detailed information each week to introduce the themes of the course to help the students to become familiar with major conceptual discussions from the discipline. Each week will have an emphasis on students demonstrating their understanding of the topics, and the homework assignments will reinforce students' learning and understanding of a particular theme. Due to the evolving public health situation, and in line with KGU policy, this course will now be taught online. Please check your @kwansei.ac.jp email address regularly. I will be using my email address (kangaku.classes@gmail.com) so, please check that these emails are read. We will try to cover most of the course contents outlined below but this will probably be asynchronously (I will specify the deadline when I set the assignment). Do not worry, there will be some misunderstandings, and we will work through these issues together as best as we can. The course contents will be shared with participants each week by Tuesday 4th period.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	An Introduction to Comparative Education: Comparative Education Models; Educational Borrowing	Travellers' Tales (1.5 Hours) IMPORTANT: Please read the attached document. The main contents of this class will begin on the 21st of April. Please familiarise yourself with the course plan, but remember this will probably have to change to reflect the changing situation.
第2回 Session 2	Doing comparative analysis: OECD and UNESCO Examples; PISA Framework: Case Study of Finland	Case Study Research (1.5 Hours)
第3回 Session 3	Culture and Education: Cultural Metaphors; The Importance of Culture in Education	Analysing National Values (1.5 Hours)
第4回 Session 4	Analysing National Values; Spending Levels on Education: Data Analysis Exercise	Presentation Preparation (3 hours)
第5回 Session 5	Presentation Seminar	Presentation Self-reflection (1.5 Hours)
第6回 Session 6	Definitions and Debates in Globalisation: English as a Global Language	Global English: Reading (Article)(1.5 Hours)
第7回 Session 7	Globalisation and International Education: Global Citizen Education: Case Study: Malala Yousafzai	Global Citizenship: A Case Study (1.5 Hours)
第8回 Session 8	Global Jinzai in Japanese Higher Education: Definitions and Comparisons	A Global Jinzai Profile (1.5 Hours)
第9回 Session 9	Multicultural Education: The Challenges and Opportunities of Multiculturalism; Interculturalism	Has Multiculturalism Failed? The Case of Singapore: Reading (Article) (1.5 Hours)
第10回 Session 10	Internationalisation of Higher Education: Defining Internationalisation; Institutional Approaches; Student Mobility	Measuring Student Mobility: Data Analysis (1.5 Hours)
第11回 Session 11	Educational Policy: Creation, Interpretation and Enactment	Analysing Policy Extracts: Summarising Exercise (1.5 Hours)
第12回 Session 12	Educational Planning: National, Institutional or Local	Macro, Micro and Ecological Approaches: Assignment Preparation (1.5 Hours)
第13回 Session 13	Case Study Analysis: Country Analysis	Presentation Preparation (3 Hours)
第14回 Session 14	Final Presentations	Course Feedback (1 Hour)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	Participation 30%;Homework 30%;Presentations 40%	
備考 Note	This course will now be delivered online.			
添付ファイル1/File Attachement 1	Week 1-7th of April Instructions.docx		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 18時11分56秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	4別－304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45116005	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Culture and Society 5／Culture and Society		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	パデレック ジャック(PUDELEK JACK SIMON)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Subtitle: Social and Environmental Issues In line with the objectives of the language center (LC), this MS class will be designed to give students more understanding into contemporary cross-cultural issues. Students will come to understand and learn to discuss the different aspects of social and environmental issues in a Western learning environment. The focus will be on communication and interaction in order to build background knowledge of and vocabulary related to the issues. Students will take part in group tasks to increase their collaborative ability and expression of ideas. Students will use all of their receptive and productive skills to enhance their learning ability.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to write brief reports analysing the different issues and possible solutions. Students will be able to take part in discussions based on the different issues and possible solutions. Students will be able to produce group presentations based on the different issues and possible solutions.		
授業方法 Course Format	English-only		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION IS SUBJECT TO CHANGE AT INSTRUCTOR DISCRETION Week 1: Introduction to course. Check Luna and follow instructions for online assignments, email the teacher with any questions you may have.	Approximately 1 hour per week
第2回 Session 2	Week 2: Topic focus: Social network sites, the internet, smartphones	Approximately 1 hour per week
第3回 Session 3	Week 3: group presentation	Approximately 1 hour per week
第4回 Session 4	Week 4: Topic focus: Disposal of waste and recycling	Approximately 1 hour per week
第5回 Session 5	Week 5: group presentation	Approximately 1 hour per week
第6回 Session 6	Week 6: Topic focus: The meat and farming industry	Approximately 1 hour per week
第7回 Session 7	Week 7: group presentation	Approximately 1 hour per week
第8回 Session 8	Week 8: Topic focus: Immigration	Approximately 1 hour per week
第9回 Session 9	Week 9: group presentation	Approximately 1 hour per week
第10回 Session 10	Week 10: Topic focus: Homelessness and unemployment	Approximately 1 hour per week
第11回 Session 11	Week 11: group presentation	Approximately 1 hour per week
第12回 Session 12	Week 12: The energy industry	Approximately 1 hour per week
第13回 Session 13	Week 13: group presentation	Approximately 1 hour per week
第14回 Session 14	Week 14: Reflections on the ideas presented in the course. Individual presentations.	Approximately 1 hour per week

授業外学習 Study Required outside Class	All students are required to have homework completed before the beginning of class. Students who do not have homework completed might be asked to leave after their attendance has been taken. Check KGU email regularly.
---------------------------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	30% Participation, portfolio assessment; 20% homework; 50% projects and presentations
更新日時/Date of Update	2020年04月08日 16時09分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	4別－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45240001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】基礎ドイツ語Ⅲ 1／Basic German III		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西田 隆雄(NISHIDA TAKAO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、受講生がドイツ語の初歩のコミュニケーション能力を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire the ability to communicate in German (Introductory Level).		
到達目標/Learning Goals	本授業では、受講生が挨拶や自己紹介など、日常生活に必要なドイツ語での初歩のコミュニケーションができるようになることを到達目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to communicate by using introductory level German expressions for daily life, greetings and self-introduction.		
授業の概要・背景 Course Outline	第3外国語としてのドイツ語。週1回だけの授業。1単位。		
授業方法 Course Format	教材を総合的に学習する。ビデオを見たり録音を聞いたりしながら学ぶ。随時、書き取り・独作文・パートナー練習を行なう。		
検索キーワード/Keywords	語彙 文法 表現 コミュニケーション 第3外国語		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	4月21日火曜。受講(希望)生は、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。どのようにオンライン授業をするか、個別に説明します。 nishida.erasmus@kwansei.ac.jp 昨年度の復習をする。Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。	Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 4月21日火曜に授業を開始する。Zoom招待状を授業直前に受講生にメールで送る。
第2回 Session 2	4月28日火曜。受講(希望)生は、以下のアドレスにメールにてご連絡ください。どのようにオンライン授業をするか、個別に説明します。 nishida.erasmus@kwansei.ac.jp 教科書第7課シーン1。Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。	Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。 緊急！！Zoomミーティングの招待状は、受講生の大学メール用アドレス宛にお送りします。しかし、学期始めの現在、大学のサーバーにあまりの負荷がかかり、メールの送信と受信ができない事態が生じています。受講生に当招待状を確実に送信できるように、Google かYahoo などの個人のアドレスをお知らせください。 4月21日火曜に授業を開始する。Zoom招待状を授業直前に受講生にメールで送る。
第3回 Session 3	5月12日火曜。(5月5日は授業日ではない) 教科書第7課シーン2。 Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。	
第4回 Session 4	以降の授業は下の「授業計画」を参照してください。	

授業計画 Overview for each class	第1回目 先学期の復習。 第2回目以降は、第7課から第9課までを順に練習する。 受講生が少人数の場合は、受講生の希望により授業内容を変更することがある。
授業外学習 Study Required outside Class	受講生は授業に集中してドイツ語を学習する。家庭学習は2時間程度。夏休みと春休みの長期休暇中は、学んだことの復習が必要である。 Zoomを用いて同時双方向性オンライン授業をする。受講生は、Zoomをダウンロードして、パソコンにインストールしておくこと。さらにアカウント作成すること。第1回目の授業は4月21日火曜日。授業開始10分前に、Zoomミーティングの招待メールを全受講生に送る。以降も、毎授業開始10分前に、Zoomミーティングの招待メールを全受講生に送る。技術上の問題があり、Zoomによる授業を受けられなかった学生は、当日中にメールで西田まで連絡すること。 緊急連絡先は nishida.erasmus@kwansei.ac.jp です。コロナ・パンデミックによる非常事態です。だから遠慮無用です。困ったことがあれば、ご連絡ください。教科書を予習しておくこと。詳しくは、LUNAですでに解説してあります。

教科書/Required texts	著者名:関口一郎 タイトル:ハローミュンヘン, Version II 発行所:白水社 出版年:2013 ISBN:
参考書/Reference books	著者名:在間進 タイトル:アクセス独和辞典 発行所:三修社 出版年:2013 ISBN:
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	提出した課題により評価を出す
備考 Note	基礎ドイツ語履修希望者への説明 言語センターの「基礎ドイツ語」は、ドイツ語を第3外国語として学ぶことを希望する全学部生が受講できます。以下に重要なことを説明します。 1. 週1回の授業で、授業外学習は約2時間程度必要。 2. 授業で行なう口頭・筆記練習に積極的に参加する。 3. 間違ふことを恐れない。人間は間違ふ動物である。 4. ドイツ語とドイツ文化に関心を持つ。 5. (各自学生が所属する学部でドイツ語を第2外国語として選択した2年生以上の学生に対して) 「飛び級制度(先修条件からの除外)」により「基礎ドイツ語3(春学期)」と「基礎ドイツ語4(秋学期)」を受講することが望ましい。しかし、大学からの指示により2020年度春学期にかぎり、飛び級制度はない。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 20時06分20秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G－309

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45360001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】イタリア語初級I 1／Elementary Italian I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	落合 理恵子(OCHIAI RIEKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	イタリア語を始めたい人のクラスです。イタリア語の基本をゆつくりと確実に身に付けていきます。またイタリアの文化についても学びます。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to obtain the basic Italian language skills.		
到達目標/Learning Goals	綴り字と発音のきまり、名詞・冠詞・形容詞における性と数、基本的な動詞のかたちと用法を理解し、イタリア語で簡単な会話ができるようにする。 古代ローマから始まるイタリアの歴史の流れを理解する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・read and write the Italian alphabet, ・understand basic grammar items such as noun, article and adjective. Students will also obtain basic knowledge of Italian culture.		
授業方法 Course Format	学生主体の実習形式の授業		
検索キーワード/Keywords	イタリア語、イタリア文化、初級、文法、会話		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション:イタリアとイタリア語について 綴り字と発音のきまり(1)	音声＋教科書(＋補足説明レジュメ)の「オンデマンド型」。ただし受講生の数と受講生のネット環境により、双方向型に切り替える可能性あり。 復習:教科書pp.2-3
第2回 Session 2	綴り字と発音の決まり(2) 名詞と冠詞(Lezione1) イタリアの文化と歴史(1)	復習 教科書pp.5-7
第3回 Session 3	動詞 essere(Lezione2)	復習 教科書pp.8-10
第4回 Session 4	形容詞(Lezione3) イタリアの文化と歴史(2)	復習 教科書pp.11-13
第5回 Session 5	名詞と冠詞と形容詞の複数形(Lezione11)	復習 教科書pp.35-37
第6回 Session 6	動詞avere(Lezione4) イタリアの文化と歴史(3)	復習 教科書pp.14-15
第7回 Session 7	-are動詞 -規則活用(Lezione5)	復習 教科書pp.17-19
第8回 Session 8	-ere動詞 -規則活用(Lezione7) 20以上の数詞 イタリアの文化と歴史(4)	復習 教科書pp.23-25
第9回 Session 9	-ire動詞 -規則活用(Lezione9)	復習 教科書pp.29-31
第10回 Session 10	-are動詞、-ere動詞 -不規則活用(Lezione6,8) イタリアの文化と歴史(5)	復習 教科書pp.20-21,26-27
第11回 Session 11	-ire動詞 -不規則活用(Lezione10)	復習 教科書pp.32-33
第12回 Session 12	特殊な形容詞 fareを使った表現 イタリアの文化と歴史(6)	復習 教科書p88, p.91
第13回 Session 13	まとめと会話練習	前期内容の復習
第14回 Session 14	授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	毎回課題を出すので、必ずおこなったうえで授業に出ること。
---------------------------------------	------------------------------

教科書/Required texts	著者名: マッテオ・カスターニャ／吉富文 タイトル: イタリアーノ・イタリアーノ 発行所: 朝日出版社 出版年: 2015 ISBN: 978-4-255-55314-6
参考文献・資料 Reference books	『ポケットプログレッシブ伊和:和伊辞典』(小学館)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	60%	
	その他／Others(99)	40%	授業参加、課題提出、小テスト
備考 Note	授業は、まずは「パワーポイント＋音声」を使って進めていきます。すでにLuna上に第一回目がアップされているので見ること。 パネルごとに音声が入っているので、自身で再生して下さい。 また受講者の数や受講生のネット環境に応じて、授業の仕方は変わる可能性があります。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 10時34分03秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G－226

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45390001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】スペイン語初級Ⅲ 1／Elementary Spanish III		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ムニョス M. J. (MUNOZ MARIA JOSE GONZALEZ)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	スペイン語／Spanish		
授業目的/Course Purpose	学生が今まで習ったスペイン語を生かして学びます。 基礎スペイン語、初級文法の基礎を固める。文章が読め、会話ができるように総合的なスペイン語力の獲得を目指す。 過去について話す、描写する、感情を表す、計画について話す、簡単な意見を述べるができるようになります。 教科書は“Nuevo Espanol en marcha”. スペイン語総合テキスト 生徒用 (CD付)。 さまざまなセクションがあり、とても興味深い教材を使いながらスペイン語に対して理解を含めることができます。 春学期には教科書 の Leccion 0/1 から Leccion 6 まで学びます。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will further develop their Spanish ability and ability to communicate in Spanish. Students will be able to strengthen the grammar learned so far and acquire the necessary tools needed for conversation, along with useful language and expressions to talk about past experiences, give accurate descriptions, express feelings, talk about plans and express opinions at an elementary level.		
到達目標/Learning Goals	日常生活での最も通常の表現に対し適切に理解、対応ができ、基本的な形式で要求と必要性を伝達するに十分な言語的能力を得る、基礎的な短い文章の読み書きができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. understand and respond to common expressions used in daily language. 2. acquire the necessary linguistic ability to communicate in ordinary situations. 3. be able to read and write elementary to low- intermediate level short sentences.		
授業方法 Course Format	「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく身に付けるための工夫が随所にされておりタスクアクティビティを通して文法、語彙、発音もしっかり習得できるよう導きます。 会話練習のためのペアでおこなうアクティビティ。		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Presentacion e introduccion a la asignatura. Saludos. El verbo gustar y la expresion de los gustos.	Hola, ¿qué tal? Para esta primera clase, debes completar un documento de información personal. Puedes usar un diccionario pero ¡NO Google Translate! Debes entregar el documento (submit) antes de la medianoche de hoy. Enlace: https://forms.gle/ypTJcPzktGbpXpUi6 ¡Buena suerte! María- José * Si tienes el libro de texto, es una buena idea hacer los ejercicios de repaso de las páginas 6-7-8-9-10. (Review exercises for self-study. I will give you the answers later). You have the complete textbook below. The author has decided to make it public to help online classes during this crisis! Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第2回 Session 2	Biografías. Los pronombres interrogativos. Tiempos del pasado. Relatos en pasado.	Clase del 28 de abril: Lee el texto de la página 16 “Unas vacaciones inolvidables” y responde las preguntas del ejercicio 2. ***NOTA IMPORTANTE*** Después de Golden Week, nuestra clase será online con Microsoft Teams. (Wait for the link in LUNA) Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第3回 Session 3	La Espana islamica: la Alhambra de Granada. Personajes famosos de los paises donde se habla espanol. Numeros y fechas.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第4回 Session 4	Costumbres familiares. Hablar del pasado reciente: el preterito perfecto. Experiencias.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第5回 Session 5	La expresion de la obligacion y la prohibicion. Formas verbales y ejemplos. Practica a traves de ejemplos de Patrimonio Mundial de la Unesco.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第6回 Session 6	Diferencias culturales. Mini- presentaciones por parte de los estudiantes.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第7回 Session 7	El tiempo libre y sus actividades. La vivienda. Preterito Indefinido y preterito perfecto.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第8回 Session 8	Los deportes y el tiempo libre. Historia del F.C. Barcelona: narracion en pasado. Los Juegos Olimpicos : pasado y futuro.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第9回	Expresion del deseo con “me gustaria”.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before

第9回 Session 9	Pronombres de objeto directo e indirecto. Hablar de planes futuros.	our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第10回 Session 10	Fiestas tradicionales en Espana a traves de imagenes y videoclips. Vocabulario para hablar de fiestas y tradiciones. Comparacion con algunos ejemplos japoneses por parte de los estudiantes.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第11回 Session 11	Antes y ahora. Hablar de actividades frecuentes en el pasado. Uso del preterito imperfecto.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第12回 Session 12	Comparativos y superlativos. Hacer comparaciones entre ciudades de Espana y Latinoamerica con Japon. Texto sobre Buenos Aires.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第13回 Session 13	Cocinar. Los alimentos. Formas verbales para la expresion de instrucciones. Expresion de las cantidades indeterminadas.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第14回 Session 14	Uso de las formas impersonales. La dieta mediterranea. Comparacion con la dieta japonesa usando las expresiones y el vocabulario de la leccion. 学習成果実感調査の実施	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第15回 Session 15	Examen final del semestre.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.

授業外学習 Study Required outside Class	毎回、復習しておくこと。 授業で使う資料は、かならず目を通しておくこと。 授業時間の2倍の事前・事後学習を行わせることが求められています。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名: Francisca Castro Viudez, Ignacio Rodero Diez, Carmen Sardineros Franco タイトル: "Nuevo Espanol en marcha 2" 発行所: SGEL 出版年: 2013 ISBN: 9788497783781
教科書 Required texts	Francisca Castro Viudez, Ignacio Rodero Diez, Carmen Sardinero Francos "Nuevo Espanol en marcha 2" (SGEL, 2013) ISBN: 978-84-9778-378-1
参考文献・資料 Reference books	西和／和西辞書が必要です。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	100%	授業内アクティビティ、それに小テストや課題の提出内容などが考慮される。
備考 Note 授業中試験 70% , 授業内アクティビティ 30%。			
備考 Note	このクラスは1年間スペイン語の基礎を学んだ学生を対象に開講されますのでご注意ください。 毎回、復習しておくこと。 授業で使う資料は、かならず目を通しておくこと。 授業時間の2倍の事前・事後学習を行わせることが求められています。 授業欠席回数の限度は、3回までとなっています。		
添付ファイル1/File Attachement 1	Screen Shot 2019-01-20 at 5.55.36 PM.png	説明1/Explanation 1	Textbook cover for students reference
添付ファイル2/File Attachement 2	Castro Francisca, Nuevo Español en marcha 2. Libro del alumno (PDFDrive.com).pdf	説明2/Explanation 2	Libro de texto completo para esta clase (Courtesy of the author)
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 22時41分32秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45420001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】アラビア語初級I 1／Elementary Arabic I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	村田 靖子(MURATA YASUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、アラビア語の文字の読み書きができるようになること、初歩文法を習得することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to be able to Read and write Arabic letters and words, and understand Basic grammar.		
到達目標/Learning Goals	下記項目を授業の目標として設定します。 1 かんたんな会話表現を身につける 2 短い文を読むことのできる力をつける		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. obtain the skill of basic conversation 2. read short sentences.		
授業方法 Course Format	この講義では、配布したプリントに従って文字の読み書きの練習、挨拶などの初歩的会話の練習をし、ビデオで簡単なスキットを見て理解を深めます。 【オンライン授業】オンデマンド配信します。4月21日よりLUNAにファイルをアップしますので、なるべく本来の講義の日にアクセスして確認してください。毎回課題を出し、提出をもって出席とします。		
検索キーワード/Keywords	アラビア語		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	アラビア語の解説 Introduction	
第2回 Session 2	文字と発音1, あいさつ1 Letters and pronunciation, Good morning	
第3回 Session 3	文字と発音2, あいさつ2 Letters and pronunciation, How are you?	
第4回 Session 4	文字と発音3, あいさつ3 Letters and pronunciation, Good by, Thank you	
第5回 Session 5	文字と発音4, 母音符号1 Letters and pronunciation, reading of word	
第6回 Session 6	文字と発音5, 母音符号2 Letters and pronunciation, reading of word	
第7回 Session 7	文字と発音6, 母音符号3 Letters and pronunciation, reading of word	
第8回 Session 8	文字と発音7, 「私は・・・です」の表現 Letters and pronunciation, I am ...	
第9回 Session 9	文字と発音8, 疑問文 Letters and pronunciation, Are you ...?	
第10回 Session 10	文字と発音9, アラビア語表記のまとめ Letters and pronunciation, summary of reading rules	
第11回 Session 11	「あなたの名前はなんですか？」の表現 What is your name?	
第12回 Session 12	「・・・はどこですか?」「どこから?」の表現 Where is ...? Where are you from?	
第13回 Session 13	「これはなに?」の表現 What is this?	
第14回 Session 14	文法1 非限定名詞と限定名詞 Grammar: noun	

授業外学習 Study Required outside Class	・文字は習ったらなるべく早く暗記すること ・毎回の課題を必ずやってくること ・継続が重要なので、なるべく欠席しないこと 【オンライン授業】オンデマンド配信します。4月21日よりLUNAにファイルをアップしますので、なるべく本来の講義の日にアクセスして確認してください。毎回課題を出し、提出をもって出席とします。
---------------------------------------	--

学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施
---	-------

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	
	その他／Others(99)	60%	授業態度(申告なく欠席した場合は減点)
	備考 Note 出席重視。小テストも行う可能性があります。		
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 09時46分16秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-IS208

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45465003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】朝鮮語初級I 3／Elementary Korean I		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	川本 理絵(KAWAMOTO RIE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は、受講生が韓国語(朝鮮語)の語彙と基礎文法を学び、初歩のコミュニケーション能力を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to learn basic grammar and vocabulary of Korean language for communication.		
到達目標/Learning Goals	ハングル(韓国・朝鮮語)の読み・書きができ、発音の法則を習得することを目指す。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and write the Korean alphabet (Hangul) and master pronunciation skills.		
授業方法 Course Format	オンライン授業(オンデマンド型)		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、朝鮮語の文字(ハングル)について	【新型コロナ対応:4月6日15時更新】 指定している教科書の第1課(pp.1-3)を読んでおくこと。
第2回 Session 2	基本母音	【新型コロナ対応:4月13日22時17分更新】 「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。
第3回 Session 3	子音(平音)	
第4回 Session 4	発音のコツ①	
第5回 Session 5	子音(激音・濃音)	
第6回 Session 6	二重母音(基本母音を組み合わせた母音)	
第7回 Session 7	パッチム1	
第8回 Session 8	パッチム2	
第9回 Session 9	発音のコツ②	
第10回 Session 10	表現編 Chapter1:文法	
第11回 Session 11	Chapter1:練習問題(Practice)	
第12回 Session 12	表現編 Chapter2:文法	
第13回 Session 13	Chapter2:練習問題(Practice)	
第14回 Session 14	期末テスト(または期末テストに代わる課題やリポート)	

授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業の形式:オンデマンド型 初回の授業開始日:4月21日(火)4限から オンライン授業の受信方法:LUNA(履修登録確定まで、LUNAのゲストアクセスを利用してください。お知らせ・教材は閲覧できます。) 初級クラスのハングル授業は、毎回、授業の中で指示される、文字の読み書きの項目にしたがって課題に取り組むことが重要です。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名:金眞・柳圭相・芦田麻樹子 タイトル:みんなで学ぶ韓国語 一文法編一 発行所:朝日出版社 出版年: ISBN:978-4-255-55607-9
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	または期末テストに代わるリポート・課題	
	平常リポート／Individual reports(04)	50%	授業の中で指示される課題に対する評価	
添付ファイル1/File Attachment 1	朝鮮語初級 I (レジュメ①).doc		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 14時45分45秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-105

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45002604	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】入門英語IIA 4／Introductory English IIA		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	サキヤ ジョン(SYQUIA JOHN)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	Intro English IIA is an oral communication course for students with low English proficiency or little confidence using spoken English. Building on the skills acquired in Intro English IA, students will further develop strategies for using English in the classroom, have opportunities to engage in listening and conversation practice, improve on English presentation skills, and be able to have more complex conversations in English.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students will be able to use ‘classroom English strategies’ for communicating with their classmates and the teacher. 2. Students will be able to listen to and have deep comprehension of a variety of different English dialects in a variety of complex conversational contexts. 3. Students will be able to use a wider range of vocabulary, phrases, and formulaic expressions to discuss everyday topics and textbook themes, both in conversation and in presentations. 4. Students will be able to collaborate on projects and present their work in English.		
授業方法 Course Format	Instruction will include English listening and speaking activities as well as regular quizzes and homework. There will be an online component to this course. Please see Luna for further details.		
関連科目/Related Courses	Intro English IIB		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introductions Course overview	Online class type is a mixture of on-demand and simultaneous interactive. To audit the first class please download Google Classroom and join using class code: uxhwyy1
第2回 Session 2	Textbook unit activities	
第3回 Session 3	Vocabulary Quiz #1 Vocabulary activities	
第4回 Session 4	Textbook unit activities	
第5回 Session 5	Textbook unit activities	
第6回 Session 6	Vocabulary Quiz #2 Vocabulary activities	
第7回 Session 7	Textbook unit activities	
第8回 Session 8	Textbook unit activities	
第9回 Session 9	Vocabulary Quiz #3 Vocabulary activities	
第10回 Session 10	Final project introduction	
第11回 Session 11	Final project preparation	
第12回 Session 12	Final project preparation	
第13回 Session 13	Final project presentations	
第14回 Session 14	Course reflections	

授業計画 Overview for each class	Course sessions listed above are subject to change in accordance to student needs. Students will work in pairs and in groups to complete various types of communicative tasks.
授業外学習 Study Required outside Class	Homework includes assignments, project work, and memorizing vocabulary.

教科書/Required texts	著者名: Martin Milner タイトル: World English 1 Second Edition 発行所: National Geographic Learning 出版年: 2015 ISBN: 9781305089549
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	40% Projects and tasks 15% Vocabulary quizzes 15% Homework 30% Participation and class work
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 16時02分37秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	MR－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011035	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 35／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	クセソ オアナ M. (CUSEN OANA M.)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their English language knowledge (vocabulary, grammar, and discourse) and language skills (listening, speaking, reading, and writing) within an all-English communicative environment to enable them to meet the academic requirements of study abroad programs.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. Speak more fluently about various academic and practical topics. 2. Operate in an All-English environment. 3. Write in common practical and academic formats. 4. Deliver short presentations with visuals in an organized and academic manner. 5. Learn language autonomously.		
授業方法 Course Format	This course will be conducted online. Focus on content, grammar and vocabulary. Also, focus on tasks, group work, paragraph and essay writing, presentations. Students will be expected to complete their assignments in a timely manner before each class.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Week 1: Course orientation	
第2回 Session 2	Week 2: Students as Teachers Project	
第3回 Session 3	Week 3: Students as Teachers Project	
第4回 Session 4	Week 4: Students as Teachers Project	
第5回 Session 5	Week 5: Students as Teachers Project	
第6回 Session 6	Week 6: Students as Teachers Project	
第7回 Session 7	Week 7: Students as Teachers Project	
第8回 Session 8	Week 8: Students as Teachers Project	
第9回 Session 9	Week 9: Essay writing	
第10回 Session 10	Week 10: Graded Readers Project	
第11回 Session 11	Week 11: Graded Readers Project	
第12回 Session 12	Week 12: Graded Readers Project	
第13回 Session 13	Week 13: Graded Readers Project	
第14回 Session 14	Week 14: Course reflections	

授業外学習 Study Required outside Class	This course will be conducted online, both in an on-demand format and in a simultaneous (two way) format. The first official class will be held on Tuesday April 21st, 2020 at 16:50. Please refer to the LUNA course page for instructions on how to audit the class. https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_186131_1&cmp_tab_id=_214998_1&editMode=true&mode=cpview
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名: Becky Tarver Chase, Christien Lee タイトル: Pathways 3 Listening, Speaking and Critical Thinking Second Edition 発行所: National Geographic Learning 出版年: 2018 ISBN: 9781337562539
教科書 Required texts	Pathways 3 will be continued.
参考文献・資料 Reference books	English-English dictionary
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	30% participation, class work, homework 10% extensive reading 10% essay writing 30% student unit presentations 20% online projects
	備考 Note 備考 Note IEP Attendance Policy The Intensive English Program also has a strict attendance policy. If you are in the classroom before the bell rings, you are present. If you come to class after the bell, but less than 30 minutes after the bell rings, you are late. If you don't come to class, or come to class 30 minutes after the bell rings, you are absent. Two late arrivals equal one absence. If you are absent six or more times, you automatically fail the course. Additionally, absences and late arrivals affect your final grade and can cause you to fail. Each late will lower your final course grade by 1%, and each absence will lower it by 2%. Late train notes or notes from the LC office are the only way absences or late arrivals can be excused. If you have a medical condition or other obligation that you think should be excused, consult the LC office.		
更新日時/Date of Update		2020年04月20日 23時10分17秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	4別－205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011040	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 40／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ヒギンズ R. M. (HIGGINS ROBERT MICHAEL)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop English listening, reading, speaking, and writing skills, in addition to learning new vocabulary, all while working in an all-English communicative atmosphere.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1.write brief reports on various topics. 2.deliver brief presentations on various topics. 3.learn and operate in an all-English classroom environment.		
授業方法 Course Format	English-Student-centred; Pair/Group Work; Conversation Strategies Due to the evolving public health situation, and in line with KGU policy, this course will now be taught online. Please check your @kwansei.ac.jp email address regularly. I will be using my email address (kangaku.classes@gmail.com) so, please check that these emails are read. We will try to cover most of the course contents outlined below but this will probably be asynchronously (I will specify the deadline when I set the assignment). Do not worry, there will be some misunderstandings, and we will work through these issues together as best as we can. The course contents will be sent to students by Monday 3rd, Tuesday 5th, and Friday 5th period each week.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Class Introductions; Course Introductions Q&A E-portfolio Introduction	Textbook Preview (1.5 Hours) IMPORTANT: Please read the attached document. The main contents of this class will begin on the 21st of April. Please familiarise yourself with the course plan, but remember this will probably have to change to reflect the changing situation.
第2回 Session 2	Unit 7-Inspired To Protect	Semi-scripted Presentation (Preparation-Homework 1.5 Hour)
第3回 Session 3	Unit 7-Inspired To Protect Semi-scripted Presentation	Textbook Grammar Activities (1.5 Hours)
第4回 Session 4	Unit 7-Inspired To Protect E-portfolio Preparation	Vocabulary Quiz (Preparation-Homework 1.5 Hours)
第5回 Session 5	Unit 9-Uncovering The Past Communication Activities	Semi-scripted Presentation (Preparation-Homework 1.5 Hours)
第6回 Session 6	Unit 9-A Uncovering The Past Communication Activities Semi-scripted Presentation	Textbook Grammar Activities (1.5 Hours)
第7回 Session 7	Unit 9-Uncovering The Past E-portfolio Preparation	Vocabulary Quiz (Preparation-Homework 1.5 hours)
第8回 Session 8	Unit 10-Emotions And Personality Communication Activities	Semi-scripted Presentation (Preparation-Homework 2 Hours)
第9回 Session 9	Unit 10-Emotions And Personality Semi-scripted Presentation	Textbook Grammar Activities (1.5 Hours)
第10回 Session 10	Unit 10-Emotions And Personality Communication Activities	Vocabulary Quiz (Preparation-Homework 1.5 Hours)
第11回 Session 11	Unit 10-Emotions And Personality Semi-scripted Presentation E-portfolio Preparation	Presentation Preparation (3 Hours)
第12回 Session 12	Unit 10-Emotions And Personality Semi-scripted Presentation	Textbook Grammar Activities (1.5 Hours)
第13回 Session 13	Unit 10-Emotions And Personality Communication Activities E-portfolio Presentation	Test Review-Homework (3 Hours)
第14回 Session 14	Final Test-Pathways (Units 7,9 & 10)	

授業外学習 Study Required outside Class	There will on average 3 hours of homework per week. This may increase or decrease depending on assignment deadlines.
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:Becky Traver Chase タイトル:Pathways: Listneing, Speaking and Critical Thinking 3 発行所:Cengage 出版年: IS BN:978-1-337-56253-9
教科書 Required texts	We will be using the textbook outlined above so make sure you have it to study.

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	Participation 40%; Final Test 30%;Presentations 20%; E-Portfolio 10%	
備考 Note	This course will now be conducted online.			
添付ファイル1/File Attachement 1	Week 1-7th of April Instructions.docx		説明1/Explanation 1	
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 18時10分49秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	4別-304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011056	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 56／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ロウ サイモン(ROWE SIMON CHARLES)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following (below).		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their online English listening, reading and writing skills, in addition to learning new vocabulary, and expanding their knowledge of the world around them.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following (below).		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: write brief reports on various topics, deliver brief presentations on various topics using an online application, learn and operate in an all-English online environment.		
授業方法 Course Format	Online study program: Topic-based tasks, grammar, vocabulary focus, writing practice and self-study tasks (listening/viewing).		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION BELOW MAY CHANGE Week 1: Make contact with instructor (Simon Rowe)	Students need to access the online course website and send a Google form to the course instructor, Simon Rowe. Course website URL can be found below at シラバス付加情報
第2回 Session 2	Unit 9: Markets – listening and discussion	One hour
第3回 Session 3	Viewing and discussion: Markets around the world, buying and selling, bargaining	One hour
第4回 Session 4	Writing workshop: Markets around the world, buying and selling, bargaining	One hour
第5回 Session 5	Unit 10: Trash – Environmental concepts and definitions	One hour
第6回 Session 6	Viewing and discussion: Eco-friendly environments	One hour
第7回 Session 7	Writing workshop: eco-friendly environments	One hour
第8回 Session 8	Unit 11: Australian culture and society – concepts and definitions	One hour
第9回 Session 9	Viewing and discussion: Australian culture and society	One hour
第10回 Session 10	Writing workshop: Australian topic of students' choice	One hour
第11回 Session 11	Unit 12: Island living – concepts and definitions	One hour
第12回 Session 12	Viewing and discussion: Island life, environmental concerns	One hour
第13回 Session 13	Writing workshop: World island focus	One hour
第14回 Session 14	Unit 13: Disappearing Species – concepts and definitions	One hour
第15回 Session 15	Viewing and discussion: Animal world focus	One hour
第16回 Session 16	Writing workshop: Endangered animals of Japan	One hour
第17回 Session 17	Film: CAST AWAY – viewing	
第18回 Session 18	Film: CAST AWAY – viewing	
第19回 Session 19	Writing workshop: Film review writing and peer review	One hour
第20回 Session 20	Unit 14: Green Living – concepts and definitions	One hour
第21回 Session 21	Viewing and discussion: Humans and the environment; urban and rural self-sufficiency	One hour
第22回 Session 22	Writing workshop: 'Green living in Japan'	One hour
第23回 Session 23	Unit 15: Travelling on budget – concepts and definitions	One hour
第24回 Session 24	Viewing and discussion: Thailand focus	One hour
第25回 Session 25	Writing workshop: Holiday in Thailand	One hour
第26回 Session 26	Unit 16: Living Abroad – concepts and definitions	One hour
第27回 Session 27	Viewing and discussion: worries and concerns	One hour
第28回 Session 28	Writing workshop: Liveable city research task	One hour
第29回 Session 29	Unit 17: Older and Older – concepts and definitions	One hour
第30回 Session 30	Viewing and discussion: The past and future; future plans	One hour
第31回 Session 31	Film: Gran Torino	
第32回 Session 32	Film: Gran Torino – Film review writing and peer review	One hour

授業外学習 Study Required outside Class	Students are expected to prepare their assignments outside of class. They will be expected to complete all the assigned tasks before each class, because they will not be able to participate fully in class if they do not finish their homework.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	Global Connections 出版社名 : Cengage Learning Luke Harrington, Sarah Morikawa ISBN: 9781305584426
参考文献・資料 Reference books	English-English dictionary

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Online research and writing tasks 70%, Projects 30%
URLリンク1/URL 1	https://sites.google.com/view/simon-rowses-classes		
更新日時/Date of Update	2020年04月22日 17時01分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	G-223

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45011060	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】インテンシブ・イングリッシュ 60／Intensive English		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	パデレック ジャック(PUDELEK JACK SIMON)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to develop their English language knowledge (vocabulary, grammar, and discourse) and language skills (listening, speaking, reading, and writing) within an all-English communicative environment to enable them to meet the academic requirements of study abroad programs.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. Speak more fluently about various academic and practical topics. 2. Operate in an All-English environment. 3. Write in common practical and academic formats. 4. Deliver short presentations with visuals in an organized and academic manner. 5. Learn language autonomously.		
授業方法 Course Format	Typical class sessions will include textbook study, task based activities, pair work and group based projects and presentations. The classes will also include watching, reading or listening to authentic materials and discussion activities. Homework will include extensive reading and writing assignments.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION IS SUBJECT TO CHANGE AT INSTRUCTOR DISCRETION Week 1: introduction to course, check LUNA and follow instructions. Contact teacher by email with any questions.	1-2 hours
第2回 Session 2	Week 2 Unit 1. Topic focus: Friendship	1-2 hours
第3回 Session 3	Week 3 Unit 2. Topic focus: Fear	1-2 hours
第4回 Session 4	Week 4 Unit 3. Topic focus: Health. Vocabulary Test 1	1-2 hours
第5回 Session 5	Week 5 Presentation 1	1-2 hours
第6回 Session 6	Week 6 Unit 4. Topic focus: Change	1-2 hours
第7回 Session 7	Week 7 Unit 5. Topic focus: Success	1-2 hours
第8回 Session 8	Week 8 Unit 6. Topic focus: Consumerism. Vocabulary Test 2	1-2 hours
第9回 Session 9	Week 9 Presentation 2	1-2 hours
第10回 Session 10	Week 10 Unit 7. Topic focus: Art	1-2 hours
第11回 Session 11	Week 11 Unit 8. Topic focus: Collaboration	1-2 hours
第12回 Session 12	Week 12 Unit 9. Topic focus: Survival	1-2 hours
第13回 Session 13	Week 13 Unit 10 Topic focus Innovation. Vocabulary Test 3	1-2 hours
第14回 Session 14	Week 14 Presentation 3	1-2 hours

授業外学習 Study Required outside Class	STUDENTS NEED TO REGULARLY CHECK THEIR KGU EMAIL ADDRESS! (Example: abc12345@kwansei.ac.jp) This is an all English class. You greatly enhance your acquisition of English by using it as much as possible. In addition, using Japanese limits your classmates' learning opportunities. Please encourage each other to use English. You could lose participation points if you use Japanese in class or outside of class in online situations.
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:Nancy Douglas タイトル:Inspire 3 発行所:National Geographic and Cengage Learning 出版年: ISBN:978-1-133-96342-4
教科書 Required texts	Students will also require subscription to the online extensive reading site Xreading for the duration of the semester.

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Homework 20%, presentations 30%, tests 15%, extensive reading 15%, attendance, participation and portfolio 20%
更新日時/Date of Update		2020年04月08日 16時00分59秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	4別－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45121002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】Academic Writing and Presentation 2／Academic Writing and Presentation		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ギャンブル C. W. (GAMBLE CRAIG WALLIS)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to refine their academic writing and presentation skills.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to: 1. learn to write impactful academic level English papers using the correct formatting, citations, wordage and prose. 2. skillfully give academic-level presentations and understand effective Power Point design. 3. gain an understanding of the basics of research design and APA formatting.		
授業方法 Course Format	Due to COVID-19, this class will begin online and will only return to the actual classroom if KGU approves. Otherwise, it will be a completely online course. Students will NEED access to a computer at home (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. Desktop, laptop, notebook, Macbook, etc, are fine. Students should also have a Google account and sign up for Google Drive and Google Classroom (both are for free). This class will be completed entirely in English. Students will engage extensively in group and pair work, much of which will utilize Google Docs to allow for easy collaboration. Each class will have a discussion component and students will work towards preparing presentations, while writing academic research papers.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	ALL SESSION INFORMATION IS SUBJECT TO CHANGE AT THE TEACHER'S DISCRETION Course introduction and discussion of teacher's expectations.	1. students need to email their instructor, Craig Gamble (see Luna course) 2. students need to sign up for a Google GMAIL account 3. students need to access and join the course website (see attachment) 4. student need to complete class survey (approx. 30 minutes). 5. Writing analysis (approx. 1 hour). **course website and other files can be found below under シラバス付加情報
第2回 Session 2	Topic: Choosing and refining topics for academic research papers.	Course material will be provided by the teacher students need to regular check course website and make email contact with their teacher Refining analysis / topic choice (approx. 2 hours).
第3回 Session 3	Topic: Introduction to academic paragraph writing.	Locating first two sources and writing first summary/analysis for bibliography (approx. 2 hours).
第4回 Session 4	Topic: Finding sources for academic papers.	Locating two more sources and writing second summary/analysis for bibliography (approx. 2 hours).
第5回 Session 5	Topic: Introduction to APA referencing.	Refining and revising annotated bibliography (approx. 2 hours).
第6回 Session 6	Topic: Presentation design and skills workshop I; Annotated bibliography due.	Presentation preparation (approx. 2 hours).
第7回 Session 7	Presentation one: student research topic introduction.	No homework.
第8回 Session 8	Topic: Organizing your essay.	First paragraph of essay due (approx. 2 hours).
第9回 Session 9	Topic: Introduction to APA citations.	Body of essay to be completed (approx. 2 hours).
第10回 Session 10	Topic: Academic writing style.	Complete first draft due (approx. 2 hours).
第11回 Session 11	Topic: Peer review workshop.	Peer review of other students' writing due (approx. 2 hours).
第12回 Session 12	Topic: Presentation design and skills workshop II.	Group A submits second draft for teacher review; Group B submits presentation slides (approx. 2 hours).
第13回 Session 13	Final presentations.	Group A submits presentation slides; Group B submits second draft for teacher review (approx. 2 hours).
第14回 Session 14	Final presentations (ctd); Final draft of research paper due; Course reflection and discussion.	Final research paper due (approx. 2 hours).

授業計画 Overview for each class	The above list of week-by-week plans is fluid and subject to change.
授業外学習 Study Required outside Class	Online, on-demand or simultaneous interactive tasks will be required. First class is April 21st, 5th period (4:50-6:20)

教科書 Required texts	No textbook is required for this course.
参考文献・資料 Reference books	Basic Steps to Writing Research Papers David E. Kluge & Matthew A. Taylor ISBN: 978-4-902902-89-1 Students are welcome to refer to the Purdue Online Writing Lab (https://owl.english.purdue.edu/owl/resource/560/01/) for assistance with APA formatting. Students are also encouraged to bring a digital or paper Japanese-English dictionary.

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	Active Participation – 10%, Homework – 15%, Annotated Bibliography – 15%, Presentations 30%, Final Research Paper – 30%	
添付ファイル1/File Attachment 1	Google Classroom set up Writing & Prez.docx		説明1/Explanation 1	Guide to join online course
URLリンク1/URL 1	https://classroom.google.com/c/Njc2OTAzMDU5MjFa			
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時54分11秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	4別－306

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	45375501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	言語教育研究センター／Language Center		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】イタリア語初中級 1／Pre-Intermediate Italian		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	落合 理恵子(OCHIAI RIEKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	イタリア語を1年間学んだ人のクラスです。イタリア語でコミュニケーションがとれるよう、会話の練習をしながら、初級文法を仕上げていきます。またイタリアの文化と歴史に関する文章を読みながら、知識を深めるとともに、読解力をつけていきます。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to enrich their vocabulary and to improve their speaking skill, so that they can better communicate with others in Italian.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標とする。 ・自身の意見を述べることができる。 ・新聞や雑誌など、まとまった文章を読めるようにする。 ・イタリアの歴史と文化についての知識と理解を深める。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・express their opinion. ・read articles from papers and magazines. ・develop their basic knowledge and understanding of the Italian history and culture.		
授業方法 Course Format	学生主体の実習形式の授業		
検索キーワード/Keywords	イタリア語、イタリア文化、初級、中級、文法、会話		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業の進め方とこれまでの復習	音声＋教科書(＋補足説明レジュメ)の「オンデマンド型」。ただし受講生の数と受講生のネット環境により、双方向型授業に切り替わる可能性あり。
第2回 Session 2	半過去(Lezione19)	復習課題 pp.59-61
第3回 Session 3	時制の使い分け(Lezione20)	復習課題 pp.62-64
第4回 Session 4	未来形(Lezione27)	復習課題 pp.83-85
第5回 Session 5	補語人称代名詞の復習(Lezione22,23)	復習課題 pp.68-73
第6回 Session 6	命令法(Lezione24) イタリアの文化・歴史に関する文章(1)	復習課題 pp.74-76
第7回 Session 7	命令法～代名詞とともに使うとき～(Lezione25) イタリアの文化・歴史に関する文章(2)	復習課題 pp.77-79
第8回 Session 8	比較級と最上級(Lezione26) イタリアの文化・歴史に関する文章(3)	復習課題 pp.80-82
第9回 Session 9	第8回までのまとめと小テスト	テスト問題を各自で振り返る
第10回 Session 10	関係代名詞 イタリアの文化・歴史に関する文章(4)	復習課題 配布プリント
第11回 Session 11	ジェルンディオ イタリアの文化・歴史に関する文章(5)	復習課題 配布プリント
第12回 Session 12	受け身の表現 イタリアの文化・歴史に関する文章(6)	復習課題 配布プリント
第13回 Session 13	条件法 イタリアの文化・歴史に関する文章(7)	復習課題 配布プリント
第14回 Session 14	授業内試験	

授業外学習 Study Required outside Class	毎回一定量の宿題を課すので、おこなったうえで授業に出ること。
---------------------------------------	--------------------------------

教科書/Required texts	著者名: マッテオ・カスターニャ／吉富文 タイトル: イタリアーノ・イタリアーノ 発行所: 朝日出版社 出版年: 2015 ISBN: 978-4-255-55314-6
参考文献・資料 Reference books	『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』(小学館)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	60%	
	その他／Others(99)	40%	授業参加、課題、小テスト
備考 Note	読解に使用するテキストは、受講者の興味とレベルに合わせます。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 03時45分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	G－226

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	46508000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター(CIEC JEASP)／Center for International Education and Cooperation (JEASP)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】総合日本学習科目(宗教)／JSC Japanese Religion		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ヘアマンセン C. (HERMANSEN CHRISTIAN MORIMOTO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	1. To introduce the main religions in present day Japan by examining their roots and historical developments. 2. To discuss cultural expressions of religious commitments, e.g. pilgrimage, architecture and art. 3. To polish the academic skills of the participants through assignments related to the course.		
授業目的(英文) Course Purpose	1. To introduce the main religions in present day Japan by examining their roots and historical developments. 2. To discuss cultural expressions of religious commitments, e.g. pilgrimage, architecture and art. 3. To polish the academic skills of the participants through assignments related to the course.		
到達目標/Learning Goals	1. The participant can outline the history and ideas of the major religions. 2. The participant can discuss cultural phenomena related to religions. 3. The participant can produce an academic paper dealing with an aspect of the general topic.		
到達目標(英文) Learning Goals	1. The participant can outline the history and ideas of the major religions. 2. The participant can discuss cultural phenomena related to religions. 3. The participant can produce an academic paper dealing with an aspect of the general topic.		
授業方法 Course Format	The textbook provides the basis for the class, and all are expected to participate actively in clarifications and discussions. Prepare at least two questions for every class. Participants will be grouped, and each group assigned a different source that it must introduce and discuss in 30 minutes in the designated class.		
検索キーワード/Keywords	History, practices, Buddhism, Shinto, Christianity, "folk" religiosity, gender, politics.		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	04/07 Introduction to the course including the book and the grading system. Due to the New Coronavirus situation this class has been recorded and uploaded on LUNA. Even if you have not yet registered with this course, you will have access to the materials.	Familiarize yourself with the course book. Check the Homepage of the course on LUNA
第2回 Session 2	04/14 Lecture: Chapter 1: Encountering the Jps. Rel. World; The Past in the Present. Due to the New Coronavirus situation this lecture has been recorded and uploaded on LUNA.	Check LUNA
第3回 Session 3	04/21 Materials for the course, except the textbook, available here: https://kwanseio365-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/abw45004_nuc_kwanseio365-my.sharepoint.com/ This and subsequent classes are conducted online. The form is new to me, and probably to you, too. So, we have to work out a comfortable way together. We will review the first two chapters, so prepare questions you have to them. Lecture: Chapter 3: The Way of the Kami	Please, check this link for information: https://kwanseio365-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/abw45004_nuc_kwanseio365-my.sharepoint.com/ I plan to start the class at the scheduled time 15:10, using Zoom. I will send you a link, but please finish your registration with Zoom before 14:00 Tuesday.
第4回 Session 4	04/28 Lecture: Chapter 4: Intro to Buddhism; Early Times	
第5回 Session 5	05/12 Lecture: Chapter 5: Magic Mountains Group 1	
第6回 Session 6	05/19 Lecture: Special: Kannon Bodhsattva. First assignment: An academic discussion of an assigned article.	Read the Kannon sutras for this week's class. (Available on LUNA)
第7回 Session 7	05/26 Lecture: Chapter 6: Warrior Culture Group 2	Assignment: An academic discussion of an article selected by Hermansen. Pay attention to the criteria defined in the rubric. Deadline: Two weeks from now. Submit On LUNA.
第8回 Session 8	06/02 Lecture: Chapter 7: Swords and Satori	
第9回 Session 9	06/09 Lecture: Chapter 8: Christ and Confucius Group 3	Deadline for your academic discussion online.
第10回 Session 10	06/16 Lecture: Chapter 9: The Rising Sun Group 4	
第11回 Session 11	06/23 Lecture: Chapter 10: Chanting and Dancing Group 5	
第12回 Session 12	06/30 Lecture: Chapter 11: Pilgrimages	
第13回 Session 13	07/07 Discussion on Law and Religion in Japan.	
第14回 Session 14	07/14 Last test.	
授業外学習 Study Required outside Class	Extensive reading is encouraged, and inspiration from more advanced researchers a natural outcome. Instructions on reference/citation are given in class and must be followed.	

教科書 Required texts	The course is based on Robert Ellwood's "Japanese Religion: The eBook 2nd Edition" which you can buy and download from http://www.jbeonlinebooks.org/eBooks/japanese/ @ 29.90 USD.
参考文献・資料 Reference books	Barbara Ambros "Women in Japanese Religions" (2015)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施 You are always welcome to contact me, in person or via e-mail: christian.hermansen@kwansei.ac.jp

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	
	平常リポート／Individual reports(04)	40%	Academic skills in description, analysis and discussion, as well as handling of sources.
	その他／Others(99)	30%	Online quizzes (20%)
備考 Note			
The last test has of questions selected from the online quizzes and cover the whole book. In addition, a short essay is required – instructions to follow. NB: Copying without crediting is theft and will result in failing the course = no credit.			
備考 Note			
The content of the syllabus is subject to changes due to the number of participants and other factors. Besides Ellword's work, we shall be using Barbara Ambros' "Women in Japanese Religions" for group presentations. NB: Due to the ongoing New Coronavirus situations, the syllabus will be updated frequently in accordance with the requirements of the university and the state.			
更新日時/Date of Update			
2020年04月21日 09時54分45秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	MR－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	46512000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター（CIEC JEASP）／Center for International Education and Cooperation (JEASP)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】総合日本学習科目（現代日本社会における女性）／JSC Women in Contemporary Japanese Society		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	李 恩子(LEE EUN JA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	This course is designed for students who want to learn what it is to be a woman in modern Japan. The course will be wide-ranging, considering the voices of historical figures and looking at social and cultural issues in the light of gender roles. It will also examine historical and political phenomena, bearing in mind the formulation ‘the personal is political’, which has been influential in women’s studies. The course will also have a comparative component, particularly in respect of feminist and gender issues in the US and elsewhere in the West.		
授業目的(英文) Course Purpose	To learn about the situation of women in Japan		
到達目標/Learning Goals	To learn about the position of women in Japanese society.		
到達目標(英文) Learning Goals	To get knowledge of history on Japanese women		
授業方法 Course Format	Lecture and discussion		
検索キーワード/Keywords	women gender Japanese society		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Course goals and basic concepts.	
第2回 Session 2	Japanese women’s voices in the modern period.	
第3回 Session 3	The notion of the good wife and wise mother (良妻賢母), and the myth of maternity (母性).	
第4回 Session 4	Women and nationalism.	
第5回 Session 5	Japanese women and colonial women.	
第6回 Session 6	The franchise movement and political participation.	
第7回 Session 7	The Anpo struggle and the women’s liberation movement.	
第8回 Session 8	The influence of the second wave of feminism.	
第9回 Session 9	The rise of the women’s movement and feminist studies.	
第10回 Session 10	The desire to be a housewife (専業主婦)vs professional women	
第11回 Session 11	Challenging new laws.	
第12回 Session 12	Women’s poverty (女性の貧困化).	
第13回 Session 13	Students’ presentations and discussion	
第14回 Session 14	Students’ presentations and discussion.	

授業外学習 Study Required outside Class	Read the articles provided and prepare questions relating to the previous session.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	Reading articles will be provided
参考文献・資料 Reference books	Hiratsuka Raisho, In the Beginning Woman Was the Sun, Colimbia University press,1893/2010. Shigeko Okamoto, Janet Smith, eds.,Japanese Langiage, Gender, and Ideology, Oxford University press, 2004.

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	See below
	備考 Note Class attendance and participation in discussions: 30% Two article reviews: 40% Presentation: 30%		
更新日時/Date of Update	2020年01月17日 12時41分46秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G－221

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	46411200	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター(CIEC JEASP)／Center for International Education and Cooperation (JEASP)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】総合日本学習科目(日本のポップカルチャーB)／JSC Japanese Pop Culture B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ムニョス M. J. (MUNOZ MARIA JOSE GONZALEZ)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	In this class we will study, discuss and research about Japanese Pop Culture throughout history in its many and fascinating forms. We will take a look at the most important historical periods and the people who shaped fashion and trends, connecting them to the different ways Japanese Pop Culture has influenced and continues to influence other cultures around the world, most notably through manga and anime, leading to new concepts of fashion, language, lifestyle, music etc.		
授業目的(英文) Course Purpose	In this class we will study, discuss and research about Japanese Pop Culture throughout history in its many and fascinating forms. We will take a look at the most important historical periods and the people who shaped fashion and trends, connecting them to the different ways Japanese Pop Culture has influenced and continues to influence other cultures around the world, most notably through manga and anime, leading to new concepts of fashion, language, lifestyle, music etc.		
到達目標/Learning Goals	In this course, students will become familiar with a basic historical outline from which to explain the development of contemporary pop culture. While researching and discussing a number of works and people from different periods, various genres, media and the important role they play, students will gain a broader understanding of the historical and culture perspective from which contemporary Japanese culture was born and continues to evolve.		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, students will become familiar with a basic historical outline from which to explain the development of contemporary pop culture. While researching and discussing a number of works and people from different periods, various genres, media and the important role they play, students will gain a broader understanding of the historical and culture perspective from which contemporary Japanese culture was born and continues to evolve.		
授業方法 Course Format	Classes will include lectures, audiovisual materials, readings and group/class discussions. The classes will be conducted in English with some Japanese. Whenever possible the Japanese audiovisual materials will be shown with subtitles. This class might include occasional handouts for further Japanese language study connected to the material seen during the course.		
関連科目/Related Courses	Japanese Cinema Traditional Theatre and Literature Japanese culture, society and history.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction to the course. Students' Interest Inventory. What is Pop Culture? Ideas about Japanese Pop Culture and Cool Japan. Research: First cultural encounters between Japan and the students' own countries. Current relations.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework. If you have not registered yet, take a look at the attachments and URLs indicated at the bottom of this syllabus. These are the tasks you should be doing. Contact the instructor here should you have any questions: ayo45352@kwansei.ac.jp
第2回 Session 2	Miyako (Kyoto) and Heian Cool. Pillow Books. Fashion and Lifestyle. Recurrent images of old / Heian Japan in contemporary cinema, advertising, manga and anime. Ancient Poetry in Makoto Shinkai's "The Garden of Words" and "Your Name".	Please check worksheet below! Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework. If you have not registered yet, take a look at the attachments and URLs indicated at the bottom of this syllabus. These are the tasks you should be doing. Contact the instructor here should you have any questions: ayo45352@kwansei.ac.jp
第3回 Session 3	Oda Nobunaga as fashion leader. Cultural influence of Christianity and the exotic foreign. Nanban Art. Depictions of the idea of the exotic foreign vs images of Japan in art and painting. Expressions of foreignness in contemporary culture.	Meeting in Microsoft Teams. Check LUNA for link to join online meeting. Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework. If you have not registered yet, take a look at the attachments and URLs indicated at the bottom of this syllabus. These are the tasks you should be doing. Contact the instructor here should you have any questions: ayo45352@kwansei.ac.jp
第4回 Session 4	The Floating World (Ukiyoe) and performance arts (kabuki, etc) as trend setting forces. Appearance of first manga-type books and stories Expressions of European Japonism in painting, fashion, furniture. Pop Ukiyoe.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework. If you have not registered yet, take a look at the attachments and URLs indicated at the bottom of this syllabus. These are the tasks you should be doing. Contact the instructor here should you have any questions: ayo45352@kwansei.ac.jp
第5回 Session 5	Japan Boom : foreign travellers and photography. Fujiyama / Mount Fuji and Madame Butterfly as symbols of Japan. Foreigners posing as natives. Tourism Industry: postcards, souvenirs, Japanese typical artifacts as presents: "katana, kimono, fan, etc." Trend setting pilgrimages: historical outline and connections to manga/ anime "Seichi" (Manga and Anime location pilgrimage and tourism).	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework. If you have not registered yet, take a look at the attachments and URLs indicated at the bottom of this syllabus. These are the tasks you should be doing. Contact the instructor here should you have any questions: ayo45352@kwansei.ac.jp

第6回 Session 6	Meiji Style and Taisho Chic. Appearance of the girl student and literature for and devoted to her. Publications targetting girls. Famous artists. Current representations of these periods as “roman” in girls and otome manga, anime and games. Anime examples (viewing).	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第7回 Session 7	Early Showa and modernism. Urban culture and its people. The “bad girls”. Cafes, cosmetics, department stores, cinema, jazz and theatres. Examples from literature and old cinema clips. Beginning of social and economic independence of young women.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第8回 Session 8	Interwar and war period. Images of masculinity connected to the ideas of Samurai / Bushido / Confucianism. Some examples from old cinema clips Manga and Manga Eiga (first anime) as propaganda . Reversal of women’ s lifestyles and trends. War kimonos.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第9回 Session 9	Postwar Japan. Changing trends: Kissing on the screen Kamishibai (Japanese street theatre and storytelling). The rise of Manga: reasons. Television Popular Manga Eiga (first television anime). Astro Boy and Tezuka Osamu . Influence of Kobe and Takarazuka Revue on Osamu’ s work. The beginning of Japanimation.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第10回 Session 10	Bubble economy and pop culture Urban tribes. Bikers Gangs. Dystopian Japan: Neo- Tokyo 2019 and “Akira” (1988) In- class film viewing.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第11回 Session 11	Icons: Nausicaä of the Valley of the Wind (1984) and Neon Genesis Evangelion (1995- 1996). Clips viewing. Manga and Anime subcultures. Cosplay, fandom. Akihabara: from electronics to otaku, maid cafes, manga, anime and games paradise.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第12回 Session 12	Idol culture: past and present. J- Pop Kon Satoshi’s “Perfect Blue” (1997) In- class film viewing.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第13回 Session 13	Anime Industry: a 2- trillion yen earnings business Latest anime trends and productions. Kyo-Ani: recognition, success and tragedy. Example clips.	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.
第14回 Session 14	Semester wrap-up and test	Follow instructions in LUNA's announcements shortly before our class meeting time and / or refer to previous announcements for tasks and homework.

授業外学習 Study Required outside Class	Students will be required to prepare classes in advance, do homework, read about and view different media examples relevant to the course contents. Materials and online content and resources will be provided by the instructor during the course. Students are required to get acquainted with the LUNA system to access class information, readings, relevant web links and/ or submit homework.
---------------------------------------	--

参考文献・資料 Reference books	The instructor will provide an updated list of useful bibliography and other online resources at the beginning of the course through LUNA.
----------------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	100%	End-of-term test: 60%, Essay 20%, Fieldwork Reports 10%, Attendance and Participation 10%	
	備考 Note Students are expected to attend all classes and prepare them in advance, together with homework and assigned readings. Active participation is also encouraged and combined with attendance is part of the grade (10%). There will be a written assignment / essay (20%) and a test at the end of the course (60%). Students are required to do one fieldwork report on any aspect of Japanese Pop Culture. (10%). Depending on the number of students, students will be required to prepare presentations on related topics of their choice or present them in small groups.			
添付ファイル1/File Attachment 1	UNDERSTANDING JAPANESE POP CULTURE CLASS 1.docx		説明1/Explanation 1	Introduction to the subject.,Complete the Google Form in URL 2
添付ファイル2/File Attachment 2	UNDERSTANDING JAPANESE POP CULTURE CLASS 1.docx		説明2/Explanation 2	
添付ファイル3/File Attachment 3	2020OnlineUNDERSTANDING JAPANESE POP CULTURE.docx		説明3/Explanation 3	Class 2 –Worksheet and Tasks for April 28th
URLリンク1/URL 1	https://forms.gle/ukdzdiaWdQsPtqxp8			
URLリンク2/URL 2	https://forms.gle/fq1yMQsmfXPY7JhQ9			
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 21時50分59秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	G－326

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	46561000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター(CIEC JEASP)／Center for International Education and Cooperation (JEASP)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】総合日本学習科目(現代韓国研究B)／JSC Contemporary Korean Studies B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	李 恩子(LEE EUN JA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
特記事項/Special Instructions	【合併】総合日本学習科目(現代韓国研究B)(CIEC)/Contemporary Korean Studies B(国際学部)		
授業目的/Course Purpose	This course will look at Korean society through the lens of various films. This course will also tuch upon basic cultural aspects of modern Korean society including popular culture through books, films, journals, and other audiovisual materials. We will also critically examine the role of culture and its relation to political ideologies from the point of gender in both traditional and contemporary society.		
授業目的(英文) Course Purpose	Using Korean films as texts students will learn korean sociery		
到達目標/Learning Goals	This course will look at Korean society through the lens of various films. This course will also tuch upon basic cultural aspects of modern Korean society including popular culture through books, films, journals, and other audiovisual materials. We will also critically examine the role of culture and its relation to political ideologies from the point of gender in both traditional and contemporary society.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will gain the historical background of each issues in the Korean society		
授業方法 Course Format	lecture, filma and discuuion		
検索キーワード/Keywords	Korea, film, popular culture		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Introduction	
第2回 Session 2	Lecture on Korean Culture and Society	
第3回 Session 3	KLecture on Korean Film history	
第4回 Session 4	Lecture on Film 1	
第5回 Session 5	Popular Film 1	
第6回 Session 6	Film 1	
第7回 Session 7	Discussion on the film	
第8回 Session 8	Lecture on film 2	
第9回 Session 9	film 2	
第10回 Session 10	film 2	
第11回 Session 11	discussion on the film	
第12回 Session 12	presentation	
第13回 Session 13	presentation	

授業外学習 Study Required outside Class	A.To read the internet journals, and/or newspapers for articles related to Korea and to bring the most interesting to class to share. B. To prepare both general and specific questions of personal interest related to Korea to class for discussion. .
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	various articles will be provided
参考文献・資料 Reference books	various articles will be provided

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	
	備考 Note 備考 Note 平常リポート(Ordinary paper) Attendance and discussion participation 50% Reading assignment 10% Review paper 20% Final research paper 40%		
更新日時/Date of Update	2020年02月21日 14時09分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	G－227

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	46606000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター（CIEC JEASP）／Center for International Education and Cooperation (JEASP)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】総合日本学習科目（言語と文化B）／JSC Language and Culture in Japan B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	町田 奈々子(MACHIDA NANAKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
特記事項/Special Instructions	【合併】総合日本学習科目（言語と文化B）（CEIC）/Language and Culture in Japan B（国際学部）		
授業目的/Course Purpose	This course is a continuation of Language and Culture in Japan A. The main objective of this seminar is to gain a deeper understanding of the topics covered in Language and Culture A. Emphasis is placed on having students analyze the Japanese language data and investigate how the concept of “self”, uti-soto (in-group and out-group), or empathy, for example, is encoded in the language. Youth language and Osaka-dialect are also discussed.		
授業目的（英文） Course Purpose	This course is a continuation of Language and Culture in Japan A. The main objective of this seminar is to gain a deeper understanding of the topics covered in Language and Culture A. Emphasis is placed on having students analyze the Japanese language data and investigate how the concept of “self”, uti-soto (in-group and out-group), or empathy, for example, is encoded in the language. Youth language and Osaka-dialect are also discussed.		
到達目標/Learning Goals	To understand some of the important characteristics of the Japanese language. To understand how language and society are related using linguistic data from the Japanese language. To be able to present what students learned in the assigned readings. To be able to work on a project and do the presentations.		
到達目標（英文） Learning Goals	To understand some of the important characteristics of the Japanese language. To understand how language and society are related using linguistic data from the Japanese language. To be able to present what students learned in the assigned readings. To be able to work on project and do the presentations.		
授業方法 Course Format	The class is usually delivered using seminar style. However, the course will be delivered online: on demand style this semester. There will be lectures and students' recorded presentations of the assigned articles based on their interests. Students will also work on their small research projects, which requires readings, research and individual presentations.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	Outline of the course	The first online class was delivered here as attachment files at 16:40 on April 21. If you missed the class, please read them carefully about the content and requirements. As a part of the first class, please see the following video. https://drive.google.com/open?id=1e4jb8UF6uAKk4fZdgUwOBXMz0ywyE5BA If you cannot download this, please see the following two files by Youtube. https://youtu.be/q5hJXPo4qUA https://youtu.be/7dYbD5J0OGU You have to watch the video, read the attachment files carefully and fill out the information sheet and send it to me my email by April 25. Please make sure that you will receive the confirmation message from me. As for the reading assignments for the next week, please look over the following three readings. Sociolinguistics: https://drive.google.com/file/d/1Zv0HuWaR4nCdjvMMoTH92FkeCFM6eEk4/vi Japanese communication: https://drive.google.com/file/d/1IEbRrnaAMXatyVcCZMPPYU04muTzwSE6/vi Dialects by Shibatani https://drive.google.com/file/d/16nLyFWhcjcOSTc3y8GQsEcWOH0sC
第2回 Session 2	Some characteristics of the Japanese language	The second online class will be delivered at 16:50 on April 28th.
第3回 Session 3	Japanese kinship terms and concept of “self”.	
第4回 Session 4	Youth Language	
第5回 Session 5	Regional dialects	
第6回 Session 6	The world of Osaka-ben	
第7回 Session 7	More on Japanese women’s language	
第8回 Session 8	More on uchi/soto and keigo in Japanese	
第9回	Expressing Emotion in Japanese	

Session 9 第10回 Session 10	The world of onomatopoeia in Japanese	
第11回 Session 11	More on aizuchi	
第12回 Session 12	Non-verbal communication	
第13回 Session 13	Preparation for the presentations of the Projects	
第14回 Session 14	Presentation of Projects	

授業外学習 Study Required outside Class	Note: (1) This is the Online course: On demand There will be lectures and students' recorded presentations of the assigned articles based on their interests. Students will also work on their small research projects, which requires readings, research and individual online presentations. (2) The first online class will be delivered here as an attachment files by 16:40 on April 21. Please read them carefully about the content and requirements. As for today's recorded class, please see the following. https://drive.google.com/open?id=1e4jb8UF6uAKk4fZdgUwOBXMz0ywyE5BA If you cannot download this, please see the following two files by Youtube. https://youtu.be/q5hJXPo4qUA https://youtu.be/7dYbD5J0OGU You have to watch the video, read the attachment files carefully and fill out the information sheet and send it to me my email by April 24. Please make sure that you will receive the confirmation message from me. I will also upload the reading assignment for the next week by the end of tomorrow, midnight April 22.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	Reading Packages 1 & 2 prepared by Nanako Machida The reading assignment from the packages will be delivered online each week.
参考文献・資料 Reference books	Brosnahan, L. Japanese and English gestures: Contrastive non-verbal communication. 『しぐさの比較文化 - ジェスチャーの日英比較』大修館, 1988 Chaika, E. Language: The Social Mirror, Second Edition. New York: New Bury House, 1989. Cherry, K. Womensword: What Japanese Words Say About Women. Tokyo: Kodansha International, 1991. Doi, T. The Anatomy of Dependence, Translated by John Bester. Tokyo: Kodansha International, 1973. Gottlieb, Nanette. Language and Society in Japan. Cambridge, UK: Cambridge University Press, 2005. Hill, B., Ide, S., Ikuta, S., Kawasaki, A., and Ogino, T. "Universals of Linguistic Politeness: Quantitative Evidence from Japanese and American English," Journal of Pragmatics, 10. 347-371, 1986. Ide, S. "Japanese Sociolinguistics: Politeness and Women's language," Lingua 57, 1982. Ide, S. "How and Why Do Women Speak Politely in Japanese?," in S. Ide and N.H. McGloin, 1990. Ide, S. and N.H. McGloin, Eds. Aspects of Japanese Women's language. Tokyo: Kuroshio Publishers, 1990. Maynard, S.K. Japanese Communication: The Language and Thought in Context. Honolulu: University of Hawai'i Press, 1997. Miller, L. "You are doing Burikko!: Censoring/Scrutinizing Artificers of Cute Femininity in Japanese," in Okamoto and Shibamoto, 2004. Mills, s. Gender and Politeness. New York: Cambridge University Press, 2003. Nakane, C. Japanese Society. Hammondsworth: Penguin Books, 1970. Okamoto, Shigeko & Janet S. Shibamoto. Japanese Language, Gender, and Ideology - Cultural Models and Real People. New York, NY: Oxford University Press, 2004. Paulston, Christina Bratt and G. Richard Tucker, Eds. Sociolinguistics: The Essential Readings. Malden, MA: Blackwell Publishing, 2003. Shibatani, M. The Languages of Japan. Cambridge, England: Cambridge University Press, 1990. Sugimoto, Y. (ed.) The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture. New York: Cambridge University Press, 2009. Suzuki, T. Words in Context - A Japanese Perspective on Language and Culture, Translated by Akira Miura, Tokyo: Kodansha International, 1984. Tanaka, L. Gender, Language and Culture: A study of Japanese television interview discourse. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins, 2004. Trudgill, P. Sociolinguistics: An Introduction. Hammondsworth: Penguin Books, 1974. Tsujimura, N. An Introduction to Japanese Linguistics, Oxford: Blackwell Publishers, 1996. Watts, Richard, Sachiko Ide and Konrad Ehlich. Politeness in Language. 2nd edition, Berlin • New York: Mouton de Gruyter, 2005. Wetzel, P.J. Keigo in Modern Japan, University of Hawai'i Press, 2004.

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.	
	定期試験に代わるリポート／ Term paper to replace the final examination(02)	40%		
	その他／Others(99)	60%	Participation (by doing reading and writing assignments), a presentations of the assigned article, and a student's presentation of his/her project	
添付ファイル1/File Attachment 1	関学春シラバス20 春クラス.doc.docx		説明1/Explanation 1	
添付ファイル2/File Attachment 2	関学 Information sheet 2020 .docx		説明2/Explanation 2	
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 22時57分54秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	MR-201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	47023000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(資格)／Research Center for Teacher Development (for Certifications)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】学習指導と学校図書館／Subject Guidance and School Library		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	阿部 はる奈(ABE HARUNA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	3年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	児童と生徒の学習を再活性化する可能性を持った学習指導における学校図書館の活用法について理解を深める。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to deepen their understanding of how to effectively utilize a school library in educational guidance, which can reactivate a child's or student's learning.		
到達目標/Learning Goals	学校図書館を活用する調べ学習(探求学習)に焦点を当てながら、必要な知識と指導技術を修得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to acquire knowledge and teaching skills which are essential for a teacher librarian with a focus on inquiry-based learning in a school library.		
授業方法 Course Format	講義と講義関連演習(演習レポートの提出と発表) ＊当面はオンライン授業(オンデマンド型)で進めていきます。		
関連科目/Related Courses	学校経営と学校図書館		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学校図書館が拓く新しい教育の可能性	【新型コロナ対応:4月7日15時30分更新】 添付ファイルの「学習指導と学校図書館2020スライドpdf」のp.1-7を読んでおくこと。演習課題等は第2回以降に取り組み方を含めてLUNAに掲載予定。
第2回 Session 2	学力とは何か	【新型コロナ対応:4月15日0時30分更新】 更新が遅れ申し訳ありません。 第1回のスライドp.1-7を読んだうえで添付ファイル2、3の演習シートに取り組むこと。提出方法は後日指示しますので、入力したものを各自保存しておいてください。
第3回 Session 3	学校図書館を活用する調べ学習の過程(1)―課題設定①	【新型コロナ対応:4月21日17時15分更新】 「学習指導と学校図書館2020スライドpdf」のp.7-10を読み、自分が中高生だったらどんなテーマで調べ学習や論文作成をしてみたいかテーマ候補を3つ程度考える。その上で添付ファイル4、5の演習に取り組んでみてください。取り組み方の詳細はLUNAに提示しておきます。
第4回 Session 4	学校図書館を活用する調べ学習の過程(2)―課題設定②	
第5回 Session 5	学校図書館を活用する調べ学習の過程(3)―情報検索・収集	
第6回 Session 6	学校図書館を活用する調べ学習の過程(4)―情報を記録する	
第7回 Session 7	学校図書館を活用する調べ学習の過程(5)―結論を導く・成果をまとめ、発表する	
第8回 Session 8	学習活動を支援する学校図書館の現状と課題(1)―メディアの整備	
第9回 Session 9	学習活動を支援する学校図書館の現状と課題(2)―レファレンスサービス(グループ内での発表)	
第10回 Session 10	調べ学習の指導案作成要領(1)―自己課題(卒業論文課題など)に取り組む(1)課題設定	
第11回 Session 11	調べ学習の指導案作成要領(2)―自己課題(卒業論文課題など)に取り組む(2)情報を整理し記録する	
第12回 Session 12	調べ学習の指導案作成要領(3)―調べ学習指導計画作成	
第13回 Session 13	調べ学習の指導案作成要領(4)―調べ学習指導計画の発表(グループ内)	
第14回 Session 14	調べ学習の指導案作成要領(5)―調べ学習実践例	
第15回 Session 15	ふりかえり試験	【新型コロナ対応:4月21日17時15分更新】 対面授業が春学期期間中にできなかった場合は、ふりかえり試験もレポートとして提出していただきます。(対面授業の場合でも資料持ち込み可の試験です)
授業外学習 Study Required outside Class	上記の演習のための準備作業を進める。	

教科書 Required texts	レジュメ(スライド)を配布
参考書/Reference books	著者名: 宅間紘一 タイトル: 三訂版 はじめての論文作成術 発行所: 日中出版 出版年: 2008 ISBN: 978-4-8175-1273-4 著者名: 天道佐津子編 タイトル: 読書と豊かな人間性の育成 改訂版 発行所: 青弓社 出版年: 2011 ISBN: 978-4-7872-0046-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	演習課題提出時の質問を通して

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	授業最終日にふりかえり試験
	平常レポート／Individual reports(04)	70%	「自己課題演習への取り組み」「調べ学習案作成」等
	備考 Note 平常レポートには、毎授業での演習レポート提出と最終授業における「ふりかえり試験」を含む。		
備考 Note	4月7日「学習指導と学校図書館2020スライドpdf」を添付しました。 4月15日「これまでの学びをふりかえる2020」「学力とは何か2020」を添付しました。 4月21日「問う準備1～自分の関心領域に気づこう」「問う準備1～関心領域を絞る」を添付しました。		
添付ファイル1/File Attachment 1	学習指導と学校図書館2020.pdf	説明1/Explanation 1	学習指導と学校図書館2020スライドpdf
添付ファイル2/File Attachment 2	演習1. これまでの学びをふりかえる2020.doc	説明2/Explanation 2	これまでの学びをふりかえる2020
添付ファイル3/File Attachment 3	学力とは何か2020.doc	説明3/Explanation 3	学力とは何か2020
添付ファイル4/File Attachment 4	問う準備1～自分の関心領域に気づこう.doc	説明4/Explanation 4	問う準備1～自分の関心領域に気づこう
添付ファイル5/File Attachment 5	問う準備1～関心領域を絞る.doc	説明5/Explanation 5	問う準備1～関心領域を絞る
更新日時/Date of Update	2020年04月21日 17時15分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	B－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48003002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】教育原論 2／General Principles of Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	白銀 夏樹(NATSUKI SHIROKANE)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想について理解し、教師に求められるさまざまな観点や基本的な態度を身につけることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand educational history and philosophy in Japan and the West and to acquire the viewpoints and fundamental attitudes required for teachers.		
到達目標/Learning Goals	教育に関する基本的な知識と理解を発展させ、さまざまな学問的観点、特に歴史的・哲学的な観点から、教育の諸問題を分析し考察できるようになることを目標とする。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to develop their basic knowledge and understanding of education and analyze and consider educational problems from various academic perspectives, especially historical and philosophical perspectives.		
授業方法 Course Format	オンライン授業		
検索キーワード/Keywords	教育思想／教育史		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	教育の理念と目的を考察する	
第2回 Session 2	古代ギリシャの教育思想に見る教育思想の類型	
第3回 Session 3	西欧中世の教育思想を手がかりに考察する宗教と教育の関係	
第4回 Session 4	近代の子ども観～子どもの発見	
第5回 Session 5	啓蒙と教育	
第6回 Session 6	近代教育思想の隆盛～自然概念と教育	
第7回 Session 7	教育学の成立と広がり	
第8回 Session 8	公教育の成立と広がり	
第9回 Session 9	子どもの世紀としての20世紀	
第10回 Session 10	現在の諸外国の教育	
第11回 Session 11	日本における教育制度の歴史	
第12回 Session 12	江戸時代の多様な学び	
第13回 Session 13	学制以降の近代公教育制度	
第14回 Session 14	戦争と教育	
第15回 Session 15	現在の日本の教育	

授業外学習 Study Required outside Class	オンデマンド型(録画を見たり教材を読むなど)の授業です。LUNAに教材等を掲示します。4月21日1時限から見るができます。
---------------------------------------	---

参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄、森川直、坂越正樹編 タイトル:教育的思考の作法2——教育学概論 発行所:福村出版 出版年:2008 ISBN:978-4571101403
	著者名:眞壁宏幹編 タイトル:西洋教育思想史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2016 ISBN:978-4-7664-2327-3
	著者名:山本正身 タイトル:日本教育史 発行所:慶應義塾大学出版会 出版年:2014 ISBN:978-4-7664-2131-6
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	100%	
更新日時/Date of Update		2020年04月17日 11時20分30秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	B－301

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48055001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育方法基礎論 1／Basic Prncpls of Edl Meth		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、教育方法論に関する基礎的事項を深く理解し、今後の教育ほうほうのあり方を模索し、良き授業実践者としての資質を得ることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course for the students to deepen their understanding of the fundamentals of educational methodology.		
到達目標/Learning Goals	本講義の到達目標は、以下の三点である。 ・学校教育において多様なメディアを活用できる。 ・アクティブ・ラーニングとその評価の多様な方法を活用できる。 ・教育方法論の研究領域に関する文献を批判的に読むことができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・use various media in school education, ・use various processes for teaching and evaluation of it, ・critically read papers from the research field of educational methodology.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、教育の方法を考察するとき、アクティブ・ラーニング、ICTやCAIの利用、ソーシャル・ルキャピタルとの連携といった現代的手法やその学習効果と評価について主体的かつ集团的に考えることは、将来の教育者として不可欠の学修要素である。本講義は、従来の方法論の歴史的展開や基礎的事項の理解を踏まえつつ、教育方法論の現代的展開を自らの教育実践的に生かすことができるように授業を展開していく。		
授業方法 Course Format	オンライン授業。対面講義再開の場合は、アクティブラーニング等を取り入れた授業を行う。		
関連科目/Related Courses	各教科教育法		
検索キーワード/Keywords	教育方法 アクティブ・ラーニング ICT CAI		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講義内容の概要と評価基準のオリエンテーション。初回は教育実践基礎論』補章(pp.119-130)を予習しておくこと。以後、予習・復習の範囲は講義で提示する。	[新型コロナ対応4月27日21時15分更新]授業開始は4月21日1限からとし、各自課題に取り組んでください。教科書『教育方法原論』の問題演習1(71頁)の設問1「良い授業と悪い授業の違いは何か。自分はどのような授業を行いたいか」について400字程度の解答をWebで提出してください。提出方法等詳細は下記添付LUNA科目ホームページを参照。課題締め切りを5月7日正午に変更しました。
第2回 Session 2	教育方法論の史的展開:学習者主体の能動的学習の潮流	[新型コロナ対応4月27日21時15分更新]指定教科書『教育方法原論』等を参考に、「アクティブラーニング(AL)とは何か」を理解したうえで、「自分自身が児童生徒時に体験した印象深いALは何か、またその理由は何か」について400字程度で回答する課題をLUNAで提出してください。講義内容、課題の詳細はLUNAでご確認ください。
第3回 Session 3	学習指導要領とアクティブラーニング:近年の学習指導要領改訂のねらいと課題	[新型コロナ対応4月19日0時027分更新]中学・高校の「学習指導要領解説」総則編(添付ファイル参照)を読み、自分が取り組みたい「創意工夫を活かした特色ある教育活動」で、最も目指したいと思う事柄を一つ挙げて、その理由を400字程度で考えてください。後日Webで提出してもらう予定です。提出方法は後日連絡します。 (https://www.mext.go.jp/content/1407073_01_1_2.pdf)
第4回 Session 4	学習指導要領改訂における教育方法の進化とルーブリック評価等評価方法論の展開	
第5回 Session 5	アクティブ・ラーニング(1):グループ・ワークの意義と指導法	
第6回 Session 6	アクティブ・ラーニング(2):ブレイン・ストーミング指導の実際	
第7回 Session 7	アクティブ・ラーニング(3):発想・協働の教育方法	
第8回 Session 8	学習メディアの史的展開と学校図書館等の現代的活用	
第9回 Session 9	従来型のメディアとネットワーク:教育関連メディアとソーシャル・ルキャピタル	
第10回 Session 10	現代の学習メディアと教育方法論:インターネット及び視聴覚メディア	
第11回 Session 11	CAI:教育現場におけるIT機器活用の課題と展望	
第12回 Session 12	ICTと評価:S-P表の作成と分析手法など実際の運用例と評価の課題を考える。	
第13回 Session 13	ICT機器を活用した授業実践の今日的展開－反転授業等	
第14回 Session 14	効果的な教育方法論の統合と課題	
第15回 Session 15	講義の総括:未来への教育を考える	

授業外学習 Study Required outside Class	講義前に教科書の該当部分を読了していることを前提として講義を行う。適宜、課題提出を課すので、期日を厳守して提出すること。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:吉田卓司 タイトル:教育方法原論 発行所:三学出版 出版年:2013 ISBN:978-4-903520-76-6 著者名:吉田卓司 タイトル:教育実践基礎論 発行所:三学出版 出版年:2017 ISBN:978-4-908877-08-7
参考文献・資料 Reference books	適宜講義時に指示、紹介等をする予定です。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	関西学院大学の授業評価の実施と連携・協力して、授業評価を行う予定です。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	提出状況と内容.定期試験実施可能な場合は実施予定	
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	レポート提出状況と内容	
備考 Note	時事的内容の追加、アクティブ・ラーニングの進行状況により、講義内容の加除修正を行うことがある。			
添付ファイル1/File Attachment 1	高等学校指導要領解説 総則編.pdf		説明1/Explanation 1	
添付ファイル2/File Attachment 2	中学校学習指導要領解説 総則編.pdf		説明2/Explanation 2	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_187784_1&cmp_tab_id=_216651_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 21時22分52秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	5別－6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48066002	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)/Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】環境教育論 2/Principles of Environmental Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業目的/Course Purpose	将来、教師になることを目指す学生が知識の習得だけに留まらず、自然の美しさ・奥深さに気づくことを目的とする。また、自然を大切にすることを心もった子どもを育てる人間教育としての環境教育を達成できることを目指す		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students intending to be teachers in the future, not only to acquire knowledge but also notice the beauty and depth of nature as well as to achieve methods for environmental education as a human education to nurture children with a heart that respects nature.		
到達目標/Learning Goals	・環境教育のインタープリターとして、生徒や一般市民に通用することができる。 ・生涯学習として地球環境問題や環境保全に関する行動ができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・be capable interpreters of environmental education for middle and high-school students and general public ・take actions based on lifelong learning for global environmental issues and environmental conservation		
授業方法 Course Format	講義・発表・実践を行う。時には受講生からの質問や考察を交え参加型の授業の展開も目指す。実習の材料調達や観察に適した時期があるので、若干の変更が発生する。 ※ 当面の間はオンライン授業(オンデマンド)を実施、授業進行も前後する場合があります。第11回の授業は状況により判断します。		
関連科目/Related Courses	特になし		
検索キーワード/Keywords	環境教育 環境問題 生態系 生物多様性 生涯学習 人間教育 インタープリター		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	環境教育とは何か: “自然はみて・みて・みる” サツマイモやジャガイモのイモは、根か茎か? 環境教育を取り巻く時代の状況や社会の状況を俯瞰するとともに、イントロダクションとして授業全体の内容を概説	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第2回 Session 2	生態系と生物多様性: ”みんなちがって みんないい” 生物多様性は人間存在の基盤であることを認識する	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第3回 Session 3	環境教育の方法と実践(1): 生態系のつながり・いのちのつながりの面白さに着目する。”煮干しのお腹から海の環境を考えよう”(食物連鎖・生物濃縮と食生活など)	【復習】実習についてレポートを作成する 【予習】予め提示された環境問題の資料を収集する
第4回 Session 4	環境問題の課題発表1: エネルギー問題(原子力発電を含む)についての発表をもとに、課題解決に向けてのディスカッションを行う	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第5回 Session 5	環境問題の課題発表2: 地球温暖化、大気汚染についての発表をもとに、課題解決に向けてのディスカッションを行う	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第6回 Session 6	学校での環境教育1: ”ウサギ追いしかの山〜” 唱歌・童謡に見る生き物たち フィールドワーク実施時の安全性の確保	【予習】フィールド学習のための準備物を調達しておく
第7回 Session 7	環境教育の方法と実践(2):フィールド学習 ”五感で感じる” 校内の樹木や草本の観察を通して、自然物への気づきを体験する	【復習】フィールド学習の目的や実習から得られた知見をレポートする 【予習】海外の環境教育について資料を収集する
第8回 Session 8	学校での環境教育2: 校内で実施できる環境教育についてお互いに発表し、学び合うことによって、環境教育の充実を図る	【復習】ESDIについてレポートを作成する 【予習】GISや希少生物について調べておく
第9回 Session 9	GIS(地理情報システム)の活用: ”ダルマガエルはどこにいるか”と”儲かるコンビニをどこにつくるか”は共通点がある	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】授業開始日までに資料をLUNAに掲載
第10回 Session 10	環境教育の方法と実践(3): 環境を調べる方法として身近な生物を利用する、生物指標とは何か。(植物の浄化作用、マツの気孔など)	【新型コロナ対応:4月20日14時20分】授業開始日までに資料をLUNAに掲載
第11回 Session 11	環境教育の方法と実践(4) ゲストティーチャーによる「菌と骨の物語」ーイノシシ、シカなどの実物の骨から生物の巧みさを学ぶ ※ 講義のテーマは予定	【復習】講演から学んだことをレポートする 【予習】バイオメティクスについて調べておく
第12回 Session 12	野生生物の危機:”生き物は宝の山” 外来種の侵入・増殖による固有生態系の崩壊が起きている。外来生物がもたらす問題を取り上げるとともに、野生生物の重要性について考える	【復習】野生生物の重要性についてレポートする 【予習】学習指導要領などから道徳教育について調べておく
第13回 Session 13	環境教育と道徳教育: 自然とのふれあいを通して、生命の尊重を学ぶ	【予習】レイチェル・カーソンの『センス・オブ・ワンダー』を読んでおく。できれば主著の『沈黙の春』の最初だけでも読めればなおよい
第14回 Session 14	レイチェル・カーソンの世界: 自然に感動できる豊かな感性(センス・オブ・ワンダー)を生涯持ち続けるには、何をしなければならないのか	【復習】レイチェル・カーソンの考え方と自分の環境教育に関する考え方について小論文を作成する 【予習】各受講生が環境教育実践の場で必要なインタープリターとしての役割を披露するための準備を行う
第15回 Session 15	環境教育の実践者を目指して: 自ら考え行動できる人間を育成するための課題について考察する。”Think Globally, Act Locally”	【復習】本授業の目標達成について自己評価を行う

授業外学習 Study Required outside Class	当面の間はオンライン授業(オンデマンド型)。初回のオンライン授業は③回目4/21(火)から実施、対面式授業予定は⑦5/26(火)から実施。授業進行は前後しています。①・②回目のオンライン授業は各自で済ませるようにしてください。課題、連絡、質問などはLUNAを通して実施します。⑪回目について、対面式授業ができないときは別途連絡します。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領(すべて文科省)
参考文献・資料 Reference books	レイチェル・カーソン(青樹 築一訳)「沈黙の春」新潮文庫 1974 □ レイチェル・カーソン(上遠恵子訳)「センス・オブ・ワンダー」新潮社 1996 中西敏昭 「環境・ぼくたち・未来」保育社 2002□ 環境省>カテゴリ>環境教育・学習 http://www.eic.or.jp/category/ □ 環境省>自然環境局>自然環境・生物多様性 http://www.env.go.jp/nature/ □ 文部科学省>パンフレット環境教育の推進に向けて>主な環境関係法令□ http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/jizoku/kankyoku.htm
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	50%	内容評価
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	内容評価
	その他／Others(99)	20%	講義やディスカッションへの意欲, 発表内容
	備考 Note 定期考査や対面式授業によるディスカッションができないときは, 平常レポート, 課題などで評価の予定です。		
添付ファイル1/File Attachment 1	環境教育論2①.docx	説明1/Explanation 1	課題あり
添付ファイル2/File Attachment 2	環境教育論2②.docx	説明2/Explanation 2	課題あり
添付ファイル3/File Attachment 3	環境教育論2④⑤.docx	説明3/Explanation 3	課題あり
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_189178_1&cmp_tab_id=_218045_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時24分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	IV－201

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48007001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】教育課程論 1／Principles of Curriculums in Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	小谷 正登(KOTANI MASATO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	【合併】教育課程論 1(教職(専門))/教科教育法基礎論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、教育課程の編成と実施に関する基本的な概念・知識および歴史的変遷を学び、現在の教育課程をめぐる課題について理解することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will be introduced to the basic concepts, knowledge, and historical developments in the formation and implementation of educational curricula. The course aims to provide an understanding of various topics in curriculum studies.		
到達目標/Learning Goals	以下の4点を到達目標として設定する。 ・教育課程とその編成に関わる基本的概念・知識を身につける。 ・教育課程が学習指導要領などの諸法規に基づき編成されていることを理解する。 ・教育課程に関わる歴史と現状、学習指導要領の改訂の動向について自己の意見を展開できる。 ・教育課程の編成と実施に関する基礎的実践力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following four learning objectives: ・ Become familiar with the concepts and knowledge in the formation of educational curricula; ・ Become familiar with the formation of educational curricula based on various regulations within course of study; ・ Develop individual opinions on current and historical trends in course of study ・ Gain the ability to discuss topics related to the formulation and implementation of educational curricula.		
授業の概要・背景 Course Outline	学校教育は教育活動の計画である教育課程にもとづいて、公教育・意図的教育として展開されている。そして、学校教育の中心の一つである教科教育では、教科の何(教育内容)を、どのように教え(教育方法)、どのようにその成果を検証(教育評価)するかを検討する必要がある。教科以外の領域における教育活動の内容についても、学習指導要領をもとに教育課程が編成されている。本授業では、学習指導要領をもとにどのような観点で教育計画が立てられ、教育内容として編成されているか、その指導方法・評価方法さらにカリキュラム・マネジメントについて実践をふまえて考察する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	オンライン授業の形式(オンデマンド型)		
検索キーワード/Keywords	教育課程 学習指導要領 教科教育 学習指導 教育評価		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	学習指導要領の歴史的変遷(その概要)	関西学院大学リポジトリにある以下の論文(P42～47・学習指導要領の変遷)を読んで下さい(添付ファイル1参照)。 『教育課程編成の動向と課題：学習指導要領改訂と教育基本法改正を視点に』 著者：小谷 正登、教職教育研究：教職教育研究センター紀要、(13),39-56 (2008-03-31)
第2回 Session 2	新学習指導要領の概要	URLリンク1 から、「新しい学習指導要領の考え方」(文部科学省)にアクセスし、その内容に目を通す。
第3回 Session 3	教科・教育課程とは(その意義・役割・機能、学習指導要領の位置付けについて)	4月21日2時間目より、LUNA利用してオンライン授業の形式(オンデマンド型)で授業を行います。
第4回 Session 4	教育課程の基準構造(1)(憲法、教育基本法、学校教育法などの内容をもとに)	
第5回 Session 5	教育課程の基準構造(2)(学校教育法、学校教育法施行規則などの内容をもとに)	
第6回 Session 6	教育課程の基準構造(3)(地方教育行政の組織および運営に関する法律、その他の関連法令をもとに)	
第7回 Session 7	学習指導要領の歴史的変遷(1)(昭和22年度版～昭和33年度版の学習指導要領まで)	
第8回 Session 8	学習指導要領の歴史的変遷(2)(昭和33年度版から平成元年度版の学習指導要領まで)	
第9回 Session 9	学習指導要領の歴史的変遷(3)(平成元年度版～新学習指導要領まで)	
第10回 Session 10	教育課程・学習指導に関する諸制度(1)(新学習指導要の内容、学習指導要領改訂から教科書採択までの諸手続きなど)	
第11回 Session 11	教育課程・学習指導に関する諸制度(2)(教科書及び補助教材の使用、著作権、具体的な授業方法などについて)	
第12回 Session 12	教育課程・学習指導に関する諸制度(3)(教育課程上の学習指導の意義・目的及び具体的方法)	
第13回 Session 13	教育課程の評価と改善(1)(評価の意義・目的、基準・機能による評価の分類など)	
第14回 Session 14	教育課程の評価と改善(2)(機能による評価の分類、指導要録などについて)	
第15回 Session 15	カリキュラム・マネジメントについて(その意義と重要性、カリキュラム評価について)	

授業外学習 Study Required outside Class	日頃から教育問題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	自作のレジュメ、配布資料(プレゼンテーションソフト用)を使用する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2017 ISBN:
	著者名:文部科学省 タイトル:高等学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校学習指導要領
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	その他／Others(99)	100%	定期試験の実施の有無で評価方法が異なります。現在、詳細について検討中です。	
添付ファイル1/File Attachement 1	20090907-4-14.pdf		説明1/Explanation 1	『教育課程編成の動向と課題：学習指導要領改訂と教育基本法改正を視点に』
URLリンク1/URL 1	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdf			
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 18時09分33秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G－301

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 1／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	藤井 一亮(FUJII KAZUAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校、高等学校における教師として、新学習指導要領を理解し、指導力を身に付けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand new educational guidelines and acquire ability to lead as a teacher in junior high school and senior high school.		
到達目標/Learning Goals	1. 教科の内容、知識を広く、深くすることができる。 2. 年間授業計画および毎日の指導案の作成ができる 3. 実践的な指導技術を獲得できる。 4. 思考力、判断力、表現力豊かな教師になることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. expand and deepen the knowledge, contents of subjects, 2. make lesson plan in a year and a teachers guide in a day,n 3. obtain practical skills for teaching, 4. become excellent teachers who have a rich ability to think, to judge and to express.		
授業の概要・背景 Course Outline	社会・地理歴史科の学習指導要領に示された教科目標と内容等について、講義を中心にして、その構造の理解を深めさせる。教育現場での実践に役立つように、模擬授業の充実を図る。その実践を踏まえ、「教師側」と「生徒側」の両者の観点に立って、教室全体で議論し、よりよい授業(「主体的・対話的で深い学び」)の創造へと繋いでいく。変化の激しい時代を担う生徒たちを育成する中学校・高等学校の教師は、しっかりとした教育観に根ざし、使命と責任、指導性と実行力を持っていることが求められている。		
授業方法 Course Format	オンライン授業(オンデマンド型)。なお、本学「LUNA」を利用する。初回の授業は4月21日(火曜日2限)。 学期の前半は、アップしたレジュメ、資料を活用し、講義的な授業を中心とする。後半は、前半の学習を活かし、受講生による指導案の作成、それに基づく模擬授業(ただし、個人で行う)を行い、それを基に研究を行う。		
関連科目/Related Courses	社会・公民科教育法、地理歴史科教育法、公民科教育法		
検索キーワード/Keywords	社会 地理歴史科		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、中学校社会科・高等学校地理歴史科教員に求められるものについて。	【新型コロナ対応:4月5日14時10分更新】 参考文献としてあげている(東洋館出版社 2018年ISBN978-4-491-03471-3)の「1ページ～28ページ」を読んでおくこと。
第2回 Session 2	中学校社会科・高等学校地理歴史科の観点より、教育基本法をはじめとする教育関係法規を考察する。	【新型コロナ対応:4月5日14時10分更新】 参考文献としてあげている「文部科学省中学校学習指導要領解説社会編(東洋館出版社 2018年ISBN978-4-491-03471-3)の「182ページ～218ページ」を読んでおくこと。
第3回 Session 3	教科教育法と「社会系諸教科」(社会科・地理歴史科・公民科の三教科を総称して)について	4月21日(火、2限)この授業から、オンラインで行います。第1回の「文部科学省中学校学習指導要領解説社会編」の課題を確認しておくこと。
第4回 Session 4	社会系諸教科の目標および特色について	第3回目に、提示しておいた資料を確認、復習し、演習については考察しておくこと。
第5回 Session 5	学習指導案の意味とその作成の実際について	第4回目に、提示しておいた資料を確認、復習し、演習については考察しておくこと。
第6回 Session 6	学習指導要領に基づき、教材研究の意味と方法について	第5回の「指導案作成の実際」をもとに、各自の課題を確認しておくこと。
第7回 Session 7	各自、学習指導案(一回目)を作成して提出する。	配付する参考例をよく参照すること。
第8回 Session 8	上記の学習指導案に基づき、各自、模擬授業(無観客試合同様に無生徒授業になるが)を行う。ただその際、映像(動画)もしくは音声(録音)にて記録を残す。	およそ50分(学校現場の一授業時間)でまとめること。
第9回 Session 9	各自、前記の記録を観察しながら、「観察・分析・自己評価表」に記入し、提出する。	自分の記録を組上にのせる、つまり、自分を客観視することなので、ある一定の時間、すなわち日にちの間隔をとること。
第10回 Session 10	各自、学習指導案(二回目)を作成して提出する。	前回の改善点を考慮して作成すること。
第11回 Session 11	6と同様、上記の学習指導案に基づき、各自、模擬授業(無観客試合同様に無生徒授業になるが)を行う。ただその際、映像(動画)もしくは音声(録音)にて記録を残す。	およそ50分(学校現場の一授業時間)でまとめること。
第12回 Session 12	各自、前記の記録を観察しながら、「観察・分析・自己評価表」に記入し、提出する。	自分の記録を組上にのせる、つまり、自分を客観視することなので、ある一定の時間、すなわち日にちの間隔をとること。
第13回 Session 13	2回にわたる授業実践の記録(映像もしくは音声による)及び「観察・分析・自己評価表」を踏まえてレポートを作成し、提出する。	授業者からの提示する観点に従って、レポートを作成すること。
第14回 Session 14	まとめ及び社会系諸教科教員として、如何に教育実習に向かうか。	コメント(「教育実習に向けての努力目標及び展望について」)を記し、提出する。
第15回 Session 15	中学校社会科・高等学校地理歴史科教員として、もし、教育現場に立つことができたなら、いかなる教師でありたいと願うか。	左記主題について、本講義全体をベースに各自確認作業を行っておくこと。

教科書 Required texts	オンラインで、レジュメおよび資料を配布する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:文部科学省中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:978－4－8278－1558－0 著者名:文部科学省 タイトル:文部科学省 中学校学習指導要領解説社会編 発行所:東洋館出版社 出版年:2018 ISBN:978－4－491－03471－3
参考文献・資料 Reference books	文部科学省 中学校学習指導要領 東山書房 2018年 ISBN978－4－8278－1558－0 文部科学省 中学校学習指導要領解説社会編 東洋館出版社 2018年 ISBN978－4－491－03471－3 文部科学省 高等学校学習指導要領 文部科学省 高等学校学習指導要領解説地理歴史編
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	学習指導案、観察・分析・自己評価表、コメント
	備考 Note 提出物は、その期限を遵守すること。		
更新日時/Date of Update	2020年04月14日 16時53分04秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	D－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48039001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法A 1／Methods of Teaching Science A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中西 敏昭(NAKANISHI TOSHIAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	理科教育において、生徒の興味・関心を高める授業を行う知識と技能を身につけ、また学習指導要領を理解し、生徒の能力開発を目指す理科教育の実践力を養う。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire, in the field of science education, knowledge and skills to conduct lessons that attract the interest of students, understand the course of study, and cultivate the practical teaching abilities for science education aiming for high-school students' ability development		
到達目標/Learning Goals	・授業計画を立て、授業の展開方法・教材の工夫などを行うことができる。 ・ICTや野外実習などを活用して授業を編成する能力を身に付けることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・plan lessons and devise teaching materials; ・acquire the ability to organize lessons using ICT and field works.		
授業方法 Course Format	講義, 各種演習, 野外実習, 体験的な活動, 模擬授業, ディスカッション ※ 当面の間はオンライン授業(オンデマンド)を実施, 授業進行も前後する場合があります。また, 野外実習・体験的な活動は状況により判断します。		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 野外実習, 体験的活動, 協同学習, アクティブラーニング, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(現在の中学校、高等学校における理科教育の現状)	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第2回 Session 2	理科教育が目指すもの(学習指導要領の目標や内容について)	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第3回 Session 3	言語活動と理科教育 -レポート, プレゼンテーション, ディスカッション	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第4回 Session 4	言語活動を取り入れた学習指導案の作成	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】「添付ファイル」欄に資料を掲載。資料に従って課題に取り組んでください。
第5回 Session 5	ICTの活用と理科教育	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】 授業開始日までに資料をLUNAに掲載
第6回 Session 6	理科と協同学習(ブレインストーミング&KJ法)	【復習】実施した協同学習をまとめる 【予習】校内でのフィールド学習に必要な準備物を調達する
第7回 Session 7	理科におけるフィールドワーク(野外実習)のあり方及び教材研究	【復習】身近な学校外施設を利用する際の安全教育・安全指導についてまとめる 【予習】服装・持参すべきもの, 場所・時間を確認する
第8回 Session 8	学校外施設(関西学院千刈キャンブ・人と自然の博物館など)の体験学習1	【復習】講義や実習をまとめ, 提出用のレポートを作成する
第9回 Session 9	学校外施設(ゲストティーチャーによる講義など)の体験学習2	【予習】レポートをもとに各自で発表の準備をする
第10回 Session 10	体験的活動と理科教育(教材研究及び学習指導案の作成)	【復習】体験したことは何かを考え, 発表後の”学び合い”をふまえて整理する 【予習】模擬授業の準備をする
第11回 Session 11	体験的活動と理科教育(模擬授業)	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】様々な分野における理科教育の在り方について調べる
第12回 Session 12	様々な理科教育のあり方1ー道徳教育, 環境教育, 情報教育などと理科教育	【新型コロナ対応:4月20日11時15分】 授業開始日までに資料をLUNAに掲載
第13回 Session 13	様々な理科教育のあり方2ー学習指導案の作成(班別)	【復習】学習指導案を校正する 【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第14回 Session 14	様々な理科教育のあり方3ー模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】授業を踏まえて, 自らの教育ビジョンを作成する
第15回 Session 15	ディスカッションおよびまとめ 理科教育のあり方, 理科の教員としてのビジョン作り	【復習】理科教員としてのビジョンを振り返る

授業外学習 Study Required outside Class	当面の間はオンライン授業(オンデマンド型)。初回のオンライン授業は③回目4/21(火)から実施, 対面式授業予定は⑦5/26(火)から実施。授業進行は前後しています。①・②回目のオンライン授業は各自で済ませるようにしてください。課題, 連絡, 質問などはLUNAを通して実施します。⑦～⑨回目について, 対面式授業ができないときは別途連絡します。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	中学校学習指導要領, 中学校学習指導要領解説理科編, 高等学校学習指導要領, 高等学校学習指導要領理科編理数編(すべて文部科学省)
参考書/Reference books	著者名: 畑中忠雄 タイトル: 若い先生のための理科教育概論 発行所: 東洋館出版社 出版年: 2004 ISBN: 4-491-01976-2
参考文献・資料 Reference books	中学校・高等学校の「理科教科書」, 新聞記事 「若い先生のための理科教育概論」(東洋館出版社) 講義中に資料を配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケート等

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	50%	内容評価	
	平常レポート／Individual reports(04)	30%	内容評価	
	その他／Others(99)	20%	ディスカッションでの参加・発表, 講座に対する意欲・態度	
	備考 Note 定期考査や対面式授業によるディスカッションができないときは, 平常レポート, 課題などで評価の予定です。			
添付ファイル1/File Attachment 1	理科教育法A①.docx		説明1/Explanation 1	課題があります。4/30までに提出です。
添付ファイル2/File Attachment 2	理科教育法A②.docx		説明2/Explanation 2	課題があります。4/30までに提出です。
添付ファイル3/File Attachment 3	理科教育法A③④.docx		説明3/Explanation 3	課題があります。5/14までに提出です。
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_177551_1&cmp_tab_id=_206418_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 11時52分40秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	IV－303

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導論 1／Principles of Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	【合併】生徒指導・進路指導論 1(教職(専門))/生徒指導論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。 なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	オンライン授業。対面講義再開の場合は、アクティブラーニング等を取り入れた授業を行う。		
関連科目/Related Courses	教職概論		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	[新型コロナ対応4月19日23時19分更新]授業開始は4月2限からとします。教科書『教育実践基礎論』補章を読み、各自課題に取り組んでください。筆答試験の項(119～127頁)は自分で解答したのち後に自己採点してください。そして、面接試験の問題のうち、下記添付のLUNAの科目ホームページで指定した設問について、自分の解答を提出してください。提出方法等の詳細もLUNAを参照してください。
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	[新型コロナ対応4月19日0時04分更新]『生徒指導提要』1章に基づいて「生徒指導とは何か」を100字程度、「生徒指導と教育課程の関係」を400字程度で、回答を考えておいてください。提出方法は後日連絡します。
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導と個別指導などに関する理論と実際)	[新型コロナ対応4月19日0時04分更新]添付ファイル『生徒指導提要』1章に基づいて「生徒指導における集団指導と個別指導のそれぞれが有する意義と関係性」というテーマで、自分の体験を踏まえた小論を500字程度で、考えておいてください。提出方法は後日連絡します。
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	
第5回 Session 5	生徒指導の課題(1)(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	
第6回 Session 6	生徒指導の課題(2)(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	
第7回 Session 7	いじめの解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、国内外の現状について)	
第8回 Session 8	いじめに対する指導(原因及び背景、現状の検討、教師の基本的対応方法について)	
第9回 Session 9	暴力行為の解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、発生の要因について)	
第10回 Session 10	暴力行為に対する指導(現状の検討、教育相談を踏まえた教師の対応方法について)	
第11回 Session 11	不登校の解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、発生の要因について)	
第12回 Session 12	不登校に対する指導(ひきこもり、教育相談を踏まえた教師・学校の対応方法)	
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育の意義と原理(学校教育・教育課程における位置づけ)	
第14回 Session 14	ガイダンスとして進路指導(組織的指導体制・関係機関との連携、体験活動の意義)	
第15回 Session 15	カウンセリングとして進路指導(理論と実践方法、ポートフォリアによる自己評価)	

授業外学習 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育実践基礎論 発行所: 三学出版 出版年: 2017 ISBN: 978-4-908877-08-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 生徒指導提要 発行所: 教育図書 出版年: 2010 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	適宜講義時に指示、紹介等をする予定です。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	提出状況と記入内容.定期試験実施可能な場合は実施予定
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	レポート提出状況と記入内容
備考 Note	生徒指導・進路指導に関する時事的内容の追加、コロナウイルスの状況により、講義内容の加除修正を行うことがある。		
添付ファイル1/File Attachment 1	生徒指導提要 (1).pdf	説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_187139_1&cmp_tab_id=_216006_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2020年04月19日 23時19分49秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	5別－6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48056301	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】生徒指導・進路指導論 1／Principles of Student Guidance		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	吉田 卓司(YOSHIDA TAKASHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	【合併】生徒指導・進路指導論 1(教職(専門))/生徒指導論 1(教職(専門))		
授業目的/Course Purpose	本授業では、生徒指導の意義、内容、方法および課題について学び、具体的、実践的な指導に必要な資質と能力を獲得することを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	In this course, students will learn about the significance, content and methodology of student advising. The course aims to give students the ability to learn how to provide specific and practical advice to students.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点を到達目標として設定する。 ・生徒指導・進路指導の意義や基本的理論を理解する。 ・生徒指導・進路指導に関する具体的課題を理解する。 ・すべての生徒を対象とした生徒指導・進路指導に関する具体的方法を実践できる基礎的な力を獲得する。		
到達目標(英文) Learning Goals	Achieve the following three learning objectives: ・Become familiar with the principles and theories of student advising and guidance counseling; ・Become familiar with specific challenges of student advising and guidance counseling; ・Gain a basic ability to provide student advising and guidance counseling to all types of students in a tangible way.		
授業の概要・背景 Course Outline	今日、急激な社会の変動を受けて子どもたちの世界は大きく変化し、いじめ、暴力行為、不登校、インターネットに関する課題など多くの教育問題が発生している。この授業では生徒指導の意義のもと、基本的理論をもとにその内容・方法を理解した上で、これらの教育問題の現状と背景・原因を考察する。さらに、進路指導・キャリア教育、教育相談などの視点もふまえながら、教育問題の克服と解決および基本的生活習慣の確立や規範意識の醸成に必要とされる教師の具体的な指導方法を検討する。なお授業は、発問・作業を適宜用いた講義形式で行う。		
授業方法 Course Format	オンライン授業。対面講義再開の場合は、アクティブラーニング等を取り入れた授業を行う。		
関連科目/Related Courses	教職概論		
検索キーワード/Keywords	生徒指導 教育問題 進路指導 キャリア教育 臨床教育学		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	生徒指導の意義・原理(学校教育・教育課程上の位置づけについて)	[新型コロナ対応4月19日23時19分更新]授業開始は4月2限からとします。教科書『教育実践基礎論』補章を読み、各自課題に取り組んでください。筆答試験の項(119～127頁)は自分で解答したのち後に自己採点してください。そして、面接試験の問題のうち、下記添付のLUNAの科目ホームページで指定した設問について、自分の解答を提出してください。提出方法等の詳細もLUNAを参照してください。
第2回 Session 2	生徒指導の内容(教科及び特別活動等教育活動全体で展開されている内容について)	[新型コロナ対応4月19日0時04分更新]『生徒指導提要』1章に基づいて「生徒指導とは何か」を100字程度、「生徒指導と教育課程の関係」を400字程度で、回答を考えておいてください。提出方法は後日連絡します。
第3回 Session 3	生徒指導の方法(集団指導と個別指導などに関する理論と実際)	[新型コロナ対応4月19日0時04分更新]添付ファイル『生徒指導提要』1章に基づいて「生徒指導における集団指導と個別指導のそれぞれが有する意義と関係性」というテーマで、自分の体験を踏まえた小論を500字程度で、考えておいてください。提出方法は後日連絡します。
第4回 Session 4	生徒指導の現状(懲戒の定義・意義・機能・分類、その法的位置づけについて)	
第5回 Session 5	生徒指導の課題(1)(懲戒と体罰の定義・禁止、出席停止の定義・法的位置づけなど)	
第6回 Session 6	生徒指導の課題(2)(薬物乱用、児童虐待、インターネットや性に関する問題行動)	
第7回 Session 7	いじめの解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、国内外の現状について)	
第8回 Session 8	いじめに対する指導(原因及び背景、現状の検討、教師の基本的対応方法について)	
第9回 Session 9	暴力行為の解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、発生の要因について)	
第10回 Session 10	暴力行為に対する指導(現状の検討、教育相談を踏まえた教師の対応方法について)	
第11回 Session 11	不登校の解説(その定義、歴史的背景、類型、現状、発生の要因について)	
第12回 Session 12	不登校に対する指導(ひきこもり、教育相談を踏まえた教師・学校の対応方法)	
第13回 Session 13	進路指導・キャリア教育の意義と原理(学校教育・教育課程における位置づけ)	
第14回 Session 14	ガイダンスとして進路指導(組織的指導体制・関係機関との連携、体験活動の意義)	
第15回 Session 15	カウンセリングとして進路指導(理論と実践方法、ポートフォリアによる自己評価)	

授業外学習 Study Required outside Class	日頃から様々な教育課題に関心を持ち、新聞報道などの教育に関する記事に目を通しておくこと
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名: 吉田卓司 タイトル: 教育実践基礎論 発行所: 三学出版 出版年: 2017 ISBN: 978-4-908877-08-7 著者名: 文部科学省 タイトル: 生徒指導提要 発行所: 教育図書 出版年: 2010 ISBN:
参考文献・資料 Reference books	適宜講義時に指示、紹介等をする予定です。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	大学全体での授業調査に則り、Webまたはマークシートによる調査を実施する。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	50%	提出状況と記入内容.定期試験実施可能な場合は実施予定
	平常レポート／Individual reports(04)	50%	レポート提出状況と記入内容
備考 Note	生徒指導・進路指導に関する時事的内容の追加、コロナウイルスの状況により、講義内容の加除修正を行うことがある。		
添付ファイル1/File Attachment 1	生徒指導提要 (1).pdf	説明1/Explanation 1	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_187139_1&cmp_tab_id=_216006_1&editMode=true&mode=cpview		
更新日時/Date of Update	2020年04月19日 23時19分49秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	5別－6

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48018001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法B 1／Methods of Teaching English B		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	立花 千尋(TACHIBANA CHIIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成のための授業づくりができるように、模擬授業を通して具体的な指導法を理解し、実際の学校現場の授業に生かされるような実践力を身につける。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the importance of communicative language teaching(CLT) and the practical language activities based on CLT through mock classes in the classroom settings.		
到達目標/Learning Goals	中等教育でのより良い英語授業づくりに向けて、その基本的な指導方法を習得することができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students can learn the basic way of effective English language teaching for students in the secondary schools		
授業の概要・背景 Course Outline	中等英語科教育法の実践編であり、具体的な指導法を中心に学びつつ、なるべく理論に裏付けられた具体的な指導方法を皆でアイデアを出し合いながら考える。		
授業方法 Course Format	講義・演習・実習・発表・討論・ペアワーク、グループワーク等 ※「オンライン授業」になります。4月21日(火)より授業を開始しますが、準備期間的なものです。本格的には履修登録が完了した後の5月7日より本格的に授業を開始します。		
関連科目/Related Courses	英語科教育法A、英語科教育法C、英語科教育法D		
検索キーワード/Keywords	模擬授業、学習指導案、学習活動、言語活動、授業構成		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	授業オリエンテーション。授業の目標・シラバスとその進め方。	添付ファイルのパワーポイント資料を読んで把握してください。
第2回 Session 2	新学習指導要領に基づく授業の在り方。英語コミュニケーション能力の育成とは。	添付ファイルPDF(2枚)中学校・高等学校学習指導要領(英語編)に目を通しておいて下さい。学習指導要領で謳っている「英語コミュニケーション能力」とは何かを説明できるようにしてください。
第3回 Session 3	英語の授業(中学校編)、英語の授業(高校編)「第1章」	
第4回 Session 4	授業の構成(年間・単元指導計画・1時間の授業指導計画)、学習指導案作成「第2章」	
第5回 Session 5	Listeningの指導、Readingの指導(インプット活動)「第3章」「第5章」	
第6回 Session 6	Speakingの指導、Writingの指導(アウトプット活動)「第4章」「第6章」	
第7回 Session 7	模擬授業(1)Listening能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第3章」	
第8回 Session 8	模擬授業(2)Listening能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第3章」	
第9回 Session 9	模擬授業(3)Reading能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第5章」	
第10回 Session 10	模擬授業(4)Reading能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第5章」	
第11回 Session 11	模擬授業(5)Speaking能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第4章」	
第12回 Session 12	模擬授業(6)Speaking能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第4章」	
第13回 Session 13	模擬授業(7)Writing能力育成のための言語活動を取り入れた授業「第6章」	
第14回 Session 14	模擬授業(8)Readingを中心に4技能の統合の言語活動を取り入れた授業「第7章」	
第15回 Session 15	模擬授業のまとめテストと振り返り	

授業外学習 Study Required outside Class	シラバスに示している次時の授業で扱う教科書の章を読み、重要と思われる点を挙げておく。また、疑問点や気になる点があれば挙げておく。発表する模擬授業に関して与えられたテーマや課題に対する事前の準備をしておく。テーマに応じた題材、教材・教具をリサーチしリハーサルをして準備を整えておく。 オンライン授業はすべて「LUNA」を通して行います。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名: 米山朝治二 タイトル:『英語教育:実践から理論へ』 発行所: 松柏社 出版年: 2014 ISBN: 978-4-7754-0010-4
教科書 Required texts	『英語教育:実践から理論へ』
参考文献・資料 Reference books	『中学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』 『高等学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』 『英語科教育実習ハンドブック』(大修館書店)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	70%		
	その他／Others(99)	30%	模擬授業	
添付ファイル1/File Attachment 1	英語科教育法B(1)PDF.pdf		説明1/Explanation 1	第1回 オリエンテーション用資料PDF添付
添付ファイル2/File Attachment 2	英語科教育法B1提出用紙学籍番号.docx		説明2/Explanation 2	課題提出用紙(今後の課題はこの用紙に記述して提出する。コピーをしておいてください)
添付ファイル3/File Attachment 3	中学校学習指導要領(平成29 年告示)解説.pdf		説明3/Explanation 3	新学習指導要領中学校、2021年度よりスタート
添付ファイル4/File Attachment 4	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説.pdf		説明4/Explanation 4	新学習指導要領高等学校2022年度よりスタート
更新日時/Date of Update	2020年04月23日 12時20分04秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48027000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】ドイツ語科教育法C／Methods of Teaching German C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	金城 朱美(KANESHIRO AKEMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	初学者がいかに効果的かつ実質的にドイツ語を学べるか、その教育法の要点を理解し、実践に応用する力を養う。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the key points of teaching methods that ensure that beginners can learn German in an effective and substantive manner and to develop their abilities to apply them practically.		
到達目標/Learning Goals	この授業ではドイツ語中級文法も理解できることを目標とする。わかりやすい授業をするためには、教える側の確実な豊富な知識が必要不可欠なので、これまでに受講生が得たドイツ語文法の知識やさらに詳しく深く掘り下げ、各自のドイツ語の力をより確実に豊かにすることを目指す。ドイツ文化などさらに深く理解し、その知識を授業で使えるようにすることを目指す。		
到達目標(英文) Learning Goals	Specifically, students will learn about the middle of German grammar in this course. To provide classes in a comprehensible manner, it is essential for the teacher to have rich and reliable knowledge. Accordingly, students will further explore the knowledge of German grammar they have obtained and steadily enrich their German language skills. Students understand enrich German culture etc. and can use their knowledge in lesson.		
授業方法 Course Format	オンライン授業と実践(学生が模擬授業を行う) online lessons and trial lesson by students		
検索キーワード/Keywords	ドイツ語 外国語教育 異文化理解		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション 基礎文法の復習 授業の開始時間にLUNAの掲示板を見てください。	オンデマンド型(講義資料タイプ) 1. ドイツ語で自己紹介の文章を作成し、LUNAで提出する(メールアドレスはLUNAの課題に明記しています) 2. 苦手な文法項目を1の自己紹介の文章にも書き、復習しておくこと。 3. 基礎文法問題を解き(問題はLUNAに4月7日13時30分にUP) 次回の授業までにLUNAで提出
第2回 Session 2	教材研究(今まで使ってきたドイツ語教科書を持参し、分析する) 基礎文法の復習	オンデマンド型(講義資料タイプ) 1. 今まで使用したドイツ語教科書を用意し、一冊づつ使ってみた感想(良い点・悪い点・改良点など)を書き出し、教員に前日までにメールで提出。 2. 文法問題を解き次週の授業までに。LUNA経由、あるいはメールで教員に授業の前日に提出(LUNAに4月14日13時30分にUP) 詳細はLUNAでお知らせします。
第3回 Session 3	教科書分析	オンデマンド型(講義資料タイプ) 1. 新しい教科書を見て、どういう印象を持ったのか書く。 2. ドイツ語の授業で大事なことは何か考えて書き出し、授業前に提出する。 詳細はLUNAでお知らせします。
第4回 Session 4	分析内容の発表、ドイツ語練習問題	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAでお知らせします。
第5回 Session 5	ドイツ語教育の実情、中学校・高等学校学習指導要領について解説	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAでお知らせします。
第6回 Session 6	民間伝承(グリム童話、現代伝説)を取り入れたドイツ語授業について	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAでお知らせします。
第7回 Session 7	ドイツ語教材とランデスクンデについて(1) 教科書 1.Die geteilte Suppe, 2. Die Handbremse	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAでお知らせします。
第8回 Session 8	ドイツ語教材とランデスクンデについて(2) 教科書 5. Zweierlei Passa. 6. Dreimal geblitzt	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAを見ること
第9回 Session 9	ドイツ語教材とランデスクンデについて(3) 教科書 7. Die Katze im Fluggepäck, 8. Wo Bruno nach seinem Tod hinkam	オンデマンド型(講義資料タイプ) 詳細はLUNAを見ること
第10回 Session 10	ドイツ語教材とランデスクンデについて(4) 教科書 10. Geburtstagsüberraschung	オンデマンド型(講義資料タイプ) 場合によっては一部同時双方向型で実施する。 詳細はLUNAでお知らせします。
第11回 Session 11	模擬授業(1)	オンデマンド型(講義資料タイプ) 場合によっては一部同時双方向型で実施する。 詳細はLUNAでお知らせします。
第12回 Session 12	模擬授業(2)	同時双方向型 模擬授業担当者は前日までに教案を作成すること。 詳細は詳細はLUNAでお知らせします。
第13回 Session 13	模擬授業(3)	同時双方向型 模擬授業担当者は前日までに教案を作成すること。 詳細はLUNAでお知らせします。
第14回 Session 14	模擬授業(4)	同時双方向型 模擬授業担当者は前日までに教案を作成すること。 詳細はLUNAでお知らせします。
第15回 Session 15	まとめ	同時双方向型 模擬授業担当者は前日までに教案を作成すること。 詳細はLUNAでお知らせします。

授業計画 Overview for each class	オンライン授業(主にオンデマンド方式、内容によって同時双方向型を取り入れることもあり)第12回～第14回で模擬授業を行ってもらう、模擬授業の方法は履修者の通信環境を考慮し、模擬授業の長さは履修者の数によって決める。
---------------------------------	---

授業外学習 Study Required outside Class	随時、初級文法の復習をしておくこと。また毎回課題を出すので授業前に取り組んでくること。授業内容を復習すること。文法書を活用すること。 質問事項があればLUNAの掲示板で随時受け付けます。あるいは、akemi.kaneshiro@kwansei.ac.jpにメールを送ってください。次回授業までに回答します(一部、授業のフィードバックとして資料として使わせてもらうこともあります)。
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	三瓶慎一『ホントにあったウソみたいな話 ドイツ語総合力養成ゼミ』白水社
参考書/Reference books	著者名: 中島悠爾他 タイトル: 改訂版必携ドイツ文法総まとめ 発行所: 白水社 出版年: 2003 ISBN: 978-4-560-00492-0
参考文献・資料 Reference books	ランデСКンデなどに関する参考文献は随時授業中に紹介する。
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学期末のアンケート

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	毎週の課題提出(50%)と模擬授業(50%教案提出ならびに事後反省レポートを含む)70%、平常評価(授業への参加度、課題提出)30%
	備考 Note 模擬授業(教案提出ならびに事後反省レポートを含む)50%、平常評価(授業への参加度、課題提出)50%		
更新日時/Date of Update	2020年04月19日 22時02分01秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	F－309

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48029002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】社会・地理歴史科教育法 2／Meth of Tch Social Stds Geogrphy & Hstry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	藤井 一亮(FUJII KAZUAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、中学校、高等学校における教師として、新学習指導要領を理解し、指導力を身に付けることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand new educational guidelines and acquire ability to lead as a teacher in junior high school and senior high school.		
到達目標/Learning Goals	1. 教科の内容、知識を広く、深くすることができる。 2. 年間授業計画および毎日の指導案の作成ができる 3. 実践的な指導技術を獲得できる。 4. 思考力、判断力、表現力豊かな教師になることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1. expand and deepen the knowledge, contents of subjects, 2. make lesson plan in a year and a teachers guide in a day,n 3. obtain practical skills for teaching, 4. become excellent teachers who have a rich ability to think, to judge and to express.		
授業の概要・背景 Course Outline	社会・地理歴史科の学習指導要領に示された教科目標と内容等について、講義を中心にして、その構造の理解を深めさせる。教育現場での実践に役立つように、模擬授業の充実を図る。その実践を踏まえ、「教師側」と「生徒側」の両者の観点に立って、教室全体で議論し、よりよい授業(「主体的・対話的で深い学び」)の創造へと繋いでいく。変化の激しい時代を担う生徒たちを育成する中学校・高等学校の教師は、しっかりとした教育観に根ざし、使命と責任、指導性と実行力を持っていることが求められている。		
授業方法 Course Format	オンライン授業(オンデマンド型)。なお、本学「LUNA」を利用する。初回の授業は4月21日(火曜日3限)。 学期の前半は、アップしたレジュメ、資料を活用し、講義的な授業を中心とする。後半は、前半の学習を活かし、受講生による指導案の作成、それに基づく模擬授業(ただし、個人で行う)を行い、それを基に研究を行う。		
関連科目/Related Courses	社会・公民科教育法、地理歴史科教育法、公民科教育法		
検索キーワード/Keywords	社会 地理歴史科		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション、中学校社会科・高等学校地理歴史科教員に求められるものについて。	【新型コロナ対応:4月5日14時10分更新】 参考文献としてあげている(東洋館出版社 2018年ISBN978-4-491-03471-3)の「1ページ～28ページ」を読んでおくこと。
第2回 Session 2	中学校社会科・高等学校地理歴史科の観点より、教育基本法をはじめとする教育関係法規を考察する。	【新型コロナ対応:4月5日14時10分更新】 参考文献としてあげている「文部科学省中学校学習指導要領解説社会編(東洋館出版社 2018年ISBN978-4-491-03471-3)の「182ページ～218ページ」を読んでおくこと。
第3回 Session 3	教科教育法と「社会系諸教科」(社会科・地理歴史科・公民科の三教科を総称して)について	4月21日(火、3限)この授業から、オンラインで行います。第1回の「文部科学省中学校学習指導要領解説社会編」の課題を確認しておくこと。
第4回 Session 4	社会系諸教科の目標および特色について	第3回目に、提示しておいた資料を確認、復習し、演習については考察しておくこと。
第5回 Session 5	学習指導案の意味とその作成の実際について	第4回目に、提示しておいた資料を確認、復習し、演習については考察しておくこと。
第6回 Session 6	学習指導要領に基づき、教材研究の意味と方法について	第5回の「指導案作成の実際」をもとに、各自の課題を確認しておくこと。
第7回 Session 7	各自、学習指導案(一回目)を作成して提出する。	配付する参考例をよく参照すること。
第8回 Session 8	上記の学習指導案に基づき、各自、模擬授業(無観客試合同様に無生徒授業になるが)を行う。ただその際、映像(動画)もしくは音声(録音)にて記録を残す。	およそ50分(学校現場の一授業時間)でまとめること。
第9回 Session 9	各自、前記の記録を観察しながら、「観察・分析・自己評価表」に記入し、提出する。	自分の記録を組上にのせる、つまり、自分を客観視することなので、ある一定の時間、すなわち日にちの間隔をとること。
第10回 Session 10	各自、学習指導案(二回目)を作成して提出する。	前回の改善点を考慮して作成すること。
第11回 Session 11	6と同様、上記の学習指導案に基づき、各自、模擬授業(無観客試合同様に無生徒授業になるが)を行う。ただその際、映像(動画)もしくは音声(録音)にて記録を残す。	およそ50分(学校現場の一授業時間)でまとめること。
第12回 Session 12	各自、前記の記録を観察しながら、「観察・分析・自己評価表」に記入し、提出する。	自分の記録を組上にのせる、つまり、自分を客観視することなので、ある一定の時間、すなわち日にちの間隔をとること。
第13回 Session 13	2回にわたる授業実践の記録(映像もしくは音声による)及び「観察・分析・自己評価表」を踏まえてレポートを作成し、提出する。	授業者からの提示する観点に従って、レポートを作成すること。
第14回 Session 14	まとめ及び社会系諸教科教員として、如何に教育実習に向かうか。	コメント(「教育実習に向けての努力目標及び展望について」)を記し、提出する。
第15回 Session 15	中学校社会科・高等学校地理歴史科教員として、もし、教育現場に立つことができたなら、いかなる教師でありたいと願うか。	左記主題について、本講義全体をベースに各自確認作業を行っておくこと。

教科書 Required texts	オンラインで、レジュメおよび資料を配布する。
参考書/Reference books	著者名:文部科学省 タイトル:文部科学省中学校学習指導要領 発行所:東山書房 出版年:2018 ISBN:978－4－8278－1558－0 著者名:文部科学省 タイトル:文部科学省 中学校学習指導要領解説社会編 発行所:東洋館出版社 出版年:2018 ISBN:978－4－491－03471－3
参考文献・資料 Reference books	文部科学省 中学校学習指導要領 東山書房 2018年 ISBN978－4－8278－1558－0 文部科学省 中学校学習指導要領解説社会編 東洋館出版社 2018年 ISBN978－4－491－03471－3 文部科学省 高等学校学習指導要領 文部科学省 高等学校学習指導要領解説地理歴史編
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一様式による調査。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	学習指導案、観察・分析・自己評価表、コメント
	備考 Note 提出物は、その期限を遵守すること。		
更新日時/Date of Update	2020年04月14日 17時21分01秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	D－203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48041001	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】理科教育法C 1／Methods of Teaching Science C		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	内山 裕之(UCHIYAMA HIROYUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	主に中学校における理科の学習内容を,学習指導要領に基づき小学校とのつながりも含めて理解する。また, 目標や目指す資質・能力に留意し,主として中学校理科「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の内容について,背景となる科学との関連も含めて理解を深め、模擬授業を実施することができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the contents of science in secondary school based on the course of study and the concept of learning evaluation , including the connection with courses of elementary school. Attention should be paid to the goals, and the intended qualities and abilities. They deeply understand the contents of learning of “energy”, “particles”, “life”, and “earth” mainly in junior the high schools including the relationship with their scientific backgrounds.		
到達目標/Learning Goals	主に中学校の理科の授業において, 生徒の興味関心を高める授業をすることができる		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to teach secondary school science classes to enhance interests of junior high school students.		
授業方法 Course Format	講義, 班別ディスカッション, 模擬授業と振り返り(中学校理科全分野) オンライン授業(オンデマンド型)で開始する。下の添付ファイルも参照。		
検索キーワード/Keywords	理科教育, 学習指導案の作成, 模擬授業		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	中学校「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の学習指導要領の目標と評価	【新型コロナ対応:4月18日更新】ルナに詳細。新学習指導要領中学校理科の目標における改訂のポイントについて学ぶ。※ファイル1
第2回 Session 2	「エネルギー」に関する学習内容と教材研究	【新型コロナ対応:4月18日更新】ルナに詳細。理科における探究学習のあり方について学ぶ。
第3回 Session 3	「エネルギー」に関する学習指導案の作成(班別検討)	【新型コロナ対応:4月18日更新】ルナに詳細。「科学的なものの見方」および「実感を伴った理解の7つの要素」について学ぶ。
第4回 Session 4	「エネルギー」に関する模擬授業と振り返り	【新型コロナ対応:4月18日更新】ルナに詳細。指導案の単元設定の理由の書き方について学ぶ。
第5回 Session 5	「粒子」に関する学習内容と教材研究	【新型コロナ対応:4月18日更新】ルナに詳細。指導案の学習指導過程および板書の書き方について学ぶ。
第6回 Session 6	「粒子」に関する学習指導案の作成(班別)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第7回 Session 7	「粒子」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】「生命」分野について, 班で分担して学習指導案を作成する
第8回 Session 8	「生命」に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第9回 Session 9	「生命」に関する学習指導案の作成(班別)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第10回 Session 10	「生命」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】「地球」分野について, 班で分担して学習指導案を作成する
第11回 Session 11	「地球」に関する学習内容と教材研究	【予習】教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する
第12回 Session 12	「地球」に関する学習指導案の作成(班別)	【予習】模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第13回 Session 13	「地球」に関する模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える 【予習】「環境」分野について, 班で分担して学習指導案を作成する
第14回 Session 14	自然環境の保全と科学技術の利用に関する学習内容と教材研究・学習指導案の作成	【予習】 ・教材研究の結果を踏まえて, 学習指導案を校正する ・模擬授業のポイントを中心に板書を含めて, 予行演習を実施する
第15回 Session 15	自然環境の保全と科学技術の利用に関する学習指導案の作成および模擬授業と振り返り	【復習】模擬授業の振り返りと授業改善を考える

教科書 Required texts	高等学校学習指導要領(文部科学省), 高等学校学習指導要領解説理科編理数編(文部科学省) 講義の中で資料を配布する
参考書/Reference books	著者名: 広木正紀 内山裕之 タイトル: 理科の授業づくり 発行所: 東京書籍 出版年: 2012 ISBN: 978-4-487-80688-1
参考文献・資料 Reference books	「理科の授業づくり」(東京書籍) 講義の中で資料を配布する
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	アンケートなど

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	40%	内容評価	
	平常リポート／Individual reports(04)	30%	内容評価	
	その他／Others(99)	30%	模擬授業の評価, 講義等への参加態度および発表	
添付ファイル1/File Attachment 1		★オンライン授業関学1.pdf	説明1/Explanation 1	新学習指導要領の改訂のポイント
更新日時/Date of Update		2020年04月27日 14時37分42秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	II－110

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 1／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するために必要な基礎的理論とし指導のあり方を理解する		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and method of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標とする。 ・基礎的な道徳理論と道徳教育の歴史を理解する ・日本の道徳教育に関する諸法令や学習指導要領を理解する ・道徳教育に関するカリキュラム・指導方法・評価の基本的な知識を身につける		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education ・understand laws,ordinances and the Course of Study for moral education in Japan ・develop their basic knowledge of curriculums,teaching methods and evaluation methods for moral education		
授業方法 Course Format	オンライン授業 LUNAに資料を掲載		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か	【新型コロナ対応:4月7日12時35分更新】 オンライン授業(オンデマンド型) 「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性	新型コロナ対応:4月14日12時20分更新】 オンライン授業(オンデマンド型) 「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。
第3回 Session 3	道徳性をめぐる現状の課題	オンライン授業(オンデマンド型)LUNAに資料掲載 開始日時 4月21日火3時限
第4回 Session 4	道徳教育の歴史(1)近代	
第5回 Session 5	道徳教育の歴史(2)特設道徳から教科化へ	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画(カリキュラム)	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)読み物資料を中心に	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)問題解決学習とロールプレイ	
第11回 Session 11	読み物資料を中心とした授業(1)指導案について	
第12回 Session 12	読み物資料を中心とした授業(2)発問について	
第13回 Session 13	読み物資料を中心とした授業(3)子供の発言と活動について	
第14回 Session 14	読み物資料を中心とした授業(4)授業実践とその批評	
第15回 Session 15	道徳性をめぐる評価	

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年: ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別な教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	70%		
	平常リポート／Individual reports(04)	30%		
添付ファイル1/File Attachment 1	道徳教育論第1回(4月7日).docx		説明1/Explanation 1	
添付ファイル2/File Attachment 2	道徳教育論4月7日アンケート.docx		説明2/Explanation 2	
添付ファイル3/File Attachment 3	道徳教育論第2回(4月14日).docx		説明3/Explanation 3	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_176033_1&cmp_tab_id=_204900_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2020年04月21日 15時03分15秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	B－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48017006	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】英語科教育法A 6／Methods of Teaching English A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	立花 千尋(TACHIBANA CHIIHIRO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	・教科書を読み解くことを通して、英語科中等教育に必要な知識や理論を習得する。 ・理論と実践を結びつけるための語彙・文法・聞く・読む・話す・書くなどの指導技術について学ぶ。 ・指導目標、指導内容、指導計画、学習活動、言語活動、学習評価などを含めた学習指導案を作成し、相互に検討し合う。 ・模擬授業を行い、相互に批評を行う。		
授業目的(英文) Course Purpose	・To learn knowledges and theory necessary for teaching English at secondary school through reading the textbook. ・To learn how to teach words, grammar, listening, reading, speaking, writing, etc. in English classrooms to combine theory and practice. ・To make a teaching plan with goal, content, planning, activities, and evaluation that are appropriate for the students. ・To practice teaching in class and discuss it with each other.		
到達目標/Learning Goals	・中等英語科教育についての基礎・基本的な指導法を習得することができる。 ・指導目標に応じた学習指導案(細案)を作成することができる。 ・教育実習に備えて模擬授業を行い、実践力をつけることができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	・Students can learn the basic elements of teaching English at secondary school. ・Students can make a teaching plan suited to the teaching goal. ・Students can practice teaching and foster teaching competence preparing for practice teaching.		
授業の概要・背景 Course Outline	中等英語科教育法の理論編であり、基本的な理論を中心に学びつつ、なるべく実践的な指導に関連づける具体的方法論も皆でアイデアを出し合いながら考える。		
授業方法 Course Format	講義・演習・実習・発表・討論・ペアワーク、グループワーク等 ※「オンライン授業」になります。4月21日(火)より授業を開始しますが、準備期間的なものです。本格的には履修登録が完了した後の5月7日より本格的に授業を開始します。		
関連科目/Related Courses	英語科教育法B、英語科教育法C、英語科教育法D		
検索キーワード/Keywords	英語科指導理論、英語科指導スキル、英語コミュニケーション能力、学習活動、言語活動、4技能の統合		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	講座オリエンテーション。シラバスと授業の進め方の説明。授業のねらいと取り組みについての説明。事前の準備や提出課題についての説明。教科書の概要説明。	添付したパワーポイント資料を読んで把握してください。
第2回 Session 2	第1章(英語教育と英語教育学)・第2章(英語の国際化と日本の英語教育)	教科書の第1章と第2章を読んで理解してください。教科書のポイントをまとめた添付資料(パワーポイント「PDF」)を添付します。併せて読んでください。
第3回 Session 3	第3章(学習指導要領)、新学習指導要領の目標、内容、言語活動など	
第4回 Session 4	第4章(学習者)・第5章(英語教員)、英語のLearningとTeaching	
第5回 Session 5	第7章(英語教授法)様々な英語教授法とCLTの理念と方法論	
第6回 Session 6	第8章(第2言語習得と英語教育)、学習指導案の書き方、および指導案作成	
第7回 Session 7	第9章(コミュニケーション能力の育成)、10章(リスニング)	
第8回 Session 8	第12章(リーディング)・第11章(スピーキング)	
第9回 Session 9	第13章(ライティング)・第14章(ティームティーチング)	
第10回 Session 10	第18章(文法の学習と指導)・第19章(語彙と辞書検索指導)	
第11回 Session 11	第15章(測定と評価)テストの作成方法と評価の仕方・第16章(ICTとeラーニング)	
第12回 Session 12	第17章(教科書と教材研究)・第20章(授業運営・教育実習)	
第13回 Session 13	模擬授業研究(中学校編)	
第14回 Session 14	模擬授業研究(高等学校編)	
第15回 Session 15	まとめテストと振り返り	

授業外学習 Study Required outside Class	シラバスに示している次時の授業で扱う教科書の章を読み、重要と思われる点を挙げておく。また、疑問点や気になる点があれば挙げておく。指導理論を読み取り、中学校・高等学校の英語授業で具現化するためのイメージを描いておく。 オンライン授業は、すべて「LUNA」を通して行います。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:望月昭彦編著、卯城祐司、他 タイトル:『新学習指導要領にもとづく英語科教育法[第3版]』 発行所:大修館書店 出版年:2018 ISBN:978-4-469-24621-6
教科書 Required texts	『新学習指導要領にもとづく 英語科教育法[第3版]』
参考文献・資料 Reference books	『中学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』 『高等学校学習指導要領解説:外国語(英語)編』

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験／Final Examination(01)	80%		
	授業中試験／In-class examination(03)	20%		
添付ファイル1/File Attachment 1	英語科教育法A(1).pptx		説明1/Explanation 1	第1回のパワーポイント資料を添付しました。
添付ファイル2/File Attachment 2	英語科教育法A(2).pdf		説明2/Explanation 2	教科書の第1章と第2章のポイントをまとめています。PDF添付
添付ファイル3/File Attachment 3	英語科教育法A6提出用紙学籍番号.docx		説明3/Explanation 3	課題提出用紙
更新日時/Date of Update	2020年04月21日 14時18分58秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48053002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】道徳教育論 2／Principles of Moral Education		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	下野 厚子(SHIMONO ATSUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	2年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	学校において道徳教育を展開するため必要な基礎的理論と指導のあり方を理解する。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand basic theories and methods of moral education.		
到達目標/Learning Goals	次の3点を授業の目標とする。 ・基礎的な道徳理論と道徳教育の歴史を理解する ・日本の道徳教育に関する諸法令や学習指導要領を理解する ・道徳教育に関するカリキュラム・指導方法・評価の基本的な知識を身につける		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to ・understand basic moral theories and the history of moral education, ・understand laws, ordinances and the Course of Study for moral education in Japan, and ・develop their basic knowledge of curriculums, teaching methods and evaluation methods for moral education.		
授業方法 Course Format	オンライン授業 LUNAに資料等を掲載。		
検索キーワード/Keywords	道徳教育／授業実践		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	道徳とは何か	オンライン授業(オンデマンド型) 【新型コロナ対応:4月7日12時35分更新】 「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。
第2回 Session 2	人間形成における道徳性	オンライン授業(オンデマンド型)【新型コロナ対応:4月14日12時35分更新】 「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。
第3回 Session 3	道徳性をめぐる現状の課題	オンライン授業(オンデマンド型)LUNAに資料掲載 開始日時 4月21日火4時限
第4回 Session 4	道徳教育の歴史(1)近代	
第5回 Session 5	道徳教育の歴史(2)特設道徳から教科化へ	
第6回 Session 6	学校における道徳教育と道徳科	
第7回 Session 7	道徳教育と道徳科の目標と内容	
第8回 Session 8	道徳教育の諸計画(カリキュラム)	
第9回 Session 9	道徳教育の指導法と教材(1)読み物教材を中心に～	
第10回 Session 10	道徳教育の指導法と教材(2)問題解決学習とロールプレイ～	
第11回 Session 11	読み物を中心とした授業(1)指導案	
第12回 Session 12	読み物を中心とした授業(2)発問について	
第13回 Session 13	読み物を中心とした授業(3)子どもの発言と活動について	
第14回 Session 14	読み物を中心とした授業(4)授業実践とその批評	
第15回 Session 15	道徳性をめぐる評価	

授業外学習 Study Required outside Class	授業の資料は事前にLUNAに掲載するので、内容を授業前に理解しておくこと。また他の予習としては、日本史と世界に関する基本的な知識を得ておくこと。また学校教育に関するニュースを集めておくこと。復習としては、授業中に学んだキーワード等について簡単な説明ができるようにすること。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領 発行所: 出版年: ISBN: 著者名:文部科学省 タイトル:中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 発行所:教育出版 出版年:2018 ISBN:978-4316300849
参考書/Reference books	著者名:小笠原道雄・田代尚弘・堺正之編 タイトル:道徳教育の可能性 発行所:福村出版 出版年:2012 ISBN:978-4571101557 著者名:横山利弘 タイトル:道徳教育とは何だろうか 発行所:暁教育図書 出版年:2007 ISBN:978-4252782891 著者名:横山利弘監修 タイトル:楽しく豊かな道徳科の授業をつくる 発行所:ミネルヴァ書房 出版年:2017 ISBN:978-4623080854
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	授業中実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	70%		
	平常リポート／Individual reports(04)	30%		
添付ファイル1/File Attachment 1	道徳教育論第1回(4月7日).docx		説明1/Explanation 1	
添付ファイル2/File Attachment 2	道徳教育論4月7日アンケート.docx		説明2/Explanation 2	
添付ファイル3/File Attachment 3	道徳教育論第2回(4月14日).docx		説明3/Explanation 3	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_185098_1&cmp_tab_id=_213965_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2020年04月21日 15時04分38秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	B－302

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	48004001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	教職教育研究センター(教職専門)／Research Center for Teacher Development (for Special Studies)		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】発達・学習過程論 1／Process of Development and Learning		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	荻田 純久(OGITA YOSHIHISA)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義の目的は、発達過程とその特徴及び学習に関する基本的な理論を理解することである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the process of development, its characteristics, and basic theory on learning.		
到達目標/Learning Goals	以下の3点の理解を授業の目標として設定している。 a)発達の概念及び教育における発達理解の意義 b)各発達段階の具体的特徴 c)学習に関する基礎的理論		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will acquire an understanding of a) the concept of development and significance of developmental understanding in education, b) the specific characteristics of each stage of development, c) basic theory on learning.		
授業方法 Course Format	【変更前】本授業では講義型を中心としますが、ペアワークやグループワークを行うこともあります。 【変更後(新型コロナ対応)】オンライン授業を行います。オンライン授業は、同時双方向型もしくはオンデマンド型とします。決定は、履修登録が完全確定した後(修正を含む)に行います。		
検索キーワード/Keywords	発達 学習 動機づけ		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(授業科目の概要、シラバス、授業運営、評価の方法など)	【新型コロナ対応:4月6日16時30分更新】 授業開始予定時刻10分前までに「添付ファイル」欄(このページの下の方にあります)に資料を掲載します。その資料を熟読した上で、最後の課題に取り組んで下さい。課題は、履修登録が完全確定した頃にLUNAを使って提出してもらうようにします。
第2回 Session 2	発達・学習過程を理解することの意義(教師に求められる発達支援と学習支援)	【新型コロナ対応:4月14日8時00分更新】 「添付ファイル」欄(このページの下の方にあります)に2種類のレジュメを添付しました。そのレジュメ、テキストを使って学習した上で、最後の課題に取り組んで下さい。課題は、5月末ごろにLUNAを使って提出してもらうようにします。
第3回 Session 3	発達理論の変遷と諸問題1(発達の規定要因を中心に)	【新型コロナ対応:4月18日14時00分更新】 履修登録が完了するまでは、第1回目、2回目と同じような方法で進めます。出来るだけ双方向で授業をしたいと考えていますが、履修者数が多い場合は難しいことが分かりました。 【新型コロナ対応:4月22日2時45分】 21日にシラバスシステムにアクセスできず、授業前にファイルをアップすることができませんでした。3回目のファイルをいつものところにアップしておきます。
第4回 Session 4	発達理論の変遷と諸問題2(相互作用説と臨界期)	【新型コロナ対応:4月25日16時45分更新】 第4回(4月28日5限)はオンライン授業(オンデマンド型)を継続します。LUNAの科目のページに授業関連ファイルをアップしますので、ダウンロードし、学習を進めて下さい。ダウンロード方法に関しては簡単なものを作成し、次回の授業が始まるまでに、このシラバスの添付ファイルの欄にアップするようにします。(第1回から第3回のファイルもLUNAの方に移動します。) LUNAへのアクセスが集中し、サーバーがダウンする可能性もありますので、履修者数だけではなく、その辺りも見極めた上で最終的な授業形態の判断をしたいと思えます。
第5回 Session 5	初期学習の重要性と生涯発達	LUNAを使った復習
第6回 Session 6	エリクソンの発達理論1(生涯発達からみた理論の概要と特徴、フロイトの発達理論との相違点など)	LUNAを使った復習
第7回 Session 7	エリクソンの発達理論2(各発達段階とライフタスク)	LUNAを使った復習
第8回 Session 8	ピアジェの発達理論(ピアジェ理論の概要と特徴及びその限界)	LUNAを使った復習
第9回 Session 9	教授・学習過程と主体的学習(学習意欲とメタ認知能力の重要性を中心に)	LUNAを使った復習
第10回 Session 10	主体的学習としての自己調整学習	LUNAを使った復習
第11回 Session 11	学習意欲の諸問題1(学習性無力感と原因帰属、自己効力感)	LUNAを使った復習
第12回 Session 12	学習意欲の諸問題2(外発的動機づけと内発的動機づけ)	LUNAを使った復習
第13回 Session 13	認知的葛藤を中心としたバーラインの認知的動機づけ理論	LUNAを使った復習
第14回 Session 14	授業実践と動機づけ(認知的葛藤を喚起する教材提示や発問のあり方)	LUNAを使った復習
第15回 Session 15	まとめ	総復習

教科書/Required texts	著者名:善明宣夫 タイトル:学校教育心理学 発行所:福村出版 出版年:2013 ISBN:978-4-571-22052-4
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	本学所定の形式により学期末に行う。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験／Final Examination(01)	70%	成績評価備考を参照のこと
	その他／Others(99)	30%	LUNAを使った課題(毎回の授業終了後にアップされる)の取り組み状況
	備考 Note 定期試験が実施できない場合は、定期試験に代わるものを、LUNAを用いて実施します。		
備考 Note	ここにアップできるファイル数には制限があるため、4回目以降はLUNAの方に移行します。それまでにLUNA上のこの科目のページにアクセスできるか確認をお願いします。 (4月25日16:45更新)第1回から第3回のレジュメはLUNAの方に移動しました。 (4月27日15:40更新)LUNAの簡単な説明(PDFファイル)をアップしました。		
添付ファイル1/File Attachement 1	2020_04LUNAの説明.pdf		説明1/Explanation 1 LUNAの簡単な説明です
更新日時/Date of Update	2020年04月27日 15時40分05秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜5時限	春学期／Spring	B-304

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49511500	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【300】国際環境論／International Environment		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山田 好一(YAMADA YOSHIKAZU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	途上国で生じている様々な環境問題の原因等についての理解力の醸成及び援助機関が実施している実践的な解決策を紹介し、種々の環境問題への意識を深める事を目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The course purpose is to deepen their awareness of various environmental problems in developing countries through introducing and discussing on practical available cooperation for various environmental problems.		
到達目標/Learning Goals	1.環境問題に係る途上国の脆弱性を理解する。 2.様々な環境の問題をより多角的に(環境経済学の入門的概念含む)に考察する。 3.環境問題に係る支援・取組について考える。		
到達目標(英文) Learning Goals	To understand the vulnerability on environmental problems in developing countries. To think and discuss environmental problems from the varios aspects(including basic concept of Environment Economics) To think the international cooperation for the environment problems in the developing countries		
授業方法 Course Format	遠隔授業 科目のURL: https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_186034_1&cmp_tab_id=_214901_1&editMode=true&mode=cpview		
検索キーワード/Keywords	environmental issues, climate change , environmental economics, recycling society, energy problems		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション: 授業の目的。途上国問題に必要な理解(人間の安全保障等)	遠隔授業で行います。詳しくはLUNAに掲載されています。各課題は、LUNAへの提出を御願います。A4で1枚程度。締め切りがあるので注意願います。締め切りは、5月12日とします。 課題: 途上国においては、一般的に開発が優先されますが、環境問題・対策の両立は可能でしょうか？
第2回 Session 2	水質汚染	課題: SDGs目標6に関連して、途上国において安全で安価な水を確保するにはどうしたら良いと思いますか？締め切りは5月12日とします。課題1と同じ締切日ですので注意願います。
第3回 Session 3	大気汚染	以降の課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第4回 Session 4	廃棄物対策	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第5回 Session 5	気候変動	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第6回 Session 6	防災(国際緊急援助を含む)	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第7回 Session 7	水資源問題	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第8回 Session 8	生物多様性	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第9回 Session 9	環境の価値(環境経済学的視点に立って)	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第10回 Session 10	再生エネルギー	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第11回 Session 11	環境分野での途上国支援	課題及び締切りについては、LUNAに掲載されていますので注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第12回 Session 12	環境分野での途上国支援	最終レポートの課題を出しますのでLUNAに注意願います。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第13回 Session 13	環境分野での途上国支援	LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第14回 Session 14	環境分野での途上国支援	LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
授業計画 Overview for each class	履修登録を行わないとLUNAが見れませんので十分注意してください。本講義は、平常レポートと最終レポートで評価をしますが、対面授業が再開された場合、第11回から第14回を使いプレゼンテーションを課す可能性もあります。その場合、プレゼンテーションも評価に加えます。	

授業外学習 Study Required outside Class	遠隔授業実施に際して国際環境論は以下のように実施予定ですので周知願います。 同時にLunaにも注意事項や授業教材を添付していますので、Lunaをよく見るようにしてください。 履修登録を行わないとLUNAが見られませんが、シラバスの内容を見て参加の有無を判断願います。 実施形式: オンデマンド型 配信内容: 当該事業の資料や解説のPdfファイル、課題指示 開始時期: 当該事業の曜日時限 火曜日1限(学生の受講はそれ以降の任意の時間) 課題の締切りがあるので十分注意してください。課題1と2の締切日は5月12日とします。 配置場所: LUNAの「教材・課題・テスト」 配信方法: LUNAの「教材・課題・テスト」配信期間はおおむね1週間ですので注意願います。 作成方法: 通常スライドを作成する際に利用しているPowerPoint及びワードなど 意見交換: LUNAの掲示板で行う予定です。 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名: 関谷 武司 タイトル: 世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論 発行所: 関西学院大学 出版年: 2016 IS BN: 978-4-86283-214-6
教科書 Required texts	「世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論」関谷 武司(著、編集)関西学院大学[発行](その他)
参考書/Reference books	著者名: R.K.ターナー/D.ピアス/I.ペイトマン タイトル: 環境経済学入門 発行所: 東洋経済新報社 出版年: 2001 ISBN: 4- 492-31287-0
参考文献・資料 Reference books	R.K.ターナー/D.ピアス/I.ペイトマン 環境経済学入門 東洋経済新報社 2001 年 4-492-31287-0
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一方式評価

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	定期試験に代わるレポート／ Term paper to replace the final examination(02)	30%		
	平常レポート／Individual reports(04)	70%		
備考 Note	It is scheduled to distribute Power Point materials (excerpts) and other related materials at the lecture (scheduled to be distributed as an introductory book on environmental economics). References are introduced as needed in the lecture. Classes are conducted in Japanese.			
添付ファイル1/File Attachment 1	国際環境論★ ☆オリエンテーション目的等 2020.ppt		説明1/Explanation 1	
添付ファイル2/File Attachment 2	人間の安全保障★ ☆.ppt		説明2/Explanation 2	
添付ファイル3/File Attachment 3	水質汚染★講義用.ppt		説明3/Explanation 3	
添付ファイル4/File Attachment 4	国際環境論課題.docx		説明4/Explanation 4	
URLリンク1/URL 1	https://luna.kwansei.ac.jp/webapps/blackboard/execute/modulepage/view?course_id=_186034_1&cmp_tab_id=_214901_1&editMode=true&mode=cpview			
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 08時50分25秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	G-225

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49511001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】国際情報分析 1／Analysis of International Issues		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	関谷 武司(SEKIYA TAKESHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本講義では、事実とニュースの乖離事例に触れた後、実際に様々な事例について個々人で背景を調査していき情報の歪みを認識し、多面的な分析を試みることを目的とする。		
授業目的(英文) Course Purpose	The Course is for students to acquire the ability to examine news/information, reported in the international arena, from a multitude of aspects and unearth masked distortion by stakeholders. Students will first go through existing case studies where reported “facts” deviate from truth, and then experience new case studies on their own.		
到達目標/Learning Goals	1. 自らが主体となって情報を入手し分析しようとする姿勢とその方法を理解する。 2. 論理的思考そのものを獲得する。 3. 大学における探求を通じた学びの姿勢を身につける。		
到達目標(英文) Learning Goals	1. Students understand the importance and significance of information analysis on their own and how to go about it. 2. Students acquire competency in logical thinking with analyzing a subject matter. 3. Students build up ability to study through exploration on their own.		
授業方法 Course Format	Seminar Classes are conducted in Japanese.		
検索キーワード/Keywords	Global issues, Current topics, Public opinion, International politics, Analysis, Thinking ability		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	1. 4月7日 休講(事前課題)	【新型コロナ対応:4月7日8時50分更新】「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。 提出については後日指示します。
第2回 Session 2	2. 4月14日 休講(事前課題)	同上
第3回 Session 3	3. 4月21日 休講(事前課題)	同上
第4回 Session 4	4. 4月28日 休講(事前課題)	同上
第5回 Session 5	5. 5月12日 イン트로ダクション 授業の進め方	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第6回 Session 6	6. 5月19日 分析方法の理解	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第7回 Session 7	7. 5月26日 課題分析1-1	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第8回 Session 8	8. 6月2日 課題分析1-2	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第9回 Session 9	9. 6月9日 課題分析1-3	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第10回 Session 10	10. 6月16日 課題分析1-4	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第11回 Session 11	11. 6月23日 課題分析2-1	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第12回 Session 12	12. 6月30日 課題分析2-2	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第13回 Session 13	13. 7月7日 課題分析2-3	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第14回 Session 14	14. 7月14日 課題分析2-4	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。

授業外学習 Study Required outside Class	<授業準備> 本授業はいわゆる「反転授業」の形式を取っていますので、以下の授業準備をしっかりとってください。 1. グループ分析2回 : 8 hours x 2 times = 16 hours 2. 各グループが発表するテーマについて個人的に事前の下調べ: 1 hour x 8 times = 8 hours
---------------------------------------	--

教科書/Required texts	著者名:関谷 武司 タイトル:世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論 発行所:関西学院大学 出版年:2016 IS BN:978-4-86283-214-6
教科書 Required texts	「世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論」関谷 武司(著、編集)関西学院大学[発行](その他)
参考文献・資料 Reference books	none
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	「全学統一方式評価」

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Class participation, Contribution to group work, Report quality
	備考 Note Students are required to make 2 group presentations. Evaluation will be made according to the presentator's performances of : information acquisition and analysis, appropriate and logical thinking. Grading by students (audience of the presentations) via reports will be taken into the faculty's consideration.		
添付ファイル1/File Attachment 1	国際情報分析課題シート.docx	説明1/Explanation 1	休講中の課題
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 12時42分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	D－102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49810100	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)／English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ナウラン A. (NOWLAN ANDREW GERALD PARKER)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following		
授業目的(英文) Course Purpose	Associated with the Center for International Exchange and Cooperation (CIEC), the purpose of this level 1 class is to help you improve your English and critical thinking skills while giving you more insight into cross-cultural issues that relate to politics, economics and business practices in Japan, Canada, and other countries around the world.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following		
到達目標(英文) Learning Goals	During this course, students will be able to... - increase their understanding of global issues related to politics, economics and business; - develop English proficiency and critical thinking skills; - increase comfort communicating in an international environment - make a presentation involving an international business plan; - actively participate in whole class discussion and small group discussion; - build comfort in expressing opinions in a multicultural setting; - complete all tasks only in English.		
授業方法 Course Format	Due to COVID-19, this class will begin online, and will only return to the actual classroom if KGU approves. Otherwise, it will be a completely online course. For now, students need to regularly check their KGU email address for updates from the university (example: abc12345@kwansei.ac.jp). Students will need access to a computer at home with wifi (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. If students have not done so already, they should sign up for (a) a Gmail (Google) account, (b) Zoom meetings, and (c) Loom presentations. URL information is found later in the syllabus. Read the “study required outside class” for each session to learn about your homework for the first few weeks. This will be regularly updated Depending on the evolving situation, course format may include the following: - Individual, pair and group discussion based on topics that relate to content - Presentation and homework assignments - All components of the course conducted in English - Being a level 1 class, students will be expected to perform English tasks at an intermediate level		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	*All contents below subject to change, depending on needs and interests of the enrolled students. Week 1: class overview, introductions, ice breakers	Students need to send an introductory email to the instructor, Andrew Nowlan, at andrew.kgu@gmail.com. Be sure to put the class name in the email subject! Your introduction should include (a) your name, (b) some of your personal interests, and (c) why you're taking this class. Thanks!
第2回 Session 2	Week 2: Introduction Japanese / Canadian economies and tax systems, discussion of first 220-word journal (economics topic #1)	After I have your email address, I will send you some reading material on cross-cultural issues and the economy. I will also give you a short journal to write. Please check your KGU email and this syllabus regularly.
第3回 Session 3	Week 3: The role of women in the Japanese economy, discussion of second 220-word journal (economics topic #2)	Hopefully we will be back in the classroom for this session, but if not, I will continue to submit your assignments via KGU email. We will also discuss the possibility of having online classes on the Zoom platform.
第4回 Session 4	Week 4: Discussion of energy and homes in Japan, discussion of third 220-word journal (economics topic #3)	4/18 UPDATE: If you are registered for this class, you should be receiving email from me (Nowlan). If not, please contact me at andrew.kgu@gmail.com. I WILL NO LONGER BE POSTING CLASS UPDATES ON THIS SYLLABUS. ALL INFORMATION WILL BE SHARED VIA EMAIL FROM NOW.
第5回 Session 5	Week 5: Japanese and Canadian companies: an introduction, discussion of fourth 220-word journal (business topic #1)	
第6回 Session 6	Week 6: How Japanese companies advertise, introduction of final, discussion of fifth 220-word journal (business topic #2)	
第7回 Session 7	Week 7: Importing, exporting, and what makes a “good life”, discussion of sixth 220-word journal (business topic #3)	
第8回 Session 8	Week 8: The 2020 Olympics in Tokyo, discussion of seventh 220-word journal (hybrid topic #1)	
第9回 Session 9	Week 9: What are liberal political beliefs? Conservative beliefs? Discussion of eighth 220-word journal (politics topic #1)	
第10回 Session 10	Week 10: Should same-sex marriage be legal in Japan? Discussion of ninth 220-word journal (politics topic #2)	
第11回 Session 11	Week 11: Age of adulthood: smoking, drinking, and driving; discussion of final 220-word journal (politics topic #3)	
第12回 Session 12	Week 12: final presentations	
第13回 Session 13	Week 13: final presentations	
第14回 Session 14	Week 14: final presentations	

授業外学習 Study Required outside Class	Each class will involve information and topics that will need to be applied to a final presentation. It is the students' responsibility to make notes during each class so they can successfully accomplish this. Also, a weekly journal of at least 220 words will be assigned. On average, this assignment should take one to two hours per week.
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	- To be decided in class, if any - Handouts will be provided by the instructor
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	To be conducted during the last week of class

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	Final presentation
	平常リポート／Individual reports(04)	20%	Weekly journal writing 10 @ 2% each
	その他／Others(99)	40%	Participation / English use
URLリンク1/URL 1	https://www.google.com/intl/ja/gmail/about/		
URLリンク2/URL 2	https://zoom.us/		
URLリンク3/URL 3	https://www.loom.com/		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 14時14分52秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G－105

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49810200	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【200】English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)／English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	ナウラン A. (NOWLAN ANDREW GERALD PARKER)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	英語／English		
授業目的/Course Purpose	英文欄参照/Refer to the following		
授業目的(英文) Course Purpose	Associated with the Center for International Exchange and Cooperation (CIEC), the purpose of this class is to give you more insight into cross-cultural issues that relate to politics, economics and business practices in Japan, Canada, and other countries around the world.		
到達目標/Learning Goals	英文欄参照/Refer to the following		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to… increase understanding of global issues related to politics, economics and business; develop English proficiency and critical thinking skills; make a presentation involving an international business plan; actively participate in whole class discussion and small group discussion; build comfort in expressing opinions in a multicultural setting; complete all tasks only in English.		
授業方法 Course Format	Due to COVID-19, this class will begin online, and will only return to the actual classroom if KGU approves. Otherwise, it will be a completely online course. For now, students need to regularly check their KGU email address for updates from the university (example: abc12345@kwansei.ac.jp). Students will need access to a computer at home with wifi (not just a smart phone) to be able to properly complete and submit assignments. If students have not done so already, they should sign up for (a) a Gmail (Google) account, (b) Zoom meetings, and (c) Loom presentations. URL information is found later in the syllabus. Read the “study required outside class” for each session to learn about your homework for the first few weeks. This will be regularly updated Depending on the evolving situation, course format may include the following: – Individual, pair and group discussion based on topics that relate to content – Presentation and homework assignments – All components of the course conducted in English – Being a level 2 class, students will be expected to perform English tasks at an upper-intermediate level		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	*All contents below subject to change, depending on needs and interests of the enrolled students. Week 1: class overview, introductions, ice breakers	Students need to send an introductory email to the instructor, Andrew Nowlan, at andrew.kgu@gmail.com. Be sure to put the class name in the email subject! Your introduction should include (a) your name, (b) some of your personal interests, and (c) why you're taking this class. Thanks!
第2回 Session 2	Week 2: Economy and taxes in Japan and Canada, discussion of first 250-word journal (economics topic #1)	After I have your email address, I will send you some reading material on cross-cultural issues and the economy. I will also give you a short journal to write. Please check your KGU email and this syllabus regularly.
第3回 Session 3	Week 3: Womenomics – the role of working women in the Japanese economy, discussion of second 250-word journal (economics topic #2)	Hopefully we will be back in the classroom for this session, but if not, I will continue to submit your assignments via KGU email. We will also discuss the possibility of having online classes on the Zoom platform.
第4回 Session 4	Week 4: Energy and housing – different cross-cultural perceptions on energy and the value of homes, discussion of third 250-word journal (economics topic #3)	4/18 UPDATE: If you are registered for this class, you should be receiving email from me (Nowlan). If not, please contact me at andrew.kgu@gmail.com. I WILL NO LONGER BE POSTING CLASS UPDATES ON THIS SYLLABUS. ALL INFORMATION WILL BE SHARED VIA EMAIL FROM NOW.
第5回 Session 5	Week 5: Japanese and Canadian companies, discussion of fourth 250-word journal (business topic #1)	
第6回 Session 6	Week 6: Advertising in Japan and the world, introduction of final presentation, discussion of fifth 250-word journal (business topic #2)	
第7回 Session 7	Week 7: Importing, exporting, the OECD better life index and its influence on business, discussion of sixth 250-word journal (business topic #3)	
第8回 Session 8	Week 8: The 2020 Olympics in Tokyo and its impact on domestic politics, economics, and business; discussion of seventh 250-word journal (hybrid topic #1)	
第9回 Session 9	Week 9: Liberalism vs. Conservatism in North America, discussion of eighth 250-word journal (politics topic #1)	
第10回 Session 10	Week 10: same-sex marriage or other social political issue, discussion of ninth 250-word journal (politics topic #2)	
第11回 Session 11	Week 11: age of adulthood or other social political issue, discussion of final 250-word journal (politics topic #3)	
第12回 Session 12	Week 12: final presentations	
第13回 Session 13	Week 13: final presentations	
第14回 Session 14	Week 14: final presentations	

授業外学習 Study Required outside Class	Each class will involve information and topics that will need to be applied to a final presentation. It is the students' responsibility to make notes during each class so they can successfully accomplish this. Also, a 250-word weekly journal will be assigned involving the discussion contents of the next class. On average, this assignment should take one to two hours per week.
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	- To be decided in class, if any - Handouts will be provided by the instructor
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	To be conducted during the last week of class

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	Final presentation
	平常リポート／Individual reports(04)	20%	Weekly journal writing 10 @ 2% each
	その他／Others(99)	40%	Participation / English use
URLリンク1/URL 1	https://www.google.com/intl/ja/gmail/about/		
URLリンク2/URL 2	https://zoom.us/		
URLリンク3/URL 3	https://www.loom.com/		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 14時15分17秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G－224

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49518201	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】グローバルゼミA 1／Global Seminar A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山田 好一(YAMADA YOSHIKAZU)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	このゼミの最も重要な目的は、欧米のエリート学生に劣らぬ、自らを豊かにするために学ぼうとする意識に目覚めることである。具体的には、世界の現状、日本の現状について様々な報告書やメディア情報などから情報収集し、自分たち学生の現状と照らし合わせて、「自分たちはこのままで良いのか」「大学時代をどう過ごすべきなのか」を徹底的に考えることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	The Course will facilitate students to be truly ready to study for happiness around the world, hand in hand with students of the world's leading universities. Participants will collect information and knowledge on the state of the world and Japan, and ask themselves if they are happy with the present situation. They will strenuously discuss on world issues, work out their own answers, and finally decide what they want to do in their college years.		
到達目標/Learning Goals	到達目標1: 世界の現状、日本の現状について理解する。自分たち学生の現状を理解する。 到達目標2: 自分は何をしたいか、何をなすべきかを理解する。 到達目標3: 今後の学究計画を立案できる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Aim-1 of the Course: Students understand, in their own ways, the state of the world, the state of Japan, and the present situations they are in. Aim-2 of the Course: Students understand what makes them truly happy and what they really want to do. Aim-3 of the Course: Students are able to plan their studies and college life based on A-1 and A-2.		
授業方法 Course Format	On line class オンライン授業		
関連科目/Related Courses	「世界市民論」、「国際情報分析」、「フィールドワーク」		
検索キーワード/Keywords	世界と日本、日本の若者、意識、グローバル人材、知識・能力、今後の学究計画		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	1. 4月7日 休講(事前課題)	【新型コロナ対応:4月7日8時50分更新】「添付ファイル」欄に資料を掲載しています。資料の内容に従って課題に取り組んでください。 提出については後日指示します。
第2回 Session 2	2. 4月14日 休講(事前課題)	同上
第3回 Session 3	3. 4月21日 休講(事前課題)	同上
第4回 Session 4	4. 4月28日 休講(事前課題)	同上
第5回 Session 5	5. 5月12日 イントロダクション 授業の進め方	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第6回 Session 6	6. 5月19日 プレゼンテーション 世界の重大ニュース 「環境・気候変動と安全な暮らし」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第7回 Session 7	7. 5月26日 プレゼンテーション 世界の重大ニュース 「経済成長と雇用」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第8回 Session 8	8. 6月2日 プレゼンテーション 世界の重大ニュース 「健康で文化的な生活」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第9回 Session 9	9. 6月9日 プレゼンテーション 日本の重大ニュース 「環境・気候変動と安全な暮らし」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第10回 Session 10	10. 6月16日 プレゼンテーション 日本の重大ニュース 「経済成長と雇用」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第11回 Session 11	11. 6月23日 プレゼンテーション 日本の重大ニュース 「健康で文化的な生活」	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第12回 Session 12	12. 6月30日 課題分析「日本は世界にどう貢献していくのか?」 第6回～第8回のプレゼンを踏まえて	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第13回 Session 13	13. 7月7日 課題分析「日本国内の種々の問題に対し自分にできることは何か」 第9回～第11回のプレゼンを踏まえて	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。
第14回 Session 14	14. 7月14日 課題分析「今、学ぶべきことは何か」 第12回と第13回の課題分析を踏まえて	●オンデマンド方式 LUNAの指示に従って、正規の時間割の時間を中心に学習行動をとってください。

授業外学習 Study Required outside Class	本授業は、本来ディスカッションをメインにおいた「反転学習」形式のものなので、授業前の各人の学習が重要な意味を持つ。 毎回のテーマについて、プレゼンテーションを作成してくる、あるいはディスカッションの基本材料を揃える等の準備が必須となる。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名:編者 関谷武司 タイトル:世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論 発行所:関西学院大学 出版年:2016 ISBN:978-4-86283-214-6
教科書 Required texts	「世界へ挑む君たちへ 実践型グローバル人材教育論」関谷 武司(著, 編集), 関西学院大学[発行](その他)
参考文献・資料 Reference books	「開発途上国で学ぶ子どもたちーマクロ政策に資するミクロな修学実態分析」、関谷武司編、関学出版会、2018
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	全学統一方式評価

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	その他／Others(99)	100%	Evaluate the content of the activity, and participation comprehensive.
備考 Note	Classes are conducted in Japanese.		
添付ファイル1/File Attachment 1	遠隔グローバルゼミA.docx	説明1/Explanation 1	休講中の課題
更新日時/Date of Update	2020年04月16日 12時47分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	G-223

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	49920000	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	国際教育・協力センター／CIEC／Center for International Education and Cooperation		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】カナダ研究入門A／Introduction to Canadian Studies A		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	水戸 考道(MITO TAKAMICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は2つある。一つは多種多様なカナダ事情を様々な角度から分析を行い、多文化主義・先進民主国カナダの理解を総合的に深めることである。もう一つの目的はカナダを日本や米国と比較しながらカナダの特徴を的確に捉え、日本の現状分析や将来の指針を得ることである。		
授業目的(英文) Course Purpose	This course has two aims. One is to deepen the students' understanding of the advancement of democracy and multiculturalism in Canada. The other is to learn lessons from Canada for Japan's current issues and future through a comparative analysis.		
到達目標/Learning Goals	履修生は米国や日本と比較することにより、カナダの発展と現在の特徴を学際的に理解できるようになるであろう。また広い視野から日本の現状や課題を検討することができるようになるであろう。		
到達目標(英文) Learning Goals	By completing this course, students will be able to deepen their understanding of Canadian development and the current situation in comparison to the US or Japan from a multi-disciplinary perspective. They will also be able to develop a wider perspective which can be applied to an analysis of major issues facing Japan.		
授業の概要・背景 Course Outline	1. 人文科学から社会科学分野から学際的に多種多様なカナダ地域の事情と基礎知識を習得するためのラインナップとなっている。各講師による輪講(オムニバス)授業であり、テーマ毎に内容と講師が変わる。カナダ人講師による教室での授業は英語にて行う。 2. 各講師の授業内容は2020年4月関西学院大学出版会発行の『総合研究カナダ』の序章に要約されている。 3. なお、授業のスケジュールや内容はコロナウィルスの流行の進展や講師の都合などによって急遽、変更されることがある。毎週、月曜日の午後6時までに翌日の授業に変更がある場合には、このシラバスあるいはLUNAにて連絡を行うので、毎月曜日の夜、必ずチェックすること。		
授業方法 Course Format	1. 今年度はコロナウィルスの感染拡大防止策として、第1回のコース・オリエンテーションのこの授業も含め、第2回、第3回そして第4回の4月に実施予定であった授業は全てOnline Distance Modeにて行う。第2回以降の4月の授業に関しては、それぞれシラバスおよびLUNAの指示に従って、5月の締切日までに課題を提出すること。 2. それぞれの授業毎にクイズや課題があり、その総合成績がこの授業の成績となる。すなわち期末テスト期間中に試験はない。それぞれの課題やクイズを毎回、期限内に提出すること。 3. 今年度はコロナウィルスの感染拡大防止策として、第1回のコース・オリエンテーションのこの授業も含め、第2回、第3回そして第4回の4月に実施予定であった授業は全てOnline Distance Modeにて行う。第2回以降の4月の授業に関しては、それぞれシラバスおよびLUNAの指示に従って、5月の締切日までに課題を提出すること。 4. 5月より、教室での平常授業を行う予定であるが、コロナウィルスの流行の進展によっては変更がある可能性もある。 5. 各学期の各授業のテーマはシラバスを、さらに詳しい内容は教科書の序章を参照すること。 6. 毎週この授業の前日である月曜日の夜には必ず、この授業に関する情報をチェックすること。今学期の終了は予定通り、7月15日であるため、Online Distance Modeの授業では教科書にそった課題中心型の学習を行う。各自学習後、課題は提出期限日までにLUNAにUploadする事。 7. 春学期を通して、この教科書にそった授業となるので、早急に教科書を準備する事。 8. 教科書は水戸考道・大石太郎・大岡栄美編著書『総合研究カナダ』(関西学院大学出版会2020年4月刊行)である。 9. 教科書は大学生協より宅配にて注文することができる。詳しくは https://www.kgcoop.jp/book/book_102.html を参照のこと。到着に10日ほどかかる可能性があるため、早急に手配すること。 10. それぞれの授業毎に講義や教科書に基づく、クイズや課題があり、その総合成績がこの授業の成績となる。すなわち期末テスト期間中に試験はない。それぞれの課題やクイズを毎回、期限内に提出すること。 11. この授業に関する質問は法学部水戸教授にmito@kwansei.ac.jpを通して行うこと。		
関連科目/Related Courses	カナダ研究入門B, Special Topics in Canadian Studies A,B,C &D. Cross-Cultural College Global Career Seminar in Canada, カナダの協定校での中期留学、交換留学 およびマウント・アリソン大学とのダブル・ディグリーなど		
検索キーワード/Keywords	カナダ、日本との比較、地域研究、政治と外交、カナダの地理、ケベック事情、カナダの都市、カナダ文化、カナダ社会、多文化主義、国連平和維持活動、日系カナダ人		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	コース・オリエンテーション by 水戸考道 (コース責任者・法学部教授) 4/7 テーマ:オリエンテーション 下記の第1回授業ノート(レジュメ)をよく読んでください。質問があればmito@kwansei.ac.jpの水戸法学部教授にメールしてください。	この授業の進め方はこのシラバス、特に授業方法をよく読んでください。ご質問はmito@kwansei.ac.jp にご連絡を。この授業の内容に関しはこのシラバスおよび教科書の序章に書いてある通りです。
第2回 Session 2	カナダの政治と外交 1 by 木村裕子 (国際教育・協力センター非常勤講師) 4/14 テーマ:カナダと国連平和維持活動1 詳しくは、教科書を読む前に、下記の第2回授業ノート(レジュメ)にある説明をよく理解してください。 課題: 第10章第1節及び第2節を読み、カナダ政府及びカナダ国民の国連平和維持活動に対する考えに焦点をあてつつ、要点を400字にまとめ、5/24までにLUNAにUploadしてください。	教科書「第10章 カナダと国連平和維持活動」を読み、左の課題を締切日までに提出すること。
第3回 Session 3	カナダの政治と外交 2 by 木村 4/21 テーマ:カナダと国連平和維持活動 2 詳しくは、教科書を読む前に、下記の第3回授業ノート(レジュメ)にある説明をよく理解してください。 課題: 第10章第3節及び第4節を読み、カナダ政府及びカナダ国民の国連平和維持活動に対する考えに焦点をあてつつ、要点を400字にまとめ、5/31までにLUNAにUploadしてください。	同上
第4回 Session 4	カナダと日本 by 木村 4/28 テーマ: 日本・カナダ関係 詳しくは、教科書を読む前に、下記の第4回授業ノート(レジュメ)にある説明をよく理解してください。 課題: 以下の3つの時系ごとの日加関係を合わせて400字以内にまとめて、5/19までにLUNAにUploadしてください。	教科書「第9章太平洋を隔てた隣国」を読み課題を締切日までに提出すること。

	1. 関係の始まりから第二次世界大戦まで 2. 第二次世界大戦中 3. 第二次世界大戦後から現在	
第5回 Session 5	関学で育ったカナダ人の私と日本 Mackenzie Clugston (本学教授・元駐日カナダ大使 assisted by 水戸) 5/12 テーマ: 元駐日カナダ大使の体験から見た日本とカナダ 課題: 第12章を読んで、感想を400字以内でまとめ、5/19までにLUNAにUploadしなさい。	教科書「第12章日本と私」を読み課題を締切日までに提出すること。
第6回 Session 6	カナダと日本の近代教育 by 水戸 5/19 特別ゲスト 池田裕子 本学・学院史編纂室専任主管 テーマ: カナダの日本の高等教育発展への影響 ― 関西学院の事例 課題: カナダの教会は日本の教育の発展にどのような影響を与えたのか、関学を例に400字以内にまとめ5/26までにLUNAにUploadしてください。	教科書「第5章 日本の教育の近代化とカナダの教会」を読み課題を締切日までに提出すること。
第7回 Session 7	ケベック研究入門 by 友武栄理子 (国際教育センター非常勤講師) 5/26	教科書「第6章カナダのケベック州とメープルシロップ」1
第8回 Session 8	ケベック事情 真田桂子 (阪南大学教授・国際教育センター非常勤講師) 6/2	教科書「第7章 ケベック、北米に花開くフランス系文化と新しい共存の模索」
第9回 Session 9	メープルシロップからみたケベックの食文化史 by 友武 6/9	教科書「第6章 カナダのケベック州とメープルシロップ」2
第10回 Session 10	カナダの社会と政治思想 by 水戸 6/16 テーマ: カナダと日本の政治文化比較 課題 政治文化とは何か。また日本とカナダの政治文化の主な共通点と相違を400字以内で説明し、Lunaに6/23までにUploadしてください。	教科書「第11章 カナダの政治と社会」1を読み課題を締切日までに提出すること。
第11回 Session 11	カナダと日本の政治制度 by 水戸 6/23 テーマ: カナダと日本の政治制度比較 課題: 政治そして政治制度とは何か、また日本とカナダの政治制度の主な共通点と相違を400字以内にまとめ、Lunaに6/30までにUploadしてください。	教科書第11章「カナダの政治と社会」2を読み課題を締切日までに提出すること。
第12回 Session 12	公共政策から見たカナダ社会 by 水戸 6/30 課題 なぜ公共政策から民主国の社会の特色がわかるのか、この点から考察すると日本とカナダの社会にはどのような共通点と相違があるのか400字以内にまとめ、Lunaに7/7までにUploadしてください。	教科書「第11章 カナダの政治と社会」3を読み課題を締切日までに提出すること。
第13回 Session 13	カナダの地理1 by 大石太郎 (国際学部教授) 7/7	教科書「第1章カナダの国土と諸地域の特色」1
第14回 Session 14	カナダの地理2 by 大石 7/14	教科書「第1章カナダの国土と諸地域の特色」2

授業計画 Overview for each class	以上4月20日現在の内容と担当予定であるが、コロナウィルスの流行や各講師の体調やLUNAへのアクセス問題などにより、さらなる修正もありうる。授業の内容やスケジュールの変更、その他のお知らせは、毎授業の前日、すなわち月曜日の午後6時までにこのシラバスあるいはLUNAにて通知する。毎週月曜日の夜には、最新情報をチェックすること。
授業外学習 Study Required outside Class	Online Distance Modeでの授業は教科書の関連する章を事前に読んで、与えられた課題をLUNAを通して答えるという形で進める。できる限り、毎授業の課題はその前日までに掲示する。但し、4月に行う予定であった最初の4回の授業は、上記情報をもとに、各自このシラバスに従って学び、それぞれ課題を締切日までに提出してください。

教科書 Required texts	水戸考道・大石太郎・大岡栄美・共編著『総合研究カナダ』関西学院大学出版会2020年4月刊行。関学・生協より、宅配にて購入することができる。詳しくは https://www.kgcoop.jp/book/book_102.html を参照のこと。到着に10日ほどかかる可能性があるため、早急に手配すること。
参考文献・資料 Reference books	飯野正子、竹中豊(共編著)『現代カナダを知るための57章』(明石書店、2010)。この他必要に応じて各授業前に周知する。、他編『カナダを知るための60章』(明石書店、2003年); 櫻田大造『誰も知らなかった賢い国カナダ』(講談社+α新書、2003年); 櫻田大造『対米交渉のすごい国』(光文社新書、2009年); 日本カナダ学会編『初めて出会うカナダ』(有斐閣、2009年); 日本カナダ学会編『新版史料が語るカナダ』(有斐閣、2008年) など 飯野正子・竹中豊編著『現代カナダを知るための57章』(明石書店、2010年)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	7月に授業評価を実施する予定。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	授業中試験／In-class examination(03)	100%		
	備考 Note			
	各授業ごとに課題が与えられる。それぞれ提出期限前に、LUNAにUploadすること。最終成績は各課題の総合点となる。			
添付ファイル1/File Attachment 1	カナダ研究入門A コース・オリエンテーション(April 7).docx		説明1/Explanation 1	第1回授業 講義ノート(レジュメ)
添付ファイル2/File Attachment 2	カナダの政治と外交 1 April 14.docx		説明2/Explanation 2	第2回授業 講義ノート(レジュメ)
添付ファイル3/File Attachment 3	カナダの政治と外交2 April 21.docx		説明3/Explanation 3	第3日授業 講義ノート(レジュメ)
添付ファイル4/File Attachment 4	カナダと日本 April 28.docx		説明4/Explanation 4	第4回授業 講義ノート(レジュメ)
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 11時05分09秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	B-102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51536501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル4）） 1／JLC Intensive Japanese (Level 4)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山本 真理(YAMAMOTO MARI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初中級レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について話したり、書いたりすることができるようになる。 他者の考え方について深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and understand lower-intermediate level texts, and to respond to these texts, both in speech and in writing. They will also be able to understand other people's ways of thinking in depth.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化。 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	初中級レベルの表現を学び、意見文や評論文などの文章を読んで、それに関連する内容について話したり、書いたりする。
授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. 【予習】 1) 辞書やインターネットを利用して自分で表現を勉強し、自分がわからない点をはっきりさせる 2) ことばの意味、品詞、一緒に使う助詞などを調べる 3) 教科書の本文に関連する日本の文化や習慣を調べる 【宿題】 1) 習った文型を使って、例文を書く 2) テキストのトピックに関連する作文を書く そのほか) LUNAに文法問題があるので、自分で問題を解き、セルフチェックする

教科書/Required texts	著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級を学ぼう―日本語の文型と表現56 中級前期第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2007 ISBN:978-4883197880 著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年: 2016 ISBN:978-4883197286
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験 (20%), 期末試験 (20%)
	その他／Others(99)	50%	クイズ (15%), 宿題 (35%), 参加度 (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 11時36分27秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	MR－102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51536502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル4）） 2／JLC Intensive Japanese (Level 4)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋田 美帆(AKITA MIHO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初中級レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について話したり、書いたりすることができるようになる。 他者の考え方について深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and understand lower-intermediate level texts, and to respond to these texts, both in speech and in writing. They will also be able to understand other people's ways of thinking in depth.		
授業方法 Course Format	オンライン化 This course will be conducted through online methods. 教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	初中級レベルの表現を学び、意見文や評論文などの文章を読んで、それに関連する内容について話したり、書いたりする。
授業外学習 Study Required outside Class	・オンライン授業は基本的に「同時双方向」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. ・初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class.If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. 【予習】 1) 辞書やインターネットを利用して自分で表現を勉強し、自分がわからない点をはっきりさせる 2) ことばの意味、品詞、一緒に使う助詞などを調べる 3) 教科書の本文に関連する日本の文化や習慣を調べる 【宿題】 1) 習った文型を使って、例文を書く 2) テキストのトピックに関連する作文を書く そのほか) LUNAIに文法問題があるので、自分で問題を解き、セルフチェックする

教科書/Required texts	著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級を学ぼう―日本語の文型と表現56 中級前期第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2007 ISBN:978-4883197880 著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年: 2016 ISBN:978-4883197286
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	中間試験 (20%), 期末試験 (20%)
	その他／Others(99)	60%	クイズ (15%), 宿題 (35%), 参加度 (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月26日 21時38分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	G-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51536503	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル4）） 3／JLC Intensive Japanese (Level 4)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	手塚 まゆ子(TEZUKA MAYUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初中級レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について話したり、書いたりすることができるようになる。 他者の考え方について深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and understand lower-intermediate level texts, and to respond to these texts, both in speech and in writing. They will also be able to understand other people's ways of thinking in depth.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	初中級レベルの表現を学び、意見文や評論文などの文章を読んで、それに関連する内容について話したり、書いたりする。
授業外学習 Study Required outside Class	【予習】 1) 辞書やインターネットを利用して自分で表現を勉強し、自分がわからない点をはっきりさせる 2) ことばの意味、品詞、一緒に使う助詞などを調べる 3) 教科書の本文に関連する日本の文化や習慣を調べる 【宿題】 1) 習った文型を使って、例文を書く 2) テキストのトピックに関連する作文を書く そのほか) LUNAIに文法問題があるので、自分で問題を解き、セルフチェックする ・オンライン授業は基本的に「同時双方向型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級を学ぼう―日本語の文型と表現56 中級前期第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2007 ISBN:978-4883197880 著者名:平井悦子・三輪さち子 タイトル:中級へ行こう 日本語の文型と表現55 第2版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年: 2016 ISBN:978-4883197286
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験 (20%), 期末試験 (20%)
	その他／Others(99)	50%	クイズ (15%), 宿題 (35%), 参加度 (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 12時48分06秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	G-226

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51545501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル7）） 1／JLC Intensive Japanese (Level 7)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	佐野 真弓(SANO MAYUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	上級後半レベルのさまざまな分野の長い文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考えについて深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will read and understand upper-advanced level texts, and to explain and give their opinions about the content. They will also learn how to understand other people's opinions in depth.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 (This course is interactive lecture style taught in Japanese.) オンライン化 (This course will be conducted through online methods.)		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・初回でオリエンテーションを行う ・3コマで1課の進捗で教科書を進める
授業外学習 Study Required outside Class	授業前の予習、授業後の復習を求めます オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 (Online classes will be conducted through two-way interactive methods.) 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 (The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled.) 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 (Please access the first class through the URL link sent by CIEC.) 授業開始時間に遅れないようにご注意ください。 (Do not be late for the class.) 何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 (If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.)

教科書/Required texts	著者名:宮原彬 タイトル:留学生のための時代を読み解く上級日本語 第3版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2018 ISBN:978-4883197729
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験(mid-term)25%＋期末試験(final)25%
	その他／Others(99)	50%	クイズ(10%)＋宿題(30%)＋参加度(10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、授業内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 15時55分35秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	G-223

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51548501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(レギュラー(レベル1A)) 1／JLC Regular (Level 1A)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	蔭山 拓(KAGEYAMA HIROSHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives		
到達目標/Learning Goals	基本的な表現を使って、自分について話したり、相手について質問したりできるようになる。 ひらがなとカタカナが読めるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to use foundational expressions, talk about themselves, and ask questions about others . Students will learn how to read hiragana and katakana.		
授業方法 Course Format	オンライン化。教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は基本的に日本語で行う。 This course will be conducted through online methods. This course is interactive lecture style basically taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	『NEJ:A New Approach to Elementary Japanese vol.1』を中心に授業活動を行う。各ユニット2～3回のペースで授業を進める。
授業外学習 Study Required outside Class	1) Reading aloud narratives in the textbook. 2) Writing essays and reading it aloud. Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 授業開始時間に遅れないようご注意ください。 何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。

教科書/Required texts	著者名:西口光一 タイトル:NEJ:A New Approach to Elementary Japanese vol.1 発行所:Kurosio Publishers 出版年:2012 I SBN:978-4874245507
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	Midterm Exam (20%) , Final Exam (20%)
	その他／Others(99)	60%	Quizzes (20%) , Homework (30%) , Class Participation (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 16時13分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	MR－202

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51548502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(レギュラー(レベル1A)) 2／JLC Regular (Level 1A)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	西村 由美(NISHIMURA YUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives		
到達目標/Learning Goals	基本的な表現を使って、自分について話したり、相手について質問したりできるようになる。 ひらがなとカタカナが読めるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using fundamental expressions, students will be able to talk about themselves and ask questions about classmates. They will also learn how to read HIRAGANA and KATAKANA.		
授業方法 Course Format	オンライン授業 This course will be conducted through online methods. 教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は基本的に日本語で行う。 This course is interactive lecture style basically taught in Japanese. オンライン化 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	『NEJ:A New Approach to Elementary Japanese vol.1』を中心に授業活動を行う。各ユニット2～3回のペースで授業を進める。
授業外学習 Study Required outside Class	1) Reading aloud narratives in the textbook. 2) Writing essays and reading it aloud. Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:西口光一 タイトル:NEJ:A New Approach to Elementary Japanese vol.1 発行所:Kurosio Publishers 出版年:2012 I SBN:978-4874245507
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	Midterm Exam (20%), Final Exam (20%)
	その他／Others(99)	60%	Quizzes (20%), Homework (30%), Class Participation (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時26分54秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	G-102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51530501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(総合日本語(レベル1)) 1／JLC Intensive Japanese (Level 1)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中岡 樹里(NAKAOKA JURI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	基本的な表現を使って、あいさつや簡単なやりとりができるようになる。 お互いの日常生活について、伝えたり、質問したりできるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to use fundamental Japanese expressions and greetings and hold conversations with others in simple Japanese. They will be able to use Japanese to discuss their daily lives with each other.		
授業方法 Course Format	・オンライン化 This course will be conducted through online methods. ・教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords	Japanese / Exchange Students		

授業計画 Overview for each class	<教科書の進度> ・中間試験までに1～12課を学ぶ。1～2回で1課のペースで進む。 ・期末試験までに13～19課を学ぶ。1～2回で1課のペースで進む。 <宿題とクイズ> ・新しい課に入る際、ことばのクイズを行う。 ・各課に宿題を課す。 ・各課終了後に、クイズを行う <その他の活動> ・作文を書く。 ・インタビューを行い、結果を発表する。 ・簡単な文章を読む。
授業外学習 Study Required outside Class	・オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. ・事前学習:新しい語彙を、聞いて意味が分かるようにする。文法の説明を読む。 ・宿題:宿題シートにことばや文を書く。作文を書く。スピーチや発表の準備をする。

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク編 タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-603-6 著者名:スリーエーネットワーク編 タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-604-3
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	中間試験20%、期末試験20%
	その他／Others(99)	60%	クイズ20%、宿題25%、発表10%、参加度5%
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 12時27分16秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-107

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51530502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル1）） 2／JLC Intensive Japanese (Level 1)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中岡 樹里(NAKAOKA JURI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	基本的な表現を使って、あいさつや簡単なやりとりができるようになる。 お互いの日常生活について、伝えたり、質問したりできるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to use fundamental Japanese expressions and greetings and hold conversations with others in simple Japanese. They will be able to use Japanese to discuss their daily lives with each other.		
授業方法 Course Format	・オンライン化 This course will be conducted through online methods. ・教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords	Japanese / Exchange Students		

授業計画 Overview for each class	<教科書の進度> ・中間試験までに1～12課を学ぶ。1～2回で1課のペースで進む。 ・期末試験までに13～19課を学ぶ。1～2回で1課のペースで進む。 <宿題とクイズ> ・新しい課に入る際、ことばのクイズを行う。 ・各課に宿題を課す。 ・各課終了後に、クイズを行う <その他の活動> ・作文を書く。 ・インタビューを行い、結果を発表する。 ・簡単な文章を読む。
授業外学習 Study Required outside Class	・オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. ・事前学習:新しい語彙を、聞いて意味が分かるようにする。文法の説明を読む。 ・宿題:宿題シートにことばや文を書く。作文を書く。スピーチや発表の準備をする。

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク編 タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-603-6 著者名:スリーエーネットワーク編 タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-604-3
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	40%	中間試験20%、期末試験20%
	その他／Others(99)	60%	クイズ20%、宿題25%、発表10%、参加度5%
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 12時28分10秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-106

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51532501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル2）） 1／JLC Intensive Japanese (Level 2)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	佐野 真弓(SANO MAYUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初級前半の表現を使って、簡単な日常会話ができるようになる。 身の回りのことについて、ある程度まとまった内容が表現できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using elementary level expressions, students will be able to hold basic daily conversations in Japanese and describe their surroundings.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 (This course is interactive lecture style taught in Japanese.) オンライン化 (This course will be conducted through online methods.)		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	初級前半の表現を学習し、身の回りのことについてある程度まとまった内容が表現できるようになるために、インタビュープロジェクト、ポスター発表などを行う。
授業外学習 Study Required outside Class	新しい課の前に、教科書を見て、次の課のことばを勉強する。 新しい課を学習後に、教科書と「書く練習」を使って、文法を復習する。 オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 (Online classes will be conducted through two-way interactive methods.) 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 (The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled.) 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 (Please access the first class through the URL link sent by CIEC.) 授業開始時間に遅れないようご注意ください。 (Do not be late for the class.) 何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 (If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.)

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-603-6 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-604-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-646-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-664-7
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版』と『みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験 Mid-term Exam(25%), 期末試験 Final Exam (25%)
	その他／Others(99)	50%	クイズ Quiz (10%), 宿題 Homework (30%), 参加度 Participation (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 15時27分31秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-307

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51532502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(総合日本語(レベル2)) 2/JLC Intensive Japanese (Level 2)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	佐野 真弓(SANO MAYUMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初級前半の表現を使って、簡単な日常会話ができるようになる。 身の回りのことについて、ある程度まとまった内容が表現できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using elementary level expressions, students will be able to hold basic daily conversations in Japanese and describe their surroundings.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 (This course is interactive lecture style taught in Japanese.) オンライン化 (This course will be conducted through online methods.)		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	初級前半の表現を学習し、身の回りのことについてある程度まとまった内容が表現できるようになるために、インタビュープロジェクト、ポスター発表などを行う。
授業外学習 Study Required outside Class	新しい課の前に、教科書を見て、次の課のことばを勉強する。 新しい課を学習後に、教科書と「書く練習」を使って、文法を復習する。 オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 (Online classes will be conducted through two-way interactive methods.) 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 (The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled.) 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 (Please access the first class through the URL link sent by CIEC.) 授業開始時間に遅れないようご注意ください。 (Do not be late for the class.) 何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 (If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.)

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-603-6 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2012 ISBN:978-4-88319-604-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-646-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-664-7
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級I 第2版 翻訳・文法解説 英語版』と『みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験 Mid-term Exam(25%), 期末試験 Final Exam (25%)
	その他／Others(99)	50%	クイズ Quiz (10%), 宿題 Homework (30%), 参加度 Participation (10%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 15時42分34秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-1S207

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51534501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル3）） 1／JLC Intensive Japanese (Level 3)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	浅津 嘉之(ASAZU YOSHIYUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初級後半の表現を使って、日常会話ができるようになる。 身の回りのことについて、事実や感想をまとまった長さで表現できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using upper-elementary level expressions, students will be able to hold everyday conversations in Japanese and express facts and opinions about their surroundings.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化 (This course will be conducted through online methods.)		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	<教科書の進度> ・中間試験までに36課～42課を学ぶ。 期末試験までに43課～50課を学ぶ。 ・基本的に2回で1課のペースで進む。 ・数課に1回、復習の日を入れる。 <宿題とクイズ> ・各課に宿題とクイズを課す。 <その他の活動> ・作文を書き、その内容を発表する。 ・日本語ネイティブとテーマ別の会話練習をする。
授業外学習 Study Required outside Class	<予習> ・教科書を見て、次の課のことばを勉強する。 ・次の課の文法の説明を読む。 <宿題> ・教科書と復習プリント(授業で配布する)を使って、文法を勉強する。 ・教科書のCDを聞く。 ・その他、授業内で指示する。 オンライン授業は基本的に「同時双方向型」で行います。 (Online classes will be conducted through two-way interactive methods.) 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 (The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled.) 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。 (Please access the first class through the URL link sent by CIEC.) 授業開始時間に遅れないようご注意ください。 (Do not be late for the class.) 何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 (If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.)

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-646-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-664-7
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	中間試験/Midterm Exam(10%)，期末試験/Final Exam(10%)
	その他／Others(99)	80%	クイズ/Quiz(20%)，宿題/Homework(10%)，参加度/Participation(20%)，作文(30%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、授業内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時05分53秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-IS205

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51534502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル3）） 2／JLC Intensive Japanese (Level 3)		
単位数/Credit	5	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	浅津 嘉之(ASAZU YOSHIYUKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初級後半の表現を使って、日常会話ができるようになる。 身の回りのことについて、事実や感想をまとまった長さで表現できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using upper-elementary level expressions, students will be able to hold everyday conversations in Japanese and express facts and opinions about their surroundings.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	<教科書の進度> ・中間試験までに36課～42課を学ぶ。 期末試験までに43課～50課を学ぶ。 ・基本的に2回で1課のペースで進む。 ・数課に1回、復習の日を入れる。 <宿題とクイズ> ・各課に宿題とクイズを課す。 <その他の活動> ・作文を書き、その内容を発表する。 ・日本語ネイティブとテーマ別の会話練習をする。
授業外学習 Study Required outside Class	<予習> ・教科書を見て、次の課のことは勉強する。 ・次の課の文法の説明を読む。 <宿題> ・教科書と復習プリント(授業で配布する)を使って、文法を勉強する。 ・教科書のCDを聞く。 ・その他、授業内で指示する。 オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 本冊 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-646-3 著者名:スリーエーネットワーク タイトル:みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版 発行所:スリーエーネットワーク 出版年:2013 ISBN:978-4-88319-664-7
教科書 Required texts	『みんなの日本語初級II 第2版 翻訳・文法解説 英語版』は英語版ではなく、別の言語でもよい。

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	20%	中間試験/Midterm Exam(10%)，期末試験/Final Exam(10%)
	その他／Others(99)	80%	クイズ/Quiz(20%)，宿題/Homework(10%)，参加度/Participation(20%)，作文(30%)
備考 Note	授業計画に変更がある場合は、授業内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 14時07分40秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-IS204

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51539501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル5）） 1／JLC Intensive Japanese (Level 5)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	手塚 まゆ子(TEZUKA MAYUKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	中級後半レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考え方について深く理解できるようになる。 話しことばと書きことばの違いについて知り、やや長い文章を書くことができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and understand upper-intermediate level texts, and will be able to explain and give their opinions about the content. They will also be able to understand other people's opinions in depth, will learn the difference between colloquial and written language, and will write medium-length essays.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・読解文法： 全8課、各課3回（読解、話し合い、文法） ・作文 書きことば2回、作文（4トピック）を各2回（説明＆プレスト、フィードバック＆修正） シェアリング活動2回 ・その他 中間試験、期末試験
授業外学習 Study Required outside Class	・読解・文法関係： 本文のことばを調べる、本文を読む、文法の説明と例文を読む、それぞれ予習・復習の必要がある□ ・作文関係： 作文のアウトラインやアイデアをまとめてくる、作文を完成させ提出する ・オンライン授業は基本的に「同時双方向型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。

教科書/Required texts	著者名：平井悦子・三輪さち子 タイトル：中級を学ぼう―日本語の文型と表現82 中級中期 発行所：スリーエーネットワーク 出版年：2009 ISBN：978-4883195091
--------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	中間試験（15％）、期末試験（15％）
	その他／Others(99)	70%	■読解・文法関係：クイズ（10％）、宿題（25％）／■作文関係：宿題（27％）【提出：15％＋内容：12％】、クイズ（3％）／■全体参加度（5％）
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 10時15分08秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	E－101

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51539502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル5）） 2／JLC Intensive Japanese (Level 5)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	山本 真理(YAMAMOTO MARI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	中級後半レベルの文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考え方について深く理解できるようになる。 話しことばと書きことばの違いについて知り、やや長い文章を書くことができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to read and understand upper-intermediate level texts, and will be able to explain and give their opinions about the content. They will also be able to understand other people's opinions in depth, will learn the difference between colloquial and written language, and will write medium-length essays.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. オンライン化。 This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・読解文法： 全8課、各課3回（読解、話し合い、文法） ・作文 書きことば2回、作文（4トピック）を各2回（説明＆プレスト、フィードバック＆修正） シェアリング活動2回 ・その他 中間試験、期末試験
授業外学習 Study Required outside Class	オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。 初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。 初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。 ・読解・文法関係： 本文のことばを調べる、本文を読む、文法の説明と例文を読む、それぞれ予習・復習の必要がある□ ・作文関係： 作文のアウトラインやアイディアをまとめてくる、作文を完成させ提出する

教科書/Required texts	著者名：平井悦子・三輪さち子 タイトル：中級を学ぼう―日本語の文型と表現82 中級中期 発行所：スリーエネットワーク 出版年：2009 ISBN：978-4883195091
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	中間試験（15％）、期末試験（15％）
	その他／Others(99)	70%	■読解・文法関係：クイズ（10％）、宿題（25％）／■作文関係：宿題（27％）【提出：15％＋内容：12％】、クイズ（3％）／■全体参加度（5％）
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 11時37分38秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-207

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51539503	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル5）） 3／JLC Intensive Japanese (Level 5)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	未定		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。 Students will be able to develop their own methods for learning Japanese. Students will be able to accept diverse ways of thinking by proactively interacting with other people using Japanese. Students will be able to see the significance of learning Japanese has in their lives and daily lives.		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to develop their own methods for learning Japanese. Students will be able to accept diverse ways of thinking by proactively interacting with other people using Japanese. Students will be able to see the significance of learning Japanese has in their lives and daily lives.		
到達目標/Learning Goals	上級前半レベルのさまざまな分野の文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考えについて深く理解できるようになる。 Students will read and understand lower-advanced level texts, and to explain and give their opinions about the content. They will also learn how to understand other people's opinions in depth.		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will read and understand lower-advanced level texts, and to explain and give their opinions about the content. They will also learn how to understand other people's opinions in depth.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・初回でオリエンテーションを行う ・4コマで1課の進度で教科書を進める
授業外学習 Study Required outside Class	授業前の予習、授業後の復習を求めます

教科書/Required texts	著者名：堤良一・長谷川哲子 タイトル：「大学生」になるための日本語1 発行所：ひつじ書房 出版年：2009 ISBN：978-4894764354
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	50%	中間試験(mid-term)25%＋期末試験(final)25%
	その他／Others(99)	50%	クイズ(20%)＋宿題(20%)＋参加度(10%)
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年01月24日 15時30分29秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51542501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(総合日本語(レベル6)) 1／JLC Intensive Japanese (Level 6)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	阿部 秀夫(ABE HIDEO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	上級前半レベルのさまざまな分野の文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考えについて深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will read and understand lower-advanced level texts, and to explain and give their opinions about the content. They will also learn how to understand other people's opinions in depth.		
授業方法 Course Format	オンライン化 This course will be conducted through online methods. 教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・初回でオリエンテーションを行う ・4コマで1課の進度で教科書を進める
授業外学習 Study Required outside Class	授業前の予習、授業後の復習を求めます ・オンライン授業は基本的に「同時双方向」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. ・初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class.If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:堤良一・長谷川哲子 タイトル:「大学生」になるための日本語1 発行所:ひつじ書房 出版年:2009 ISBN:978-4894764354
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	中間試験(mid-term)15%＋期末試験(final)15%
	その他／Others(99)	70%	クイズ(10%)＋課題(50%)＋参加度(10%)
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 21時13分23秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-226

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51542502	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（総合日本語（レベル6）） 2／JLC Intensive Japanese (Level 6)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋田 美帆(AKITA MIHO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	上級前半レベルのさまざまな分野の文章を読んで理解し、それに関連する内容について説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。 他者の考えについて深く理解できるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will read and understand lower-advanced level texts, and to explain and give their opinions about the content. They will also learn how to understand other people's opinions in depth.		
授業方法 Course Format	・オンライン化 This course will be conducted through online methods. ・教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	・初回でオリエンテーションを行う ・4コマで1課の進度で教科書を進める
授業外学習 Study Required outside Class	授業前の予習、授業後の復習を求めます ・オンライン授業は基本的に「同時双方向」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. ・初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class.If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:堤良一・長谷川哲子 タイトル:「大学生」になるための日本語1 発行所:ひつじ書房 出版年:2009 ISBN:978-4894764354
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	中間試験 (mid-term)15%＋期末試験(final)15%
	その他／Others(99)	70%	クイズ(10%)＋課題(50%)＋参加度(10%)
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 20時21分28秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	G-IS107

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51546501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（調査・報告（レベル7）） 1／JLC Research and Report (Level 7)		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	秋田 美帆(AKITA MIHO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	興味を持った身近な社会問題について、上級後半の表現を使ってまとめることができるようになる。 新聞記事等での資料収集や日本人へのインタビュー調査を行い、その結果を元にレポートを執筆することができるようになる。 レポートの内容について話し合ったり、発表したりすることができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to organize information and their thoughts about a societal issue they are interested in using upper-advanced level expressions. They will also be able to collect information from newspaper articles, carry out interviews with Japanese people, and write a report based on the resulting data. They will be able to discuss the report and share their findings in a presentation.		
授業方法 Course Format	・オンライン化 This course will be conducted through online methods. ・教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords	Japanese / Exchange Students		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション	
第2回 Session 2	新聞記事、資料の検索・収集	
第3回 Session 3	図書館での文献収集	
第4回 Session 4	資料・文献の整理	
第5回 Session 5	テーマ発表1	
第6回 Session 6	テーマ発表2	
第7回 Session 7	発表振り返り テーマ再検討	
第8回 Session 8	アウトライン作成 序論の書き方	
第9回 Session 9	インタビュー準備	
第10回 Session 10	序論の検討・修正	
第11回 Session 11	インタビュー練習	
第12回 Session 12	本論1の書き方 引用・要約の方法	
第13回 Session 13	序論のフィードバック 本論1の検討・修正	
第14回 Session 14	インタビュー1の検討	
第15回 Session 15	本論1のフィードバック 本論2の書き方、アウトライン	
第16回 Session 16	インタビュー2の検討	
第17回 Session 17	本論2(前半)の執筆	
第18回 Session 18	インタビュー3の検討 インタビュー結果のまとめ	
第19回 Session 19	本論2(前半)の検討・修正 本論2(後半)の執筆	
第20回 Session 20	インタビュー結果の発表1	
第21回 Session 21	インタビュー結果の発表2	
第22回 Session 22	本論2の検討・修正 結論の書き方	
第23回 Session 23	結論の検討・修正	
第24回 Session 24	本論2・結論のフィードバック	
第25回 Session 25	全編完成作業	
第26回 Session 26	レポートの最終チェック 発表の準備	
第27回 Session 27	最終発表1	
第28回	最終発表2	

Session 28		
授業外学習 Study Required outside Class	・文献・資料の収集 ・インタビューの準備と実施 ・レポートの執筆 ・発表の準備 ・オンライン授業は基本的に「同時双方向」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. ・初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようにご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class.If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.	

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	定期試験に代わるリポート／ Term paper to replace the final examination(02)	35%	
	その他／Others(99)	65%	発表20%、宿題25%、参加度20%
備考 Note	スケジュールは変更する場合がある。		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 20時23分44秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	MR－第6PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51550501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス/Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター/Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目(レギュラー(レベル2)) 1/JLC Regular (Level 2)		
単位数/Credit	3	履修期/Term	春学期/Spring
担当者/Instructor	福富 奈美(FUKUTOMI NAMI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	初級前半の表現を使って、簡単な日常会話ができるようになる。 身の回りのことについて、ある程度まとまった内容を表現することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	Using elementary level expressions, students will be able to hold basic daily conversations in Japanese and to describe their surroundings.		
授業方法 Course Format	教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese. This course will be conducted through online methods.		
検索キーワード/Keywords			

授業計画 Overview for each class	『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 かつどう』『まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 りかい』を中心に授業活動を行う。各課2回のペースで授業を進める。
授業外学習 Study Required outside Class	Memorizing vocabulary Reading online Marugoto+ Grammar [Grammar Notes] Online classes will be conducted through two-way interactive methods. The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail.

教科書/Required texts	著者名:独立行政法人国際交流基金 タイトル:まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 かつどう 発行所:三修社 出版年:2014 ISBN:978-4384057546 著者名:独立行政法人国際交流基金 タイトル:まるごと 日本のことばと文化 初級1 A2 りかい 発行所:三修社 出版年:2014 ISBN:978-4384057553
--------------------	---

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験/In-class examination(03)	50%	中間試験(25%), 期末試験(25%)
	その他/Others(99)	50%	クイズ(20%), 宿題(20%), 平常点(10%)
備考 Note	授業計画を変更する場合は、クラス内で連絡する。		
更新日時/Date of Update	2020年04月20日 22時11分30秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期/Spring	火曜2時限	春学期/Spring	D-104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	51553501	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	日本語教育センター／Center for Japanese Language Education		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	日本語学習科目（日本文化（レベル1-4）） 1／JLC Japanese Culture (Level 1-4)		
単位数/Credit	1	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	中岡 樹里(NAKAOKA JURI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	自らの日本語の学びを自律的に創造できる。 日本語で積極的に他者と交わることで、考え方の多様性を受容することができる。 日本語を学ぶ意義を、自分の人生・生活の中に見いだすことができる。		
授業目的(英文) Course Purpose	Students will be able to: a) develop their own methods for learning Japanese, b) accept diverse ways of thinking, and c) see the significance that learning Japanese has for their daily life and throughout their lives.		
到達目標/Learning Goals	簡単な日本語で行われる講義を通して、日本文化について理解する。 学んだ内容を調べることによって、さらに日本文化への理解を深める。		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will learn about Japanese culture through lectures held in simple Japanese. They will research the topics they have learned about and deepen their understanding of Japanese culture.		
授業方法 Course Format	・オンライン化 This course will be conducted through online methods. ・教員のサポートを得て、学生が主体となって日本語を学ぶ。授業は日本語で行う。 This course is interactive lecture style taught in Japanese.		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(Orientation) 映画1 (Movie1)	
第2回 Session 2	映画1 (Movie1)	
第3回 Session 3	映画1 (Movie1)	
第4回 Session 4	日本文化についての講義1 (Lecture on Japanese culture 1)	
第5回 Session 5	日本文化についての講義2 (Lecture on Japanese culture 2)	
第6回 Session 6	京都フィールドトリップ(Kyoto Field Trip) ※土曜日に実施(We will go to Kyoto on Saturday.) ※Absence from field trip will be treated as missing two classes.	
第7回 Session 7	京都フィールドトリップ(Kyoto Field Trip) ※土曜日に実施(We will go to Kyoto on Saturday.) ※Absence from field trip will be treated as missing two classes.	
第8回 Session 8	映画2 (Movie2)	
第9回 Session 9	映画2 (Movie2)	
第10回 Session 10	映画2 (Movie2)	
第11回 Session 11	日本文化についての講義3 (Lecture on Japanese culture 3)	
第12回 Session 12	日本文化についての講義4 (Lecture on Japanese culture 4)	
第13回 Session 13	日本文化についての講義5 (Lecture on Japanese culture 5)	
第14回 Session 14	期末試験(Final Exam)	

授業計画 Overview for each class	※オンライン授業のため、フィールドトリップはありません。We have no field trip in this semester. ※新しいスケジュールは、クラスでせつめいします。The latest schedule will be shown at the class.
授業外学習 Study Required outside Class	・オンライン授業は基本的に「同時双方型」で行います。Online classes will be conducted through two-way interactive methods. ・初回の授業は4月21日から予定通りオンライン上で開始します。The first class will be conducted online from 4/21 as scheduled. ・初回の授業はCIECから配布された初回授業一覧のURLにアクセスしてください。授業開始時間に遅れないようご注意ください。何かトラブルがあった場合は担当教員にメールで連絡してください。Please access the first class through the URL link sent by CIEC. Do not be late for the class. If you have any problems, please contact the teacher by E-mail. ・アンケートの宿題(Homework on questionnaire survey to Japanese students)、映画の宿題(Homework about movie)、ミニレポート(Mini report about movie)、試験の勉強(Preparation of Final Exam)

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	授業中試験／In-class examination(03)	30%	
	平常リポート／Individual reports(04)	30%	映画レポート (Mini report about Movie) 20%
	その他／Others(99)	40%	宿題 (Homework) 30%、参加度 (Participation) 20%
備考 Note	スケジュールは変更する場合がある。 The schedule is subject to change.		
更新日時/Date of Update	2020年04月18日 12時24分45秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	G－108

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52007001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ライフ・キャリア入門演習 1／Introductory Seminar of Life Career and Work Career		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	渡辺 一成(WATANABE KAZUNARI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は以下の4点である。 1. 主体的な大学生活の過ごし方を考えること 2. 卒業後も見越した自身のキャリアや人生を考えること 3. 変化する社会環境の中で自身の課題を発見する力を身に付けること 4. 自分の考えを自分の言葉で表現する能力を身に付けること		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. think about how to spend an independent university life, 2. think about their own careers and the lives they anticipate after graduation, 3. acquire the ability to discover their own challenges in a changing social environment, 4. acquire the ability to express their thoughts in their own words.		
到達目標/Learning Goals	1. キャリアデザインのプロセスの中で、学生は自分と他者と社会について考え、大学で学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアの在りかたを追究し意味づけができるようになる。 2. 学生は絶えず変化する社会に柔軟に挑み、そのプロセスにおいてたゆまず学習し続けることの重要性を理解できるようになる。 3. 学生は他者を尊重し、多様なキャリアを理解し受容することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, student will be able to 1. think about themselves, others, and society, the meaning of learning at a university, the meaning and purpose of work, and the meaning and ability to pursue their own strengths and careers in the process of career design, 2. flexibly contend with a constantly changing society and understand the importance of continuous learning in the process, 3. respect others and understand and accept diverse careers.		
授業の概要・背景 Course Outline	＜実務経験のある教員による授業＞ 企業での企画やコンサルティング、キャリアカウンセリング等の実務経験を積んだ講師が、その経験を活かし、社会人や企業人に求められるスキルや資質を育成します。自己及び自分を取り巻く社会を理解し、大学生活のアクションプラン、将来のキャリアデザインを考えます。		
授業方法 Course Format	※2020年春学期はオンライン授業を実施する ・授業開始：5月12日（火） ・授業形式：オンデマンド型 ・アクセス：LUNA「教材・課題・テスト」 ＜教員＞定められた曜日時限迄に解説書・関連資料・ワークシート等を配信する ＜学生＞定められた曜日時間以降の任意の時間に受信できる 毎回、提出課題があるので、必ず授業日の当日中に内容・提出期限を確認すること ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール ※対面授業が可能となった場合は・・・ ・個人ワーク、学生同士のペアワーク、グループワーク（ディスカッション、発表など） を組み合わせる授業を展開する。 ・毎回、座席を指定する（毎回替わり、ペアワークの相手やグループメンバーが替わる） ・毎回、出席カードと学習記録を兼ねた「リフレクションペーパー」の提出を義務付ける。		
関連科目/Related Courses	後続：ライフ・キャリア概論／ライフ・キャリア実践演習／ライフ・キャリア発展演習／ 各実習科目		
検索キーワード/Keywords	キャリア 働き方 社会 グループ ディスカッション プレゼンテーション 発表 ダイバーシティ 多様性 自己分析 計画 進路 インターンシップ 就職 仕事 人生 生き方 実務経験のある教員		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	臨時休講（新型コロナ対応）	第1回目のカリキュラムは、第5回目に吸収して実施し、課題も第5回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第2回 Session 2	臨時休講（新型コロナ対応）	第2回目のカリキュラムは、第6回目に吸収して実施し、課題も第6回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第3回 Session 3	臨時休講（新型コロナ対応）	第3回目のカリキュラムは、第7回目に吸収して実施し、課題も第7回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第4回 Session 4	臨時休講（新型コロナ対応）	第4回目のカリキュラムは、第9回目に吸収して実施し、課題も第9回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第5回 Session 5	テーマ：オリエンテーション 主な内容： ・当講座の目的、ルール、評価方法を理解する ・人生80年の時間、10年後の自分の姿（仕事観、人生観）を思い描き、今の自分の思いを言語化し、学生間で共有する ・「アイデンティティ」の課題として、指定図書に取り組む（第1回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月12日（火）1時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第6回 Session 6	テーマ：自己の棚卸し 主な内容： ・これまでの歩みや経験を振り返る。 ・自身の強みや弱みを点検・理解し言語化する（第2回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月19日（火）1時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第7回 Session 7	テーマ：社会環境・他者理解（1）（2） 主な内容： ・現在の社会情勢が私達に及ぼす影響について考察し、学生間で共有する ・社会環境について調査する（第3回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月26日（火）1時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第8回 Session 8	テーマ：社会環境・他者理解（3） 主な内容： ・自分自身にとって「機会」や「脅威」となり得る環境変化を考察し、学生間で共有する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月2日（火）1時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
	テーマ：社会の中の自己理解（1） 主な内容：	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月9日（火）1時限開始時間までに配信

第9回 Session 9	・自国民のアイデンティティーを「政治・経済・労働観」「自然・宗教観」「文化・言語・教育観」の3つの視点で考察し、学生間で共有する ・自分自身のアイデンティティと課題を分析してこれからに繋げる(第4回課題)	・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第10回 Session 10	テーマ: 社会の中の自己理解(2) 主な内容: ・グローバル化する社会で求められる人材像や、そこで活躍するために必要な能力について考察して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月16日(火)1時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第11回 Session 11	テーマ: 社会の中の自己理解(3) 主な内容: ・社会、組織で働くために求められる「能力」(社会人基礎力)について自己分析して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月23日(火)1時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第12回 Session 12	テーマ: キャリアコラージュ・アクションプラン 主な内容: ・クロスSWOT分析の手法を用いて、環境変化の中で自分の強みの活かし方、弱みの克服方法を考察する ・実効性の高い行動計画の手法を学び、大学での学習計画・行動計画(アクションプラン)を作成する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月30日(火)1時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第13回 Session 13	テーマ: キャリアビジョン・キャリアプラン 主な内容: ・代表的なキャリア理論を学び、自身のキャリアプランに活かす ・アクションプランの作成 ・これまでの学習の集大成であるキャリアデザインシートの総仕上げ	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 7月7日(火)1時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第14回 Session 14	テーマ: キャリアコミットメント<宣言> 主な内容: ・キャリアデザインシートの発表(実行宣言)と相互フィードバック (発表形式は、対面授業の可否や履修者数に応じて検討する) ・当講座の学習を総括する	LUNA使用によるオンライン授業(対面授業不可の場合) ・配信日時: 7月14日(火)1時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール

授業外学習 Study Required outside Class	1. 社会事情や時事問題などについて調査し、自身の所見をまとめる 2. 他の学生や講師の所見を参考にしながら、自身の考察を深める 3. 1. 2にかかるワークシートを作成し、提出する ※2020年春学期は、1～3の取り組みをオンラインで行う ※更新日時 2020年4月13日17:00
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	特定の教科書は使用せず、毎回学習に必要な資料やワークシート類を配布する (2020年春学期はLUNAで配信する)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	80%	ワークシート等の提出、及びその内容レベル(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は100%)
	その他／Others(99)	20%	授業中の意見発表やグループワークの取り組み(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は0%)
	備考 Note ・2020年春学期は、全てのワークシートの提出をもって成績評価の対象とする ・学期末試験は実施しない		
更新日時/Date of Update		2020年04月13日 17時09分41秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜1時限	春学期／Spring	C-103

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52309001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【150】PBL特別演習009【三木市・旧市街地FW】 1／PBL Special Seminar 009		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	奥 貴 麻紀(OKUNUKI MAKI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1 年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	★今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、2020年度春学期に開講を予定していた本科目を不開講とします。		
授業目的/Course Purpose	本授業は、神戸市や三田市に隣接する三木市の三木城下町(旧三木市街地)をフィールドとし、地域の課題や可能性を探究します。フィールドワーク(FW/現地実習))では、国史跡である三木城跡や国登録有形文化財、古民家、街道等の調査や、まちづくりに取り組む住民や行政の方々へのインタビュー調査を実施し、地域活性について考察し、報告発表を行います。人口減少が進む地域や関係者に触れることを通じて、地域の課題や可能性を検討するとともに、地域資源を活かした地域活性について、自分の考えを説明できるようになることが、当授業の目的です。		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to consider problems and possibilities in the local community decreasing in population, and cultivate their viewpoints about regional revitalization. Students learn in class and Miki-City near Kobe and Sanda, and try to interview local people participating in local vitalization.		
到達目標/Learning Goals	1) インタビュー調査の基礎力を身につける。 2) 多様な視点から地域の課題と可能性を考察することができる。 3) 自ら学内外の人々とコミュニケーションやチームビルディングを取りながら学ぶことができる。		
到達目標(英文) Learning Goals	1) acquire basic research skill of interview, 2) examine local problems and possibilities from various viewpoints, and 3) learn actively through communication and team-building with people in class and the community.		
授業の概要・背景 Course Outline	三木市は、神戸市、三田市、加古川市など5市1町と隣接しており、電車、バス、高速道路が整備され、阪神間のベッドタウンとして発展してきました。しかし、日本の各地と同様、人口が減少し続けることを現実として受け止めつつ、将来にわたりまちの活力を維持していくために、住民や行政等の方々が様々な課題に取り組んでいます。本授業では、三木城下町のある旧市街地で、独自の歴史、文化(財)、産業、街道などの地域資源を活かしたまちづくりや地域活性に焦点を当て、地域の方々とかかわっていきます。フィールドワークに興味がある人、将来地域に関係する仕事に関心がある人など、ぜひこの授業で学んでください。		
授業方法 Course Format	・学内授業: グループワーク、講義、発表等 ・学外実習(フィールドワーク/FW): 月に1度(週末日帰り)を予定: 地域資源調査、地域活性化の取組みの見学・観察、関係者へのインタビュー		
関連科目/Related Courses	ハンズオン科目		
検索キーワード/Keywords	地域、地域活性、まちづくり、コミュニティ、社会、人口減少、地方創生、歴史、文化、産業、史跡、城下町、フィールドワーク、プロジェクト		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	オリエンテーション(本授業について)、三木市の概要、参考文献について: 講義、グループワーク	復習: 参考文献or配布資料を読む
第2回 Session 2	三木市旧市街地の地域資源(歴史・文化・産業)について: グループワーク、講義	予習: 三木市の情報収集(第1回授業で指示)
第3回 Session 3	地域活性化とは: グループワーク、発表	予習: 地域活性化について(配布資料等)
第4回 Session 4	【準備】フィールドワーク(1): グループワーク、講義	予習: 三木市旧市街地×地域活性化について考えてくる
第5回 Session 5	【現地実習】フィールドワーク(1)(週末日帰り): 旧市街地での地域資源、地域活性化の取組みの見学、質疑応答	予習: 第1回FW調査の目的、内容等の準備 復習: 第1回FWのデーター整理
第6回 Session 6	【振り返り】フィールドワーク(1): グループで整理、理解、課題の検討	予習: 第1回FWの振り返り
第7回 Session 7	【準備】フィールドワーク(2): インタビュー調査について講義、グループワーク	予習: 前回授業のグループワーク内容の考察
第8回 Session 8	【現地実習】フィールドワーク(2)(週末日帰り): 地域関係者へのインタビュー(1): グループで	予習: 第2回FW調査の目的、内容等の準備 復習: 第2回FWのデータ整理
第9回 Session 9	【振り返り】フィールドワーク(2): インタビュー(1)内容の整理、理解	予習: 第2回FWの振り返り
第10回 Session 10	【準備】フィールドワーク(3): 課題の設定、インタビュー(2)の内容の検討(GW)	予習: 第3回FWの目的、内容等の準備
第11回 Session 11	【現地実習】フィールドワーク(3)(週末日帰り): 地域関係者へのインタビュー(2): グループで	予習: 第3回FW調査の目的、内容等の準備 復習: 第3回FWのデータ整理
第12回 Session 12	【振り返り】フィールドワーク(3): インタビュー内容の整理、理解、課題設定	予習: 第3回FWの振り返り
第13回 Session 13	最終発表の準備	最終発表の準備
第14回 Session 14	最終発表、ディスカッション(地域関係者来学予定) 授業の振り返り・まとめ	最終発表の準備 最終発表の振り返り
授業外学習 Study Required outside Class	・平日の通常授業(演習)と週末に数回行うフィールドワーク(現地実習)をミックスさせて実施します。 ・フィールドワークの予定・・・第1回: 4/25(土)、第2回: 5/16(土)、第3回: 6/20(土) (事前アナウンスの上、変更する場合があります) ・実際に地域の方々と関わって調査を行いますので、フィールドワーク前後には事前/事後学修として調査準備やインタビュー・データのとりまとめなど、個人/チーム作業を行います。	

参考文献・資料 Reference books	『人口減少社会のデザイン』広井良典著、東洋経済新報社、2019年、ISBN-13:978-4492396476 『「地元」の文化力ー地域の未来のつくりかた』苅谷剛彦編著、河出書房新社、2014年、ISBN-13: 978-4309624754
----------------------------	--

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
	平常レポート／Individual reports(04)	40%	
	その他／Others(99)	60%	最終授業レポート30%、学内外授業への主体的・積極的な取り組み姿勢30%
備考 Note	本授業は地域・社会人と連携した授業です。報告・連絡・相談、誠実で主体的な学習態度、基本的なマナーを守ってください。		
更新日時/Date of Update	2020年03月30日 19時13分41秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜2時限	春学期／Spring	第1PC教室

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52007002	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ライフ・キャリア入門演習 2／Introductory Seminar of Life Career and Work Career		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	石田 典子(ISHIDA NORIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は以下の4点である。 1. 主体的な大学生活の過ごし方を考えること 2. 卒業後も見越した自身のキャリアや人生を考えること 3. 変化する社会環境の中で自身の課題を発見する力を身に付けること 4. 自分の考えを自分の言葉で表現する能力を身に付けること		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. think about how to spend an independent university life, 2. think about their own careers and the lives they anticipate after graduation, 3. acquire the ability to discover their own challenges in a changing social environment, 4. acquire the ability to express their thoughts in their own words.		
到達目標/Learning Goals	1. キャリアデザインのプロセスの中で、学生は自分と他者と社会について考え、大学で学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアの在りかたを追究し意味づけができるようになる。 2. 学生は絶えず変化する社会に柔軟に挑み、そのプロセスにおいてたゆまず学習し続けることの重要性を理解できるようになる。 3. 学生は他者を尊重し、多様なキャリアを理解し受容することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, student will be able to 1. think about themselves, others, and society, the meaning of learning at a university, the meaning and purpose of work, and the meaning and ability to pursue their own strengths and careers in the process of career design, 2. flexibly contend with a constantly changing society and understand the importance of continuous learning in the process, 3. respect others and understand and accept diverse careers.		
授業の概要・背景 Course Outline	＜実務経験のある教員による授業＞ 企業での企画やコンサルティング、キャリアカウンセリング等の実務経験を積んだ講師が、その経験を活かし、社会人や企業人に求められるスキルや資質を育成します。自己及び自分を取り巻く社会を理解し、大学生活のアクションプラン、将来のキャリアデザインを考えます。		
授業方法 Course Format	※2020年春学期はオンライン授業を実施する ・授業開始：5月12日（火） ・授業形式：オンデマンド型 ・アクセス：LUNA「教材・課題・テスト」 ＜教員＞定められた曜日時限迄に解説書・関連資料・ワークシート等を配信する ＜学生＞定められた曜日時間以降の任意の時間に受信できる 毎回、提出課題があるので、必ず授業日の当日中に内容・提出期限を確認すること ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール ※対面授業が可能となった場合は・・・ ・個人ワーク、学生同士のペアワーク、グループワーク（ディスカッション、発表など） を組み合わせ授業を展開する。 ・毎回、座席を指定する（毎回替わり、ペアワークの相手やグループメンバーが替わる） ・毎回、出席カードと学習記録を兼ねた「リフレクションペーパー」の提出を義務付ける。		
関連科目/Related Courses	後続：ライフ・キャリア概論／ライフ・キャリア実践演習／ライフ・キャリア発展演習／ 各実習科目		
検索キーワード/Keywords	キャリア 働き方 社会 グループ ディスカッション プレゼンテーション 発表 ダイバーシティ 多様性 自己分析 計画 進路 インターンシップ 就職 仕事 人生 生き方 実務経験のある教員		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	臨時休講（新型コロナ対応）	第1回目のカリキュラムは、第5回目に吸収して実施し、課題も第5回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第2回 Session 2	臨時休講（新型コロナ対応）	第2回目のカリキュラムは、第6回目に吸収して実施し、課題も第6回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第3回 Session 3	臨時休講（新型コロナ対応）	第3回目のカリキュラムは、第7回目に吸収して実施し、課題も第7回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第4回 Session 4	臨時休講（新型コロナ対応）	第4回目のカリキュラムは、第9回目に吸収して実施し、課題も第9回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第5回 Session 5	テーマ：オリエンテーション 主な内容： ・当講座の目的、ルール、評価方法を理解する ・人生80年の時間、10年後の自分の姿（仕事観、人生観）を思い描き、今の自分の思いを言語化し、学生間で共有する ・「アイデンティティ」の課題として、指定図書に取り組む（第1回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月12日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第6回 Session 6	テーマ：自己の棚卸し 主な内容： ・これまでの歩みや経験を振り返る。 ・自身の強みや弱みを点検・理解し言語化する（第2回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月19日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第7回 Session 7	テーマ：社会環境・他者理解（1）（2） 主な内容： ・現在の社会情勢が私達に及ぼす影響について考察し、学生間で共有する ・社会環境について調査する（第3回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月26日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第8回 Session 8	テーマ：社会環境・他者理解（3） 主な内容： ・自分自身にとって「機会」や「脅威」となり得る環境変化を考察し、学生間で共有する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月2日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
	テーマ：社会の中の自己理解（1） 主な内容：	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月9日（火）3時限開始時間までに配信

第9回 Session 9	・自国民のアイデンティティーを「政治・経済・労働観」「自然・宗教観」「文化・言語・教育観」の3つの視点で考察し、学生間で共有する ・自分自身のアイデンティティと課題を分析してこれからに繋げる(第4回課題)	・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第10回 Session 10	テーマ: 社会の中の自己理解(2) 主な内容: ・グローバル化する社会で求められる人材像や、そこで活躍するために必要な能力について考察して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月16日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第11回 Session 11	テーマ: 社会の中の自己理解(3) 主な内容: ・社会、組織で働くために求められる「能力」(社会人基礎力)について自己分析して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月23日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第12回 Session 12	テーマ: キャリアコラージュ・アクションプラン 主な内容: ・クロスSWOT分析の手法を用いて、環境変化の中で自分の強みの活かし方、弱みの克服方法を考察する ・実効性の高い行動計画の手法を学び、大学での学習計画・行動計画(アクションプラン)を作成する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月30日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第13回 Session 13	テーマ: キャリアビジョン・キャリアプラン 主な内容: ・代表的なキャリア理論を学び、自身のキャリアプランに活かす ・アクションプランの作成 ・これまでの学習の集大成であるキャリアデザインシートの総仕上げ	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 7月7日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第14回 Session 14	テーマ: キャリアコミットメント<宣言> 主な内容: ・キャリアデザインシートの発表(実行宣言)と相互フィードバック (発表形式は、対面授業の可否や履修者数に応じて検討する) ・当講座の学習を総括する	LUNA使用によるオンライン授業(対面授業不可の場合) ・配信日時: 7月14日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール

授業外学習 Study Required outside Class	1. 社会事情や時事問題などについて調査し、自身の所見をまとめる 2. 他の学生や講師の所見を参考にしながら、自身の考察を深める 3. 1. 2にかかるワークシートを作成し、提出する ※2020年春学期は、1～3の取り組みをオンラインで行う ※更新日時 2020年4月13日15時55分
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特定の教科書は使用せず、毎回学習に必要な資料やワークシート類を配布する (2020年春学期はLUNAで配信する)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	80%	ワークシート等の提出、及びその内容レベル(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は100%)
	その他／Others(99)	20%	授業中の意見発表やグループワークの取り組み(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は0%)
	備考 Note ・2020年春学期は、全てのワークシートの提出をもって成績評価の対象とする ・学期末試験は実施しない		
更新日時/Date of Update		2020年04月13日 15時55分21秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	A-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52007005	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ライフ・キャリア入門演習 5／Introductory Seminar of Life Career and Work Career		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	渡辺 一成(WATANABE KAZUNARI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は以下の4点である。 1. 主体的な大学生活の過ごし方を考えること 2. 卒業後も見越した自身のキャリアや人生を考えること 3. 変化する社会環境の中で自身の課題を発見する力を身に付けること 4. 自分の考えを自分の言葉で表現する能力を身に付けること		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. think about how to spend an independent university life, 2. think about their own careers and the lives they anticipate after graduation, 3. acquire the ability to discover their own challenges in a changing social environment, 4. acquire the ability to express their thoughts in their own words.		
到達目標/Learning Goals	1. キャリアデザインのプロセスの中で、学生は自分と他者と社会について考え、大学で学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアの在りかたを追究し意味づけができるようになる。 2. 学生は絶えず変化する社会に柔軟に挑み、そのプロセスにおいてたゆまず学習し続けることの重要性を理解できるようになる。 3. 学生は他者を尊重し、多様なキャリアを理解し受容することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, student will be able to 1. think about themselves, others, and society, the meaning of learning at a university, the meaning and purpose of work, and the meaning and ability to pursue their own strengths and careers in the process of career design, 2. flexibly contend with a constantly changing society and understand the importance of continuous learning in the process, 3. respect others and understand and accept diverse careers.		
授業の概要・背景 Course Outline	＜実務経験のある教員による授業＞ 企業での企画やコンサルティング、キャリアカウンセリング等の実務経験を積んだ講師が、その経験を活かし、社会人や企業人に求められるスキルや資質を育成します。自己及び自分を取り巻く社会を理解し、大学生活のアクションプラン、将来のキャリアデザインを考えます。		
授業方法 Course Format	※2020年春学期はオンライン授業を実施する ・授業開始：5月12日（火） ・授業形式：オンデマンド型 ・アクセス：LUNA「教材・課題・テスト」 ＜教員＞定められた曜日時限迄に解説書・関連資料・ワークシート等を配信する ＜学生＞定められた曜日時間以降の任意の時間に受信できる 毎回、提出課題があるので、必ず授業日の当日中に内容・提出期限を確認すること ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール ※対面授業が可能となった場合は・・・ ・個人ワーク、学生同士のペアワーク、グループワーク（ディスカッション、発表など） を組み合わせる授業を展開する。 ・毎回、座席を指定する（毎回替わり、ペアワークの相手やグループメンバーが替わる） ・毎回、出席カードと学習記録を兼ねた「リフレクションペーパー」の提出を義務付ける。		
関連科目/Related Courses	後続：ライフ・キャリア概論／ライフ・キャリア実践演習／ライフ・キャリア発展演習／ 各実習科目		
検索キーワード/Keywords	キャリア 働き方 社会 グループ ディスカッション プレゼンテーション 発表 ダイバーシティ 多様性 自己分析 計画 進路 インターンシップ 就職 仕事 人生 生き方 実務経験のある教員		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	臨時休講（新型コロナ対応）	第1回目のカリキュラムは、第5回目に吸収して実施し、課題も第5回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第2回 Session 2	臨時休講（新型コロナ対応）	第2回目のカリキュラムは、第6回目に吸収して実施し、課題も第6回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第3回 Session 3	臨時休講（新型コロナ対応）	第3回目のカリキュラムは、第7回目に吸収して実施し、課題も第7回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第4回 Session 4	臨時休講（新型コロナ対応）	第4回目のカリキュラムは、第9回目に吸収して実施し、課題も第9回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第5回 Session 5	テーマ：オリエンテーション 主な内容： ・当講座の目的、ルール、評価方法を理解する ・人生80年の時間、10年後の自分の姿（仕事観、人生観）を思い描き、今の自分の思いを言語化し、学生間で共有する ・「アイデンティティ」の課題として、指定図書に取り組む（第1回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月12日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第6回 Session 6	テーマ：自己の棚卸し 主な内容： ・これまでの歩みや経験を振り返る。 ・自身の強みや弱みを点検・理解し言語化する（第2回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月19日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第7回 Session 7	テーマ：社会環境・他者理解（1）（2） 主な内容： ・現在の社会情勢が私達に及ぼす影響について考察し、学生間で共有する ・社会環境について調査する（第3回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月26日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第8回 Session 8	テーマ：社会環境・他者理解（3） 主な内容： ・自分自身にとって「機会」や「脅威」となり得る環境変化を考察し、学生間で共有する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月2日（火）3時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
	テーマ：社会の中の自己理解（1） 主な内容：	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月9日（火）3時限開始時間までに配信

第9回 Session 9	・自国民のアイデンティティーを「政治・経済・労働観」「自然・宗教観」「文化・言語・教育観」の3つの視点で考察し、学生間で共有する ・自分自身のアイデンティティと課題を分析してこれからに繋げる(第4回課題)	・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第10回 Session 10	テーマ: 社会の中の自己理解(2) 主な内容: ・グローバル化する社会で求められる人材像や、そこで活躍するために必要な能力について考察して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月16日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第11回 Session 11	テーマ: 社会の中の自己理解(3) 主な内容: ・社会、組織で働くために求められる「能力」(社会人基礎力)について自己分析して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月23日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第12回 Session 12	テーマ: キャリアコラージュ・アクションプラン 主な内容: ・クロスSWOT分析の手法を用いて、環境変化の中で自分の強みの活かし方、弱みの克服方法を考察する ・実効性の高い行動計画の手法を学び、大学での学習計画・行動計画(アクションプラン)を作成する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月30日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第13回 Session 13	テーマ: キャリアビジョン・キャリアプラン 主な内容: ・代表的なキャリア理論を学び、自身のキャリアプランに活かす ・アクションプランの作成 ・これまでの学習の集大成であるキャリアデザインシートの総仕上げ	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 7月7日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第14回 Session 14	テーマ: キャリアコミットメント<宣言> 主な内容: ・キャリアデザインシートの発表(実行宣言)と相互フィードバック (発表形式は、対面授業の可否や履修者数に応じて検討する) ・当講座の学習を総括する	LUNA使用によるオンライン授業(対面授業不可の場合) ・配信日時: 7月14日(火)3時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール

授業外学習 Study Required outside Class	1. 社会事情や時事問題などについて調査し、自身の所見をまとめる 2. 他の学生や講師の所見を参考にしながら、自身の考察を深める 3. 1. 2にかかるワークシートを作成し、提出する ※2020年春学期は、1～3の取り組みをオンラインで行う ※更新日時 2020年4月13日17:00
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	特定の教科書は使用せず、毎回学習に必要な資料やワークシート類を配布する (2020年春学期はLUNAで配信する)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	80%	ワークシート等の提出、及びその内容レベル(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は100%)
	その他／Others(99)	20%	授業中の意見発表やグループワークの取り組み(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は0%)
	備考 Note ・2020年春学期は、全てのワークシートの提出をもって成績評価の対象とする ・学期末試験は実施しない		
更新日時/Date of Update		2020年04月13日 17時18分22秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	III-102

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52200001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】社会探究入門 1／Introduction to Social Inquiry		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	木本 浩一(KIMOTO KOICHI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
特記事項/Special Instructions	「2020年度ハンズオン・ラーニング・プログラム説明会」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、中止いたします。 ハンズオン・ラーニング・プログラム説明会 日時:3月24日(火)14:10～15:10 場所:西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室		
授業目的/Course Purpose	社会は器ではありません。私たちは、「社会に出る」「社会の中で暮らす」と表現することはあっても、社会との関わりを深く考えることはありません。私たちが「社会をなして生きつつある存在である」にも関わらずです。現代社会は複雑化し、不確実性が増しています。私たちも大学も、社会との関わりの中で存在しています。私たちは、大学において、何を「学ぶ」べきなのでしょう。か。「学び」を極めるには、どのようなトレーニングが必要なのでしょう。か。 本科目では、社会を理解・探究するための知的基礎体力を身につけます。 今学期は、社会を理解・探究するためのキーワードとして、「自由」を取り上げます。「自由」について深く考えることによって、現代社会を「理解」する、という組み立てになっています。		
授業目的(英文) Course Purpose	Society is not a container. Even though we describe ourselves as entering into society and living in society, we do not think about our relationship with society, in spite of the fact that we are living beings in society. Modern society is becoming complicated, and uncertainty is increasing. We and the university exist in relation to society. What should we learn in a university? What kind of training is necessary to master learning? The purpose of this course is for students to acquire a strong intellectual basis to understand and inquire about society. In this semester, we aim to acquire intellectual basic academic ability to understand and inquiring about society. This class aims to understand modern society by considering deeply about freedom.		
到達目標/Learning Goals	1)大学において(自ら)「学ぶ」ために必須となる「読む」「書く」「聴く」「話す」などの基礎力を身につけます、2)「考える」仕方を再考し、その仕方を鍛えます(覚えたものを正確に思い出す、という仕方から自由になる)、3)今後の専門的な知識や技能を活かしていくために、明確な問題設定ができるようになります		
到達目標(英文) Learning Goals	Students will be able to 1) acquire basic academic skills, such as reading, writing, listening, and speaking skills, which are essential to learning at the university, 2) re-think the way to think and train it (becomes free from remembering exactly what you learned), 3) define clear issues in order to make use of future expert knowledge and skills		
授業方法 Course Format	「読む」「書く」「聴く」「話す」というスキルの錬成が主となります。スキルを覚えるのではなく、身につけ、鍛えるという点に重心を置いています。		
関連科目/Related Courses	社会探究実践演習、社会探究実習		
検索キーワード/Keywords			

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【オリエンテーションーいま、大学で学ぶとは？ー】・大学の位置づけ(大学のある社会とは)・大学とは何か(何であったのか)・授業の進め方(メモをとる:書きながら考える/考えながら書く)→休講(第三回以降へ)	【新型コロナ対応:4月7日12時00分更新】 添付ファイル1(200407 01 社探(シラバス1))を読み、課題に取り組んでください。二回分
第2回 Session 2	【導入】社会とは何か?ー探究へのイントロダクションとしてー ・「私たちの社会」というテーマで各自が作成したリポートを材料として自己紹介を行う→休講(第三回以降へ)	
第3回 Session 3	【インプットに向けて(読書論)】テキストを「読む」ために(1)ー 自らの「読み」を見直そうー・ポスター作成に向けて	#:T01(丸山眞男「「である」ことと「する」こと」)
第4回 Session 4	【インプットを鍛える01】テキストを「読む」ために(2):「読み込み」ワーク(グループ)	
第5回 Session 5	【インプットを鍛える02】・ポスターセッション	
第6回 Session 6	【テキストを元に「考える」01】・読み込みの持ち寄り	#:T02(M.エンデ「自由の牢獄」)
第7回 Session 7	【テキストを元に「考える」02】・解説会	
第8回 Session 8	【テキストを元に「考える」03】・読み込みの持ち寄り	
第9回 Session 9	【探究】「自由」(1)・授業形式の相互解説	#:T03(H.アレント「自由とは何か」)
第10回 Session 10	【探究】「自由」(2)・論点整理	
第11回 Session 11	【探究】「自由」(3)・論点整理	
第12回 Session 12	【探究】「自由」ー授業形式の報告会(1)	
第13回 Session 13	【探究】「自由」ー授業形式の報告会(1)	
第14回 Session 14	まとめ・ふりかえり(gw13)・課題リポート(1)('私たちの社会」、授業時間中)	
第15回 Session 15	予備	

授業外学習 Study Required outside Class	個人、ペア、グループなど様々な単位でワークを行います。そのため、授業時間外においても十分な学修時間を確保し、十分な準備(授業前)、振り返り(授業後)が必要となります。
---------------------------------------	---

教科書/Required texts	著者名: 内田義彦 タイトル: 読書と社会科学 発行所: 岩波書店 出版年: 1985 ISBN: 4004202884
参考書/Reference books	著者名: アドラー&ドーレン タイトル: 本を読む本 発行所: 講談社 出版年: 1997 ISBN: 4061592998

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.	
	平常リポート／Individual reports(04)	70%		
	その他／Others(99)	30%	授業への取り組み姿勢など	
添付ファイル1/File Attachment 1	200407 01 社探(シラバス1).pdf		説明1/Explanation 1	課題の説明
添付ファイル2/File Attachment 2	01 丸山 であることとすること.pdf		説明2/Explanation 2	テキスト1
更新日時/Date of Update	2020年04月07日 11時56分54秒			

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜3時限	春学期／Spring	B－104

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52007003	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ライフ・キャリア入門演習 3／Introductory Seminar of Life Career and Work Career		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	石田 典子(ISHIDA NORIKO)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は以下の4点である。 1. 主体的な大学生活の過ごし方を考えること 2. 卒業後も見越した自身のキャリアや人生を考えること 3. 変化する社会環境の中で自身の課題を発見する力を身に付けること 4. 自分の考えを自分の言葉で表現する能力を身に付けること		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. think about how to spend an independent university life, 2. think about their own careers and the lives they anticipate after graduation, 3. acquire the ability to discover their own challenges in a changing social environment, 4. acquire the ability to express their thoughts in their own words.		
到達目標/Learning Goals	1. キャリアデザインのプロセスの中で、学生は自分と他者と社会について考え、大学で学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアの在りかたを追究し意味づけができるようになる。 2. 学生は絶えず変化する社会に柔軟に挑み、そのプロセスにおいてたゆまず学習し続けることの重要性を理解できるようになる。 3. 学生は他者を尊重し、多様なキャリアを理解し受容することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, student will be able to 1. think about themselves, others, and society, the meaning of learning at a university, the meaning and purpose of work, and the meaning and ability to pursue their own strengths and careers in the process of career design, 2. flexibly contend with a constantly changing society and understand the importance of continuous learning in the process, 3. respect others and understand and accept diverse careers.		
授業の概要・背景 Course Outline	＜実務経験のある教員による授業＞ 企業での企画やコンサルティング、キャリアカウンセリング等の実務経験を積んだ講師が、その経験を活かし、社会人や企業人に求められるスキルや資質を育成します。自己及び自分を取り巻く社会を理解し、大学生活のアクションプラン、将来のキャリアデザインを考えます。		
授業方法 Course Format	※2020年春学期はオンライン授業を実施する ・授業開始：5月12日（火） ・授業形式：オンデマンド型 ・アクセス：LUNA「教材・課題・テスト」 ＜教員＞定められた曜日時限迄に解説書・関連資料・ワークシート等を配信する ＜学生＞定められた曜日時間以降の任意の時間に受信できる 毎回、提出課題があるので、必ず授業日の当日中に内容・提出期限を確認すること ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール ※対面授業が可能となった場合は・・・ ・個人ワーク、学生同士のペアワーク、グループワーク（ディスカッション、発表など） を組み合わせる授業を展開する。 ・毎回、座席を指定する（毎回替わり、ペアワークの相手やグループメンバーが替わる） ・毎回、出席カードと学習記録を兼ねた「リフレクションペーパー」の提出を義務付ける。		
関連科目/Related Courses	後続：ライフ・キャリア概論／ライフ・キャリア実践演習／ライフ・キャリア発展演習／ 各実習科目		
検索キーワード/Keywords	キャリア 働き方 社会 グループ ディスカッション プレゼンテーション 発表 ダイバーシティ 多様性 自己分析 計画 進路 インターンシップ 就職 仕事 人生 生き方 実務経験のある教員		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	臨時休講（新型コロナ対応）	第1回目のカリキュラムは、第5回目に吸収して実施し、課題も第5回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第2回 Session 2	臨時休講（新型コロナ対応）	第2回目のカリキュラムは、第6回目に吸収して実施し、課題も第6回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第3回 Session 3	臨時休講（新型コロナ対応）	第3回目のカリキュラムは、第7回目に吸収して実施し、課題も第7回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第4回 Session 4	臨時休講（新型コロナ対応）	第4回目のカリキュラムは、第9回目に吸収して実施し、課題も第9回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第5回 Session 5	テーマ：オリエンテーション 主な内容： ・当講座の目的、ルール、評価方法を理解する ・人生80年の時間、10年後の自分の姿（仕事観、人生観）を思い描き、今の自分の思いを言語化し、学生間で共有する ・「アイデンティティ」の課題として、指定図書に取り組む（第1回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月12日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第6回 Session 6	テーマ：自己の棚卸し 主な内容： ・これまでの歩みや経験を振り返る。 ・自身の強みや弱みを点検・理解し言語化する（第2回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月19日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第7回 Session 7	テーマ：社会環境・他者理解（1）（2） 主な内容： ・現在の社会情勢が私達に及ぼす影響について考察し、学生間で共有する ・社会環境について調査する（第3回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月26日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第8回 Session 8	テーマ：社会環境・他者理解（3） 主な内容： ・自分自身にとって「機会」や「脅威」となり得る環境変化を考察し、学生間で共有する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月2日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
	テーマ：社会の中の自己理解（1） 主な内容：	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月9日（火）4時限開始時間までに配信

第9回 Session 9	・自国民のアイデンティティーを「政治・経済・労働観」「自然・宗教観」「文化・言語・教育観」の3つの視点で考察し、学生間で共有する ・自分自身のアイデンティティと課題を分析してこれからに繋げる(第4回課題)	・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第10回 Session 10	テーマ: 社会の中の自己理解(2) 主な内容: ・グローバル化する社会で求められる人材像や、そこで活躍するために必要な能力について考察して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月16日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第11回 Session 11	テーマ: 社会の中の自己理解(3) 主な内容: ・社会、組織で働くために求められる「能力」(社会人基礎力)について自己分析して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月23日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第12回 Session 12	テーマ: キャリアコラージュ・アクションプラン 主な内容: ・クロスSWOT分析の手法を用いて、環境変化の中で自分の強みの活かし方、弱みの克服方法を考察する ・実効性の高い行動計画の手法を学び、大学での学習計画・行動計画(アクションプラン)を作成する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月30日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第13回 Session 13	テーマ: キャリアビジョン・キャリアプラン 主な内容: ・代表的なキャリア理論を学び、自身のキャリアプランに活かす ・アクションプランの作成 ・これまでの学習の集大成であるキャリアデザインシートの総仕上げ	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 7月7日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第14回 Session 14	テーマ: キャリアコミットメント<宣言> 主な内容: ・キャリアデザインシートの発表(実行宣言)と相互フィードバック (発表形式は、対面授業の可否や履修者数に応じて検討する) ・当講座の学習を総括する	LUNA使用によるオンライン授業(対面授業不可の場合) ・配信日時: 7月14日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール

授業外学習 Study Required outside Class	1. 社会事情や時事問題などについて調査し、自身の所見をまとめる 2. 他の学生や講師の所見を参考にしながら、自身の考察を深める 3. 1. 2にかかるワークシートを作成し、提出する ※2020年春学期は、1～3の取り組みをオンラインで行う ※更新日時 2020年4月13日18時30分
---------------------------------------	---

教科書 Required texts	特定の教科書は使用せず、毎回学習に必要な資料やワークシート類を配布する (2020年春学期はLUNAで配信する)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	80%	ワークシート等の提出、及びその内容レベル(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は100%)
	その他／Others(99)	20%	授業中の意見発表やグループワークの取り組み(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は0%)
	備考 Note ・2020年春学期は、全てのワークシートの提出をもって成績評価の対象とする ・学期末試験は実施しない		
更新日時/Date of Update		2020年04月13日 18時27分28秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	A-203

シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	52007006	開講キャンパス/Campus	神戸三田キャンパス/Kobe Sanda Campus
授業開講年度/Academic Year	2020年度		
管理部署/Administrative Department	ハンズオン・ラーニングセンター／Center for Hands-on Learning Programs		
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【100】ライフ・キャリア入門演習 6／Introductory Seminar of Life Career and Work Career		
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring
担当者/Instructor	渡辺 一成(WATANABE KAZUNARI)		
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年		
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese		
授業目的/Course Purpose	本授業の目的は以下の4点である。 1. 主体的な大学生活の過ごし方を考えること 2. 卒業後も見越した自身のキャリアや人生を考えること 3. 変化する社会環境の中で自身の課題を発見する力を身に付けること 4. 自分の考えを自分の言葉で表現する能力を身に付けること		
授業目的(英文) Course Purpose	The purpose of this course is for students to 1. think about how to spend an independent university life, 2. think about their own careers and the lives they anticipate after graduation, 3. acquire the ability to discover their own challenges in a changing social environment, 4. acquire the ability to express their thoughts in their own words.		
到達目標/Learning Goals	1. キャリアデザインのプロセスの中で、学生は自分と他者と社会について考え、大学で学ぶ意味、働く意味と目的、自分の強みやキャリアの在りかたを追究し意味づけができるようになる。 2. 学生は絶えず変化する社会に柔軟に挑み、そのプロセスにおいてたゆまず学習し続けることの重要性を理解できるようになる。 3. 学生は他者を尊重し、多様なキャリアを理解し受容することができるようになる。		
到達目標(英文) Learning Goals	In this course, student will be able to 1. think about themselves, others, and society, the meaning of learning at a university, the meaning and purpose of work, and the meaning and ability to pursue their own strengths and careers in the process of career design, 2. flexibly contend with a constantly changing society and understand the importance of continuous learning in the process, 3. respect others and understand and accept diverse careers.		
授業の概要・背景 Course Outline	＜実務経験のある教員による授業＞ 企業での企画やコンサルティング、キャリアカウンセリング等の実務経験を積んだ講師が、その経験を活かし、社会人や企業人に求められるスキルや資質を育成します。自己及び自分を取り巻く社会を理解し、大学生活のアクションプラン、将来のキャリアデザインを考えます。		
授業方法 Course Format	※2020年春学期はオンライン授業を実施する ・授業開始：5月12日（火） ・授業形式：オンデマンド型 ・アクセス：LUNA「教材・課題・テスト」 ＜教員＞定められた曜日時限迄に解説書・関連資料・ワークシート等を配信する ＜学生＞定められた曜日時間以降の任意の時間に受信できる 毎回、提出課題があるので、必ず授業日の当日中に内容・提出期限を確認すること ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール ※対面授業が可能となった場合は・・・ ・個人ワーク、学生同士のペアワーク、グループワーク（ディスカッション、発表など） を組み合わせる授業を展開する。 ・毎回、座席を指定する（毎回替わり、ペアワークの相手やグループメンバーが替わる） ・毎回、出席カードと学習記録を兼ねた「リフレクションペーパー」の提出を義務付ける。		
関連科目/Related Courses	後続：ライフ・キャリア概論／ライフ・キャリア実践演習／ライフ・キャリア発展演習／ 各実習科目		
検索キーワード/Keywords	キャリア 働き方 社会 グループ ディスカッション プレゼンテーション 発表 ダイバーシティ 多様性 自己分析 計画 進路 インターンシップ 就職 仕事 人生 生き方 実務経験のある教員		

	授業計画 Topic	授業外学習 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	臨時休講（新型コロナ対応）	第1回目のカリキュラムは、第5回目に吸収して実施し、課題も第5回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第2回 Session 2	臨時休講（新型コロナ対応）	第2回目のカリキュラムは、第6回目に吸収して実施し、課題も第6回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第3回 Session 3	臨時休講（新型コロナ対応）	第3回目のカリキュラムは、第7回目に吸収して実施し、課題も第7回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第4回 Session 4	臨時休講（新型コロナ対応）	第4回目のカリキュラムは、第9回目に吸収して実施し、課題も第9回目にオンライン（LUNA）で配信します。
第5回 Session 5	テーマ：オリエンテーション 主な内容： ・当講座の目的、ルール、評価方法を理解する ・人生80年の時間、10年後の自分の姿（仕事観、人生観）を思い描き、今の自分の思いを言語化し、学生間で共有する ・「アイデンティティ」の課題として、指定図書に取り組む（第1回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月12日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第6回 Session 6	テーマ：自己の棚卸し 主な内容： ・これまでの歩みや経験を振り返る。 ・自身の強みや弱みを点検・理解し言語化する（第2回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月19日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第7回 Session 7	テーマ：社会環境・他者理解（1）（2） 主な内容： ・現在の社会情勢が私達に及ぼす影響について考察し、学生間で共有する ・社会環境について調査する（第3回課題）	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：5月26日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
第8回 Session 8	テーマ：社会環境・他者理解（3） 主な内容： ・自分自身にとって「機会」や「脅威」となり得る環境変化を考察し、学生間で共有する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月2日（火）4時限開始時間までに配信 ・授業形式：オンデマンド型 ・意見交換：LUNAの掲示板 ・質疑応答：LUNAの掲示板またはeメール
	テーマ：社会の中の自己理解（1） 主な内容：	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時：6月9日（火）4時限開始時間までに配信

第9回 Session 9	・自国民のアイデンティティーを「政治・経済・労働観」「自然・宗教観」「文化・言語・教育観」の3つの視点で考察し、学生間で共有する ・自分自身のアイデンティティと課題を分析してこれからに繋げる(第4回課題)	・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第10回 Session 10	テーマ: 社会の中の自己理解(2) 主な内容: ・グローバル化する社会で求められる人材像や、そこで活躍するために必要な能力について考察して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月16日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第11回 Session 11	テーマ: 社会の中の自己理解(3) 主な内容: ・社会、組織で働くために求められる「能力」(社会人基礎力)について自己分析して自己の課題に気づく	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月23日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第12回 Session 12	テーマ: キャリアコラージュ・アクションプラン 主な内容: ・クロスSWOT分析の手法を用いて、環境変化の中で自分の強みの活かし方、弱みの克服方法を考察する ・実効性の高い行動計画の手法を学び、大学での学習計画・行動計画(アクションプラン)を作成する	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 6月30日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第13回 Session 13	テーマ: キャリアビジョン・キャリアプラン 主な内容: ・代表的なキャリア理論を学び、自身のキャリアプランに活かす ・アクションプランの作成 ・これまでの学習の集大成であるキャリアデザインシートの総仕上げ	LUNA使用によるオンライン授業 ・配信日時: 7月7日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール
第14回 Session 14	テーマ: キャリアコミットメント<宣言> 主な内容: ・キャリアデザインシートの発表(実行宣言)と相互フィードバック (発表形式は、対面授業の可否や履修者数に応じて検討する) ・当講座の学習を総括する	LUNA使用によるオンライン授業(対面授業不可の場合) ・配信日時: 7月14日(火)4時限開始時間までに配信 ・授業形式: オンデマンド型 ・意見交換: LUNAの掲示板 ・質疑応答: LUNAの掲示板またはeメール

授業外学習 Study Required outside Class	1. 社会事情や時事問題などについて調査し、自身の所見をまとめる 2. 他の学生や講師の所見を参考にしながら、自身の考察を深める 3. 1. 2にかかるワークシートを作成し、提出する ※2020年春学期は、1～3の取り組みをオンラインで行う ※更新日時 2020年4月13日17:00
---------------------------------------	--

教科書 Required texts	特定の教科書は使用せず、毎回学習に必要な資料やワークシート類を配布する (2020年春学期はLUNAで配信する)
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	学内統一様式を使って実施

成績評価 Grading	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常リポート／Individual reports(04)	80%	ワークシート等の提出、及びその内容レベル(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は100%)
	その他／Others(99)	20%	授業中の意見発表やグループワークの取り組み(2020年春学期に対面授業を実施しない場合は0%)
	備考 Note ・2020年春学期は、全てのワークシートの提出をもって成績評価の対象とする ・学期末試験は実施しない		
更新日時/Date of Update		2020年04月13日 17時19分58秒	

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2020年度	春学期／Spring	火曜4時限	春学期／Spring	III-102